(19) 世界知的所有権機関 国際事務局



(43) 国際公開日 2004 年9 月23 日 (23.09.2004)

PCT

(10) 国際公開番号 WO 2004/080966 A1

(51) 国際特許分類⁷: C07D 211/46, 211/74, 211/58, 211/62, 211/32, 211/66, 211/22, 211/34, 211/72, 241/04, 401/04, 401/06, 401/10, 401/14, 405/12, 409/12, 413/12, 487/08, A61K 31/403, 31/445, 31/4468, 31/45, 31/453, 31/4535, 31/454, 31/4545, 31/4709, 31/495, 31/496, 31/497, 31/506, 31/517, 31/5377, 31/55, 45/00, A61P 11/06, 29/00, 31/18, 37/00, 37/06, 43/00

(21) 国際出願番号: PCT/JP2004/003333

(22) 国際出願日: 2004年3月12日(12.03.2004)

(25) 国際出願の言語: 日本語

(26) 国際公開の言語: 日本語

(30) 優先権データ:

特願2003-70347 2003 年3 月14 日 (14.03.2003) JP 特願 2003-385683

2003 年11 月14 日 (14.11.2003) JP

- (71) 出願人 (米国を除く全ての指定国について): 小野薬品工業株式会社 (ONO PHARMACEUTICAL CO., LTD.) [JP/JP]; 〒541-8526 大阪府 大阪市 中央区道修町 2 丁目 1 番 5 号 Osaka (JP).
- (72) 発明者; および
- (75) 発明者/出願人 (米国についてのみ): 西澤 玲奈 (NISHIZAWA,Rena) [JP/JP]; 〒618-8585 大阪府 三島郡 島本町桜井三丁目 1番 1号 小野薬品工業株式会社内 Osaka (JP). 高岡 義和 (TAKAOKA,Yoshikazu) [JP/JP]; 〒618-8585 大阪府三島郡島本町桜井三丁目

1番1号小野薬品工業株式会社内 Osaka (JP). 柴山 史朗 (SHIBAYAMA,Shiro) [JP/JP]; 〒300-4247 茨城県 つくば市和台17番地2 小野薬品工業株式会社内 Ibaraki (JP).

- (74) 代理人: 大家 邦久 (OHIE, Kunihisa); 〒103-0013 東京都 中央区 日本橋人形町 2 丁目14番 6 号 セルバ人形町 6 階 大家特許事務所 Tokyo (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保護が可能): AE, AG, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KP, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, MZ, NA, NI, NO, NZ, OM, PG, PH, PL, PT, RO, RU, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SY, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VC, VN, YU, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LS, MW, MZ, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシア (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM), ヨーロッパ (AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HU, IE, IT, LU, MC, NL, PL, PT, RO, SE, SI, SK, TR), OAPI (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG).

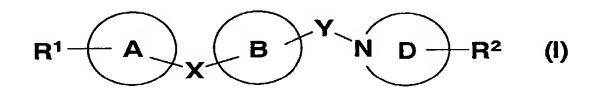
添付公開書類:

一 国際調査報告書

2文字コード及び他の略語については、定期発行される各PCTガゼットの巻頭に掲載されている「コードと略語のガイダンスノート」を参照。

(54) Title: NITROGEN-CONTAINING HETEROCYCLIC DERIVATIVES AND DRUGS CONTAINING THE SAME AS THE ACTIVE INGREDIENT

(54) 発明の名称: 含窒素複素環誘導体およびそれらを有効成分とする薬剤



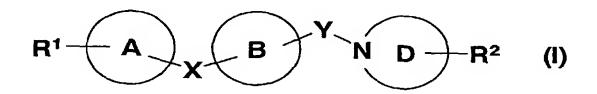
(57) Abstract: A compound represented by the following general formula (I), its salt, solvates thereof or prodrugs thereof: (I) (wherein each symbol is as defined in the description.) The compounds represented by the general formula (I) are useful in preventing and/or treating various

inflammatory diseases (asthma, nephritis, nephropathy, hepatitis, arthritis, rheumatoid arthritis, rhinitis, conjunctivitis, ulcerative colitis, etc.), immunological diseases (autoimmune diseases, rejection in organ transplantation, immunosuppression, psoriasis, multiple sclerosis, etc.), infection with human immunodeficiency virus (acquired immunodeficiency syndrome, etc.), allergic diseases (atopic dermatitis, urticaria, allergic bronchoplumonary aspergillosis, allergic eosinophilic gastroenteritis, etc.), ischemic reperfusion injury, acute respiratory distress syndrome, shock accompanying bacterial infection, diabetes, cancer metastasis and so on.

VO 2004/080966 A1

(57) 要約:

一般式(I)



(式中、すべての記号は明細書に記載の通り。)で示される化合物、その塩 またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグ。

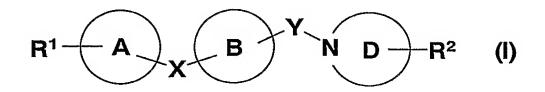
一般式(I)で示される化合物は、各種炎症性疾患(喘息、腎炎、腎症、肝炎、関節炎、慢性関節リウマチ、鼻炎、結膜炎、潰瘍性大腸炎等)、免疫疾患(自己免疫疾患の治療、移植臓器拒絶反応、免疫抑制、乾癬、多発性硬化症等)、ヒト免疫不全ウィルス感染(後天性免疫不全症候群等)、アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、アレルギー性好酸球性胃腸症等)、虚血再灌流傷害の抑制、急性呼吸窮迫症候群、細菌感染に伴うショック、糖尿病、癌転移等の予防および/または治療に有用である。

明 細 書

含窒素複素環誘導体およびそれらを有効成分とする薬剤

5 技術分野

本発明は、(1)一般式(I)



(式中、すべての記号は後記と同じ意味を表わす。)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグ、および(2)一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグを有効成分として含有する C C R 5 に起因する疾患の治療および/または予防剤に関する。

背景技術

10

- 15 ケモカインは、内因性の白血球走化性、活性化作用を有し、ヘパリン結合性の強い、塩基性蛋白質として知られている。現在では、ケモカインは、炎症、免疫反応時の特異的白血球の浸潤を制御するのみならず、発生、生理的条件下でのリンパ球のホーミング、血球前駆細胞、体細胞の移動にも関わると考えられている。
- 20 血球細胞は種々のサイトカインによって、その分化、増殖、細胞死が制御されている。生体内において炎症は局所的にみられ、リンパ球の分化、成熟等はある特定の部位で行なわれている。すなわち、必要とされる種々の細胞が、ある特定の部位に移動し、集積して、一連の炎症、免疫反応が起こる。従って、細胞の分化、増殖、死に加えて、細胞の移動も免疫系にとって必要

不可欠な現象である。

5

10

15

20

生体内での血球細胞の移動は、まず、発生過程において、AGM領域に始まる造血が胎児肝を経て、骨髄での永久造血へと移行することから始まる。更に、胎児肝、骨髄から胸腺へと、T細胞、胸腺樹状細胞の前駆細胞が移動し、胸腺環境下で細胞分化する。クローン選択を受けたT細胞は、二次リンパ組織へ移動し、末梢における免疫反応に関与する。抗原を捕らえて、活性化、分化した皮膚のランゲルハンス細胞は、局所リンパ節のT細胞領域に移動し、樹状突起細胞としてナイーブT細胞を活性化する。メモリーT細胞はリンパ管、血管を経て、再びリンパ節にホーミングする。また、B細胞、腸管上皮内T細胞、γδT細胞、NKT細胞、樹状細胞は、骨髄より胸腺を経ずに移動、分化し、免疫反応に関与する。

ケモカインは、このような種々の細胞の移動に深く関与している。また、ケモカイン受容体は、種々の特異的な細胞において、ある特定した時期に発現し、そのエフェクター細胞がケモカインの産生される個所に集積するというメカニズムを通じて、炎症、免疫反応の制御に大きく関与している。

ヒト免疫不全ウィルス(以下、HIVと略する。)感染によって引き起こされる後天性免疫不全症候群(エイズ(AIDS)と呼ばれている。)は、近年最もその治療法を切望されている疾患の一つである。主要な標的細胞であるCD4陽性細胞にHIVの感染が一度成立すると、HIVは患者の体内で増殖をくり返し、やがては免疫機能を司るT細胞を壊滅的に破壊する。この過程で徐々に免疫機能が低下し、発熱、下痢、リンパ節の腫脹等の様々な免疫不全状態を示すようになり、カリニ肺炎等の種々の日和見感染症を併発し易くなる。このような状態がエイズの発症であり、カボジ肉腫等の悪性腫瘍を誘発し、重篤化することはよく知られている。

25 現在エイズに対する各種の予防、治療方法としては、例えば、(1)逆転 写酵素阻害剤やプロテアーゼ阻害剤の投与によるHIVの増殖抑制、(2)

免疫賦活作用のある薬物の投与による日和見感染症の予防、緩和等が試みられている。

HIVは、免疫系の中枢を司るヘルパーT細胞に主に感染する。その際、T細胞の膜上に発現している膜蛋白CD4を利用することは、1985 年より知られている(Cell, 52, 631 (1985))。CD4分子は433個のアミノ酸残基からなり、成熟ヘルパーT細胞以外にマクロファージ、一部のB細胞、血管内皮細胞、皮膚組織のランゲルハンス細胞、リンパ組織にある樹状細胞、中枢神経系のグリア細胞等で発現が見られる。しかし、CD4分子のみではHIVの感染が成立しないことが明らかになるにつれて、HIVが細胞に感染する際にかかわるCD4分子以外の因子の存在の可能性が、示唆されるようになった。

5

10

20

25

RANTES、MIP- 1α 、MIP- 1β の受容体であるCCR5は、マクロファージ指向性 (R5) HIVが感染する際に利用されることが発見された (Science, 272, 1955 (1996))。

15 従って、HIVとCCR5を奪い合うことのできるもの、あるいはHIV ウイルスに結合し、該ウイルスがCCR5に結合できない状態にさせるもの は、HIV感染阻害剤となり得るはずである。

以上から、CCR5受容体は、炎症、免疫疾患またはHIV感染に深く関与していると考えられる。例えば、各種炎症性疾患(喘息、腎炎、腎症、肝炎、関節炎、慢性関節リウマチ、鼻炎、結膜炎、潰瘍性大腸炎等)、免疫疾患(自己免疫疾患の治療、移植臓器拒絶反応、免疫抑制、乾癬、多発性硬化症等)、ヒト免疫不全ウィルス感染症(後天性免疫不全症候群等)、アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、アレルギー性好酸球性胃腸症等)、虚血再灌流傷害の抑制、急性呼吸窮迫症候群、細菌感染に伴うショック、糖尿病、癌転移等に関与していると考えられる。

一般式(a)

$$A^{a}$$
 N
 R^{1a}
 X^{a}
 N
 R^{2a}
 R^{3a}

(式中、 R^{1a} は水素原子、 $C1\sim12$ アルキルを表わし、 R^{2a} および R^{3a} は それぞれ独立して、水素原子、 $C1\sim12$ アルキルを表わし、 X^a は窒素原子 または酸素原子を表わし、 A^a は

(式中、 R^{4a} は水素原子、 $C1\sim12$ アルキル、 $C3\sim8$ シクロアルキル、アリール、置換されたアリール、アリールーC (=0) ー、アリールーCH (OH) ーを表わし、 R^{5a} は水素原子、 $C1\sim12$ アルキル、 $C1\sim4$ アルコキシ、ハロゲン、CORを表わし、 R^{6a} は水素原子、 $C1\sim12$ アルキル、置換された $C1\sim4$ アルキルを表わす。ただし、各記号の定義は、一部を抜粋したものである。)で示されるアミノピペリジン誘導体がケモカイン受容体阻害剤として有用である旨の報告がある(WO02/79186参照。)。

また、一般式(b)

$$R^{5b}$$
 Y^{b}
 X^{b}
 $(R^{4b})_{d}$
 $(R^{2b})_{b}$
 $(R^{2b})_{b}$
 $(R^{1b})_{a}$
 $(R^{1b})_{a}$

15

10

5

で示されるスルホン酸誘導体が C C R 1 受容体の選択的アンタゴニストであることが開示されている (WO02/102787 参照)。

さらに、CCR5アンタゴニストとして、1-(4-ピリジル)-ピペラジン誘導体が開示されている(米国特許第 6,391,865 号明細書参照)。

一方、トリアザスピロ [5.5] ウンデカン誘導体化合物、それらの四級アンモニウム塩、それらのN-オキシドまたはそれらの薬理学的に許容される塩が、ケモカイン/ケモカイン受容体(CCR)の作用を制御することにより、各種炎症性疾患、喘息、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、アレルギー疾患(アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、アレルギー性好酸球性胃腸症等)、腎炎、腎症、肝炎、関節炎、慢性関節リウマチ、乾癬、鼻炎、結膜炎、虚血再灌流傷害の抑制、多発性硬化症、潰瘍性大腸炎、急性呼吸窮迫症候群、細菌感染に伴うショック、糖尿病、自己免疫疾患の治療、移植臓器拒絶反応、免疫抑制、癌転移、後天性免疫不全症候群の予防および/または治療として有用であることが報告されている(WO01/40227号参照。)。

15 また、一般式(c)

5

10

20

(式中、mcおよびncは同一または異なって、それぞれ0、または $1\sim2$ の整数を、 Alk^3 °は結合手、または直鎖または分枝鎖の $C1\sim6$ アルキレンを、 R^1 °および R^2 °は同一または異なって、水素原子または直鎖または分枝鎖の $C1\sim6$ アルキルを、D°は置換されていてもよい芳香環または複素芳香環を、E°は置換されていてもよい $C7\sim10$ シクロアルキル、 $C7\sim10$ シクロアルキレン、または $C7\sim10$ 多環式脂肪族基を表わす。)で示される化合物がCXCR3 調節剤であることが記載されている(WO03/070242 号参照)。

発明の開示

5

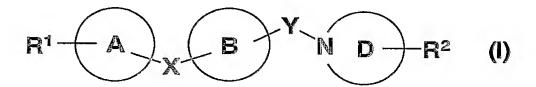
15

CCR5受容体を制御する化合物は、CCR5受容体に関与する疾患の予防および治療剤は医薬品として有用であり、安全なCCR5制御薬、特にCCR5拮抗薬の開発が切望されている。

本発明者らは、CCR5受容体に特異的に結合し、制御する化合物を見出すべく鋭意検討を重ねた結果、一般式(I)で示される本発明化合物がこの目的にかなうことを見出し、本発明を完成した。

すなわち本発明は、

10 1. 一般式(I)



(式中、 R^1 は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、XおよびYはそれぞれ独立して、結合手または主鎖の原子数 $1\sim3$ のスペーサーを表わし、環Aおよび環Bは同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員同素環または複素環を表わし、R0は、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員含窒素複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキソ基、(7)置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員複素環基、または(8)= $N-OR^6$ (R^6 は、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わす。)

で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグ、

- 2. R¹が保護されていてもよい酸性基である前記1記載の化合物、
- 3. 酸性基がカルボキシ、またはスルホンアミドである前記2記載の化合

物、

5

4. XおよびYがそれぞれ独立して、結合手、または(1) $-CR^7R^8$ -、(2) $-NR^9$ -、(3) -CO -、(4) -O - 、(5) -S - 、(6) - SO - 、(7) $-SO_2$ - 、(8) -C (=N $-OR^{10}$) - (式中、 R^7 および R^8 はそれぞれ独立して、水素原子、C1 - 4P - ルキル、 $-OR^{11}$ 、またはフェニルを表わし、 R^9 は、水素原子、C1 - 4P - ルキル、またはフェニルを表わし、 R^{10} および R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子またはC1 - 4P - トルを表わす。)から選ばれる 2 価基である前記 1 記載の化合物、

- 5. Xが結合手、-O-、または-CH2-である前記4記載の化合物、
- 10 6. YがC1~3アルキレンである前記1記載の化合物、
 - 7. 環Dが、さらに置換基を有していてもよい5~10員含窒素複素環である前記1記載の化合物、
 - 8. 環Aおよび環Bが、同一または異なって、さらに置換基を有していて もよい5~10員同素環または複素環である前記1記載の化合物、
- 15 9. 環Aおよび環Bが、同一または異なって、さらに置換基を有していて もよい5~6 員芳香族環である前記 1 記載の化合物、

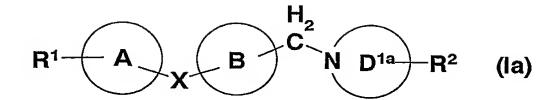
10. $R^2 b^3$

(式中、矢印は環Dとの結合位置を表わし、 R^{51} 、 R^{52} および R^{53} はそれぞ れ独立して、(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、

(3)置換基を有していてもよい3~15員複素環基、(4)置換基を有していてもよいC1~4アルコキシ基、(5)置換基を有していてもよいフェノキシ基または(6)置換基を有していてもよいベンジルオキシ基を表わす。)である前記1記載の化合物、

11. 一般式 (Ia)

5



(式中、環D^{1a}は置換基を有していてもよいピペリジンまたはピペラジンを表わし、その他の記号は前記1の記載と同じ意味を表わす。)で示される前記1記載の化合物、

- 12. (1) $N-[4-(4-\{[4-(ブチル \{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル \} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル } フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、$
- (2) N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(6-メチル-3-ピリジニル)
- 10 アミノ] カルボニル} アミノ) ー 1 ーピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、
 - (3) $N-[4-(4-\{[4-(ブチル \{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル \} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル $\}$ -3,5-ジメチルー1H-ピラゾールー1-イル) フェニル] メタンスルホンアミド、
- 15 (4) N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチル-1H-ピラゾール -4-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル} フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド、
- (5) 3 [({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー4ーイル] アミノ} カルボニル) アミノ]20 ベンズアミド、
 - (6) N- $\{4-[4-[4-[4-[4-[4-]]]]\}$ (7) アミノ] カルボニル (7) アミノ] ピペリジン-1-イル メチル) フェノキシ] フェニル メタンスルホンアミド、
 - (7) 5-[({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フ

ェノキシ} ベンジル) ピペリジンー 4 ーイル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2-フルオロベンズアミド、

(8) $5-[({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-$ イル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2, 4-ジフルオロベンズアミド、

5

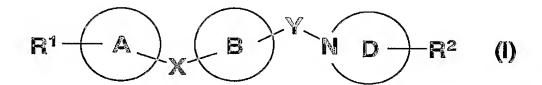
- (9) $N-[4-(4-(7+7) {[(3-2) 4-7) + 1 2]}]$ $N-[4-(4-(7+7) {[(3-2) 4-7) + 2]}]$ $N-[4-(7+7) {[(3-2) 4-7) + 2]}]$
- (10) Nー[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロキシシクロヘキシ 10 ル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミドおよびN-{4-[4-({4-[{[(4-フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}(1,3-チアゾールー4-イルメチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミドからなる群から選ばれる前記1記載の化合物、
- 15 13. 前記1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶 媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなる C C R 5 制御剤、
 - 14. CCR 5 拮抗剤である前記 13 記載の CCR 5 制御剤、
 - 15. CCR 5 が関与する疾患の治療および/または予防剤である前記 1 3 記載の CCR 5 制御剤、
- 20 16. CCR 5 が関与する疾患がヒト免疫不全ウィルス感染症である前記 15記載のCCR 5 制御剤、
 - 17. ヒト免疫不全ウィルス感染症が後天性免疫不全症候群である前記 16記載の CCR 5制御剤、
- 18. CCR5が関与する疾患が免疫疾患である前記15記載のCCR5 25 制御剤、
 - 19. 免疫疾患が移植臓器拒絶反応である前記18記載のCCR5制御剤、

20. CCR 5 が関与する疾患が炎症性疾患である前記 1 5 記載の CCR 5 制御剤、

- 21. 炎症性疾患が喘息である前記20記載のCCR5制御剤、
- 22. 請求項1記載の化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなる、ヒト免疫不全ウィルス感染症、免疫疾患または炎症性疾患予防および/または治療剤、
 - 23. 前記1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶 媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなる医薬組成物、
- 24. 前記1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶 媒和物、またはそのプロドラッグと逆転写酵素阻害薬、プロテアーゼ阻害薬、 CCR2拮抗薬、CCR3拮抗薬、CCR4拮抗薬、CCR5拮抗薬、CX CR4拮抗薬、フュージョン阻害薬、HIV-1の表面抗原に対する抗体、 およびHIV-1のワクチンから選択される1種または2種以上の薬とを組 み合わせてなる医薬、

15 25. 一般式(I)

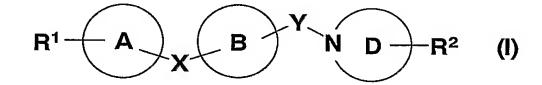
5



(式中、 R^1 は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、XおよびYはそれぞれ独立して、結合手または主鎖の原子数 $1\sim3$ のスペーサーを表わし、環Aおよび環Bは同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員同素環または複素環を表わし、R0は、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員含窒素複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキゾ基、(7)置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5員複素環基、または(8)

 $=N-OR^6$ (R^6 は、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わす。)で示される前記 1 記載の化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグの有効量を哺乳動物に投与することを特徴とする哺乳動物における CCR5 が関与する疾患の治療または予防方法、および

5 26. CCR 5 が関与する疾患の予防および/または治療剤を製造するための、一般式(I)



(式中、 R^1 は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、Xおよび Yはそれぞれ独立して、結合手または主鎖の原子数 $1\sim3$ のスペーサーを表わし、環Aおよび環Bは同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員同素環または複素環を表わし、環Dは、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員合窒素複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキソ基、(7)置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員複素環基、または(8)= $N-OR^6$ (R^6 は、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わす。)で示される前記 1 記載の化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグの使用に関する。

10

15

20

 R^1 で示される「保護されていてもよい酸性基」とは「保護基」によって保護されていてもよい「酸性基」を表わす。「酸性基」としては、例えば、水酸基、アルコキシ、カルボキシ(-COOH)、スルホ ($-SO_3H$)、スルフィノ($-SO_2H$)、スルホンアミド($-SO_2NH_2$ または $-NR^{101}SO_3H$ (R^{101} は水素原子、または置換基を有していてもよい炭化水素基を表わす。))、ホスホノ(-PO(OH)₂)、フェノール($-C_6H_4OH$)また

は脱プロトン化しうる水素原子を有する含窒素環残基等の各種ブレンステッド酸が挙げられる。「ブレンステッド酸」とは、他の物質に水素イオンを与える物質のことを示す。「脱プロトン化しうる水素原子を有する含窒素環残基」としては、例えば

等が挙げられる。好ましい「酸性基」としてはカルボキシ、またはスルホンアミドが挙げられる。さらに好ましくは、スルホンアミドが挙げられる。

5

また、「保護基」としては、置換基を有していてもよい炭化水素基、炭素数1~6のアルコキシ、置換を有していてもよいアミノ基、

10 一N または 一N 等が挙げられる。「置換基を有していてもよい炭化水素基」における「炭化水素基」としては、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、sーブチル、tーブチル、ペンチル、ヘキシル、ヘプチル、オクチル、ノニル、デシル、ウンデシル、ドデシル、トリデシル、テトラデシル、ペンタデシル等の炭素数1~15 のアルキル基、例えばシクロプロピル、シクロブチル、シクロペンチル、

シクロヘキシル等の炭素数3~8のシクロアルキル基、例えばビニル、アリル、2-メチルアリル、2-ブテニル、3-ブテニル、3-オクテニル

等の炭素数2~10のアルケニル基、例えばエチニル、2-プロピニル、 3-ヘキシニル等の炭素数2~10のアルキニル基、例えばシクロプロペ ニル、シクロペンテニル、シクロヘキセニル等の炭素数3~10のシクロ アルケニル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素数6~14のアリール 5 基、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~16のアラルキル基、 例えばシクロヘキシルメチル、シクロヘキシルエチル、シクロヘキシルプ ロピル、1-メチル-1-シクロヘキシルメチル、またはシクロプロピル エチル等の(炭素数3~8のシクロアルキル)-(炭素数1~4のアルキ ル) 基等が挙げられる。また、「置換基を有していてもよい炭化水素基」に 10 おける「置換基」としては、例えば(1)ニトロ、(2)水酸基、(3)オ キソ、(4)チオキソ、(5)シアノ、(6)カルバモイル、(7)N-ブチルアミノカルボニル、Nーシクロヘキシルメチルアミノカルボニル、 NーブチルーNーシクロヘキシルメチルアミノカルボニル、Nーシクロヘ キシルアミノカルボニル、フェニルアミノカルボニル等の炭素数1~8の 15 炭化水素等で置換されたアミノカルボニル、(8)カルボキシ、(9)例 えばメトキシカルボニル、エトキシカルボニル等の炭素数1~4のアルコ キシーカルボニル、(10)スルホ、(11)例えばフッ素、塩素、臭素、 ヨウ素等のハロゲン、(12)例えばメトキシ、エトキシ、プロポキシ、 イソプロポキシ、ブトキシ、イソブトキシ、sーブトキシ、tーブトキシ、 20 ジフルオロメトキシ、トリフルオロメトキシ等のハロゲンで置換されてい てもよい炭素数1~4の低級アルコキシ、(13)フェノキシ、(14) 例えばoー、mーまたはpークロロフェノキシ、oー、mーまたはpーブ ロモフェノキシ等のハロゲノフェノキシ、(15)例えばメチルチオ、エ チルチオ、nープロピルチオ、イソプロピルチオ、nーブチルチオ、tー 25 ブチルチオ等の炭素数1~4の低級アルキルチオ、(16)フェニルチオ、 (17) 例えばメチルスルフィニル、エチルスルフィニル等の炭素数1~

4の低級アルキルスルフィニル、(18)例えばメチルスルホニル、エチ ルスルホニル等の炭素数1~4の低級アルキルスルホニル、(19)アミ ノ、(20)例えばアセチルアミノ、プロピオニルアミノ等の炭素数1~ 6の低級アシルアミノ、(21)例えばメチルアミノ、エチルアミノ、n 5 ープロピルアミノ、イソプロピルアミノ、nーブチルアミノ、ジメチルア ミノ、ジエチルアミノ、シクロヘキシルアミノ、1-カルバモイル-2-シクロヘキシルエチルアミノ、NーブチルーNーシクロヘキシルメチルア ミノ、フェニルアミノ等の炭化水素基で置換された第1または第2アミノ (この「炭化水素基」は、前記の「炭化水素基」と同じ意味を表わし、オ 10 キソ、任意の置換基(例えば炭化水素基等)で置換されていてもよいアミ ノ、カルバモイル、ハロゲン、水酸基等で置換されていてもよい。)、(2 2) 例えばホルミル、アセチル等の炭素数1~4の低級アシル、(23) ベンゾイル、(24)(a)例えば臭素、塩素、フッ素等のハロゲン、(b) オキソ、ヒドロキシ等で置換されていてもよい、例えばメチル、エチル、 15 プロピル、イソプロピル、ベンジル、シクロヘキシル、シクロヘキシルメ チル、シクロヘキシルエチル等の炭化水素基(この「炭化水素基」は前記 の「炭化水素基」と同じ意味を表わす。)、(c)例えばoー、mーまた はpークロロフェノキシ、oー、mーまたはpーブロモフェノキシ等のハ ロゲノフェノキシ、および(d)オキソ等から選ばれる1~4個の置換基 20 を有していてもよい、例えば2-または3-チエニル、2-または3-フ リル、3-、4-または5-ピラゾリル、4-テトラヒドロピラニル、2. -、4-または5-チアゾリル、3-、4-または5-イソチアゾリル、 2-、4-または5-オキサゾリル、3-、4-または5-イソオキサゾ リル、2-、4-または5-イミダゾリル、1, 2, 3-または1, 2, 25 4-トリアゾリル、1Hまたは2H-テトラゾリル、2-、3-または4 ーピリジル、2-、4-または5-ピリミジル、3-または4-ピリダニ

ジル、キノリル、イソキノリル、インドリル等の炭素原子以外に酸素、硫 黄、窒素等から選ばれるヘテロ原子を1~4個含む5または6員複素環基、 (25) 例えばジフルオロメチル、トリフルオロメチル、トリフルオロエ チル、トリクロロエチル等の炭素数1~10のハロアルキル基、(26) 5 ヒドロキシイミノ基、(27)例えばメチルオキシイミノ、エチルオキシ イミノ等のアルキルオキシイミノ基、(28)例えばメチルスルホニルア ミノ、エチルスルホニルアミノ、ベンジルスルホニルアミノ等のアルキル スルホニルアミノ基、または(29)例えばフェニルスルホニルアミノ、 pートルエンスルホニルアミノ等のアリールスルホニルアミノ基等が挙げ 10 られる。「置換基を有していてもよい炭化水素基」は、前記(1)から(2 9)から選ばれる1~10個の置換基を有していてもよいほか、「炭化水 素基」がシクロアルキル、シクロアルケニル、アリールまたはアラルキル 基である場合は例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル 等の炭素数1~4の低級アルキルを置換基として1~4個有していてもよ 15 い。また、置換基の数が2以上の場合、それぞれの置換基は同一または異 なっていてもよい。

「保護基」における「置換基を有していてもよいアミノ基」におけるアミノ基の置換基としては、前記に定義した「置換基を有していてもよい炭化水素基」が挙げられる。

20 「保護基」における「炭素数 1 ~ 6 のアルコキシ」としては、メトキシ、エトキシ、プロポキシ、ブトキシ、ペンチルオキシ、ヘキシルオキシ等が挙げられる。

R¹における「保護基」として好ましくは置換基を有していてもよい炭化水素基が挙げられ、さらに好ましくは、例えば、炭素数 1~4のアルキル基等が挙げられる

25

例えば、R¹で示される「保護されていてもよい酸性基」には、メトキシカ

ルボニルやエトキシカルボニル等のエステルやカルバモイル等のアミドも含まれる。

 R^1 として好ましくは、 $-SO_2NR^{102}R^{103}$ または $-NR^{101}SO_2R^{104}$ 、 $-COOR^{105}$ 、 $-CONR^{106}R^{107}$ (式中、 $R^{102}\sim R^{107}$ は水素原子または前記に定義した保護基を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)等が挙げられる。さらに好ましくは、 $-SO_2NR^{102}R^{103}$ または $-NR^{101}SO_2R^{104}$ である。

5

10

15

20

25

XおよびYで示される「主鎖の原子数1~3のスペーサー」とは、主鎖の 原子が1~3個連なっている間隔を意味する。ここで、「主鎖の原子数」は、 主鎖の原子が最小となるように数えるものとする。「主鎖の原子数1~3の スペーサー」としては、例えば、-CR⁷R⁸-、-NR⁹-、-CO-、-O -、-S-、-SO-、-SO₂-、-C (=N-OR¹⁰) - (式中、R⁷お よびR⁸はそれぞれ独立して、水素原子、C1~4アルキル、-OR¹¹、また はフェニルを表わし、R⁹は、水素原子、C1~4アルキル、またはフェニル を表わし、 R^{10} および R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子または $C1\sim4$ ア ルキルを表わす。)から選ばれる1~3個からなる2価基等が挙げられる。 ここで、「C1~4アルキル」としては、メチル、エチル、プロピル、ブチ ル等が挙げられる。具体的には、例えば、一CR7R8-、一NR9-、一CO $-, -O-, -S-, -C = N-OR^{10} -, -NR^{9}CO-, -CONR$ ⁹-、-NR⁹COCR⁷R⁸-、-CONR⁹CR⁷R⁸- (式中、R⁷~R¹⁰ は前記と同じ意味を表わす。)等が挙げられる。Xで示される「主鎖の原子 数1~3のスペーサー」において好ましいスペーサーは $-CR^7R^8-$ 、-N $R^9 - CO - CO - SO - SO - SO - CO = NO$ R^{10}) - (式中、 R^{7} および R^{8} はそれぞれ独立して、水素原子、 $C1\sim4$ ア ルキル、-OR¹¹、またはフェニルを表わし、R⁹は、水素原子、C1~4ア ルキル、またはフェニルを表わし、R¹⁰およびR¹¹はそれぞれ独立して、水

素原子またはC1~4アルキルを表わす。)等が挙げられる。

5

10

15

20

25

Xとして好ましくは、結合手、一〇一、一〇H2一等が挙げられる。

Yで示される「主鎖の原子数 1~3のスペーサー」として好ましくは「C 1~3アルキレン」が挙げられる。「C 1~3アルキレン」としては、メチレン、エチレン、プロピレン等が挙げられる。さらに、Yとして好ましくは、メチレンが挙げられる。

環Aおよび環Bで示される「置換基を有していてもよい3~15員同素環 または複素環」における「3~15員同素環」としては、「炭素数3~15 の環状炭化水素」等が挙げられる。「炭素数3~15の環状炭化水素」にお ける「環状炭化水素」としては、「不飽和環状炭化水素」または「飽和環状 炭化水素」が挙げられる。「飽和環状炭化水素」としては、例えば、シクロ プロパン、シクロブタン、シクロペンタン、シクロヘキサン、シクロヘプタ ン、シクロオクタン、シクロノナン、シクロデカン、シクロウンデカン、シ クロドデカン、シクロトリドデカン、シクロテトラデカン、シクロペンタデ カン等のシクロアルカン、さらに、パーヒドロペンタレン、パーヒドロアズ レン、パーヒドロインデン、パーヒドロナフタレン、パーヒドロヘプタレン、 スピロ [4.4] ノナン、スピロ [4.5] デカン、スピロ [5.5] ウン デカン、ビシクロ [2.2.1] ヘプタン、ビシクロ [3.1.1] ヘプタ ン、ビシクロ [2.2.2] オクタン、アダマンタン、ノルアダマンタン等 が挙げられる。「不飽和環状炭化水素」としては、例えばシクロペンテン、 シクロヘキセン、シクロヘプテン、シクロオクテン、シクロペンタジエン、 シクロヘキサジエン、シクロヘプタジエン、シクロオクタジエン等のシクロ アルケン、さらに、ベンゼン、ペンタレン、アズレン、インデン、インダン、 ナフタレン、ジヒドロナフタレン、テトラヒドロナフタレン、ヘプタレン、 ビフェニレン、asーインダセン、sーインダセン、アセナフテン、アセナ フチレン、フルオレン、フェナレン、フェナントレン、アントラセン、ビシ

クロ [2.2.1] ヘプター2ーエン、ビシクロ [3.1.1] ヘプター2ーエン、ビシクロ [2.2.2] オクター2ーエン等が挙げられる。

環Aおよび環Bで示される「置換基を有していてもよい3~15員同素環または複素環」における「3~15員複素環」としては、「3~15員不飽和複素環」、「3~15員飽和複素環」が挙げられる。

5

「3~15員不飽和複素環」としては、例えばピロール、イミダゾール、 トリアゾール、テトラゾール、ピラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジ ン、ピリダジン、アゼピン、ジアゼピン、フラン、ピラン、オキセピン、チ オフェン、チオピラン、チエピン、オキサゾール、イソオキサゾール、チア ゾール、イソチアゾール、フラザン、オキサジアゾール、オキサジン、オキ 10 サジアジン、オキサゼピン、オキサジアゼピン、チアジアゾール、チアジン、 チアジアジン、チアゼピン、チアジアゼピン、インドール、イソインドール、 インドリジン、ベンゾフラン、イソベンゾフラン、ベンゾチオフェン、イソ ベンゾチオフェン、ジチアナフタレン、インダゾール、キノリン、イソキノ リン、キノリジン、プリン、フタラジン、プテリジン、ナフチリジン、キノ 15 キサリン、キナゾリン、シンノリン、ベンゾオキサゾール、ベンゾチアゾー ル、ベンゾイミダゾール、クロメン、ベンゾオキセピン、ベンゾオキサゼピ ン、ベンゾオキサジアゼピン、ベンゾチエピン、ベンゾチアゼピン、ベンゾ チアジアゼピン、ベンゾアゼピン、ベンゾジアゼピン、ベンゾフラザン、ベ ンゾチアジアゾール、ベンゾトリアゾール、カルバゾール、βーカルボリン、 20 アクリジン、フェナジン、ジベンゾフラン、キサンテン、ジベンゾチオフェ ン、フェノチアジン、フェノキサジン、フェノキサチイン、チアンスレン、 フェナントリジン、フェナントロリン、ペリミジン、ピロリン、イミダゾリ ン、トリアゾリン、テトラゾリン、ピラゾリン、ジヒドロピリジン、テトラ ヒドロピリジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラジン、ジヒドロピリ 25 ミジン、テトラヒドロピリミジン、ジヒドロピリダジン、テトラヒドロピリ

5

10

15

20

25

ダジン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、 テトラヒドロジアゼピン、ジヒドロフラン、ジヒドロピラン、ジヒドロオキ セピン、テトラヒドロオキセピン、ジヒドロチオフェン、ジヒドロチオピラ ン、ジヒドロチエピン、テトラヒドロチエピン、ジヒドロオキサゾール、ジ ヒドロイソオキサゾール、ジヒドロチアゾール、ジヒドロイソチアゾール、 ジヒドロフラザン、ジヒドロオキサジアゾール、ジヒドロオキサジン、ジヒ ドロオキサジアジン、ジヒドロオキサゼピン、テトラヒドロオキサゼピン、 ジヒドロオキサジアゼピン、テトラヒドロオキサジアゼピン、ジヒドロチア ジアゾール、ジヒドロチアジン、ジヒドロチアジアジン、ジヒドロチアゼピ ン、テトラヒドロチアゼピン、ジヒドロチアジアゼピン、テトラヒドロチア ジアゼピン、インドリン、イソインドリン、ジヒドロベンゾフラン、ジヒド ロイソベンゾフラン、ジヒドロベンゾチオフェン、ジヒドロイソベンゾチオ フェン、ジヒドロインダゾール、ジヒドロキノリン、テトラヒドロキノリン、 ジヒドロイソキノリン、テトラヒドロイソキノリン、ジヒドロフタラジン、 テトラヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリジン、テトラヒドロナフチリジ ン、ジヒドロキノキサリン、テトラヒドロキノキサリン、ジヒドロキナゾリ ン、テトラヒドロキナゾリン、ジヒドロシンノリン、テトラヒドロシンノリ ン、ベンゾオキサチアン、ジヒドロベンゾオキサジン、ジヒドロベンゾチア ジン、ピラジノモルホリン、ジヒドロベンゾオキサゾール、ジヒドロベンゾ チアゾール、ジヒドロベンゾイミダゾール、ジヒドロベンゾアゼピン、テト ラヒドロベンゾアゼピン、ジヒドロベンゾジアゼピン、テトラヒドロベンゾ ジアゼピン、ベンゾジオキセパン、ジヒドロベンゾオキサゼピン、テトラヒ ドロベンゾオキサゼピン、ジヒドロカルバゾール、テトラヒドロカルバゾー ル、ジヒドロアクリジン、テトラヒドロアクリジン、ジヒドロジベンゾフラ ン、ジヒドロジベンゾチオフェン、テトラヒドロジベンゾフラン、テトラヒ ドロジベンゾチオフェン、ジオキサインダン、ベンゾジオキサン、クロマン、

ベンゾジチオラン、ベンゾジチアン環等が挙げられる。また、「3~15員 飽和複素環」としては、アジリジン、アゼチジン、アゾカン、ピロリジン、 イミダゾリジン、トリアゾリジン、テトラゾリジン、ピラゾリジン、ピペリ ジン、ピペラジン、パーヒドロピリミジン、パーヒドロピリダジン、パーヒ ドロアゼピン、パーヒドロジアゼピン、オキシラン、オキセタン、テトラヒ ドロフラン、テトラヒドロピラン、パーヒドロオキセピン、チイラン、チエ タン、テトラヒドロチオフェン、テトラヒドロチオピラン、パーヒドロチエ ピン、テトラヒドロオキサゾール(オキサゾリジン)、テトラヒドロイソオ キサゾール (イソオキサゾリジン)、テトラヒドロチアゾール (チアゾリジ ン)、テトラヒドロイソチアゾール(イソチアゾリジン)、テトラヒドロフ ラザン、テトラヒドロオキサジアゾール (オキサジアゾリジン)、テトラヒ ドロオキサジン、テトラヒドロオキサジアジン、パーヒドロオキサゼピン、 パーヒドロオキサジアゼピン、テトラヒドロチアジアゾール(チアジアゾリ ジン)、テトラヒドロチアジン、テトラヒドロチアジアジン、パーヒドロチ アゼピン、パーヒドロチアジアゼピン、モルホリン、チオモルホリン、オキ サチアン、パーヒドロベンゾフラン、パーヒドロイソベンゾフラン、パーヒ ドロベンゾチオフェン、パーヒドロイソベンゾチオフェン、パーヒドロイン ダゾール、パーヒドロキノリン、パーヒドロイソキノリン、パーヒドロフタ ラジン、パーヒドロナフチリジン、パーヒドロキノキサリン、パーヒドロキ ナゾリン、パーヒドロシンノリン、パーヒドロベンゾオキサゾール、パーヒ ドロベンゾチアゾール、パーヒドロベンゾイミダゾール、パーヒドロカルバ ゾール、パーヒドロアクリジン、パーヒドロジベンゾフラン、パーヒドロジ ベンゾチオフェン、ジオキソラン、ジオキサン、ジチオラン、ジチアン、

25 られる。

5

10

15

20

環Aおよび環Bで示される「3~15員同素環または複素環」として好ま しくは、「5~10員同素環または複素環」が挙げられる。具体的には、5 ~10員同素環としては、例えばシクロペンタン、シクロヘキサン、シクロ $^{\text{CP}}$ クン等の $^{\text{CS}}$ 0シクロアルカン等の $^{\text{CS}}$ 0飽和環状炭化水素、 例えばシクロペンテン、シクロヘキセン、シクロヘプテン、シクロオクテン、 5 シクロペンタジエン、シクロヘキサジエン、シクロヘプタジエン、シクロオ クタジエン等のC5~10シクロアルケン、例えばベンゼン、ナフタレン、 インデン等のC5~10不飽和環状炭化水素等が挙げられる。5~10員複 素環としては、例えばピロール、イミダゾール、トリアゾール、テトラゾー 10 ル、ピラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、アゼピン、 ジアゼピン、フラン、ピラン、オキセピン、チオフェン、チオピラン、チエ ピン、オキサゾール、イソオキサゾール、チアゾール、イソチアゾール、フ ラザン、オキサジアゾール、オキサジン、オキサジアジン、オキサゼピン、 オキサジアゼピン、チアジアゾール、チアジン、チアジアジン、チアゼピン、 15 チアジアゼピン、インドール、イソインドール、インドリジン、ベンゾフラ ン、イソベンゾフラン、ベンゾチオフェン、イソベンゾチオフェン、ジチア ナフタレン、インダゾール、キノリン、イソキノリン、キノリジン、プリン、 フタラジン、プテリジン、ナフチリジン、キノキサリン、キナゾリン、シン ノリン、ベンゾオキサゾール、ベンゾチアゾール、ベンゾイミダゾール、ク ロメン、ベンゾフラザン、ベンゾチアジアゾール、ベンゾトリアゾール、ピ 20 ロリン、イミダゾリン、トリアゾリン、テトラゾリン、ピラゾリン、ジヒド ロピリジン、テトラヒドロピリジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラ ジン、ジヒドロピリミジン、テトラヒドロピリミジン、ジヒドロピリダジン、 テトラヒドロピリダジン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、ジヒ ドロジアゼピン、テトラヒドロジアゼピン、ジヒドロフラン、ジヒドロピラ 25 ン、ジヒドロオキセピン、テトラヒドロオキセピン、ジヒドロチオフェン、

5

10

15

20

25

ジヒドロチオピラン、ジヒドロチエピン、テトラヒドロチエピン、ジヒドロ オキサゾール、ジヒドロイソオキサゾール、ジヒドロチアゾール、ジヒドロ イソチアゾール、ジヒドロフラザン、ジヒドロオキサジアゾール、ジヒドロ オキサジン、ジヒドロオキサジアジン、ジヒドロオキサゼピン、テトラヒド ロオキサゼピン、ジヒドロオキサジアゼピン、テトラヒドロオキサジアゼピ ン、ジヒドロチアジアゾール、ジヒドロチアジン、ジヒドロチアジアジン、 ジヒドロチアゼピン、テトラヒドロチアゼピン、ジヒドロチアジアゼピン、 テトラヒドロチアジアゼピン、インドリン、イソインドリン、ジヒドロベン ゾフラン、ジヒドロイソベンゾフラン、ジヒドロベンゾチオフェン、ジヒド ロイソベンゾチオフェン、ジヒドロインダゾール、ジヒドロキノリン、テト ラヒドロキノリン、ジヒドロイソキノリン、テトラヒドロイソキノリン、ジ ヒドロフタラジン、テトラヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリジン、テト ラヒドロナフチリジン、ジヒドロキノキサリン、テトラヒドロキノキサリン、 ジヒドロキナゾリン、テトラヒドロキナゾリン、ジヒドロシンノリン、テト ラヒドロシンノリン、ベンゾオキサチアン、ジヒドロベンゾオキサジン、ジ ヒドロベンゾチアジン、ピラジノモルホリン、ジヒドロベンゾオキサゾール、 ジヒドロベンゾチアゾール、ジヒドロベンゾイミダゾール、ジオキサインダ ン、ベンゾジオキサン、クロマン、ベンゾジチオラン、ベンゾジチアン等の **5~10**員不飽和複素環、例えば、ピロリジン、イミダゾリジン、トリアゾ リジン、テトラゾリジン、ピラゾリジン、ピペリジン、ピペラジン、パーヒ ドロピリミジン、パーヒドロピリダジン、パーヒドロアゼピン、パーヒドロ ジアゼピン、テトラヒドロフラン、テトラヒドロピラン、パーヒドロオキセ ピン、テトラヒドロチオフェン、テトラヒドロチオピラン、パーヒドロチエ ピン、テトラヒドロオキサゾール (オキサゾリジン)、テトラヒドロイソオ キサゾール (イソオキサゾリジン)、テトラヒドロチアゾール (チアゾリジ ン)、テトラヒドロイソチアゾール(イソチアゾリジン)、テトラヒドロフ

ラザン、テトラヒドロオキサジアゾール(オキサジアゾリジン)、テトラヒドロオキサジン、パーヒドロオキサゼピン、パーヒドロオキサジアゼピン、テトラヒドロチアジアゾール(チアジアゾリジン)、テトラヒドロチアジン、テトラヒドロチアジアジン、パーヒドロチアジアゼピン、オーヒドロチアジアゼピン、モルホリン、チオモルホリン、オキサチアン、パーヒドロインブフラン、パーヒドロイソベンゾフラン、パーヒドロイングゾール、パーヒドロキノリン、パーヒドロイソベングチオフェン、パーヒドロフタラジン、パーヒドロナフチリジン、パーヒドロインキノリン、パーヒドロキノサン、パーヒドロキンナゾリン、パーヒドロシンノリン、パーヒドロベンゾオキサゾール、パーヒドロベンゾチアゾール、パーヒドロベンゾイミダゾール、ジオキソラン、ジチアン、ジチオラン、ジチアン、

5

10

25

15 環Aまたは環Bとして、さらに好ましくは「5~10員不飽和同素環または複素環」が挙げられる。「5~10員不飽和同素環または複素環」とは、「5~10員不飽和環状炭化水素」または「5~10員不飽和複素環」を表わす。さらに好ましくは、5~6員芳香族環、例えば、ベンゼン、ピロール、イミダゾール、トリアゾール、テトラゾール、ピラゾール、ピリジン、ピラジン、ピリミジン、ピリダジン、トリアジン、フラン、チオフェン、オキサゾール、イソオキサゾール、チアゾール、イソチアゾール、フラザン、オキサジアゾール、チアジアゾール環等が挙げられる。

環Aおよび環Bで示される「置換基を有していてもよい3~15員同素環または複素環」における「置換基」としては、例えば、(1)置換基を有していてもよい炭化水素基(この「置換基を有していてもよい炭化水素基」と

は、前記の「置換基を有していてもよい炭化水素基」と同じ意味を表わす。)、 (2) 例えばメトキシ、エトキシ、プロポキシ、isoープロポキシ、nーブ トキシ、isoーブトキシ、secーブトキシ、tertーブトキシ、トリフルオロメ トキシ基等のハロゲン原子で置換されていてもよい炭素数1~6のアルコ キシ基、(3)例えばメトキシエチル等の(炭素数1~4のアルコキシ) 5 一(炭素数1~4のアルキル)基、(4)フェノキシ基、(5)例えばホ ルミル、アセチル、プロピオニル、n-ブチリル、iso-ブチリル、シクロ ヘキシルカルボニル基等の炭素数 1~8のアルカノイル基、(6)ベンゾ イル基、(7)例えばホルミルオキシ、アセチルオキシ、プロピオニルオ キシ、n-ブチリルオキシ、iso-ブチリルオキシ、シクロヘキシルカルボ 10 ニルオキシ基等の炭素数1~8のアルカノイルオキシ基、またはベンゾイ ルオキシ基、(8)カルボキシ基、(9)例えばメトキシカルボニル、エ トキシカルボニル、nープロポキシカルボニル、isoープロポキシカルボニ ル、n-ブトキシカルボニル、イソブトキシカルボニル、tert-ブトキシカ 15 ルボニル基等の炭素数2~7のアルコキシカルボニル基、(10)カルバ モイル基、(11)例えばN-メチルカルバモイル、N-エチルカルバモ イル、Nープロピルカルバモイル、Nーイソプロピルカルバモイル、Nー ブチルカルバモイル等のN-モノーC1-4アルキルカルバモイル基等、 (12)例えばN,Nージメチルカルバモイル、N,Nージエチルカルバ モイル、N,N-ジプロピルカルバモイル、N,N-ジブチルカルバモイ 20 ル等のN,NージーC1-4アルキルカルバモイル基、(13)例えば1 ーアチリジニルカルボニル、1ーアゼチジニルカルボニル、1ーピロリジ ニルカルボニル、1-ピペリジニルカルボニル、N-メチルピペラジニル カルボニル、モルホリノカルボニル基等の環状アミノカルボニル、(14) 例えばフッ素、塩素、臭素、ヨウ素等のハロゲン原子、(15)例えばク 25 ロロメチル、ジクロロメチル、トリフルオロメチル、トリフルオロエチル

5

10

15

20

25

等のモノー,ジーまたはトリーハロゲノー $C1\sim4$ アルキル基、(16) オキソ基、(17)アミジノ基、(18)イミノ基、(19)アミノ基、 (20) 例えばメチルアミノ、エチルアミノ、プロピルアミノ、イソプロ ピルアミノ、ブチルアミノ等のモノーC1~4アルキルアミノ基、(21) 例えばジメチルアミノ、ジエチルアミノ、ジプロピルアミノ、ジイソプロ ピルアミノ、ジブチルアミノ等のジーC1~4アルキルアミノ基、(22) 例えばアチリジニル、アゼチジニル、ピロリジニル、ピロリニル、ピロリ ル、イミダゾリル、ビラゾリル、イミダゾリジニル、ピペリジノ、モルホ リノ、ジヒドロピリジル、ピリジル、N-メチルピペラジニル、N-エチ ルピペラジニル基等の炭素原子と1個の窒素原子以外に酸素原子、硫黄原 子、窒素原子等から選ばれるヘテロ原子を1~3個含んでいてもよい3~ 6 員の環状アミノ基、(23)例えばホルムアミド、アセタミド、トリフ ルオロアセタミド、プロピオニルアミド、ブチリルアミド、イソブチリル アミド、シクロヘキシルカルボニルアミノ等の炭素原子1~8のアルカノ イルアミド基等、(24)ベンズアミド基、(25)カルバモイルアミノ 基、(26)例えばN-メチルカルバモイルアミノ、N-エチルカルバモ イルアミノ、N-プロピルカルバモイルアミノ、N-イソプロピルカルバ モイルアミノ、N-ブチルカルバモイルアミノ等のN-C1~4アルキル カルバモイルアミノ基等、(27)例えばN,Nージメチルカルバモイル アミノ、N,N-ジエチルカルバモイルアミノ、N,N-ジプロピルカル バモイルアミノ、N,N-ジブチルカルバモイルアミノ等のN,N-ジ-C1~4アルキルカルバモイルアミノ基、(28) 例えばメチレンジオキ シ、エチレンジオキシ基等の炭素数1~3のアルキレンジオキシ基、(2 9) -B(OH)₂、(30)ヒドロキシ基、(31)エポキシ基、(32) ニトロ基、(33)シアノ基、(34)メルカプト基、(35)スルホ基、 (36)スルフィノ基、(37)ホスホノ基、(38)スルファモイル基、

(39) 例えば N - メチルスルファモイル、 N - エチルスルファモイル、 \mathbb{N} ープロピルスルファモイル、 \mathbb{N} ーイソプロピルスルファモイル、 \mathbb{N} ーブ チルスルファモイル等の炭素数1~6のモノアルキルスルファモイル基等、 (40) 例えば N, N-ジメチルスルファモイル、N, N-ジエチルスル ファモイル、N,Nージプロピルスルファモイル、N,Nージブチルスル 5 ファモイル等のジーC1~4アルキルスルファモイル基(41)例えばメ チルチオ、エチルチオ、プロピルチオ、イソプロピルチオ、nーブチルチ オ、secーブチルチオ、tertーブチルチオ基等の炭素数1~6のアルキルチ オ基、(42)フェニルチオ基、(43)例えばメチルスルフィニル、エ チルスルフィニル、プロピルスルフィニル、ブチルスルフィニル基等の炭 10 素数 $1 \sim 6$ のアルキルスルフィニル基、(44)フェニルスルフィニル基、 (45) 例えばメチルスルホニル、エチルスルホニル、プロピルスルホニ ル、ブチルスルホニル基等の炭素数1~6のアルキルスルホニル基、(4 6) フェニルスルホニル基、または(47) アジド基等が挙げられる。環 Aおよび環Bは、上記置換基を、環状基の置換可能な位置に1~10個有 15 していてもよい。また、置換基の数が2以上の場合、それぞれの置換基は 同一または異なっていてもよい。環Aおよび環Bにおいて、好ましい置換 基としては、置換基を有していてもよい炭化水素基、アルコキシ基、カル ボキシ基、アルカノイルアミド基等が挙げられる。さらに好ましくは炭化 水素基、アルコキシ基が挙げられる。

環Dで示される「置換基を有していてもよい3~15員含窒素複素環」に おける「含窒素複素環」とは、炭素原子以外に少なくとも 1 個の窒素原子含 み、さらに窒素原子、酸素原子、硫黄原子から選ばれる1~3個のヘテロ原 子を含んでいてもよい複素環を表わす。「3~15員含窒素複素環」として は、「3~15員含窒素不飽和複素環」、「3~15員含窒素飽和複素環」 が挙げられる。

20

25

5

10

15

20

25

「3~15員含窒素不飽和複素環」としては、例えばピロール、イミダゾ ール、トリアゾール、テトラゾール、ピラゾール、インドール、イソインド ール、インダゾール、プリン、ベンゾイミダゾール、ベンゾアゼピン、ベン ゾジアゼピン、ベンゾトリアゾール、カルバゾール、β-カルボリン、フェ ノチアジン、フェノキサジン、ペリミジン、ピロリン、イミダゾリン、トリ アゾリン、テトラゾリン、ピラゾリン、ジヒドロピリジン、テトラヒドロピ リジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラジン、ジヒドロピリミジン、 テトラヒドロピリミジン、ジヒドロピリダジン、テトラヒドロピリダジン、 ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、テトラヒ ドロジアゼピン、ジヒドロオキサゾール、ジヒドロイソオキサゾール、ジヒ ドロチアゾール、ジヒドロイソチアゾール、ジヒドロフラザン、ジヒドロオ キサジアゾール、ジヒドロオキサジン、ジヒドロオキサジアジン、ジヒドロ オキサゼピン、テトラヒドロオキサゼピン、ジヒドロオキサジアゼピン、テ トラヒドロオキサジアゼピン、ジヒドロチアジアゾール、ジヒドロチアジン、 ジヒドロチアジアジン、ジヒドロチアゼピン、ジヒドロチアジアゼピン、テ トラヒドロチアジアゼピン、インドリン、イソインドリン、ジヒドロインダ ゾール、ジヒドロキノリン、テトラヒドロキノリン、ジヒドロイソキノリン、 テトラヒドロイソキノリン、ジヒドロフタラジン、テトラヒドロフタラジン、 ジヒドロナフチリジン、テトラヒドロナフチリジン、ジヒドロキノキサリン、 テトラヒドロキノキサリン、ジヒドロキナゾリン、テトラヒドロキナゾリン、 ジヒドロシンノリン、テトラヒドロシンノリン、ジヒドロベンゾオキサジン、 ジヒドロベンゾチアジン、ピラジノモルホリン、ジヒドロベンゾオキサゾー ル、ジヒドロベンゾチアゾール、ジヒドロベンゾイミダゾール、ジヒドロベ ンゾアゼピン、テトラヒドロベンゾアゼピン、ジヒドロベンゾジアゼピン、 テトラヒドロベンゾジアゼピン、ジヒドロベンゾオキサゼピン、テトラヒド ロベンゾオキサゼピン、ジヒドロカルバゾール、テトラヒドロカルバゾール、

ジヒドロアクリジン、テトラヒドロアクリジン等が挙げられる。また、「3 ~15員含窒素飽和複素環」としては、アジリジン、アゼチジン、アゾカン、 ピロリジン、イミダゾリジン、トリアゾリジン、テトラゾリジン、ピラゾリ ジン、ピペリジン、ピペラジン、パーヒドロピリミジン、パーヒドロピリダ ジン、パーヒドロアゼピン、パーヒドロジアゼピン、テトラヒドロオキサゾ 5 ール (オキサゾリジン)、テトラヒドロイソオキサゾール (イソオキサゾリ ジン)、テトラヒドロチアゾール(チアゾリジン)、テトラヒドロイソチア ゾール (イソチアゾリジン)、テトラヒドロフラザン、テトラヒドロオキサ ジアゾール (オキサジアゾリジン)、テトラヒドロオキサジン、テトラヒド ロオキサジアジン、パーヒドロオキサゼピン、パーヒドロオキサジアゼピン、 10 テトラヒドロチアジアゾール (チアジアゾリジン)、テトラヒドロチアジン、 テトラヒドロチアジアジン、テトラヒドロチアゼピン、パーヒドロチアゼピ ン、パーヒドロチアジアゼピン、モルホリン、チオモルホリン、パーヒドロ インダゾール、パーヒドロキノリン、パーヒドロイソキノリン、パーヒドロ フタラジン、パーヒドロナフチリジン、パーヒドロキノキサリン、パーヒド 15 ロキナゾリン、パーヒドロシンノリン、パーヒドロベンゾオキサゾール、パ ーヒドロベンゾチアゾール、パーヒドロベンゾイミダゾール、パーヒドロカ ルバゾール、パーヒドロアクリジン、

20

25

環Dで示される「3~15員含窒素複素環」として好ましくは、「5~10員含窒素複素環」が挙げられる。具体的には、例えば「5~10員含窒素不飽和複素環」としては、例えばピロール、イミダゾール、トリアゾール、テトラゾール、ピラゾール、インドール、イソインドール、インダゾール、プリン、ベンゾイミダゾール、ベンゾトリアゾール、ピロリン、イミダゾリ

5

10

15

20

25

ン、トリアゾリン、テトラゾリン、ピラゾリン、ジヒドロピリジン、テトラ ヒドロピリジン、ジヒドロピラジン、テトラヒドロピラジン、ジヒドロピリ ミジン、テトラヒドロピリミジン、ジヒドロピリダジン、テトラヒドロピリ ダジン、ジヒドロアゼピン、テトラヒドロアゼピン、ジヒドロジアゼピン、 テトラヒドロジアゼピン、ジヒドロオキサゾール、ジヒドロイソオキサゾー ル、ジヒドロチアゾール、ジヒドロイソチアゾール、ジヒドロフラザン、ジ ヒドロオキサジアゾール、ジヒドロオキサジン、ジヒドロオキサジアジン、 ジヒドロオキサゼピン、テトラヒドロオキサゼピン、ジヒドロオキサジアゼ ピン、テトラヒドロオキサジアゼピン、ジヒドロチアジアゾール、ジヒドロ チアジン、ジヒドロチアジアジン、ジヒドロチアゼピン、テトラヒドロチア ゼピン、ジヒドロチアジアゼピン、テトラヒドロチアジアゼピン、インドリ ン、イソインドリン、ジヒドロインダゾール、ジヒドロキノリン、テトラヒ ドロキノリン、ジヒドロイソキノリン、テトラヒドロイソキノリン、ジヒド ロフタラジン、テトラヒドロフタラジン、ジヒドロナフチリジン、テトラヒ ドロナフチリジン、ジヒドロキノキサリン、テトラヒドロキノキサリン、ジ ヒドロキナゾリン、テトラヒドロキナゾリン、ジヒドロシンノリン、テトラ ヒドロシンノリン、ジヒドロベンゾオキサジン、ジヒドロベンゾチアジン、 ピラジノモルホリン、ジヒドロベンゾオキサゾール、ジヒドロベンゾチアゾ ール、ジヒドロベンゾイミダゾール等が挙げられる。また、「5~10員含 窒素飽和複素環」としては、アゾカン、ピロリジン、イミダゾリジン、トリ アゾリジン、テトラゾリジン、ピラゾリジン、ピペリジン、ピペラジン、パ ーヒドロピリミジン、パーヒドロピリダジン、パーヒドロアゼピン、パーヒ ドロジアゼピン、テトラヒドロオキサゾール (オキサゾリジン)、テトラヒ ドロイソオキサゾール (イソオキサゾリジン)、テトラヒドロチアゾール (チ アゾリジン)、テトラヒドロイソチアゾール(イソチアゾリジン)、テトラ ヒドロフラザン、テトラヒドロオキサジアゾール (オキサジアゾリジン)、

10 る。

15

-20

25

5

さらに、環Dで示される「含窒素複素環」として好ましくは、ピペリジンまたはピペラジンが挙げられる。さらに好ましくはピペリジンが挙げられる。

環Dで示される「置換基を有していてもよい3~15員含窒素複素環」における「置換基」とは、前記の環Aおよび環Bで示される「置換基を有していてもよい3~15員同素環または複素環」における「置換基」と同じ意味を表わす。

環Dは、好ましくは無置換、または置換基を有していてもよい炭化水素基、 モノーC1~4アルキルアミノ基、ジーC1~4アルキルアミノ基等で置 換されたものが好ましい。さらに好ましくは無置換のものである。

R²で示される、「置換基を有していてもよい炭化水素基」における「炭化水素基」は、R¹で示される「保護されてもよい酸性基」における「保護基」で定義した「置換基を有していてもよい炭化水素基」と同じ意味を表わす。R²で示される、「置換基を有していてもよい炭化水素基」として好ましくはオキソ基で置換されたアルキル基またはオキソ基で置換された(炭素数3~8のシクロアルキル) - (炭素数1~4のアルキル) 基である。

R²のうち、「保護されていてもよい水酸基」とは「保護基」によって保護

されていてもよい「水酸基」を表わし、水酸基の「保護基」としては、例え ば、(1)例えば塩素、臭素、フッ素等のハロゲン原子、例えばフェニル、 ナフチル等の炭素数6~10のアリール、例えばベンジル、フェニルエチル 等の炭素数7~12のアラルキル基およびニトロ基等から選ばれる1~4個 の置換基を有していてもよい例えばメチル、エチル、nープロピル、isoープ 5 ロピル、nーブチル、tertーブチル等の炭素数1~6のアルキル基、(2)例 えば塩素、臭素、フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、nープ ロピル等の炭素数1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素 数6~10のアリール、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~1 2のアラルキル基およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置換基を有して いてもよい例えばフェニル、ナフチル等の炭素数6~10のアリール基、(3) 例えば塩素、臭素、フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、nー プロピル等の炭素数1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭 素数6~10のアリール、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~ 12のアラルキル基およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置換基を有し ていてもよい例えばベンジル、フェニルエチル、ナフチルメチル等の炭素数 7~12のアラルキル基、(4)ホルミル、(5)例えば塩素、臭素、フッ 素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、 n ープロピル等の炭素数 1 ~ 6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素数6~10のアリール、 例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~12のアラルキル基および ニトロ基等から選ばれる1~3個の置換基を有していてもよい例えばアセチ ル、プロピオニル等の炭素数1~6のアルキルーカルボニル基、(6)例え ば塩素、臭素、フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、nープロ ピル等の炭素数1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素数 6~10のアリール、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~12 のアラルキル基およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置換基を有してい

10

15

20

25

てもよい例えばフェニルオキシカルボニル、ナフチルオキシカルボニル等の 炭素数6~10のアリールーオキシカルボニル基、(7)例えば塩素、臭素、 フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、nープロピル等の炭素数 1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素数6~10のアリ ール、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~12のアラルキル基 およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置換基を有していてもよい例えば ベンゾイル、ナフチルカルボニル等の炭素数6~10のアリールカルボニル 基、(8)例えば塩素、臭素、フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エ チル、nープロピル等の炭素数1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフ チル等の炭素数6~10のアリール、例えばベンジル、フェニルエチル等の 炭素数7~12のアラルキル基およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置 換基を有していてもよい例えばベンジルカルボニル、フェネチルカルボニル 等の炭素数7~12のアラルキルーカルボニル基、(9)例えば塩素、臭素、 フッ素等のハロゲン原子、例えばメチル、エチル、n-プロピル等の炭素数 1~6のアルキル基、例えばフェニル、ナフチル等の炭素数6~10のアリ ール、例えばベンジル、フェニルエチル等の炭素数7~12のアラルキル基 およびニトロ基等から選ばれる1~4個の置換基を有していてもよいピラニ ルまたはフラニル、(10)例えばトリメチルシリル、トリエチルシリル等 のトリーC1~4アルキルシリル基等が用いられる。

5

10

15

 R^2 で示される、「置換基を有していてもよいアミノ基」における「置換基」としては、置換基を有していてもよい炭化水素基、 $-SO_2R^{201}$ 、 $=NR^{20}$ 2 、 $-OR^{203}$ (式中、 $R^{201}\sim R^{203}$ は置換基を有していてもよい炭化水素基である。)等が挙げられる。ここで、「置換基を有していてもよい炭化水素基」とは、 R^1 で示される「保護されていてもよい酸性基」における「保護基」で定義した「置換基を有していてもよい炭化水素基」と同じ意味を表わす。 R^2 で示される、「置換基を有していてもよいアミノ基」の「置換基」として

好ましくは、置換基を有していてもよい炭化水素基である。

5

10

 R^2 で示される、「置換基を有していてもよい $3\sim15$ 員複素環基」とは、環Aまたは環Bで示される「置換基を有していてもよい $3\sim15$ 員複素環基」と同じ意味を表わす。 R^2 で示される、「置換基を有していてもよい $3\sim15$ 員複素環基」として好ましくは、置換基を有していてもよいピペリジン、またはピペラジン環であり、さらに好ましくは、

(式中、矢印は環Dとの結合位置を表わし、 R^{31} 、 R^{32} 、 R^{33} および R^{34} は それぞれ独立して、環Aまたは環Bで示される「置換基を有していてもよい $3\sim15$ 員複素環基」における「置換基」と同じ意味を表わす。)等が挙げられる。

R²として好ましくは、例えば置換基を有していてもよい炭化水素基、置換基を有していてもよいアミノ基等が挙げられる。さらに好ましくは、

15 (式中、矢印は環Dとの結合位置を表わし、R⁵¹、R⁵²、R⁵³およびR⁵⁴は それぞれ独立して、水素原子、置換基を有していてもよい炭化水素基、置換基を有していてもよいC1 本を有していてもよい3~15員複素環基、置換基を有していてもよいC1~4アルコキシ基、置換基を有していてもよいフェノキシ基または置換基を 有していてもよいベンジルオキシ基を表わす。)等が挙げられる。ここで、 「置換基を有していてもよい炭化水素基」および「置換基を有していてもよ

い3~15員複素環基」はそれぞれ前記と同じ意味を表わす。C1~4アルコキシ基としては、例えばメトキシ、エトキシ、プロポキシ、イソプロポキシ、ブトキシ、イソブトキシ、s-ブトキシまたはt-ブトキシ等が挙げられる。ここで、C1~4アルコキシ基、フェノキシ基またはベンジルオキシ基は任意の置換基を有していてもよい。C1~4アルコキシ基、フェノキシ基またはベンジルオキシ基の置換基としては、例えば前記の「置換基を有していてもよい炭化水素基」における「置換基」等が挙げられる。

 R^{51} 、 R^{52} 、 R^{53} または R^{54} として好ましくは、水素原子、置換基を有していてもよい炭化水素基、置換基を有していてもよい $3\sim15$ 員複素環基等が挙げられる。また、 R^{52} および R^{53} のうち、どちらか一方が水素原子である化合物が好ましい。

本発明においては、前記の好ましい基、好ましい環の組み合わせを含む一般式(I)の化合物が好ましい。例えば、環Dがピペリジンまたはピペラジン、Yがメチレン基である化合物、すなわち、一般式(Ia)

$$R^1 - A$$
 B
 C
 N
 D^{1a}
 R^2
(Ia)

15

5

10

(式中、環 D^{1a} は置換基を有していてもよいピペリジンまたはピペラジンを表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物、環Dがピペリジンまたはピペラジン、 R^2 が

20 である化合物、すなわち、一般式 (Ib)

$$R^{1}$$
 A X B Y N D^{1a} N R^{53} (lb) R^{51} R^{52}

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物、 R^1 が $-SO_2NR^{102}R^{103}$ または $-NR^{101}SO_2R^{104}$ 、Xが単結合、 $-CR^7R^8-$ 、 $-NR^9-$ 、-CO-、-O-、-S-、-SO-、 $-SO_2-$ 、-C ($=N-OR^{10}$) - (式中、 R^7 および R^8 はそれぞれ独立して、水素原子、 $C1\sim4$ アルキル、 $-OR^{11}$ 、またはフェニルを表わし、 R^9 は、水素原子、 $C1\sim4$ アルキル、またはフェニルを表わし、 R^{10} および R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わし、Yがメチレンを表わし、環Aおよび環Bがそれぞれ独立して置換されていてもよいベンゼン環、環Dがピペリジン、 R^2 が

である化合物、すなわち、一般式 (Ic)

5

10

15

$$R^{1-1a}$$
 A^{1a}
 A^{1a}

(式中、 R^{1-1a} は $-SO_2NR^{102}R^{103}$ または $-NR^{101}SO_2R^{104}$ を、 X^{1a} が単結合、 $-CR^7R^8-$ 、 $-NR^9-$ 、-CO-、-O-、-S-、-SO-、 $-SO_2-$ 、 $-C(=N-OR^{10})-$ (式中、 R^7 および R^8 はそれぞれ独立して、水素原子、 $C1\sim4$ アルキル、 $-OR^{11}$ 、またはフェニルを表わし、 R^9 は、水素原子、 $C1\sim4$ アルキル、またはフェニルを表わし、 R^{10} および

 R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子または $C1\sim 4$ アルキルを表わす。)を、環 A^{1a} および環 B^{1a} はそれぞれ独立して置換基を有していてもよいベンゼン環を、環 D^{1b} は置換基を有していてもよいピペリジンを表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物、または R^{1} が $-SO_{2}$ N R^{102} R^{103} または $-NR^{101}$ SO_{2} R^{104} 、 X が単結合、 $-CR^{7}$ R^{8} - 、-N R^{9} - 、-CO - 、-O 、-S - 、-SO - 、 $-SO_{2}$ - 、-C (=N -O R^{10}) - (式中、 R^{7} および R^{8} はそれぞれ独立して、水素原子、 $C1\sim 4$ アルキル、 $-OR^{11}$ 、またはフェニルを表わし、 R^{9} は、水素原子、 $C1\sim 4$ アルキル、またはフェニルを表わし、 R^{10} および R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子または $C1\sim 4$ アルキルを表わす。)を表わし、Y がメチレンを表わし、環A および環B がそれぞれ独立して置換されていてもよいベンゼン環または不飽和単環式複素環、環D がピペリジンまたはピペラジン、 R^{2} が

である化合物、すなわち、一般式 (Id)

$$R^{1-1a}$$
 A^{1b} X^{1a} B^{1b} C^{2} N D^{1a} N NH R^{51} R^{52} R^{52}

15

5

10

(式中、環 A^{1b} および環 B^{1b} はそれぞれ独立して置換されていてもよいベンゼン環または $5\sim6$ 員芳香族環を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。)

等が挙げられる。

ノキシ $\}$ ベンジル) ピペラジンー1 ーイル] ーNーフェニルへキサンアミド、 Nー $\{4-[4-(4-[(アニリノカルボニル)(ブチル)アミノ]-4-メチルー1,4-ビピペリジンー1-イル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド、

5 N-[4-(4-{[3-[(アニリノカルボニル) (ブチル) アミノ] -4-(3-フルオロフェニル) ピロリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、

 $N-[4-(4-{[3-(ブチルアミノ)-4-(3-フルオロフェニル)}$ ピロリジン-1-イル] メチル $\}$ フェノキシ)フェニル] メタンスルホンア

10 ミド、

 $N-ブチル-N-(1-{3-xチル-1-[4-(メチルスルホニル) ベンジル]-1H-ピラゾールー4-イル} ピペリジンー4-イル) <math>-N'-フ$ ェニル尿素、

 $N-ブチル-N-[1-({4-メチル-2-[4-(トリフルオロメチル)$

15 フェニル] -1 H -1 H -1 F -1 H -1 F -1 H -1

 $\mathbb{N}-\{4-[4-(\{3-[(アニリノカルボニル) (ブチル) アミノ]-8-アザビシクロ <math>[3.2.1]$ オクター8-イル $\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド、

20 N-[4-(4-{[4-(3-イソプロピルー5-メチルー4H-1,2,4-トリアゾールー4ーイル) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ)フェニル] メタンスルホンアミド、

 $N-[4-(4-\{[4-(2-メチル-1H-ベンゾイミダゾール-1- イル) ピペリジン-1-イル] メチル<math>\}$ フェノキシ) フェニル] メタンスル

25 ホンアミド、

 $N-[4-(4-{[4-[(アニリノカルボニル)(ブチル)アミノ]-$

3,4-ジヒドロキノリン-1(2H)-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド、

 $N-[4-(4-\{[4-(2-オキソー3-フェニルー6-プロピルテトラヒドロピリミジンー1(2H)-イル)ピペリジンー1-イル]メチル}$

5 フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、

N-(4-{4-[(3-ブチルー2-オキソー1,2,3,3a,4,5 - ヘキサヒドロー6Hーピリド[4,3,2-de]キナゾリンー6-イル)メチル]フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド、

 $N-(4-\{4-[(1-ブチル-2-オキソ-4-フェニルオクタヒドロピリド[4,3-d]ピリミジン-6(2H)-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド、$

 $N - \{4 - [4 - (\{8 - [(r - y - y - y - z - w)) (r - y - y - y - z - w)\}] - (3 - r - y - y - y - z - z - z - w)\}$ (r - y - y - y - z - w) (r - y - y - z - w) (r - y - w) (r - y

N-[4-(4-{[(2Z)-1-ブチル-2-(フェニルイミノ)へキサヒドロ-2H-ピリド[4,3-d][1,3]オキサジン-6(4H)ーイル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド、N-[7-({4-[(アニリノカルボニル)(ブチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)-9H-キサンテン-2ーイル]メタンスルホンアミド等が挙げられる。

また、特に実施例に記載された化合物、その塩およびその溶媒和物、およびそのプロドラッグが好ましい。

さらに好ましくは、

10

10 3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ] ベンズアミド、

15

 $5-[({\it [}7FN[1-(4-{\it [}4-{\it [}(xFNZNTLN)) ? EZ]] ? x]$ (-2-7NTC) ? EZ)] ? x] (-2-7NTC) ? EZ) | -2-7NTC | -2-

5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェ
 20 ノキシ}ベンジル)ピペリジンー4ーイル]アミノ}カルボニル)アミノ]
 -2,4-ジフルオロベンズアミド、

 $N-[4-(4-\{[4-(ブチル { [(3-シアノ-4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、

25 N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロキシシクロヘキシル) · アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ)

フェニル] メタンスルホンアミド、

5

25

本発明においては、特に指示しない限り異性体はこれをすべて包含する。例えば、アルキル基、アルケニル基、アルキニル基、アルコキシ基、アルキルチオ基、アルキレン基、アルケニレン基、アルキニレン基には直鎖のものおよび分枝鎖のものが含まれる。さらに、二重結合、環、縮合環における異10 性体(E、Z、シス、トランス体)、不斉炭素の存在等による異性体(R、S体、 α 、 β 配置、エナンチオマー、ジアステレオマー)、旋光性を有する光学活性体(D、L、d、1体)、クロマトグラフ分離による極性体(高極性体、低極性体)、平衡化合物、回転異性体、これらの任意の割合の混合物、ラセミ混合物は、すべて本発明に含まれる。

一般式(I)で示される化合物は、公知の方法で塩に変換される。塩とし 20 ては薬理学的に許容される塩が好ましい。

塩としては、アルカリ金属塩、アルカリ土類金属塩、アンモニウム塩、ア ミン塩、酸付加塩等が挙げられる。

塩は、水溶性のものが好ましい。適当な塩としては、アルカリ金属(カリウム、ナトリウム等)の塩、アルカリ土類金属(カルシウム、マグネシウム等)の塩、アンモニウム塩、薬学的に許容される有機アミン(テトラメチルアンモニウム、トリエチルアミン、メチルアミン、ジメチルアミン、シクロ

ペンチルアミン、ベンジルアミン、フェネチルアミン、ピペリジン、モノエタノールアミン、ジエタノールアミン、トリス (ヒドロキシメチル) アミノメタン、リジン、アルギニン、NーメチルーDーグルカミン等) の塩が挙げられる。

5 酸付加塩は水溶性であることが好ましい。適当な酸付加塩としては、例えば塩酸塩、臭化水素酸塩、ヨウ化水素酸塩、硫酸塩、リン酸塩、硝酸塩のような無機酸塩、または酢酸塩、乳酸塩、酒石酸塩、安息香酸塩、クエン酸塩、メタンスルホン酸塩、エタンスルホン酸塩、ベンゼンスルホン酸塩、トルエンスルホン酸塩、イセチオン酸塩、グルクロン酸塩、グルコン酸塩のような10 有機酸塩が挙げられる。

一般式(I)で示される化合物およびそれらの塩は、溶媒和物に変換することもできる。

溶媒和物は非毒性かつ水溶性であることが好ましい。適当な溶媒和物としては、例えば水、アルコール系の溶媒(例えば、エタノール等)のような溶媒和物が挙げられる。

15

一般式(I)で示される化合物またはそれらの薬理学的に許容される塩はすべて好ましい。具体的には、実施例に記載した化合物またはそれらの薬理学的に許容される塩が挙げられる。

さらに塩には、四級アンモニウム塩も含まれる。四級アンモニウム塩とは、-般式(I)で示される化合物の窒素原子が、 R^0 基によって四級化されたものを表わす。

ここで、 R^0 基は、 $C1\sim8$ アルキル基、フェニル基によって置換された $C1\sim8$ アルキル基を表わす。

本発明化合物は任意の方法でNーオキシドにすることができる。Nーオキ 25 シドとは、一般式(I)で示される化合物の窒素原子が、酸化されたものを 表わす。

5

10

15

20

25

また、一般式(I)で示される化合物のプロドラッグは、生体内において 酵素や胃酸等による反応により一般式(I)で示される化合物に変換する化 合物をいう。一般式(I)で示される化合物のプロドラッグとしては、一般 式(I)で示される化合物がアミノ基を有する場合、アミノ基がアシル化、 アルキル化、リン酸化された化合物(例、一般式(I)で示される化合物の アミノ基がエイコサノイル化、アラニル化、ペンチルアミノカルボニル化、 (5-メチルー2-オキソー1,3-ジオキソレンー4-イル)メトキシカ ルボニル化、テトラヒドロフラニル化、ピロリジルメチル化、ピバロイルオ キシメチル化、アセトキシメチル化、tert - ブチル化された化合物など);一 般式(I)で示される化合物が水酸基を有する場合、水酸基がアシル化、ア ルキル化、リン酸化、ホウ酸化された化合物(例えば、一般式(Ⅰ)で示さ れる化合物の水酸基がアセチル化、パルミトイル化、プロパノイル化、ピバ ロイル化、サクシニル化、フマリル化、アラニル化、ジメチルアミノメチル カルボニル化された化合物など);一般式(I)で示される化合物がカルボ キシ基を有する場合該カルボキシ基がエステル化、アミド化された化合物(例 えば、一般式(I)で示される化合物のカルボキシ基がエチルエステル化、 フェニルエステル化、カルボキシメチルエステル化、ジメチルアミノメチル エステル化、ピバロイルオキシメチルエステル化、エトキシカルボニルオキ シエチルエステル化、フタリジルエステル化、(5-メチルー2-オキソー 1.3-ジオキソレン-4-イル)メチルエステル化、シクロヘキシルオキ シカルボニルエチルエステル化、メチルアミド化された化合物など)等が挙 げられる。これらの化合物は自体公知の方法によって製造することができる。 また、一般式 (I) で示される化合物のプロドラッグは水和物および非水和 物のいずれであってもよい。また、一般式(I)で示される化合物のプロド ラッグは、廣川書店 1990 年刊「医薬品の開発」第7巻「分子設計」163~198 頁に記載されているような、生理的条件で一般式(I)で示される化合物に

変化するものであってもよい。さらに、一般式(I)で示される化合物は同位元素(例えば 3 H、 14 C、 35 S、 125 I等)等で標識されていてもよい。

[本発明化合物の製造方法]

5

10

15

20

一般式(I)で示される本発明化合物は、公知の方法、例えば、以下に示す方法、実施例に記載した方法あるいは、Comprehensive Organic Transformations: A Guide to Functional Group Preparations, 2nd Edition (Richard C. Larock, John Wiley & Sons Inc, 1999) に記載された方法等を適宜改良し、組み合わせて製造することができる。なお、以下の各製造方法において、原料化合物は塩として用いてもよい。このような塩としては、前記した一般式(I)の塩として記載したものが用いられる。

一般式(I)で示される化合物のうち、環Dと隣接するスペーサーが-C H_2- 、-CO-または $-SO_2-$ である化合物は、一般式(II)

$$R^{1'}$$
 A' A' B' $Y^{1'}$ $Y^{2'}$ Z (II)

(式中、式中、 R^2 '、環D'は、各々 R^2 、環Dと同じ意味を表わす。ただし、 R^2 '、環D'がカルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基を含有している場合、それらの基は保護が必要な場合には保護されているものとする。)

5 で示される化合物をアルキル化、アミド化またはスルホンアミド化反応に付し、さらに必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことにより製造することができる。

このアルキル化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(例えば、ジメチルスルホキシド等)中、アルカリ(炭酸カリウム、炭酸ナトリウム等)およびヨウ化ナトリウムまたはヨウ化カリウム存在下、0~150℃の温度で行なわれる。

アミド化反応は公知であり、例えば、

(1)酸ハライドを用いる方法、

10

20

25

- (2) 混合酸無水物を用いる方法、
- 15 (3)縮合剤を用いる方法等が挙げられる。

これらの方法を具体的に説明すると、

(1)酸ハライドを用いる方法は、例えば、カルボン酸を有機溶媒(クロロホルム、ジクロロメタン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中または無溶媒で、酸ハライド化剤(オキザリルクロライド、チオニルクロライド等)と-20℃~還流温度で反応させ、得られた酸ハライドを塩基(ピリジン、トリエチルアミン、ジメチルアニリン、ジメチルアミノピリジン、ジイソプロピルエチルアミン等)の存在下、アミンと有機溶媒(クロロホルム、ジクロロメタン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中、0~40℃の温度で反応させることにより行なわれる。また、得られた酸ハライドを有機溶媒(ジオキサン、テトラヒドロフラン等)中、アルカリ水溶液(重曹水または水酸化ナトリウム溶液等)を用いて、アミンと0~40℃で反応

させることにより行なうこともできる。

5

10

15

20

(2)混合酸無水物を用いる方法は、例えば、カルボン酸を有機溶媒(クロロホルム、ジクロロメタン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中または無溶媒で、塩基(ピリジン、トリエチルアミン、ジメチルアニリン、ジメチルアミノピリジン、ジイソプロピルエチルアミン等)の存在下、酸ハライド(ピバロイルクロライド、トシルクロライド、メシルクロライド等)、または酸誘導体(クロロギ酸エチル、クロロギ酸イソブチル等)と、0~40℃で反応させ、得られた混合酸無水物を有機溶媒(クロロホルム、ジクロロメタン、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中、アミンと0~40℃で反応させることにより行なわれる。

(3)縮合剤を用いる方法は、例えば、カルボン酸とアミンを、有機溶媒(クロロホルム、ジクロロメタン、ジメチルホルムアミド、ジエチルエーテル、テトラヒドロフラン等)中、または無溶媒で、塩基(ピリジン、トリエチルアミン、ジメチルアニリン、ジメチルアミノピリジン等)の存在下または非存在下、縮合剤(1,3-ジシクロヘキシルカルボジイミド(DCC)、1-エチルー3-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]カルボジイミド(EDC)、1,1'-カルボニルジイミダゾール(CDI)、2-クロロ-1-メチルピリジニウムヨウ素、1-プロピルホスホン酸環状無水物(1-propanephosphonic acid cyclic anhydride、PPA)等)を用い、1-ヒドロキシベンズトリアゾール(HOBt)を用いるか用いないで、0~40℃で反応させることにより行なわれる。

これら(1)、(2)および(3)の反応は、いずれも不活性ガス(アルゴン、窒素等)雰囲気下、無水条件で行なうことが望ましい。

スルホンアミド化反応は公知であり、例えば、スルホン酸を有機溶媒(ク 25 ロロホルム、ジクロロメタン、ジクロロエタン、ジエチルエーテル、テトラ ヒドロフラン、メチル tーブチル エーテル等)中または無溶媒で、酸ハ

ライド(オキザリルクロライド、チオニルクロライド、五塩化リン、三塩化リン等)と-20 $^{\circ}$ $^{$

保護基の脱保護反応は公知であり、以下の方法で行うことができる。

5

10

15

20

カルボキシル基の保護基としては、例えばメチル基、エチル基、アリル基、 t ーブチル基、トリクロロエチル基、ベンジル(Bn)基、フェナシル基等 が挙げられる。

水酸基の保護基としては、例えば、メチル基、トリチル基、メトキシメチル (MOM) 基、1-エトキシエチル (EE) 基、メトキシエトキシメチル (MEM) 基、2-テトラヒドロピラニル (THP) 基、トリメチルシリル (TMS) 基、トリエチルシリル (TES) 基、tーブチルジメチルシリル (TBDMS) 基、tーブチルジフェニルシリル (TBDPS) 基、アセチル (Ac) 基、ピバロイル基、ベンゾイル基、ベンジル (Bn) 基、p~メトキシベンジル基、アリルオキシカルボニル (Alloc) 基、2,2,2

アミノ基の保護基としては、例えばベンジルオキシカルボニル基、 t ーブトキシカルボニル基、アリルオキシカルボニル (Alloc) 基、1-メチルー1-(4-ビフェニル) エトキシカルボニル (Bpoc) 基、トリフルオロアセチル基、9-フルオレニルメトキシカルボニル基、ベンジル (Bn) 基、p-メトキシベンジル基、ベンジルオキシメチル (BOM) 基、2-(トリメチルシリル) エトキシメチル (SEM) 基等が挙げられる。

25 チオール基の保護基としては、例えばベンジル基、メトキシベンジル基、 メトキシメチル (MOM) 基、2ーテトラヒドロピラニル (THP) 基、ジ

フェニルメチル基、アセチル (Ac) 基が挙げられる。

カルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基の保護基としては、上記した以外にも容易にかつ選択的に脱離できる基であれば特に限定されない。例えば、T. W. Greene, Protective Groups in Organic Synthesis, Wiley, New York, 1999 に記載されたものが用いられる。

カルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基の保護基の脱保護反応は、よく知られており、例えば、

(1)アルカリ加水分解、

5

25

- (2)酸性条件下における脱保護反応、
- 10 (3)加水素分解による脱保護反応、
 - (4)シリル基の脱保護反応、
 - (5)金属を用いた脱保護反応、
 - (6)金属錯体を用いた脱保護反応等が挙げられる。

これらの方法を具体的に説明すると、

- (1)アルカリ加水分解による脱保護反応は、例えば、有機溶媒(メタノール、テトラヒドロフラン、ジオキサン等)中、アルカリ金属の水酸化物(水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、水酸化リチウム等)、アルカリ土類金属の水酸化物(水酸化バリウム、水酸化カルシウム等)または炭酸塩(炭酸ナトリウム、炭酸カリウム等)あるいはその水溶液もしくはこれらの混合物を
 知りて、0~40℃の温度で行なわれる。
 - (2)酸条件下での脱保護反応は、例えば、有機溶媒(ジクロロメタン、クロロホルム、ジオキサン、酢酸エチル、アニソール等)中、有機酸(酢酸、トリフルオロ酢酸、メタンスルホン酸、pートシル酸等)、または無機酸(塩酸、硫酸等)もしくはこれらの混合物(臭化水素/酢酸等)中、0~100℃の温度で行なわれる。
 - (3)加水素分解による脱保護反応は、例えば、溶媒(エーテル系(テト

ラヒドロフラン、ジオキサン、ジメトキシエタン、ジエチルエーテル等)、アルコール系(メタノール、エタノール等)、ベンゼン系(ベンゼン、トルエン等)、ケトン系(アセトン、メチルエチルケトン等)、ニトリル系(アセトニトリル等)、アミド系(ジメチルホルムアミド等)、水、酢酸エチル、酢酸またはそれらの2以上の混合溶媒等)中、触媒(パラジウムー炭素、パラジウム黒、水酸化パラジウム、酸化白金、ラネーニッケル等)の存在下、常圧または加圧下の水素雰囲気下またはギ酸アンモニウム存在下、0~200℃の温度で行なわれる。

5

15

- (4)シリル基の脱保護反応は、例えば、水と混和しうる有機溶媒 (テト 10 ラヒドロフラン、アセトニトリル等)中、テトラブチルアンモニウムフルオライドを用いて、 $0\sim40$ $^{\circ}$ $^{\circ}$
 - (5)金属を用いた脱保護反応は、例えば、酸性溶媒(酢酸、 $pH4.2\sim7.2$ の緩衝液またはそれらの溶液とテトラヒドロフラン等の有機溶媒との混合液)中、粉末亜鉛の存在下、必要であれば超音波をかけながら、 $0\sim4~0$ $^{\circ}$ の温度で行なわれる。
- (6)金属錯体を用いる脱保護反応は、例えば、有機溶媒(ジクロロメタン、ジメチルホルムアミド、テトラヒドロフラン、酢酸エチル、アセトニトリル、ジオキサン、エタノール等)、水またはそれらの混合溶媒中、トラップ試薬(水素化トリプチルスズ、トリエチルシラン、ジメドン、モルホリン、ジエチルアミン、ピロリジン等)、有機酸(酢酸、ギ酸、2-エチルヘキサン酸等)および/または有機酸塩(2-エチルヘキサン酸ナトリウム、2-エチルヘキサン酸カリウム等)の存在下、ホスフィン系試薬(トリフェニルホスフィン等)の存在下または非存在下、金属錯体(テトラキストリフェニルホスフィンパラジウム(0)、二塩化ビス(トリフェニルホスフィン)パラジウム(II)、酢酸パラジウム(II)、塩化トリス(トリフェニルホスフィン)ロジウム(I)等)を用いて、0~40℃の温度で行なわれる。

また、上記以外にも、例えば、T. W. Greene, Protective Groups in Organic Synthesis, Wiley, New York, 1999 に記載された方法によって、脱保護反応を行なうことができる。

当業者には容易に理解できることではあるが、これらの脱保護反応を使い 分けることにより、目的とする本発明化合物が容易に製造することができる。

一般式(I)で示される化合物のうち、 R^2 が置換基を有していてもよいアミノ基である化合物、すなわち、一般式(I-a)

$$R^1$$
 A X B Y N D R^{2-1} (I-a)

(式中、 \mathbb{R}^{2-1} は、置換基を有していてもよいアミノを表わし、その他の記号 10 は前記と同じ意味を表わす。)

で示される化合物は、一般式(IV)

5

15

20

$$R^{1'}$$
 A' X' B' Y' N D' O (IV)

(式中、すべての記号は、前記と同じ意味を表わす。)、 で示される化合物と一般式 (V)

$$HN < \frac{R^{301}}{R^{302}}$$
 (V)

(式中、R³⁰¹およびR³⁰²は、同じでも異なっていてもよく、水素原子もしくは前記の「置換基を有していてもよいアミノ基」における「置換基」と同じ意味を表わし、その他の記号は、前記と同じ意味を表わす。ただし、R³⁰¹およびR³⁰²がカルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基を含有している場合、それらの基は保護が必要な場合には保護されているものとする。)

で示される化合物を還元的アミノ化反応に付し、必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造することができる。

還元的アミノ化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ジクロロエタン、 ジクロロメタン、ジメチルホルムアミド等)中、三級アミン(トリエチルア ミン、ジイソプロピルエチルアミン等)および還元剤(水素化トリアセトキ シホウ素ナトリウム、シアノ水素化ホウ素ナトリウム等)の存在下、0~4 0℃の温度で行なわれる。

保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。

一般式 (I) で示される化合物のうち、 R^2 が

10

5

(式中、 R^{304} 、 R^{305} および R^{306} は同じでも異なっていてもよく、前記の環Aおよび環Bで示される「置換基を有していてもよい3~15員同素環または複素環」における「置換基」と同じ意味を表わし、その他の記号は、前記と同じ意味を表わす。)

15 である化合物、すなわち、一般式 (I-b)

$$R^{1}$$
 A
 X
 B
 Y
 N
 D
 R^{304}
 R^{305}
 R^{306}
 R^{306}
 R^{306}

(式中、すべての記号は、前記と同じ意味を表わす。) で示される化合物は、一般式 (VI)

(式中、Tは、C1~4Pルキル基、C5~6の単環式炭素環、またはC5~6の単環式炭素環または1~2個の窒素原子および/または1個の酸素原子を含む5~6員環の単環複素環によって置換されたC1~4Pルキル基を表わし、 R^{304} '、 R^{305} '、 R^{306} 'は各々 R^{304} 、 R^{305} 、 R^{306} と同じ意味を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。ただし、 R^{304} '、 R^{305} 、 R^{306} がカルボキシル基、水酸基、P5)基またはチオール基を含有している場合、それらの基は保護が必要な場合には保護されているものとする。)

10 で示される化合物を、環化反応に付し、必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造することができる。

この環化方法は公知であり、例えば、有機溶媒(ジクロロエタン、トルエン等)中、三級アミン(トリエチルアミン、ジイソプロピルエチルアミン等)を用いるか、酸(酢酸、トリフルオロ酢酸等)を用いるか、または用いないで $60\sim120$ ℃に加熱することにより行なわれる。この反応は、T基の切断と同時に環化される反応である。

保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。

一般式 (I) で示される化合物のうち、 R^2 が

5

15

である化合物、すなわち、一般式 (I-c)

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)

で示される化合物は、一般式 (VII)

5

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)

で示される化合物を環化反応に付し、必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造することができる。

この環化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ジクロロエタン、トルエ 10 ン等)中、酸(塩酸、硫酸、 $p-トルエンスルホン酸等)を用いて、<math>6.0\sim12.0$ ℃に加熱することにより行なわれる。

保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。

一般式(I)で示される化合物のうち、 R^2 が

15 である化合物、すなわち、一般式 (I-d)

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、 一般式 (IX)

$$R^{1}$$
 A'
 X'
 B'
 Y'
 N
 D'
 N
 H
 R^{51}
 (IX)

5 (式中、 R^{51})は R^{51} と同じ意味を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。ただし、 R^{51})がカルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基を含有している場合、それらの基は保護が必要な場合には保護されているものとする。)で示される化合物と、一般式(X)

- 10 (式中、R⁵², はR⁵²と同じ意味を表わし、その他の記号は前記と同じ意味を表わす。ただし、R⁵², がカルボキシル基、水酸基、アミノ基またはチオール基を含有している場合、それらの基は保護が必要な場合には保護されているものとする。)で示される化合物を下記の反応に付し、必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造することができる。
- -15 この反応は公知であり、例えば、有機溶媒(N, N-ジメチルホルムアミド、トルエン、テトラヒドロフラン等)中、ジフェニルホスホリルアジド存在下、塩基(ピリジン、トリエチルアミン、ジメチルアニリン、ジメチルアミノン、ジメチルアニリン、ジイソプロピルエチルアミン等)を用いて、20~120℃で行なわれる。
- 20 保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。 また、一般式 (I-d) で示される化合物は、一般式 (IX) で示される化

合物と、一般式 (XI)

$$R^{52'}$$
—NH₂ (XI)

(式中、記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物を下記の反応 に付し、必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造するこ とができる。

保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。

一般式 (I) で示される化合物のうち、Yがメチレンである化合物、すなわち、一般式 (I-e)

$$R^1 - A$$
 X
 B
 C^2
 N
 D
 R^2 (I-e)

15

5

10

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物は、 一般式 (XII)

(式中、すべての記号は前記と同じ意味を表わす。)で示される化合物と、 20 一般式 (III)で示される化合物で示される化合物を還元的アミノ化に付し、 必要に応じて保護基の脱保護反応に付すことによっても製造することができ

る。

還元的アミノ化反応は公知であり、例えば、有機溶媒(ジクロロエタン、 ジクロロメタン、ジメチルホルムアミド、酢酸およびこれらの混合物等)中、 還元剤(水素化トリアセトキシホウ素ナトリウム、シアノ水素化ホウ素ナト リウム、水素化ホウ素ナトリウム等)の存在下、0~40℃の温度で行なわ れる。

保護基の脱保護反応は前記と同様に行なうことができる。

一般式 (I) で示される本発明化合物のうち、少なくとも 1 つの窒素原子 が四級アンモニウム塩を表わす化合物、すなわち一般式 (I-2)

$$R^{1-2}$$
 A^2 X^2 B^2 Y^2 X^2 D^2 R^{2-2} (I-2)

10

5

(式中、 R^{1-2} 、 R^{2-2} 、 X^2 、 Y^2 、 $環 A^2$ 、 $\R B^2$ 、 $\R D^2$ は、各々 R^1 、 R^2 、X、Y、 $\R A$ 、 $\R B$ 、 $\R D$ と同じ意味を表わし、 N^2 は、窒素原子を表わす。ただし、少なくとも 1つの窒素原子が四級アンモニウム塩を表わすものとし、Qは、ハロゲン原子を表わすものとする。)

15 で示される化合物は、一般式(I)で示される化合物を一般式(VIII)

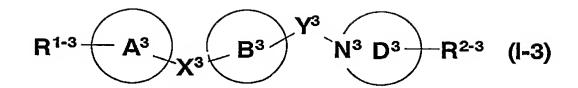
$$R^0$$
—Q (VIII)

(式中、 R^0 は、 $C1\sim 4$ アルキル基またはフェニル基によって置換された $C1\sim 4$ アルキル基を表わし、Qはハロゲン原子を表わす。)

で示される化合物と反応させることにより製造することができる。

20 この反応は公知であり、例えば、有機溶媒(アセトン、ジメチルホルムアミド、メチルエチルケトン等)中、 $0 \sim 40$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ での温度で行なわれる。

一般式 (I) で示される本発明化合物のうち、少なくとも 1つの窒素原子がN-オキシドを表わす化合物、すなわち一般式 (I-3)



(式中、 R^{1-3} 、 R^{2-3} 、 X^3 、 Y^3 、環 A^3 、環 B^3 、環 D^3 は、各々 R^1 、 R^2 、X、Y、環A、環B、環Dと同じ意味を表わし、 N^3 は窒素原子を表わす。ただし、少なくとも1つの窒素原子がNーオキシドを表わすものとする。)

5 で示される化合物は、一般式 (I)で示される化合物を酸化反応に付すこと により製造することができる。

この酸化反応は公知であり、例えば、適当な有機溶媒(ジクロロメタン、クロロホルム、ベンゼン、ヘキサン、tーブチルアルコール等)中で、過剰の酸化剤(過酸化水素、過ヨウ素酸ナトリウム、亜硝酸アシル、過ホウ酸ナトリウム、過酸(例えば、3-クロロ過安息香酸、過酢酸等)、オキソン(ポタシウムパーオキシモノスルフェートの商品名)、過マンガン酸カリウム、クロム酸等)の存在下、20~60℃の温度で反応させることにより行なわれる。

10

20

本発明化合物は、これらの反応をもとに、また一部改変した反応を用いて 15 製造することができる。

一般式(I)で示される本発明化合物のうち、上記に示した以外の化合物については、公知の方法、例えば「Comprehensive Organic Transformations: A Guide to Functional Group Preparations、2nd Edition (Richard C. Larock, John Wiley & Sons Inc, 1999)」に記載された方法を組み合わせて製造することができる。

その他の出発原料または試薬として用いる化合物は、それ自体公知であるか、あるいは公知の方法、例えば、Comprehensive Organic Transformations: A Guide to Functional Group Preparations, 2nd Edition (Richard C. Larock, John Wiley & Sons Inc, 1999)または Elmer J.Rauckman et. al., J.Org.Chem., vol.41, No.3, 1976, p564-565等に記載された方法等を組み合わせて容易に製造することができる。

25 本明細書中の各反応において、加熱を伴なう反応は、当業者にとって明ら

かなように、水浴、油浴、砂浴またはマイクロウェーブを用いて行なうこと ができる。

本明細書中の各反応において、適宜、高分子ポリマー(例えば、ポリスチレン、ポリアクリルアミド、ポリプロピレン、ポリエチレングリコール等) に担持させた固相担持試薬を用いてもよい。

本明細書中の各反応において、反応生成物は通常の精製手段、例えば、常 圧下または減圧下における蒸留、シリカゲルまたはケイ酸マグネシウムを用 いた高速液体クロマトグラフィー、薄層クロマトグラフィー、イオン交換樹 脂、スカベンジャー樹脂あるいはカラムクロマトグラフィーまたは洗浄、再 結晶などの方法により精製することができる。精製は各反応ごとに行なって もよいし、いくつかの反応終了後に行なってもよい。

[毒性]

5

10

25

本発明化合物の毒性は非常に低いものであり、医薬として使用するために十分安全であると判断できる。

15 [医薬品への適応]

ヒトを含めた動物、特にヒトにおいて、一般式(I)で示される本発明化合物は、CCR5受容体の作用を制御するので、各種炎症性疾患(喘息、腎炎、腎症、肝炎、関節炎、慢性関節リウマチ、鼻炎、結膜炎、潰瘍性大腸炎等)、免疫疾患(自己免疫疾患の治療、移植臓器拒絶反応、免疫抑制、乾癬、多発性硬化症等)、ヒト免疫不全ウィルス感染症(後天性免疫不全症候群等)、アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、アレルギー性好酸球性胃腸症等)、虚血再灌流傷害の抑制、急性呼吸窮迫症候群、細菌感染に伴うショック、糖尿病、癌転移等の予防および/または治療に有用である。

一般式(I)で示される本発明化合物、その塩またはその溶媒和物、また はそのプロドラッグを上記の目的で用いるには、通常、全身的または局所的

に、経口または非経口の形で投与される。

5

10

15

投与量は、年齢、体重、症状、治療効果、投与方法、処理時間等により異なるが、通常、成人一人あたり、1回につき、1mgから1000mgの範囲で、1日1回から数回経口投与されるか、または成人一人あたり、1回につき、1mgから100mgの範囲で、1日1回から数回非経口投与(好ましくは、静脈内投与)されるか、または1日1時間から24時間の範囲で静脈内に持続投与される。

もちろん前記したように、投与量は、種々の条件によって変動するので、 上記投与量より少ない量で十分な場合もあるし、また範囲を越えて必要な場合もある。

本発明化合物を投与する際には、経口投与のための内服用固形剤、内服用液剤、および非経口投与のための注射剤、外用剤、坐剤等として用いられる。

経口投与のための内服用固形剤には、錠剤、丸剤、カプセル剤、散剤、顆粒剤等が含まれる。カプセル剤には、ハードカプセルおよびソフトカプセルが含まれる。

このような内服用固形剤においては、ひとつまたはそれ以上の活性物質はそのままか、または賦形剤(ラクトース、マンニトール、グルコース、微結晶セルロース、デンプン等)、結合剤(ヒドロキシプロピルセルロース、ポリビニルピロリドン、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム等)、崩壊剤(繊20 維素グリコール酸カルシウム等)、滑沢剤(ステアリン酸マグネシウム等)、安定剤、溶解補助剤(グルタミン酸、アスパラギン酸等)等と混合され、常法に従って製剤化して用いられる。また、必要によりコーティング剤(白糖、ゼラチン、ヒドロキシプロピルセルロース、ヒドロキシプロピルメチルセルロースフタレート等)で被覆していてもよいし、また2以上の層で被覆していてもよい。さらにゼラチンのような吸収されうる物質のカプセルも包含される。

経口投与のための内服用液剤は、薬剤的に許容される水剤、懸濁剤、乳剤、シロップ剤、エリキシル剤等を含む。このような液剤においては、ひとつまたはそれ以上の活性物質が、一般的に用いられる希釈剤(精製水、エタノールまたはそれらの混液等)に溶解、懸濁または乳化される。さらにこの液剤は、湿潤剤、懸濁化剤、乳化剤、甘味剤、風味剤、芳香剤、保存剤、緩衝剤等を含有していてもよい。

5

10

15

20

25

非経口投与のための注射剤としては、溶液、懸濁液、乳濁液および用時溶剤に溶解または懸濁して用いる固形の注射剤を包含する。注射剤は、ひとつまたはそれ以上の活性物質を溶剤に溶解、懸濁または乳化させて用いられる。溶剤として、例えば注射用蒸留水、生理食塩水、植物油、プロピレングリコール、ポリエチレングリコール、エタノールのようなアルコール類等およびそれらの組み合わせが用いられる。さらにこの注射剤は、安定剤、溶解補助剤(グルタミン酸、アスパラギン酸、ポリソルベート80(登録商標)等)、懸濁化剤、乳化剤、無痛化剤、緩衝剤、保存剤等を含んでいてもよい。これらは最終工程において滅菌するか無菌操作法によって製造される。また無菌の固形剤、例えば凍結乾燥品を製造し、その使用前に無菌化または無菌の注射用蒸留水または他の溶剤に溶解して使用することもできる。

非経口投与のためのその他の製剤としては、ひとつまたはそれ以上の活性物質を含み、常法により処方される外用液剤、軟膏剤、塗布剤、吸入剤、スプレー剤、坐剤および膣内投与のためのペッサリー等が含まれる。

スプレー剤は、一般的に用いられる希釈剤以外に亜硫酸水素ナトリウムのような安定剤と等張性を与えるような緩衝剤、例えば塩化ナトリウム、クエン酸ナトリウムあるいはクエン酸のような等張剤を含有していてもよい。スプレー剤の製造方法は、例えば米国特許第 2,868,691 号および同第 3,095,355 号に詳しく記載されている。

本発明の一般式 (I) で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、ま

たはそのプロドラッグは、他の薬剤、例えば、HIV感染の予防および/または治療剤(特に、AIDSの予防および/または治療剤)と組み合わせて用いてもよい。この場合、これらの薬物は、別々にあるいは同時に、薬理学的に許容されうる賦形剤、結合剤、崩壊剤、滑沢剤、安定剤、溶解補助剤、希釈剤等と混合して製剤化し、HIV感染の予防および/または治療のための医薬組成物として経口的にまたは非経口的に投与することができる。

5

10

20

本発明の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグは、他のHIV感染の予防および/または治療剤(特に、AIDSの予防および/または治療剤)に対して耐性を獲得したHIVー1に対して感染阻害作用を有する。従って、他のHIV感染の予防および/または治療剤が効果を示さなくなったHIV感染者に対しても用いることができる。この場合、本発明化合物を単剤で用いても良いが、感染しているHIVー1株が耐性を獲得したHIV感染の予防および/または治療剤またはそれ以外の薬剤と併用して用いても良い。

15 本発明は一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグとHIV感染を阻害しない薬物を組み合わせてなり、 単剤よりもHIV感染の予防および/または治療効果が増強されたものをも含む。

本発明の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグと組み合わせて用いられる他のHIV感染の予防および/または治療剤の例としては、逆転写酵素阻害剤、プロテアーゼ阻害剤、ケモカイン拮抗剤(例えば、CCR2拮抗剤、CCR3拮抗剤、CCR4拮抗剤、CCR5拮抗剤、CCR4拮抗剤、CCR5拮抗剤、HIV-1のワクチン等が挙げられる。

25 逆転写酵素阻害剤として、具体的には、(1)核酸系逆転写酵素阻害剤の ジドブジン(商品名:レトロビル)、ジダノシン(商品名:ヴァイデックス)、

ザルシタビン(商品名:ハイビッド)、スタブジン(商品名:ゼリット)、ラミブジン(商品名:エピビル)、アバカビル(商品名:ザイアジェン)、アデフォビル、アデフォビル ジピボキシル、エントリシタビン(商品名:コビラシル)、PMPA(商品名:テノフォヴィル)等、(2)非核酸系逆転写酵素阻害剤のネビラピン(商品名:ビラミューン)、デラビルジン(商品名:レスクリプター)、エファビレンツ(商品名:サスティバ、ストックリン)、カプラヴィリン(AG1549)等が挙げられる。

5

15

プロテアーゼ阻害剤として、具体的には、インジナビル(商品名:クリキシバン)、リトナビル(商品名:ノービア)、ネルフィナビル(商品名:ビラセプト)、サキナビル(商品名:インビラーゼ、フォートベース)、アンプリナビル(商品名:エジネラーゼ)、ロピナビル(商品名:カレトラ)、ティプラナビル等が挙げられる。

ケモカイン拮抗剤としては、ケモカインレセプターの内因性のリガンド、 またはその誘導体および非ペプチド性低分子化合物、またはケモカインレセ プターに対する抗体が含まれる。

ケモカインレセプターの内因性のリガンドとしては、具体的には、 $MIP-1\alpha$ 、 $MIP-1\beta$ 、RANTES、 $SDF-1\alpha$ 、 $SDF-1\beta$ 、MCP-1、MCP-2、MCP-4、エオタキシン (Eotaxin)、MDC等が挙げられる。

20 内因性リガンドの誘導体としては、具体的には、AOP-RANTES、 $Met-SDF-1\alpha$ 、 $Met-SDF-1\beta$ 等が挙げられる。

ケモカインレセプターの抗体としては、具体的には、Pro-140等が 挙げられる。

CCR 2 拮抗剤としては、具体的には、WO99/07351 号、WO99/40913 号、WO00/46195 号、WO00/46196 号、WO00/46197 号、WO00/46198 号、WO00/46199 号、WO00/69432 号、WO00/69815 号または Bioorg. Med. Chem. Lett., 10, 1803

(2000) に記載された化合物等が挙げられる。

5

10

CCR 3 拮抗剤としては、具体的には、DE19837386 号、WO99/55324 号、WO99/55330 号、WO00/04003 号、WO00/27800 号、WO00/27835 号、WO00/27843 号、WO00/29377 号、WO00/31032 号、WO00/31033 号、WO00/34278 号、WO00/35449 号、WO00/35451 号、WO00/35452 号、WO00/35453 号、WO00/35454 号、WO00/35876 号、WO00/35877 号、WO00/41685 号、WO00/51607 号、WO00/51608 号、WO00/51609 号、WO00/51610 号、WO00/53172 号、WO00/53600 号、WO00/58305 号、WO00/59497 号、WO00/59498 号、WO00/59502 号、WO00/59503 号、WO00/62814 号、WO00/73327 号または WO01/09088 号に記載された化合物等が挙げられる。

CCR5拮抗剤としては、具体的には、例えばTAK-779、SCH-351125 (SCH-C), SCH-417690 (SCH-D), UK -427857, GW873140A (ONO-4128), TAK-220等が挙げられる。さらに、例えば WO99/17773 号、WO99/32100 号、 WO00/06085号、WO00/06146号、WO00/10965号、WO00/06153号、WO00/21916 15 号、WO00/37455号、EP1013276号、WO00/38680号、WO00/39125号、WO00/40239 号、WO00/42045 号、WO00/53175 号、WO00/42852 号、WO00/66551 号、 WO00/66558号、WO00/66559号、WO00/66141号、WO00/68203号、JP2000309598 号、WO00/51607 号、WO00/51608 号、WO00/51609 号、WO00/51610 号、 WO00/56729号、WO00/59497号、WO00/59498号、WO00/59502号、WO00/59503 20 号、WO00/76933 号、WO98/25605 号、WO99/04794 号、WO99/38514 号または Bioorg. Med. Chem. Lett., 10, 1803 (2000)に記載された化合物などが挙げられる。 CXCR4拮抗剤としては、具体的には、例えばAMD-3100、AM D-070、T-22、KRH-1120、KRH-1636または WO00/66112 号に記載された化合物などが挙げられる。 25

フュージョン阻害剤としては、具体的には、T-20 (pentafuside)、T-

1249等が挙げられる。

以上の併用薬剤は例示であって、本発明はこれらに限定されるものではない。

代表的な逆転写酵素阻害剤およびプロテアーゼ阻害剤の通常の臨床投与量 5 は、例えば、以下に示すとおりであるが、本発明はこれらに限定されるもの ではない。

ジドブジン:100mgカプセル、1回200mg、1日3回;

300mg錠剤、1回300mg、1日2回;

ジダノシン:25~200mg錠剤、1回125~200mg、1日2回;

10 ザルシタビン:0.375mg~0.75mg錠剤、1回0.75mg、1日3回;

スタブジン:15~40mgカプセル、1回30~40mg、1日2回;

ラミブジン:150mg錠剤、1回150mg、1日2回;

アバカビル:300mg錠剤、1回300mg、1日2回;

ネビラピン:200mg錠剤、1回200mg、14日間1日1回、その後1日2回;

15 デラビルジン:100mg錠剤、1回400mg、1日3回;

エファビレンツ: $50\sim200$ mgカプセル、1回600mg、1日1回;

インジナビル:200~400 カプセル、1回800mg、1日3回;

リトナビル:100mgカプセル、1回600mg、1日2回;

ネルフィナビル:250mg錠剤、1回750mg、1日3回;

20 サキナビル:200mgカプセル、1回1,200mg、1日3回;

アンプレナビル:50~150mg錠剤、1回1,200mg、1日2回。

[発明の効果]

一般式(I)で示される本発明化合物は、例えばCCR5拮抗作用を有することから、CCR5が関与する疾患の予防および/または治療剤として有 1 用である。

発明を実施するための最良の形態

以下、参考例、実施例、生物学的実施例、および製剤例によって本発明を 詳述するが、本発明はこれらに限定されるものではない。

クロマトグラフィーによる分離の箇所およびTLCに示されているカッコ 5 内の溶媒は、使用した溶出溶媒または展開溶媒を示し、割合は体積比を表わ す。

NMRデータは特に記載しない限り、¹H-NMRのデータである。

NMRの箇所に示されているカッコ内は測定に使用した溶媒を示す。

本明細書中に用いた化合物名は、一般的にIUPACの規則に準じて命名 を行なうコンピュータプログラム、ACD/Name (登録商標、バージョン 6.00、 Advanced Chemistry Development Inc.社製) または ACD/Name バッチ (登録商標、バージョン 4.5、Advanced Chemistry Development Inc.社製) を用いるか、またはIUPAC命名法に準じて命名したものである。例えば、

15 で示される化合物は、 $N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスル ホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-イル]$ シクロヘキサンカルボキサミド・塩酸塩と命名された。

実施例 1:1-(4-(4-) メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンジル) 20 ピペリジンー 4- オール

4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒド(2.50

g)のジメチルホルムアミド($25\,\mathrm{mL}$)溶液に、 $4-\mathrm{E}$ ドロキシピペリジン($1.74\,\mathrm{g}$)および酢酸($2.5\,\mathrm{mL}$)を加え撹拌した。反応液にトリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム($2.18\,\mathrm{g}$)を加え、 $2\,\mathrm{E}$ 間撹拌した。反応終了後、反応液を $2\,\mathrm{N}$ 水酸化ナトリウム水溶液にて中和し、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール= $1\,\mathrm{O}:1$)にて精製し、以下の物性値を有する標題化合物($1.90\,\mathrm{g}$)を得た。

TLC:Rf 0.48 (DDDTNA: XDD-N=5:1);

5

20

NMR (DMSO-d₆): δ 1.29-1.42 (m, 2H), 1.63-1.73 (m, 2H), 1.95-2.05 (m, 2H), 2.59-2.68 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.38 (s, 2H), 3.43 (m, 1H), 4.51 (d, J=4.5 Hz, 1H), 6.91 (d, J=8.5 Hz, 2H), 6.99 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.21 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.25 (d, J=8.5 Hz, 2H), 9.59 (br s, 1H)_o

15 実施例2:1-(4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンジル) ピペリジン-4-オン

実施例 1 で製造した化合物(1.79g)のジメチルスルホキシド($5\,\mathrm{mL}$)溶液に、トリエチルアミン($3\,\mathrm{mL}$)を加えた。反応液に氷冷下、三酸化硫黄ピリジン錯体(1.52g)を加え、1 時間撹拌した。反応終了後、反応液に水を加え酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール=20:1)にて精製し、以下の物性値を有する標題化合物(1.76g)を得た。

TLC:Rf 0.51 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (DMSO-d₆): δ 2.33 (t, J=6.0 Hz, 4H), 2.66 (t, J=6.0 Hz, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.57 (s, 2H), 6.94 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.00 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.22 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.33 (d, J=8.5 Hz, 2H), 9.59 (s, 1H)_o

5

実施例3: $N-[4-(4-{[4-(ブチルアミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

実施例2で製造した化合物(400mg)のジメチルホルムアミド(5mL)溶液に、nーブチルアミン(0.2mL)およびトリエチルアミン(0.2mL)を加え撹拌した。反応液に、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(440mg)を加え、20時間撹拌した。反応終了後、反応液に水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール=5:1)にて精製し、4N塩化水素酢酸エチル溶液を加え、濃縮し、以下の物性値を有する本発明化合物(267mg)を得た。

NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.38-1.51 (m, 2H), 1.63-1.74 (m, 2H), 1.97-2.10 (m, 2H), 2.31-2.41 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.08 (m, 2H), 3.10-3.18 (m, 2H), 3.45 (m, 1H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, 2H), 3.45 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, 2H), 3.45 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, 2H), 3.45 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, 2H), 3.45 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.05 (d, 2H), 7.05 (d, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.31 (s,

J=9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.53 (d, J=9.0 Hz, 2H).

5

20

実施例 $4:N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) ア ミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-イル]-2-(テトラヒド ロ-2H-ピラン-4-イル) アセトアミド・塩酸塩$

$$\begin{array}{c|c} CH_3 \\ \hline \\ H_3C \\ \hline \\ H \\ \end{array}$$

実施例3で製造した化合物(183mg)のジメチルホルムアミド(3m L)溶液に、4ーテトラヒドロピラニル酢酸(70mg)、1ーエチルー3ー(3ージメチルアミノプロピル)カルボジイミド・塩酸塩(105mg) およびジメチルアミノピリジン(155mg)を加え一昼夜撹拌した。反応終了後、反応液に水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール=25:1)にて精製し、4N塩化水素酢酸エチル溶液を加え、濃縮し、以下の物性値を有する本発明化合物(79mg)を得た。

TLC:Rf 0.49 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.24-1.69 (m, 8H), 1.87-2.40 (m, 7H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.48 (m, 6H), 3.49-3.61 (m, 2H), 3.87-3.95 (m, 2H), 4.12 (m, 1H), 4.27-4.30 (m, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.5 Hz, 2H)_o

実施例4(1): 2-シクロヘキシル $-N-[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ\}ベンジル)ピペリジン<math>-4-$ イル]-N-プロピルアセトアミド・塩酸塩

nーブチルアミンの代わりにnープロピルアミンを用いて、および4ーテ トラヒドロピラニル酢酸の代わりに相当するシクロヘキシル酢酸を用いて、 実施例3→実施例4と同様の操作に付すことにより、以下の物性値を有する 本発明化合物を得た。

TLC:Rf 0.40 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.86-1.39 (m, 9H), 1.48-2.14 (m, 9H), 2.22 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.27-2.39 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.25 (m, 4H), 3.49-3.61 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.27-4.29 (m, 2H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.5 Hz, 2H)_o

参考例1

25

15 1-t-ブトキシカルボニルー4-ブチルアミノピペリジン

1-t-プトキシカルボニルピペリジンー4ーオン (10.0g) のジメチルホルムアミド (200 m L) 溶液に、<math>n-プチルアミン (6.0 m L) およびトリエチルアミン (7.0 m L) を加え撹拌した。反応液に、水素化トリアセトキシホウ素ナトリウム (16.0g) を加え、さらに 1.5 時間撹拌した。反応終了後、

20 反応液に水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、 硫酸マグネシウムで乾燥後、濃縮し、以下の物性値を有する標題化合物を得 た。

TLC:Rf 0.28 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CDCl₃): δ 0.92 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.19-1.53 (m, 6H), 1.45 (s, 9H), 1.82-1.87 (m, 2H), 2.55-2.66 (m, 3H), 2.74-2.82 (m, 2H), 4.00-4.10 (m, 2H) $_{\circ}$

60

参考例2:1-t-ブトキシカルボニル-4-(N-シクロヘキシルカルボニル-N-ブチルアミノ) ピペリジン

参考例 1 で製造した化合物の塩化メチレン(100 mL)溶液に、シクロヘキシル酢酸(7.5 g)、1-エチル-3-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]カルボジイミド・塩酸塩(14.5 g)および4-N,N-ジメチルアミノピリジン(9.2 g)を加え一昼夜撹拌した。反応終了後、反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥し、濃縮した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=1:1)にて精製し、以下の物性を有する標題化合物(8.97 g)を得た。

TLC:Rf 0.50 (ヘキサン:酢酸エチル=2:1);

NMR (CDCl₃): δ 0.87-1.01 (m, 2H), 0.95 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.05-1.81 (m, 16H), 1.46 (s, 9H), 1.89 (m, 1H), 2.16 (d, J = 7.0 Hz, 2H), 2.68 -2.85 (m, 2H), 3.08-3.18 (m, 2H), 4.09-4.35 (m, 2H), 4.52 (m, 1H).

15

10

5

参考例3:4- [(N-シクロヘキシルカルボニル-N-ブチル) アミノ] ピペリジン・塩酸塩

参考例2で製造した化合物(8.92g)の塩化メチレン(20mL)溶液に、トリフルオロ酢酸(20mL)を加え30分撹拌した。反応終了後、反応液20 を1N水酸化ナトリウム水溶液で塩基性とし、塩化メチレンにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、硫酸マグネシウムにて乾燥し、濃縮した。得られた残渣に4N塩化水素酢酸エチル溶液を加え、濃縮し、以下の物性値を有する標題化合物(7.98g)を得た。

TLC: Rf 0.35 (クロロホルム: メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.92-1.08 (m, 2H), 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.15-2.36 (m, 17H), 2.23 (d, J = 7.0 Hz, 2H), 3.01-3.30 (m, 4H), 3.41-3.53 (m, 2H), 4.15 (m, 1H).

実施例5 (1) ~ 実施例5 (54)

5

15

4ーヒドロキシピペリジンの代わりに参考例3で製造した化合物または相当するアミン誘導体、および4ー(4ーメチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒドまたは相当するアルデヒド誘導体を用いて、実施例1と同様の操作に付し、常法によって塩酸塩にすることにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例 5 (1): $N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-[1-(4-{2} -2)]$ (10 -メトキシ-4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ ベンジル) ピペリジン-4-イル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.49 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CDCl₃): δ 0.87-1.01 (m, 2H), 0.93 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.07-2.06 (m, 15H), 2.19 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.49-2.84 (m, 4H), 3.02 (s, 3H), 3.17-3.27 (m, 2H), 3.49-3.59 (m, 2H), 3.81 (s, 3H), 4.10 (br s, 2H), 4.72 (m, 1H), 6.88-6.93 (m, 3H), 6.99 (d, J=8.5 Hz, 1H), 7.13 (d, J=2.5 Hz, 1H), 7.53 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.94 (br s, 1H), 12.14 (s, 1H) ∘

実施例 5 (2): $N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニ 20 ル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー <math>4-イル]$ シクロヘキサ $\dot{}$ ンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.62 (塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 7.55-7.46 (m, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.10-7.00 (m, 4H), 4.33-4.25 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 3.62-3.48 (m, 2H), 3.30-3.02 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 2.48 (m, 1H), 2.35-2.08 (m, 2H), 1.98-1.63 (m, 7H), 1.63-1.18 (m, 9H), 1.03-0.88 (m, 3H)。

5

- TLC: Rf 0.62 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 7.55-7.46 (m, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.10-7.00 (m, 4H), 4.32-4.24 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 3.63-3.48 (m, 2H), 3.30-3.01 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 2.40-2.08 (m, 4H), 2.00-1.60 (m, 8H), 1.60-1.10 (m, 7H), 1.10-0.90 (m, 5H)。

実施例 5 (5): $N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-\{1-[(3,5)-1] - 1 - [(3,5) - 1] - [(3,$

塩酸塩

5

15

25

TLC: Rf 0.41 (DDDTNA: ADJ-N=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.91-1.06 (m, 2H), 0.98 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.14-1.83 (m, 13H), 1.89-1.97 (m, 2H), 2.23 (d, J=6.5 Hz, 2H), 2.32-2.40 (m, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.39 (s, 3H), 3.04 (s, 3H), 3.12-3.29 (m, 4H), 3.61-3.71 (m, 2H), 4.25 (s, 2H), 4.27 (m, 1H), 7.41 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.46 (d, J=9.0 Hz, 2H).

実施例 5 (6): N-(1-{4-[4-(アミノスルホニル)フェノキシ]ベンジル}ピペリジン-4-イル)-N-ブチル-2-シクロヘキシルアセ

10 トアミド・塩酸塩

NMR (CD₃OD): δ 0.91-1.04 (m, 2H), 0.98 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.12-1.99 (m, 15H), 2.22 (d, J=6.5 Hz, 2H), 2.25-2.36 (m, 2H), 2.97-3.30 (m, 4H), 3.46-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.13 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.17 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.55 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.90 (d, J=9.0 Hz, 2H).

TLC:Rf 0.50 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.87-1.05 (m, 2H), 0.96 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.13-2.14 (m, 15H),
2.21 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.25-2.38 (m, 2H), 2.99 (s, 3H), 3.08-3.28 (m, 4H), 3.54-3.65 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.37-4.39 (m, 2H), 7.36 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.47 (d, J=7.5 Hz, 1H), 7.57 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.67 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.74-7.82 (m, 2H)。

実施例5(8): N- {4-[4-(4-[ブチル(2-シクロヘキシル

エチル) アミノ] ピペリジンー 1 ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.32 (DDDDDDD: XBJDDD: 10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J=7.0 Hz, 3H), 0.98-1.08 (m, 2H), 1.18-1.41 (m, 7H), 1.53-1.80 (m, 8H), 2.24-2.49 (m, 4H), 2.96 (s, 3H), 3.05-3.21 (m, 6H), 3.70-3.81 (m, 3H), 4.32 (d, J=13.0 Hz, 1H), 4.53 (d, J=13.0 Hz, 1H), 7.04 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.08 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.30 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.56 (d, J=8.5 Hz, 2H)_o

実施例 5 (9): N-[(1S)-2-アミノ-1-(シクロヘキシルメチ 10 ル)-2-オキソエチル]-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミ ノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-カルボキサミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.34 (クロロホルム:メタノール=4:1); NMR (CD₃OD): δ 0.84-1.06 (m, 2H), 1.13-1.41 (m, 4H), 1.55-2.14 (m, 11H), 2.59 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.97-3.09 (m, 2H), 3.50-3.59 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 4.39 15 (dd, J=9.5, 5.5 Hz, 1H), 7.03 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J=9.0 Hz, 2H)。

実施例 5 (10): N- {4-[4-(4-(38)-3-(シクロヘキシルメチル)-2,5-ジオキソピペラジン-1-イル] ピペリジン-1 20 ーイル} メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.73 (クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 7.49 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.07 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.03 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 4.44 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 4.04 (d, J = 16.8 Hz, 1H), 3.96 (t, J = 6.6 Hz, 1H), 3.83 (d, J = 16.8 Hz, 1H), 3.64-3.52 (m, 2H), 3.15 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.20-1.60 (m, 10H), 1.49 (m, 1H), 1.39-1.10 (m, 4H), 1.09-0.80 (m, 2H)。

5 TLC:0.45(塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 4.50 (m, 1H), 4.26 (m, 1H), 4.23 (s, 2H), 4.14 (m, 1H), 3.82-3.76 (m, 2H), 3.53-3.33 (m, 4H), 3.09-3.01 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.65 (m, 1H), 2.19-1.88 (m, 4H), 1.79-1.70 (m, 5H), 1.49-1.21 (m, 5H).

10

実施例 5 (12): N - ブチルー 2 - シクロヘキシルーN - [1 - (4 - {2 - メトキシー 4 - $[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー <math>3$ - イル] アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.49 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CDCl₃): δ 0.87-1.00 (m, 2H), 0.94 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.08-1.93 (m, 16H), 2.11 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.25 (m, 1H), 2.45-2.64 (m, 2H), 3.02 (s, 3H), 3.18-3.37 (m, 4H), 3.80 (s, 3H), 3.86-4.00 (m, 2H), 4.20 (dd, J=13.0, 4.0 Hz, 1H), 6.87-6.92 (m, 3H), 6.99 (d, J=8.5 Hz, 1H), 7.13 (d, J=2.5 Hz, 1H), 7.55 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.83 (br s, 1H), 11.87 (s, 1H)。

20

実施例 $5(13): N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-[1-(4-{[(4-メチルフェニル) スルホニル] アミノ} ベンジル) ピペリジンー <math>4-イル$ アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.45 (クロロホルム:メタノール=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.89-1.06 (m, 2H), 0.96 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.12-2.09 (m, 15H), 2.21 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.22-2.32 (m, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.97-3.27 (m, 4H), 3.41-3.54

(m, 2H), 4.11 (m, 1H), 4.18-4.20 (m, 2H), 7.21 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.36 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.69 (d, J=8.5 Hz, 2H).

実施例 5 (14): 1-(4-(4-(N-v)DD(v)+v)N) ルーN-v チルカルボニ ルーN-v チルスルフォニルアミノ) フェノキシ) ベンジル) -4-(N-v) プロピルーN-v クロヘキシルメチルカルボニルアミノ) ピペリジン・塩酸塩

TLC: Rf 0.82 (DDDTNA: ADJ-N=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.77-1.39 (m, 13H), 1.47-1.96 (m, 16H), 2.05 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.22 (d, J=7.0 Hz, 2H), 2.24-2.41 (m, 2H), 3.04-3.26 (m, 4H), 3.48 (s, 3H), 3.51-3.65 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.31-4.33 (m, 2H), 7.13 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.18 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.38 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.56 (d, J=8.5 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例 5 (15): 4-(4-{[4-(4-ブロモベンゾイル) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) 安息香酸・塩酸塩 TLC: Rf 0.35 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (DMSO-d₆): δ 1.83-2.15 (m, 4H), 2.94-3.09 (m, 2H), 3.39-3.50 (m, 2H), 3.65 (s, 1H), 4.31 (br s, 2H), 7.09 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.19 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.65 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.76 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.93 (d, J=8.5 Hz, 2H), 7.97 (d, J=9.0 Hz, 2H), 10.52 (br s, 1H), 12.86 (br s, 1H)。

実施例 5 (16): $4-[4-(4-(3S)-3-(シクロヘキシルメチル)-2,5-ジオキソピペラジン-1-イル] ピペリジン-1-イル} メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩$

25 TLC: Rf 0.65 (クロロホルム: メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 8.04 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.59 (brd, J = 8.1 Hz, 2H), 7.17

(brd, J = 8.1 Hz, 2H), 7.07 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 4.46 (m, 1H), 4.34 (s, 2H), 4.05 (d, J = 17.1 Hz, 1H), 3.97 (dd, J = 6.6, 5.4 Hz, 1H), 3.85 (d, J = 17.1 Hz, 1H), 3.68-3.53 (m, 2H), 3.17 (m, 2H), 2.24-2.04 (m, 2H), 1.94 (m, 1H), 1.84-1.56 (m, 7H), 1.48 (m, 1H), 1.38-1.08 (m, 4H), 1.08-0.80 (m, 2H)_o

5

実施例 5 (17): 5-クロロー2- {4-[1-(3, 4-ジメトキシベンジル)ピペリジンー4-イル]ベンジル}-1H-イソインドールー1,3 (2H)-ジオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.48 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.86-7.81 (m, 2H), 7.33(d, J = 8.0 Hz, 2H), 7.23(d, J = 8.0 Hz, 2H), 7.14(s, 1H), 7.06-7.01 (m, 3H), 4.78(s, 2H), 4.26(s, 2H), 3.88(s, 3H), 3.85(s, 3H), 3.58-3.54 (m, 2H), 3.10-3.00 (m, 2H), 2.90(m, 1H), 2.10-1.90 (m, 4H).

実施例 5 (18): Nーブチルー2ーシクロヘキシルーNー [1- (4-フ 15 エノキシベンジル) ピペリジンー4ーイル] アセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.82 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 7.50-7.37 (m, 4H), 7.18(t, J=7.2 Hz, 1H), 7.07-7.02(m, 4H), 4.27(s, 2H), 4.15(m, 1H), 3.60-3.50 (m, 2H), 3.30-3.00 (m, 4H), 2.20-2.00 (m, 4H), 2.00-1.80 (m, 2H), 1.80-1.40 (m, 8H), 1.40-1.10 (m, 5H), 1.00-0.90 (m, 2H), 0.97(t, J 20 = 7.4 Hz, 3H)。

実施例5(19):4-[4-({4-[ブチル(シクロヘキシルアセチル)アミノ] ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩TLC:Rf 0.43(塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 8.04(d, J = 8.3 Hz, 2H), 7.56(d, J = 8.3 Hz, 2H), 7.17(d, J = 8.3 Hz, 2H), 7.07(d, J = 8.3 Hz, 2H), 4.31(s, 2H), 4.16(m, 1H), 3.60-3.50 (m, 2H),

3.30-3.00 (m, 4H), 2.20-2.00 (m, 4H), 2.00-1.80 (m, 2H), 1.80-1.40 (m, 8H), 1.40-1.10 (m, 5H), 1.00-0.90 (m, 2H), 0.97(t, J = 7.0 Hz, 3H)_o

実施例 5 (20): Nーブチルー2ーシクロヘキシルーNー {1-[(3,5-ジメチルー1ーフェニルー1Hーピラゾールー4ーイル)メチル] ピペリジンー4ーイル} アセトアミド・2塩酸塩 TLC: Rf 0.47 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 7.58-7.45(m, 5H), 4.24(s, 2H), 4.15(m, 1H), 3.60-3.50 (m, 2H), 3.30-3.00 (m, 4H), 2.37(s, 3H), 2.36(s, 3H), 2.40-2.10 (m, 4H), 2.00-1.80 (m, 2H), 1.80-1.40 (m, 8H), 1.40-1.10 (m, 5H), 1.00-0.90 (m, 2H), 0.98(t, J = 7.4 Hz, 3H)。

実施例 5 (2 1): $N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-(1-{[1-(4-ヒドロキシフェニル)-3,5-ジメチル-1H-ピラゾール-4-イル]メチル} ピペリジン-4-イル) アセトアミド・2 塩酸塩$

TLC:Rf 0.37 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 7.26(d, J = 9.0 Hz, 2H), 6.92(d, J = 9.0 Hz, 2H), 4.24(s, 2H),
4.15(m, 1H), 3.70-3.60 (m, 2H), 3.30-3.00 (m, 4H), 2.37(s, 3H), 2.32(s, 3H),
2.40-2.20 (m, 4H), 2.00-1.80 (m, 2H), 1.80-1.40 (m, 8H), 1.40-1.10 (m, 5H),
1.00-0.90 (m, 2H), 0.98(t, J = 7.4 Hz, 3H)。

20

TLC: Rf 0.59 (塩化メチレン: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.21-1.49 (m, 6H), 1.70-1.98 (m, 10H), 2.20-2.35 (m, 2H), 2.60-2.70 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.95-3.23 (m, 4H), 3.55-3.80 (m, 4H), 4.28 (s, 2H),

7.03 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.5 Hz, 2H).

実施例 5 (23): N- {4-[4-({4-[5-(シクロヘキシルカル 5 ボニル)-2,5-ジアザビシクロ[2.2.1] ヘプト-2-イル] ピペリジ ン-1-イル} メチル)フェノキシ]フェニル} メタンスルホンアミド・2 塩酸塩

TLC: Rf 0.46 (塩化メチレン: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.15-1.49 (m, δ H), 1.60-1.98 (m, 10H), 2.35-2.88 (m, δ H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.72 (m, 4H), 3.89 (d, J = 9.5 Hz, 1H), 4.04 (s, 2H), 4.62 (d, J = 22.5 Hz, 1H), 7.01 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.42 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 5 (24):2-シクロヘキシル-N-[1-(4-{4-[(メチ 15 ルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-イル]ア セトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.89-1.00 (m, 2H), 1.21-1.29 (m, 3H), 1.68-1.71 (m, 8H), 2.03 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.11-2.16 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.14 (m, 2H), 3.49-3.53 (m,

20 2H), 3.90 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例5 (25):2-シクロヘキシル-N-[1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4-イル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.62 (塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 1.13-1.29 (m, 3H), 1.67-1.78 (m, 8H), 2.03

(d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.12-2.15 (m, 2H), 3.05-3.13 (m, 2H), 3.49-3.53 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.37-7.42 (m, 2H), 7.46-7.50 (m, 2H)_o

5 実施例5(26):2-シクロヘキシルーNー {1-[(3,5-ジメチル -1-フェニルー1H-ピラゾールー4ーイル)メチル]ピペリジンー4ーイル}アセトアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.40 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.91-1.02 (m, 2H), 1.14-1.34 (m, 3H), 1.69-1.85 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.13-2.19 (m, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.38 (s, 3H), 3.14-3.24 (m, 2H), 3.61-3.66 (m, 2H), 3.93 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 7.45-7.60 (m, 5H).

実施例 5 (27): N- $\{4-[4-(\{4-[(5S)-5-(シクロへ キシルメチル)-1-イソプロピルー3, 6-ジオキソピペラジン-2-イル] ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホ

TLC: Rf 0.69 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-2.36 (m, 24H), 2.95 (s, 3H), 3.04 (m, 1H), 3.46-3.69 (m, 3H), 3.78-4.12 (m, 3H), 4.26 (brs, 2H), 7.00-7.18 (m, 4H), 7.26-7.34 (m, 2H), 7.40-7.48 (m, 2H) $_{\circ}$

実施例 5 (28): N- $\{4-[4-(4-(5S)-5-(シクロヘ$ キシルメチル)-1-(2-メトキシエチル)-3,6-ジオキソピペラジ $ン-2-イル] ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル)フェノキシ]フェニル $\}$ メ

25 タンスルホンアミド・塩酸塩

ンアミド・塩酸塩

15

20

TLC:Rf 0.67 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-2.32 (m, 21H), 2.95 (s, 3H), 2.84-3.02 (m, 3H), 3.40-3.60 (m, 4H), 3.80-4.14 (m, 3H), 4.26 (brs, 2H), 7.00-7.14 (m, 4H), 7.21-7.32 (m, 2H), 7.41-7.52 (m, 2H)_o

5 実施例5(29):N-{4-[4-(4-[(5S)-5-(シクロヘキシルメチル)-1-メチルー3,6-ジオキソピペラジン-2-イル]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.64 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (m, 1H), 1.12-1.36 (m, 3H), 1.44-2.38 (m, 14H), 2.95 (s, 3H), 2.98 (m, 2H), 3.36 (brs, 3H), 3.42-3.60 (m, 2H), 3.86-4.34 (m, 2H), 4.25 (brs, 2H), 6.98-7.08 (m, 4H), 7.24-7.30 (m, 2H), 7.40-7. 52 (m, 2H)_o

TLC:Rf 0.78 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-2.40 (m, 18H), 2.95 (s, 3H), 3.44-3.56 (m, 3H), 3.79 (m,

20 1H), 4.02-4.30 (m, 4H), 5.22 (m, 2H), 7.00-7.08 (m, 4H), 7.24-7.40 (m, 6H), 7.40-7.50 (m, 3H)_o

25 ペラジンー2,5ージオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.84 (クロロホルム:メタノール=5:1);

N M R (CD₃OD): δ 0.80-2.38 (m, 24H), 3.03 (m, 2H), 3.46-3.70 (m, 3H), 3.76-4.10 (m, 2H), 4.26 (brs, 2H), 7.00-7.06 (m, 4H), 7.19 (m, 1H), 7.36-7.58 (m, 4H)_o

5 実施例5(32):(3S)-3-(シクロヘキシルメチル)-1-(2-メトキシエチル)-6-[1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4 -イル]ピペラジン-2,5-ジオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.77 (DDDTNA: XBJ-N=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.10 (m, 2H), 1.12-2.10 (m, 16H), 2.16-2.62 (m, 2H),

2.98-4.14 (m, 11H), 4.26 (brs, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.30-7.54 (m, 4H)_o

15 ン-2,5-ジオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.86 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.84-2.40 (m, 18H), 2.76-3.04 (m, 2H), 3.42-3.60 (m, 2H), 3.78 (m, 1H), 4.10 (m, 1H), 4.16-4.34 (m, 3H), 5.20 (m, 1H), 6.98-7.14 (m, 4H), 7.19 (m, 1H), 7.20-7.52 (m, 9H)_o

20

実施例 5 (34): (3S) -3 - (シクロヘキシルメチル) -6 - $\{1$ - $\{(3,5)$ - 5 -

25 TLC:Rf 0.74 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.84-2.36 (m, 24H), 2.36 (brs, 3H), 2.38 (brs, 3H), 3.04-3.24

(m, 2H), 3.60-4.10 (m, 5H), 4.25 (brs, 2H), 7.40-7.60 (m, 5H)_o

実施例5(35):(3S)-3-(シクロヘキシルメチル)-6-{1-[(3,5-ジメチルー1-フェニルー1H-ピラゾールー4-イル)メチル]ピペリジンー4-イル}-1-メチルピペラジン-2,5-ジオン・塩酸塩

TLC: Rf 0.74 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.84-2.40 (m, 18H), 2.35 (m, 6H), 3.00 (brs, 3H), 3.09 (m, 2H), 3.56-3.70 (m, 2H), 3.82-4.12 (m, 2H), 4.24 (brs, 2H), 7.40-7.60 (m, 5H)_o

10

 $Hz, 2H)_{\circ}$

5

実施例 5 (36): (3S) -3 - (シクロヘキシルメチル) -6 - $\{1$ - $[(3,5-ジメチル-1-フェニル-1H-ピラゾール-4-イル) メチル] ピペリジンー4-イル<math>\}$ - 1 - (2 - λ トキシエチル) ピペラジンー2, 5 -

- 15 TLC:Rf 0.74 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.80-2.40 (m, 18H), 2.35 (brs, 3H), 2.38 (brs, 3H), 3.00-3.20 (m, 3H), 3.33 (s, 3H), 3.49-3.72 (m, 4H), 3.88-4.16 (m, 3H), 4.25 (brs, 2H), 7.40-7.62 (m, 5H)。
- 実施例 5 (37): Nーブチルー1ー(4ーフェノキシベンジル) ピペリジンー4ーカルボキサミド・塩酸塩
 TLC: Rf 0.58 (クロロホルム: メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.28-1.52 (m, 4H), 1.82-2.05 (m, 4H), 2.49 (m, 1H), 2.98-3.07 (m, 2H), 3.16 (t, J=7.0 Hz, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.06 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7,37-7.42 (m, 2H), 7.48 (d, J=8.7

実施例5(38):N-(シクロヘキシルメチル)-1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4-カルボキサミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.64 (DDDTNA: ADJ-N=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.86-0.97 (m, 2H), 1.15-1.28 (m, 4H), 1.46 (m, 1H), 1.60-1.78 (m, 4H), 1.89-2.05 (m, 4H), 2.52 (m, 1H), 3.00 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 3.00 -3.07 (m, 2H), 3.51-3.56 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 7.01-7.06 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.37-7.42 (m, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o
- 実施例5 (39): NーブチルーNー(シクロヘキシルメチル) -1-(4ーフェノキシベンジル) ピペリジンー4ーカルボキサミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.71 (クロロホルム:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.89-1.00 (m, 5H), 1.18-1.71 (m, 13H), 1.92-2.00 (m, 5H), 2.92-3.55 (m, 6H), 3.51-3.55 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J = 7.2 Hz, 1H), 7.37-7.42 (m, 2H), 7.47 (d, J = 8.4 Hz, 2H)。

実施例 5 (40): $1-ベンジル-4-\{[1-(4-フェノキシベンジル)$ ピペリジンー 4-イル] カルボニル $\}$ ピペラジン・2 塩酸塩 TLC: Rf 0.59 (クロロホルム: メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.90-2.10 (m, 4H), 3.00-3.60 (m, 12H), 4.30 (s, 2H), 4.39 (s, 2H), 4.63 (m, 1H), 7.02-7.06 (m, 4H), 7.18 (t, J = 7.0 Hz, 1H), 7.37-7.42 (m, 2H), 7.48-7.58 (m, 7H)_o

実施例 5 (41):1-(シクロヘキシルメチル)-4-{[1-(4-フ 25 エノキシベンジル)ピペリジン-4-イル]カルボニル}ピペラジン・2塩 酸塩

NMR (CD₃OD): δ 1.02-1.43 (m, 5H), 1.70-2.01 (m, 10H), 3.03(d, J = 6.6 Hz, 2H), 3.03-3.69 (m, 12H), 4.31 (s, 2H), 4.59 (m, 1H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J = 7.5 Hz, 1H), 7.37-7.42 (m, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

5

NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.52 (m, 4H), 1.84-2.04 (m, 4H), 2.48 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.95-3.07 (m, 2H), 3.16 (t, J = 7.2 Hz, 2H), 3.51-3.56 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例 5 (4 3): N - (シクロヘキシルメチル) - 1 - (4 - [(4 - [(4 - [(4 - [4 - [(4 - [4 -

TLC:Rf 0.28 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.85-1.00 (m, 2H), 1.15-1.46 (m, 5H), 1.65-2.13 (m, 8H), 2.49 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.00 (d, J = 7.0 Hz, 2H), 3.00 -3.06 (m, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H),

4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.4 Hz, 2H).

実施例 5 (44): $N-ブチル-N-(シクロヘキシルメチル)-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-カルボキサミド・塩酸塩$

25 TLC: Rf 0.45 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.89-1.00 (m, 5H), 1.21-2.00 (m, 18H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.36

(m, 6H), 3.51-3.54 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.1 Hz, 2H)_o

実施例 5 (45): N- {4-[4-(4-(4-ベンジルピペラジン 5 -1-イル) カルボニル] ピペリジン-1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・2 塩酸塩 TLC: Rf 0.28 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.90-2.10 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.56 (m, 12H), 4.30 (s, 2H), 4.39 (s, 2H), 4.63 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.47-7.55 (m, 7H)。

- 15 TLC: Rf 0.30 (クロロホルム: メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.05-1.43 (m, 5H), 1.70-2.01 (m, 10H), 2.95 (s, 3H), 3.03 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 3.03-3.63 (m, 12H), 4.31 (s, 2H), 4.59 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。
- 実施例5(47):1-(シクロヘキシルメチル)-4-[1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4-イル]ピペラジン-2-カルボン酸・3塩酸

TLC: Rf 0.07 (クロロホルム:メタノール:酢酸=10:1:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.01-1.11 (m, 2H), 1.19-1.41 (m, 4H), 1.66-2.02 (m, 8H),
25 2.19-2.31 (m, 2H), 2.97-3.37 (m, 8H), 3.45-3.64 (m, 3H), 3.80 (m, 1H), 4.29 (s, 2H),
4.35 (s, 1H), 7.01-7.06 (m, 4H), 7.18 (t, J=8.0 Hz, 1H), 7.39 (t, J=8.0 Hz, 2H), 7.52 (d,

 $J=9.0 Hz, 2H)_{\circ}$

実施例5(48):1-ベンジル-4-[1-(4-フェノキシベンジル) ピペリジン-4-イル] ピペラジン-2-カルボン酸・3 塩酸

- 5 TLC: Rf 0.05 (クロロホルム:メタノール: 酢酸=10:1:1); NMR (CD₃OD): δ 1.86-2.03 (m, 2H), 2.15-2.27 (m, 2H), 2.86-3.62 (m, 11H), 4.13-4.35 (m, 4H), 4.57 (d, J=12.5 Hz, 1H), 7.01-7.06 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.39 (t, J=8.0 Hz, 2H), 7.45-7.56 (m, 7H)。
- 10 実施例5(49):1-(シクロヘキシルカルボニル)-4-[1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4-イル]ピペラジン-2-カルボン酸・ 2塩酸塩

TLC:Rf 0.14 (クロロホルム:メタノール:酢酸=10:1:1); NMR (CD₃OD): δ 1.22-1.57 (m, 5H), 1.67-1.85 (m, 5H), 2.06-2.78 (m, 5H), 2.96-3.23 (m, 4H), 3.46-3.70 (m, 5H), 4.08 (m, 1H), 4.31 (m, 1H), 4.33 (s, 2H), 5.53 (s, 1H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.36-7.42 (m, 2H), 7.54 (d, J=8.5 Hz, 2H)。

実施例5 (50): 1ーベンゾイルー4ー [1ー(4ーフェノキシベンジル) 20 ピペリジンー4ーイル] ピペラジンー2ーカルボン酸・2塩酸塩 TLC: Rf 0.09 (クロロホルム:メタノール:酢酸=10:1:1); NMR (CD₃OD): δ 1.92-2.41 (m, 4H), 2.87-3.95 (m, 11H), 4.31 (s, 2H), 5.53 (s, 1H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.36-7.42 (m, 2H), 7.45-7.54 (m, 7H)。

25 実施例 5 (5 1): 4 - (シクロヘキシルメチル) - 2 - メチル-1 - [1 - (4-フェノキシベンジル) ピペリジン-4-イル] ピペラジン・3 塩酸

TLC:Rf 0.18 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97-1.13 (m, 2H), 1.20-1.44 (m, 3H), 1.55 (d, J=6.5 Hz, 3H), 1.65-1.95 (m, 6H), 2.08-2.47 (m, 4H), 3.10-3.28 (m, 4H), 3.40-4.21 (m, 10H), 4.33 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.37 -7.42 (m, 2H), 7.53 (d, J=8.5 Hz, 2H)。

5

20

 $(m, 2H), 7.53 (d, J=8.5 Hz, 2H)_{\circ}$

実施例 5 (5 2): 4 - ベンジルー2 - メチルー1 - [1 - (4 - フェノキシベンジル) ピペリジンー4 - イル] ピペラジン・3 塩酸 T L C: R f 0.20 (クロロホルム: メタノール=1 0 : 1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.48 (d, J=6.5 Hz, 3H), 2.01-2.38 (m, 4H), 3.12-3.25 (m, 2H), 3.38-3.72 (m, 8H), 3.92 (br s, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.41 (d, J=13.0 Hz, 1H), 4.47 (d, J=13.0 Hz, 1H), 7.01-7.06 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.36-7.42 (m, 2H), 7.49-7.53 (m, 5H), 7.58-7.62 (m, 2H)_o
- 15 実施例5(53):4-(シクロヘキシルカルボニル)-2-メチル-1-[1-(4-フェノキシベンジル)ピペリジン-4-イル]ピペラジン・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.38 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.16-1.57 (m, 8H), 1.66-1.84 (m, 5H), 2.05-2.75 (m, 5H), 3.00-4.73 (m, 12H), 4.33 (s, 2H), 7.01-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.36-7.42

実施例 5 (5 4) : 4 - ベンゾイル - 2 - メチル - 1 - [1 - (4 - 7 - 7 + シベンジル) ピペリジン - 4

25 TLC:Rf 0.40 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.29-1.55 (br, 3 H, -Me), 2.07-2.54 (m, 4H), 3.09-4.17 (m,

12H), 4.33 (s, 2H), 7.01-7.07 (m, 4H), 7.18 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.36-7.42 (m, 2H), 7.46-7.55 (m, 7H)_o

参考例4

5 N-(4-(4-ビス(2-クロロエチル)アミノメチルフェノキシ)フェニル)メタンスルホンアミド

4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒド(1.27 g)のジメチルホルムアミド($5\,\mathrm{mL}$)/酢酸($0.5\,\mathrm{mL}$)溶液に、N,N-ビス(2-クロロエチル)アミン($8\,5\,6\,\mathrm{m}\,g$)を加えて室温で $1\,0\,\mathrm{分間撹}$ 10 拌した。得られた溶液に、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム($31.39\,g$)を加えて室温で一晩撹拌した。反応混合物に水を加え、酢酸エチルで $3\,\mathrm{m}\,g$ 1 出した。抽出物を飽和食塩水($3\,0\,\mathrm{m}\,g$ 1 で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー($2\,\mathrm{m}\,g$ 1 で精製して以下の物性値を有する標題化合物 ($2\,\mathrm{m}\,g$ 1 を得た。

TLC:Rf 0.60 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (CDCl₃): δ 7.32 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.22 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.01 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 6.96 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 3.72 (s, 2H), 3.51 (t, J = 7.2 Hz, 4H), 3.00 (s, 3H), 2.93 (t, J = 7.2 Hz, 4H) $_{\circ}$

20

実施例6:1-(4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンジル) -4-(1-メトキシカルボニルペンチル)ピペラジン

参考例2で製造した化合物(266mg)のジメチルホルムアミド(3mL)溶液にDL-ノルロイシンメチルエステル・塩酸塩(117mg)を加25 えた。得られた溶液にトリエチルアミン(0.267mL)と触媒量のヨウ化ナトリウムを加えて60℃で一晩撹拌した。反応混合物に水を加え、酢酸エチル

で3回抽出した。抽出物を飽和食塩水(30mL)で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮して、以下の物性値を有する本発明化合物(210mg)を得た。

TLC:Rf 0.67 (クロロホルム:メタノール=9:1);

5 NMR (CDCl₃): δ 7.32-7.24 (m, 2H), 7.20 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 6.98 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 6.94 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 3.72 (s, 2H), 3.69 (s, 3H), 3.15 (dd, J = 4.8, 3.6 Hz, 1H), 3.00 (s, 3H), 2.70-2.36 (m, 8H), 1.80-1.18 (m, 6H), 0.89 (t, J = 5.4 Hz, 3H) ∘

実施例 $7:2-[4-(4-\{4-\{4-\{4-\{4-\{4-\{4-\{4-1(4+1) アミノ] フェノ 10 キシ\} ベンジル) ピペラジン<math>-1-1$ へキサン酸・2 塩酸塩

実施例 6 で得られた化合物(210mg)のエタノール(5mL)溶液に、2N水酸化ナトリウム溶液(0.215mL)を加えて40℃で一晩撹拌した。反応混合物を濃縮し、得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=8:1)で精製し、常法により塩酸塩として、以下の物性値を有する本発明化合物(141.6mg)を得た。

15

TLC: Rf 0.55 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 7.53 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.03 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 4.37 (s, 2H), 3.75 (brt, J = 6.3 Hz, 2H), 3.56-3.34 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 1.92-1.80 (m, 2H), 1.48-1.32 (m, 4H), 1.00-0.86 (m, 3H)。

実施例7で製造した化合物(46.7mg)のジメチルホルムアミド(2mL)溶液に、シクロヘキシルアミン(16.8μL)、1ーエチルー3ー[3ー(ジメチルアミノ)プロピル]カルボジイミド・塩酸塩(28.2mg)および1ーヒドロキシベンゾトリアゾール(19.87mg)を加えて、室温にて一晩撹拌した。反応混合物を濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(クロロホルム: メタノール=9:1)で精製し、常法により塩酸塩として、以下の物性値を有する本発明化合物(22.7mg)を得た。

TLC:Rf 0.75 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.49 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.05 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.02 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 4.30 (s, 2H), 3.68 (m, 1H), 3.50-3.00 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 1.90-1.58 (m, 8H), 1.44 -1.12 (m, 9H), 0.92 (brt, J = 7.5 Hz, 3H)_o

実施例9 (1) ~ 実施例9 (3)

4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒド、また は4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒドの代わりに相当するアルデヒド誘導体、DL-ノルロイシンメチルエステル、またはDL-ノルロイシンメチルエステルの代わりに相当するアミノ酸誘導体、シクロヘキシルアミン、またはシクロヘキシルアミンの代わりに相当するアミン誘導体を用いて、参考例4→実施例6→実施例7→実施例8と同様の操 作に付すことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

TLC: Rf 0.82 (クロロホルム: メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 7.53 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.03 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 4.37 (s, 2H), 3.61 (m, 1H), 3.60-3.28 (m, 8H), 3.15 (dd, J = 7.5, 15.0 Hz, 1H), 2.99 (dd, J = 7.5, 15.0 Hz, 1H), 2.95 (s, 3H), 1.90-1.62 (m, 6H), 1.5 8-1.16 (m, 9H), 1.04-0.88 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H)_o
- 10 実施例9(2):N-シクロヘキシルー2ー[4ー(4ー{4ー[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペラジンー1ーイル]ペンタンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.78 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.52 (brd, J = 6.6 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.10-7.01 (m, 4H), 4.36 (brs, J = 2H), 3.69 (m, 1H), 3.60-3.20 (m, 9H), 2.95 (s, 3H),

1.92-1.70 (m, 6H), 1.65 (m, 1H), 1.46-1.14 (m, 7H), 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H).

実施例9(3):2-(4-{4-[4-(アミノスルホニル)フェノキシ] ベンジル} ピペラジン-1-イル) -N-シクロヘキシルヘキサンアミド・

20 2 塩酸塩

15

25

TLC:Rf 0.84 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.90 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 7.63 (brd, J = 11.4 Hz, 2H), 7.18 (brd, J = 11.4 Hz, 2H), 7.13 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 4.45 (s, 2H), 3.80-3.42 (m, 9H), 1.96-1.56 (m, 7H), 1.46-1.18 (m, 10H), 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H).

参考例5: t ーブチル 1 ーベンジルオキシカルボニルー4 ーシクロヘキシ

ルメチルアミノカルボニルピペリジンー4ーイルカーバメート

5

10

1-ベンジルオキシカルボニルー4-(t-ブトキシカルボニルアミノ) ピペリジンー4-カルボン酸(297mg)のジメチルホルムアミド(2.5m L)溶液に、1-エチルー3-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]カルボジイミド・塩酸塩(226mg)、4-N,N-ジメチルアミノピペリジン(144mg)およびシクロヘキシルメチルアミン(0.15mL)を加えて、一晩室温で撹拌した。反応混合物に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出物を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール= $40:1\sim10:1$)で精製し、以下の物性値を有する標題化合物を得た。 TLC: Rf 0.18(ジクロロメタン: メタノール=5:1)。

参考例6:tーブチル 4-シクロヘキシルメチルアミノカルボニルピペリジン-4-イルカーバメート

- 15 参考例 5 で製造した化合物のメタノール (3 m L) 溶液に、5 %パラジウム炭素 (15 m g) を加えた。反応混合物を水素雰囲気下、室温にて2 時間撹拌した。アルゴン雰囲気下、反応混合物をセライト (商品名) を通してろ過した。濾液を濃縮し、得られた残渣をそのまま次の反応に用いた。
- 20 実施例10:1-(4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンジル)-4-シクロヘキシルメチルアミノカルボニルー4-(t-ブトキシカルボニルアミノ)ピペリジン・2塩酸塩

参考例 6 で製造した化合物のジメチルホルムアミド (5 m L)、酢酸 (0.2 m L) 溶液に、4 - (4 - メチルスルホニルアミノフェノキシ) ベンズアル デヒド (2 7 4 m g) およびトリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム (2 4 9 m g) を加え、室温で一晩撹拌した。反応混合物を濃縮し、シリカゲルカ

ラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=50:1~40:1)で精製し、常法により塩酸塩として、以下の物性値を有する標題化合物(190mg)を得た。

TLC: Rf 0.49 (ジクロロメタン: メタノール= 10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 7.35 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.25 (d. J = 9.0 Hz, 2H), 6.98 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 6.96 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 3.69 (s, 2H), 3.01-2.99 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 2.88-2.85 (m, 2H), 2.53-2.44 (m, 2H), 2.16-2.02 (m, 4H), 1.75-1.64 (m, 6H), 1.43 (s, 9H), 1.28-1.18 (m, 3H), 0.96-0.89 (m, 2H)_o
- 10 実施例 1 1 : 1 (4 (4 メチルスルホニルアミノフェノキシ) ベンジル) 4 シクロヘキシルメチルアミノカルボニル 4 アミノピペリジン・2 塩酸塩

実施例10で製造した化合物(190mg)のテトラヒドロフラン(3mL)、ジオキサン(3mL)溶液に、4N塩化水素酢酸エチル水溶液(9mL)を加え、室温で一晩撹拌した。反応混合物を濃縮し、以下の物性値を有する本発明化合物を得た。この生成物は精製することなく次の反応に用いた。TLC:Rf 0.35(塩化メチレン:メタノール=10:1)。

実施例12(1)および実施例12(2)

実施例11で製造した化合物のジメチルホルムアミド(3 mL)/酢酸(0.1 mL)溶液に、ブタナール(0.03 mL)、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(103 mg)を加え、室温で一晩撹拌した。反応混合物に水を加え、酢酸エチルで抽出した。抽出物を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール:50:1)、高性能薄層クロマトグラフィー(ジクロロメタン:メタノール=10:1)で精製し、常法により塩酸塩と

して、以下の物性値を有する本発明化合物を得た。

5

10

15

20

実施例 $1 \ 2 \ (1) : 4 - (ブチルアミノ) - N - (シクロヘキシルメチル)$ $-1 - (4 - \{4 - [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン<math>-4 -$ カルボキサミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.48 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.52 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.03 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 4.34 (s, 2H), 3.70-3.56 (m, 3H), 3.20-2.79 (m, 7H), 2.95 (s, 3H), 2.46-2.30 (m, 2H), 1.73-1.58 (m, 8H), 1.46-1.38 (m, 2H), 1.28-1.15 (m, 3H), 1.05-0.95 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H).

実施例 $1 \ 2 \ (2) : N - (シクロヘキシルメチル) - 4 - (ジブチルアミノ) - 1 - (4 - <math>\{4 - [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ\} ベンジル)$ ピペリジン-4 -カルボキサミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.54 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 4.33 (s, 2H), 3.67-3.63 (m, 2H), 3.37-3.00 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 2.84-2.80 (m, 2H), 2.64-2.51 (m, 2H), 1.84-1.57 (m, 10H), 1.46-1.17 (m, 7H), 1.05-0.92 (m, 2H), 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 6H) $_{\circ}$

実施例 13: メチル $(2S) - 2 - \{[4 - [(ブチルアミノ) カルボニル] - 1 - (4 - [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン <math>- 4 - 4$ アミノ- 3 - 2 - 4 アミノ- 3 - 2 - 4 では

5

10

$$CH_3$$
 CH_3
 CH_3
 CH_3
 CH_3
 CH_3
 CH_3

実施例 2 で製造した化合物(2 0 0 mg)のメタノール($5.3 \,\mathrm{mL}$)溶液に、 $L - \nu \rho \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{mg}$)、 $1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{mg}$)、 $1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L}$)を加え、 $1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L}$)を加え、 $1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L}$)を加えて撹拌し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル: $1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L}$ で精製し、常法により塩酸塩として以下の物性値を有する本発明化合物($1.02.2 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L} \sim 1.0 \,\mathrm{L}$ を得た。

TLC: Rf 0.55 (クロロホルム: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.60-7.44 (m, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.09-6.96 (m, 4H), 4.31 (brs, 2H), 3.80-3.62 (m, 5H), 3.52-3.02 (m, 5H), 2.95 (s, 3H), 2.30-1.82 (m, 2H), 1.80-1.40 (m, 11H), 1.40-1.10 (m, 6H), 1.04 -0.80 (m, 5H)。

実施例14:1-(4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンジ20 ル)ピペリジン-4-イルメタノール4-ピペリジルメタノール(1.0g)および4-(4-メチルスルホニルア

ミノフェノキシ)ベンズアルデヒド(2.53g)のジメチルホルムアミド(10 mL)溶液に、酢酸(1.0mL)を加え、室温にて 5 分間撹拌した。反応液にトリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(2.75g)を加え 1 2時間撹拌した。反応混合物に水(2 0 mL)、酢酸エチル(3 0 mL)を加えて撹拌し、酢酸エチルで 3 回抽出した。有機層を飽和食塩水(1 5 mL)で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。シリカゲルクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル= 1 : 1)で精製し、以下の物性値を有する本発明化合物(2.40g)を得た。

TLC:Rf 0.16 (クロロホルム:メタノール=5:1);

5

20

NMR (CDCl₃): δ 7.31-7.26 (m, 2H), 7.23-7.00 (m, 2H), 7.02-6.92 (m, 4H), 3.50 (d, J = 6.3 Hz, 2H), 3.47 (s, 2H), 3.00 (s, 3H), 2.98-2.86 (m, 2H), 1.97 (td, J = 11.7, 2.7 Hz, 2H), 1.79-1.64 (m, 2H), 1.50 (m, 1H), 1.36-1.20 (m, 2H).

実施例15:1-(4-(4-)4ーメチルスルホニルアミノフェノキシ) ベンジ 15 ル) -4-ピペリジニルカルボキサアルデヒド

実施例 14 で製造した化合物 $(2.40\,g)$ の塩化メチレン $(20\,mL)$ 溶液に、トリエチルアミン $(3.43\,mL)$ 、ジメチルスルホキシド $(1.99\,mL)$ を加えた。反応液に三酸化硫黄ピリジン錯体 $(1.96\,g)$ を加えて室温で 5 時間撹拌した。反応混合物に水を加え、塩化メチレンで 3 回抽出した。有機層を飽和食塩水($20\,mL$)で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル= 1: 1) で精製し、以下の物性値を有する本発明化合物 $(3.04\,g)$ を得た。

TLC:Rf 0.32 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CDCl₃): δ 9.65 (d, J = 1.2 Hz, 1H), 7.32-7.24 (m, 2H), 7.24-7.18 (m, 2H), 7.02-6.90 (m, 4H), 3.47 (s, 2H), 3.00 (s, 3H), 2.82 (m, 2H), 2.26 (m, 2H), 2.11 (m, 2H), 1.90 (m, 2H), 1.71 (m, 2H).

実施例 $16: N-\{4-[4-(4-(5s)-1-ブチル-5-(シクロへキシルメチル)-3,6-ジオキソピペラジン-2-イル] ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル) フェノキシ]フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

10

15

20

実施例 $15 (500 \,\mathrm{mg})$ 、N - (t-) トンカルボニル) - L - > クロヘキシルアラニン($396 \,\mathrm{mg}$)、n - ブチルアミン($0.140 \,\mathrm{mL}$)および 2 - モルホリノエチルイソシアニド($0.179 \,\mathrm{mL}$)のメタノール($13 \,\mathrm{mL}$)溶液に、 $65 \,^{\circ}$ Cにて $12 \,\mathrm{bH}$ 間撹拌した。反応液に濃塩酸($0.5 \,\mathrm{mL}$)を加え $2 \,\mathrm{bH}$ 間撹拌し、濃縮した。塩化メチレン($15 \,\mathrm{mL}$)、炭酸水素ナトリウム溶液($15 \,\mathrm{mL}$)を加えて撹拌し、塩化メチレンで $2 \,\mathrm{mH}$ 出した。有機層を飽和食塩水($15 \,\mathrm{mL}$)で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥後、濃縮した。得られた残渣に $1.25 \,\mathrm{Mfr}$ 酸 $1.25 \,\mathrm{mfr}$ 酸 $1.25 \,\mathrm{mfr}$ を加えて $1.25 \,\mathrm{mfr}$ で $1.25 \,\mathrm{mfr$

TLC:Rf 0.58 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.48 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.08-7.00 (m, 4H), 4.26 (s, 2H), 4.12 (m, 1 : 2H), 4.04-3.92 (m, 1H), 3.88 (d, J = 5.2 Hz, 1 : 2H), 3.82 (d, J = 6.0 Hz, 1 : 2Hz), 3.80 (m, 1 : 2H), 3.60-3.48 (m, 2H), 3.08-2.78 (m, 3H), 2.95 (s, 3H), 2.34-2.10 (m, 1H), 2.10-1.44 (m, 13H), 1.40-1.12 (m, 6H), 1.10-0.84 (m, 2H), 0.94 (t, J = 7.2 Hz, 3 : 2H), 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3 : 2H) $_{\circ}$

<u>実施例16(1)~(3)</u>

5

10

N-(t-ブトキシカルボニル) -L-シクロへキシルアラニンの代わり に相当するカルボン酸を用いて、4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ) ベンズアルデヒドの代わりに相当するアルデヒドを用いて、実施例 <math>14 実施例 15 実施例 16 と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

実施例16(1):N-(4-{4-[(4-{(5R)-1-ブチル-5] 15 -[(R)-シクロヘキシル(ヒドロキシ)メチル]-3,6-ジオキソピペラジン-2-イル}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.51 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.47 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.07-7.00 (m, 4H), 4.25 (s, 2H), 4.18(m, 1H), 3.98-3.72 (m, 2H), 3.57-3.45 (m, 2H), 3.26 (m, 1H), 3.06-2.78 (m, 3H), 2.95 (s, 3H), 2.46-2.18 (m, 1H), 2.14-1.86 (m, 4H), 1.86-1.48 (m, 7H), 1.44-0.82 (m, 8H), 0.94 (t. J = 7.2 Hz, 3H)_o

実施例16(2):4-[4-(4-(5S)-1-ブチル-5-(シ25 クロヘキシルメチル)-3, $6-ジオキソピペラジン-2-イル]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩$

TLC:Rf 0.53 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 8.04 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.54 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.16 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.12 (m, 1/2H), 4.05-3.92 (m, 1H), 3.92-3.76 (m, 3/2H), 3.61-3.46 (m, 2H), 3.10-2.78 (m, 3H), 2.36-1.92 (m, 5H), 1.90-1.44 (m, 10H), 1.40-1.14 (m, 5H), 1.04-0.82 (m, 5H).

実施例16(3): 4-{4-{(4-{(5R)-1-ブチル-5-{(R)-シクロヘキシル(ヒドロキシ)メチル]-3,6-ジオキソピペラジン-2-イル}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}安息香酸・塩酸塩10 TLC: Rf 0.39(クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 8.07-8.00 (m, 2H), 7.60-7.46 (m, 2H), 7.17 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.10-7.00 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.21-4.14 (m, 1H), 4.00-3.74 (m, 2H), 3.72-3.46 (m, 2H), 3.26 (m, 1H), 3.09-2.84 (m, 3H), 2.50-2. 20 (m, 2H), 2.16-1.88 (m, 5H), 1.88-1.48 (m, 6H), 1.44-0.84 (m, 10H)。

15

5

参考例7

1-ベンジルー4- [N-(2-ジメトキシエチル)アミノ] ピペリジン 4-アミノー1-ベンジルピペリジン(5g)のジメチルホルムアミド(100mL)溶液にジメトキシアセトアルデヒド(5.5mL)、トリアセトキシ 水素化ホウ素ナトリウム(8.36g)、酢酸(1.5mL)を加え、一晩撹拌した。 反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、 無水硫酸ナトリウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール= $40:1\sim1:1$)で精製し、以下の物性値を有する標題化合物(2.74g)を得た。

25 TLC: Rf 0.27 (ジクロロメタン: メタノール=5:1) NMR (CDCl₃): δ 7.31-7.20 (m, 5H), 4.46 (t, J = 5.5 Hz, 1H), 3.50 (s, 2H), 3.38 (s,

6H), 2.87-2.83 (m, 2H), 2.74 (d, J = 5.5 Hz, 2H), 2.45 (m, 1H), 2.07-1.98 (m, 2H), 1.86-1.82 (m, 2H), 1.46-1.34 (m, 2H)_o

参考例8

5 1ーベンジルー4ー(Nー(2ージメトキシエチル)ーNー(2ーシクロへ キシルカルボニルアミノアセチル)アミノ)ピペリジン

参考例7で製造した化合物(2.74g)のジメチルホルムアミド(30mL)溶液に、1-エチル-3-[3-(ジメチルアミノ)プロピル]カルボジイミド・塩酸塩(2.82g)、4-N,N-ジメチルアミノピリジン(2.4g)お はびN-シクロヘキシルカルボニルグリシン(2.0g)を加え、一晩室温にて 撹拌した。反応液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をを シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=10:1)にて精製し、以下の物性値を有する標題化合物(1.45g)を得た。

15 TLC: Rf 0.36 (酢酸エチル: メタノール=10:1)。

参考例9:4-(N-(2-) ジャトキシェチル)-N-(2-) クロヘキシルカルボニルアミノアセチル)アミノ) ピペリジン

参考例7で製造した化合物(900mg)のメタノール(8mL)溶液に 20 水酸化パラジウム炭素(200mg)を加え、水素雰囲気下、50℃で3時間撹拌した。放冷後、反応混合物をセライト(商品名)を通してろ過し、濾液を濃縮して標題化合物を得た。この生成物は精製することなく次の反応に用いた。

25 実施例17:1-(4-(4-)4-)4 (4-) ボンジル) -4-(N-(2-)3+)2 (4-) ボンジル) -4-(N-(2-)3+)2 (2-) エチル)-N-(2-)2 (2-) カ

ルボニルアミノアセチル)アミノ)ピペリジン

5

参考例 9 で製造した化合物(300 mL)のジメチルホルムアミド(5 mL)/酢酸(0.2 mL)溶液に、4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒド(270 mg)、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(268 mg)を加え、室温にて一晩撹拌した。反応液を濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=30:1~10:1)にて精製し、以下の物性値を有する標題化合物(223 mg)を得た。

TLC:Rf 0.41 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CDCl₃): δ 7.29-7.21 (m, 4H), 6.99 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 6.94 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 4.60 (t, J = 5.5 Hz, 1H), 4.20 (m, 1H), 4.13 (dd, J = 16.5, 4.0 Hz, 2H), 3.56 -3.33 (m, 6H), 3.40 (s, 6H), 3.05-2.96 (m, 2H), 2.19-1.22 (m, 15H)_o

実施例17で製造した化合物のトルエン(9 m L) 懸濁液にpートルエン スルホン酸(20 mg)を加え、100℃にて3時間加熱撹拌した。放冷後、 反応混合物に飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加え、酢酸エチルで抽出した。 有機層を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムにて乾燥し、濃縮した。

得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=30:1)、高性能薄層クロマトグラフィー(ジクロロメタン:メタノール=15:1)にて精製し、常法により塩酸塩として、以下の物性値を有する本発明化合物(20mg)を得た。

5 TLC: Rf 0.78 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.03 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 6.60 (d, J = 6.0 Hz, 1H), 5.86 (d, J = 6.0 Hz, 1H), 4.58 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 4.27 (s, 2H), 3.61-3.57 (m, 2H), 3.20-3.12 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.26-1.21 (m, 15H)。

10

実施例 18(1):1-(1-ベンジルピペリジン-4-イル)-4-(シクロヘキシルカルボニル)-3,4-ジヒドロピラジン-2(1H)-オン・塩酸塩

参考例17で製造した化合物の代わりに参考例8で製造した化合物を用いて、実施例18と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

T L C: R f 0.53 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 7.52 (s, 5H), 6.60 (d, J = 6.0 Hz, 1H), 5.84 (d, J = 6.0 Hz, 1H), 4.58 (m, 1H), 4.33 (s, 2H), 4.27 (s, 2H), 3.6-3.56 (m, 2H), 3.22-3.14 (m, 2H), 2.69 (m, 1H), 2.19-1.29 (m, 14H)。

実施例19:

 $E体: 4-[4-({4-[(E)-(4-ブロモフェニル) (エトキシイミノ)メチル] ピペリジン<math>-1-$ イル $\}$ メチル)フェノキシ] 安息香酸・塩

25 酸塩

20

Z体: $4-[4-({4-[(Z)-(4-ブロモフェニル)(エトキシイ$

ミノ) メチル] ピペリジンー1ーイル} メチル) フェノキシ] 安息香酸・塩酸塩

実施例 5 (15)で製造した化合物(912 mg)のエタノール(10 m L)溶液に、ピリジン(5 mL)および0 ーエチルヒドロキシアミン塩酸塩(340 mg)を加え3時間加熱還流した。反応終了後、反応液を濃縮し、水および2 N塩酸を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、濃縮した。得られた残さをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(塩化メチレン:メタノール2 5 1)にて精製した後、4 N塩化水素酢酸エチル溶液を加え、濃縮し、以下の物性値を有する本発明化合物(E体:4 0 9 mg、2 体:5 0 0 mg)を得た。

E体:

5

10

15

TLC:Rf 0.37 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.29 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.14-2.28 (m, 2H), 2.86-2.96 (m, 2H), 3.38-3.48 (m, 3H), 4.16 (s, 2H), 4.18 (q, J=7.0 Hz, 2H), 7.02 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.11 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.36 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.52 (d, J=9.0 Hz, 2H), 8.00 (d, J=9.0 Hz, 2H).

Z体:

TLC: Rf 0.35 (DDDTMLA: ADJML=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.16 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.76-1.91 (m, 2H), 2.03-2.14 (m, 2H), 2.89 (m, 1H), 3.02-3.11 (m, 2H), 3.50-3.58 (m, 2H), 4.03 (q, J=7.0 Hz, 2H), 4.31 (s, 2H), 7.06 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.16 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.25 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.55 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.57 (d, J=9.0 Hz, 2H), 8.03 (d, J=9.0 Hz, 2H)_o

<u>実施例20(1)~実施例20(79)</u>

25 4-ヒドロキシピペリジンの代わりに相当するアミン誘導体を用いて、お よび4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒドまた

は相当するアルデヒド誘導体を用いて、実施例1と同様の操作に付し、常法 によって塩酸塩にすることにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例 $20(1):N-ベンジル-1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.67 (塩化メチレン:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.92-2.03 (m, 4H), 2.51 (m, 1H), 2.82-2.92 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.40-3.44 (m, 2H), 4.15 (s, 2H), 4.35 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.23-7.33 (m, 7H), 7.45 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

- NMR (CD₃OD): δ 0.94-1.00 (m, 2H), 1.14-1.30 (m, 4H), 1.60-1.80 (m, 6H), 1.99-2.17 (m, 5H), 3.08-3.16 (m, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 3.92 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.18 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.56 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o
- 実施例20(3):4-[4-({4-[(ベンジルアミノ)カルボニル] -1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩 TLC:Rf 0.26(塩化メチレン:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.90-2.08 (m, 4H), 2.56 (m, 1H), 2.99-3.07 (m, 2H), 3.48-3.53 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 4.36 (s, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.16 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.21-7.34 (m, 5H), 7.54 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 8.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例20(4):4-[4-({4-[(ブチルアミノ)カルボニル]-1ーピペリジニル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩 TLC:Rf 0.20(塩化メチレン:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD):δ 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.28-1.53 (m, 4H), 1.95-2.00 (m, 4H), 2.51 (m, 1H), 3.06-3.20 (m, 4H), 3.51-3.53 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.17 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.55 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 8.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

実施例 $20(5):4-\{4-[(4-\{[(シクロヘキシルメチル)) アミノ] カルボニル<math>\}$ -1-ピペリジニル) メチル] フェノキシ $\}$ 安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.21 (塩化メチレン:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.87 (m, 2H), 1.19 -1.31 (m, 3H), 1.46 (m, 1H), 1.64-1.73 (m, 5H), 1.90-2.06 (m, 4H), 2.52 (m, 1H), 3.00-3.09 (m, 4H), 3.53-3.58 (m, 2H), 4.33 (s, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.18 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.56 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

20

実施例 $2\ 0\ (6): N-(シクロヘキシルメチル) -4-ヒドロキシ-1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4$ -ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.36 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.82-1.02 (m, 2H), 1.12-1.36 (m, 4H), 1.49 (m, 1H), 1.60-1.88 (m, 6H), 2.31 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.04 (brt, J = 6.6 Hz, 2H), 3.22-3.45 (m, 4H),

4.32 (s, 2H), 6.98-7.01 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9. 0 Hz, 2H), 7.50 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 8.09 (m, 1H).

実施例20(7):N-(シクロヘキシルメチル)-4-メトキシー1-(45 - {4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.50 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.04 (m, 2H), 1.18-1.40 (m, 4H), 1.50 (m, 1H), 1.60-1.90 (m, 6H), 2.30 (m, 2H), 2.91 (s, 3H), 3.04 (m, 2H), 3.20 -3.52 (m, 7H), 4.33 (s, 2H), 7.02-7.18 (m, 4H), 7.45 (brt, J = 9.0 Hz, 2H), 7.5 3 (brt, J = 8.7 Hz, 2H), 8.08 (m, 1H)_o

実施例 $20(8): N-[4-(4-{[4-(シクロヘキシルカルボニル) -1-ピペラジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.89 (クロロホルム: メタノール= 5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.18-1.56 (m, 5H), 1.64-1.85 (m, 5H), 2.65 (m, 1H), 2.95 (m, 3H), 2.90-3.20 (m, 3H), 3.32-3.58 (m, 3H), 4.28 (m, 1H), 4.35 (s, 2H), 4.67 (m, 1H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.5 2 (brd, J = 8.7 Hz 2H) $_{\circ}$

20

15

実施例 $2\ 0\ (9): N-[4-(4-(4-(5)) ロヘキシルアセチル) -1-ピペラジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.85 (クロロホルム:メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.06 (m, 2H), 1.08-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 6H), 2.31 (brd, J = 6.0 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.86-3.18 (m, 3H), 3.36-3.60 (m, 3H), 4.21 (m,

1H), 4.35 (s, 2H), 4.69 (m, 1H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.51 $(brd, J = 8.7 Hz, 2H)_{\circ}$

実施例20(10):N-(シクロヘキシルメチル)-4-メチル-1-(4- {4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピ 5 ペリジンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.67 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.00 (m, 2H), 1.12-1.32 (m, 4H), 1.49 (m, 1H), 1.62-1.80 (m, 6H), 2.22-2.34 (m, 2H), 2.95 (s, 6H), 2.96-3.08 (m, 2H), 3.24-3.38 (m, 4H), 4.22 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 7.46 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 10 $7.81 (m, 1H)_{\circ}$

実施例20(11):4-ブトキシ-N-(シクロヘキシルメチル)-1-(4- {4- [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4

ーピペリジンカルボキサミド・塩酸塩 15

TLC:Rf 0.87 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 0.82-1.04 (m, 2H), 1.10-1.58 (m, 7H), 1.58-1.78 (m, 6H), 2.06-2.24 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.05 (t, J = 3.0 Hz, 2H), 3.08-3.44(m, 6H), 4.32 (s, 2H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50(brd, J = 8.7 Hz, 2H)Hz, 2H), 8.00 (m, 1H).

20

実施例20(12):N-シクロヘキシル-4-(4-{4-[(メチルス ルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-1-ピペラジンカルボキサミ ド・塩酸塩

TLC:Rf 0.77 (クロロホルム:メタノール=5:1);25 NMR (CD₃OD): δ 1.08-1.44 (m, 5H), 1.58-1.92 (m, 5H), 2.95 (s, 3H), 2.95-3.60

(m, 9H), 4.31 (s, 2H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 7.49 (brd, J = 8.4 Hz, 2H).

実施例20(13):N-ベンジル-4-(4-{4-[(メチルスルホニ5 ル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-1-ピペラジンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.73 (DDDTNA: XDJ-N=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.95 (s, 3H), 3.22 (m, 4H), 3.70 (m, 4H), 4.28 (s, 2H), 4.35 (s, 2H), 7.00-7.08 (m, 4H), 7.18-7.36 (m, 7H), 7.44-7.56 (m, 2H)_o

TLC:Rf 0.73 (クロロホルム:メタノール=5:1);

15 NMR (CD₃OD): δ 2.95 (s, 3H), 3.10-3.42 (m, 8H), 4.29 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 5H), 7.21-7.40 (m, 6H), 7.49 (brd, J = 8.4 Hz, 2H).

実施例 $20(15):N-[4-(4-{[4-(シクロヘキシルアセチル)}-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミ$

20 ド・塩酸塩

25

10

TLC:Rf 0.59 (DDDTNA: XDD-N=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.02 (m, 2H), 1.08-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.04-2.20 (m, 2H), 2.41 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.72 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.05 (m, 2H), 3.48 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 7.00 -7.10 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (brd, J = 9.0 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例20(16): N-(4-{4-[(4-ヒドロキシ-1-ピペリジ ニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.38(塩化メチレン:メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 1.71-2.16 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.53 (m, 4H), 4.08 (m, 5 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 9,0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

実施例 $20(17):1-(4-\{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ\}ベンジル)-4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩$

- TLC:Rf 0.36 (塩化メチレン:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.83-2.21 (m, 4H), 2.54 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.98-3.06 (m, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。
- 15 実施例20(18):ベンジル 1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジンカルボキシレート・塩酸塩

TLC:Rf 0.36 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.85-1.94 (m, 2H), 2.06-2.12 (m, 2H), 2.60-2.78 (m, 3H), 2.94 (s, 3H), 3.20-3.25 (m, 2H), 3.99 (s, 2H), 5.14 (s, 2H), 6.99-7.02 (m, 4H), 7.27 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.32-7.36 (m, 5H), 7.40 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $20(19):t-ブチル 1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニルカルバメート$

25 TLC:Rf 0.35 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.42 (s, 9H), 1.42-1.53 (m, 2H), 1.81-1.85 (m, 2H), 2.07-2.14

(m, 2H), 2.83-2.87 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.30-3.36 (m, 1H), 3.49 (s, 2H), 6.93 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 6.97 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.24 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例20(20): N- {4-[4-(1-ピペリジニルメチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 T L C: R f 0.34 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.48-1.97 (m, 6H), 2.90-2.99 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.42-3.46 (m, 2H), 4.25 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例 $20(21): N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミ ノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4-$ ピペリジニル] -2-テトラヒドロ-2 H-ピラン-4-イルアセトアミド・塩酸塩

- T L C: R f 0.17 (酢酸エチル:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.20-1.40 (m, 2H), 1.54-1.64 (m, 2H), 1.67-1.84 (m, 2H), 1.88-2.21 (m, 5H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.18 (m, 2H), 3.30-3.46 (m, 2H), 3.46-3.56 (m, 2H), 3.85-3.97 (m, 3H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例20(22):1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-N-(テトラヒドロ-2H-ピラン-4-イルメチル)-4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩TLC:Rf 0.18(酢酸エチル:メタノール=5:1);

20

NMR (CD₃OD): δ 1.18-1.32 (m, 2H), 1.56-1.64 (m, 2H), 1.73 (m, 1H), 1.84-2.10 (m, 4H), 2.53 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.96-3.11 (m, 4H), 3.28-3.42 (m, 2H), 3.49-3.58

(m, 2H), 3.87-3.96 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例20(23):4-メチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスル 5 ホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]ベンゼンス ルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.65 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.56-1.76 (m, 2H), 1.84-2.04 (m, 2H), 2.41 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00 (m, 1H), 3.14-3.45 (m, 4H), 4.20 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 4H), 7.22-7.34 (m, 2H), 7.38-7.52 (m, 4H), 7.72-7.80 (m, 2H)_o

実施例20(24):N-{[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) ア ミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジニル] カルボニル} ベンゼンスルホンアミド・塩酸塩

15 TLC:Rf 0.44(クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.68-1.86 (m, 2H), 1.92-2.10 (m, 2H), 2.53 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.90-3.04 (m, 2H), 3.42-3.54 (m, 2H), 4.26 (s, 2H), 6.98-7.06 (m, 4H), 7.22-7.36 (m, 2H), 7.40-7.50 (m, 2H), 7.52-7.62 (m, 2H), 7.6 8 (m, 1H), 8.00 (brd, J = 7.5 Hz, 2H)。

20

実施例 $20(25): N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4- \mathbb{C}^{2}$ ペリジニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.78 (クロロホルム:メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 1.70-1.92 (m, 2H), 2.08-2.26 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.98 (s, 3H), 3.00-3.18 (m, 2H), 3.28 -3.46 (m, 2H), 3.54 (m, 1H), 4.22 (s, 2H), 6.98 -7.10 (m,

4H), 7.26-7.34 (m, 2H), 7.42-7.56 (m, 2H).

実施例 $20(26):4-[(シクロヘキシルカルボニル)アミノ]-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジンカルボン酸・塩酸塩$

TLC:Rf 0.20 (クロロホルム:メタノール:酢酸=20:4:1); NMR (CD₃OD): δ 1.18-1.48 (m, 6H), 1.63-1.86 (m, 4H), 2.16-2.42 (m, 5H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.14 (m, 2H), 3.26-3.41 (m, 2H), 4.23 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.28 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.47 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)。

10

5

実施例20(27): 4-シクロヘキシル $-N-[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4-$ ピペリジニル] ブタンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.58 (メタノール:塩化メチレン=1:8);

- NMR (CD₃OD): δ 0.80-0.96 (m, 2H), 1.12-1.30 (m, 6H), 1.54-1.84 (m, 9H), 2.00-2.18 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.14 (m, 2H), 3. 46-3.56 (m, 2H), 3.89 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o
- 実施例20(28):3-シクロヘキシル-N-[1-(4-{4-[(メ チルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]プ ロパンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.52 (メタノール:塩化メチレン=1:8);

NMR (CD₃OD): δ 0.83-0.98 (m, 2H), 1.12-1.53 (m, 4H), 1.48 (dd, J = 6.6, 15.0

25 Hz, 2H), 1.60-1.78 (m, 7H), 2.04-2.24 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.24 (m, 2H), 3.35-3.58 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J =

8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 $20(29): N-[1-({1-[4-(アミノスルホニル)] フェニル] -3,5-ジメチルー1 Hーピラゾールー4ーイル} メチル) -4-ピペリジニル] -2-シクロヘキシルアセトアミド・2塩酸塩 TLC:Rf <math>0.30$ (塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, 30) 1.00-1.00 (m, 2H), 3.00-1.00 (m,

15 酸塩

20

5

10

TLC:Rf 0.46 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 8H), 1.60-1.90 (m, 13H), 2.05 (d, J = 7.2 Hz, 2H) 2.10-2.30 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.44 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 3H), 3.60-3.70 (m, 2H), 3.93 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.71 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例 $20(31):2-シクロヘキシル-N-[1-({1-[4-({[2-(ジメチルアミノ) エチル] アミノ} スルホニル) フェニル] <math>-3,5-$ ジメチル-1 Hーピラゾール-4-イル $\}$ メチル) -4-ピペリジニル] ア

25 セトアミド・3塩酸塩

TLC:Rf 0.08 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H) 2.10-2.30 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.47 (s, 3H), 2.95 (s, 6H), 3.10-3.20 (m, 6H), 3.60-3.70 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.78 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 8.07 (d, J = 8.9 Hz, 2H).

5

実施例20(32):2ーシクロヘキシルーNー[1ー({3,5ージメチルー1ー[4ー({[2-(4ーモルホリニル)エチル]アミノ}スルホニル)フェニル]ー1Hーピラゾールー4ーイル}メチル)ー4ーピペリジニル]アセトアミド・3塩酸塩

TLC: Rf 0.39 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 7.2 Hz, 2H) 2.10-2.30 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.46 (s, 3H), 3.10-3.40 (m, 8H), 3.50-3.70 (m, 4H), 3.80-3.90 (m, 3H), 4.10-4.20 (m, 2H), 4.26 (s, 2H), 7.77 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。

15

- 実施例20(33):2ーシクロヘキシルーNー $\{1-[(1-\{4-[(ジ$ $メチルアミノ)スルホニル]フェニル\}-3,5-ジメチルー1Hーピラゾ$ $ールー4ーイル)メチル]ー4ーピペリジニル<math>\}$ アセトアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.53(塩化メチレン:メタノール=10:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H) 2.10-2.30 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.46 (s, 3H), 2.74 (s, 6H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.60-3.70 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.76-7.80 (m, 2H), 7.94-7.97 (m, 2H)_o
- 25 実施例20(34):2ーシクロヘキシルーNー(1ー{[1ー(4ー{[(2 ーヒドロキシエチル) (メチル) アミノ] スルホニル} フェニル) -3, 5

ージメチルー1Hーピラゾールー4ーイル]メチル}ー4ーピペリジニル) アセトアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H) 2.10-2.30 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.45 (s, 3H), 2.87 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.19 (t, J = 5.9 Hz, 2H), 3.60-3.80 (m, 2H), 3.69 (t, J = 5.9 Hz, 2H), 3.93 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.75 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.99 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例20(35):2-シクロヘキシル-N-{1-[(1-{4-[(ジ エチルアミノ) スルホニル] フェニル}-3,5-ジメチル-1H-ピラゾ ールー4ーイル)メチル]ー4ーピペリジニル}アセトアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.53(塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.15 (t, J=7.1 Hz, 6H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.75 (m, 6H), 1.75-1.90 (m, 2H), 2.05 (d, J=7.2 Hz, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.45 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 4H), 3.60-3.80 (m, 2H), 3.94 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.73 (d, J=8.6 Hz, 2H), 7.99 (d, J=8.6 Hz, 2H)。

実施例20(36):2-シクロヘキシル-N-[1-({3,5-ジメチル-1-[4-(4-モルホリニルスルホニル)フェニル]-1Hーピラゾールー4ーイル}メチル)-4ーピペリジニル]アセトアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.50(塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.75 (m, 6H), 1.75-1.90 (m, 2H), 2.06 (d, J=7.2 Hz, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.48 (s, 3H), 3.02 (t, J=4.7 Hz, 4H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.60-3.80 (m, 2H), 3.71 (t, J=4.7 Hz, 4H), 3.94 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.80 (d, J=8.6 Hz, 2H), 7.95 (d, J=8.6 Hz, 2H) 。

実施例 $20(37):2-シクロヘキシル-N-{1-[(3,5-ジメチル-1-{4-[(4-メチル-1-ピペラジニル) スルホニル] フェニル} ー1Hーピラゾールー4ーイル) メチル<math>]-4-ピペリジニル}$ アセトアミド・2 塩酸塩

TLC: Rf 0.48 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 6H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.06 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.48 (s, 3H), 2.80-3.00 (m, 2H), 2.90 (s, 3H), 3.10-3.40 (m, 4H), 3.50-3.80 (m, 4H), 3.90-4.10 (m, 3H), 4.27 (s, 2H), 7.84 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 8.01 (d, J = 8.6 Hz, 2H)。

10

20

- 実施例20(38):エチル [4-(4-[4-(4-(4-(5))] + 2)] + 2) [4-(4-(4-(4-(5)) 3,5-ジメチル) アミノ] -1- 2 [20] アセテート・3 塩酸塩
- TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.30 (t, J = 7.1 Hz, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.49 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.40-4.00 (m, 11H), 4.22 (s, 2H), 4.27 (s, 2H), 4.29 (q, J = 7.2 Hz, 2H), 7.84 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 8.02 (d, J = 8.6 Hz, 2H)。
 - 実施例 $20(39):2-シクロヘキシル-N-{1-[(3,5-ジメチル-1-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェニル}-1H-ピラゾル-4-イル)メチル]-4-ピペリジニル}アセトアミド・<math>2$ 塩酸塩 TLC:Rf0.45(塩化メチレン:メタノール=10:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.90 (m, 8H), 2.05 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.36 (s, 3H), 2.37 (s, 3H), 3.03 (s, 3H),

3.10-3.20 (m, 2H), 3.60-3.70 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 7.39-7.46 (m, 4H) o

実施例20(40):2-シクロヘキシルーNー[1-(4-{2,6-ジ メチルー4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4 ーピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

5

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.03 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.07 (s, 6H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.97 (s, 3H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 6.84 (d, J = 3.9 Hz, 2H), 7.04 (s, 2H), 7.45 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例 $20(41): \mathbb{N}-(1-\{4-\{4-\{7\}\}\ 2)\}$ フェノキシ] ベンジル $\}$ -4-ピペリジニル) -2-シクロヘキシルアセトアミド・塩酸塩

- TLC:Rf 0.33 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.04 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.92 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 7.11-7.19 (m, 4H), 7.58-7.62 (m, 2H), 7.88-7.93 (m, 2H)。
- 実施例20(42):2-シクロヘキシル-N-(1-{4-[4-(メチルスルホニル)フェノキシ]ベンジル}-4-ピペリジニル)アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.05 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.12 (s, 3H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.91 (m, 1H), 4.33 (s, 2H), 7.19-7.23 (m, 4H), 7.59 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.95 (d, J

 $= 8.6 \text{ Hz}, 2\text{H})_{\circ}$

5

実施例20(43):2-シクロヘキシル-N-[1-({4'-[(メチルスルホニル)アミノ]-1,1'-ビフェニル-3-イル}メチル)-4-ピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.38 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.02 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.99 (s, 3H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.37 (s, 2H), 7.35 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.45-7.60 (m, 2H), 7.67 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.70-7.80 (m, 2H).

実施例 $2\ 0\ (4\ 4\): 2$ ーシクロヘキシルーN ー N ー

TLC:Rf 0.60 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.03 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.47 (s, 3H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.99 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.5 Hz, 2H) 7.32 (d, J = 8.5 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.5 Hz, 2H)。

20

実施例 $20(45):N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]プロパンアミド・塩酸塩$

TLC: Rf 0.34 (塩化メチレン: メタノール=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.20-1.70 (m, 4H), 1.80-2.10 (m, 2H), 2.20-2.50 (m, 2H), 2.35 (q, J = 7.6 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H),

3.00-3.40 (m, 4H), 3.40-3.60 (m, 2H), 4.11 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.9 Hz, 2H) 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.9 Hz, 2H)_o

実施例20(46):N-ベンジル-N-[1-(4-{4-[(メチルス 5 ルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]プロパン アミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.44 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.08 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.37 (q, J = 7.5 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 2H), 4.22 (s, 2H), 4.40 (m, 1H), 4.61 (s, 2H), 7.00-7.05 (m, 4H), 7.22-7.46 (m, 7H), 7.45 (d, J = 8.4 Hz, 2H)_o

15 ニル] プロパンアミド・塩酸塩

20

TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.07 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.42 (q, J = 7.4 Hz, 2H), 2.40-2.60 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.34 (s, 3H), 3.40-3.60 (m, 4H), 4.05 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.01-7.06 (m, 4H), 7.28-7.31 (m, 2H), 7.51-7.56 (m, 2H) $_{\circ}$

TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.10 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.19 (t, J = 6.0 Hz, 2H), 1.60-1.80 (m,

2H), 1.80-2.40 (m, 6H), 2.41 (q, J = 7.4 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 4H), 3.80 (m, 1H), 4.05 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (t, J = 8.7 Hz, 2H), 7.05 (t, J = 7.4 Hz, 2H), 7.29 (t, J = 7.4 Hz, 2H), 7.50 (t, J = 8.7 Hz, 2H)°.

Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例20(50):4-(アセチルアミノ)-N-(シクロヘキシルメチル)-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩
TLC:Rf 0.39(クロロホルム:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.00 (m, 2H), 1.08-1.32 (m, 4H), 1.48 (m, 1H), 1.60-1.78
(m, 4H), 2.05 (brs, 3H), 2.10-2.50 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.00 (t, J = 6.3 Hz, 2H), 3.04-3.50 (m, 4H), 4.30 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 4H), 7.28 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例20(51):4-[4-({4-[(シクロヘキシルアセチル)ア 25 ミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル メタンスルホ ネート・塩酸塩

TLC: Rf 0.50 (塩化メチレン: メタノール=10:1);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.20-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.04 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.23 (s, 3H), 3.40-3.60 (m, 2H), 3.91 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.08-7.14 (m, 4H), 7.34 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.6 Hz, 2H).

TLC: Rf 0.43 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.30-0.40 (m, 2H), 0.60-0.70 (m, 2H), 0.95 (m, 1H), 1.10 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.40-2.60 (m, 2H), 2.43 (q, J = 7.2 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.22 (d, J = 6.3 Hz, 2H), 3.45-3.60 (m, 2H), 4.00 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.27-7.32 (m, 2H), 7.50 (t, J = 8.1 Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.64(塩化メチレン:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.89-0.97 (m, 2H), 1.18-1.41 (m, 7H), 1.60-1.74 (m, 4H), 1.87-2.04 (m, 4H), 2.47 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.95-3.04 (m, 2H), 3.16-3.21 (m, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

ド・塩酸塩

5

15

25

TLC: Rf 0.21 (DDDTNA: ADJ-N=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.04 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.80 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.16 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.22 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.58 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.74 (d, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例 $20(55):N-[2-(エチルスルファニル)エチル]-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピ$

10 ペリジンカルボキサミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.30 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.23 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.88-2.08 (m, 4H), 2.46-2.67 (m, 5H), 2.94-3.07 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.37 (t, J = 7.0 Hz, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 9.0 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例 $20(56):2-シクロヘキシル-N-[1-(4-{2-メトキシ-4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩$

TLC: Rf 0.30 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.03
(d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.99 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 2H), 3.72 (s, 3H), 3.89 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 6.83-6.94 (m, 3H), 6.99-7.05 (m, 2H), 7.39-7.45 (m, 2H)。

実施例20(57):2-シクロヘキシル-N-[1-(4-{3-「(メ

チルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.30 (クロロホルム:メタノール=10:1);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.10 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 3H), 1.60-1.80 (m, 8H), 2.04 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.79 (dd, J = 7.5, 2.4 Hz, 1H), 6.95-7.01 (m, 2H), 7.08-7.11 (m, 2H), 7.31-7.34 (m, 1H), 7.51-7.54 (m, 2H) $_{\circ}$

TLC: Rf 0.72 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.82-1.44 (m, 8H), 1.60-1.85 (m, 6H), 2.30-2.42 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.95-3.65 (m, 5H), 4.10-5.15 (m, 4H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.24-7.38 (m, 2H), 7.52 (brd, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例20(59):1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジニル シクロヘキシルカルバメート・塩酸塩

- T L C: R f 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.06-1.42 (m, 6H), 1.54-1.92 (m, 6H), 1.95-2.17 (m, 2H), 2.26 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.58 (m, 5H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (dd, J = 4.2, 8.7Hz, 2H)。
- 25 実施例20(60):(2R,3R)-3-シクロヘキシルー3-ヒドロキシー2-($\{[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキ$

シ} ベンジル) - 4 - ピペリジニル] カルボニル} アミノ) プロパン酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.23 (塩化メチレン:メタノール=8:2);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 1.00-1.34 (m, 5H), 1.48 (m, 1H), 1.58-1.80 (m, 4H), 1.83-2.11 (m, 5H), 2.58 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 2.87-3.00 (m, 2H), 3.40-3.49 (m, 2H), 3.51 (t, J = 6.0Hz, 1H), 4.18 (s, 2H), 4.39 (d, J = 6.0Hz, 1H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.46 (d, J = 8.7Hz, 2H).

TLC:Rf 0.32 (DDDTNLA: XDJ-N=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.10 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 5H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.60-2.00 (m, 8H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.32 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 6.80 (m, 1H), 6.95 (m, 1H), 7.00 (m, 1H), 7.08 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.33 (t, J = 8.1 Hz, 1H), 7.55-7.61 (m, 2H) $_{\circ}$

実施例 2 0 (6 2): 4 - [4 - ({4 - [ブチル (ヘキサノイル) アミノ] - 1 - ピペリジニル} メチル) フェノキシ] 安息香酸・塩酸塩 T L C: R f 0.34 (クロロホルム: メタノール= 1 0: 1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 3H), 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 6H), 1.50-1.70 (m, 4H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 4H), 3.00-3.20 (m, 4H), 3.50-3.70 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.17 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.56 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 8.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

実施例20(63): 4-[4-({4-[ベンジル(ヘキサノイル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩TLC:Rf 0.40(クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.86 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.20-1.50 (m, 4H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.88-1.95 (m, 2H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 4.45 (m, 1H), 4.62 (s, 2H), 7.03-7.07 (m, 2H), 7.13-7.37 (m, 7H), 7.52 (d, J=8.4 Hz, 2H), 8.01-8.04 (m, 2H)。

5

20

25

実施例20(64): Nーブチルー2ーシクロヘキシルーNー[1-(4-10 {2-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ー4ーピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩
TLC: Rf 0.50(クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 5H), 1.40-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H),

2.98 (s, 3H), 3.00-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.98 (m, 1H), 7.12 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.18-7.21 (m, 2H), 7.52-7.54 (m, 3H).

T L C: R f 0.77 (酢酸エチル:メタノール= 1 0: 1); NMR (CD₃OD): δ 0.90 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.21-1.36 (m, 2H), 1.42-1.58 (m, 2H), 1.88-2.00 (m, 2H), 2.09-2.34 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.14 (m, 2H), 3.17-3.28 (m, 2H), 3.43-3.58 (m, 2H), 3.93 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 5.12 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 7H), 7.47 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.75 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.90-2.01 (m, 2H), 2.09-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.12 (m, 2H), 3.44-3.55 (m, 2H), 3.89 (d, J = 5.5Hz, 2H), 4.03 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 5.09-5.21 (m, 2H), 5.13 (s, 2H), 5.83 (ddd, J = 22.5, 10.2, 5.4Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.25-7.38 (m, 7H), 7.47(d, J = 8.7Hz, 2H)_o
- 10 実施例20(67):ベンジル 2ーブチニル [1ー(4ー {4ー [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル)ー4ーピペリジニル]カルバメート・塩酸塩

TLC:Rf 0.76 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.75 (t, J = 2.1Hz, 3H), 1.95-2.08 (m, 2H), 2.18-2.36 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.47-3.57 (m, 2H), 4.03 (d, J = 2.1Hz, 2H), 4.07 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 5.16 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.25-7.41 (m, 7H), 7.47 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

実施例 $20(68):N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-(1-{3-20})$ [(メチルスルホニル) アミノ] $-4-フェノキシベンジル} -4-ピペリジニル) アセトアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.48 (クロロホルム:メタノール:酢酸=20:2:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H), 1.50-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.04 (s, 3H), 3.05-3.30 (m, 4H), 3.50-3.70 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.89 (d, J = 8.4 Hz, 1H), 7.10 (d, J = 7.5 Hz, 2H), 7.20-7.29 (m, 2H), 7.40-7.46 (m, 2H),

25

 $7.68 (d, J = 2.1 Hz, 1H)_{\circ}$

実施例 $20(69):N-ブチル-2-シクロヘキシル-N-\{1-[4-(4-1)] + (4-1) +$

5 塩酸塩

T L C: R f 0.54 (クロロホルム: メタノール: 酢酸= 20:2:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H), 1.50-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.22 (d, J = 6.6 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.34 (s, 2H), 7.16 (d, J = 9.1 Hz, 2H), 7.24 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.63 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 8.27 (d, J = 9.1 Hz, 2H)。

実施例20(70):4-[4-({4-[ブチル(シクロヘキシルアセチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル メタンスルホネート・塩酸塩

15 TLC: Rf 0.79 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H),
1.40-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H),
3.00-3.20 (m, 4H), 3.23 (s, 3H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.11 (d, J = 9.0 Hz, 4H), 7.35 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

20

10

実施例 20 (71): N-ブチルー2-シクロヘキシルーN- [1-(4-{2-メチルー4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.44 (クロロホルム:メタノール=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H), 1.40-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.16 (s, 3H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H),

2.30-2.40 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 6.91-6.98 (m, 3H), 7.13 (dd, J = 8.6, 2.6 Hz, 1H), 7.20 (m, 1H), 7.44-7.49 (m, 2H).

実施例 2 0 (7 3): NーブチルーNー[1-(4-{2-クロロー4-[(メ チルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4ーピペリジニル] -2ーシクロヘキシルアセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.60 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 5H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.60-2.00 (m, 8H), 2.21 (d, J = 6.6 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.01 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.99 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.13 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 7.24 (dd, J = 9.0, 2.6 Hz, 1H), 7.43 (d, J = 2.6 Hz, 1H), 7.48-7.52 (m, 2H)。

実施例20(74):(2R)-2-シクロヘキシル-2-ヒドロキシ-N25 $-[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アセトアミド・塩酸塩$

TLC: Rf 0.48 (酢酸エチル: メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.06-1.38 (m, 5H), 1.45-1.94 (m, 8H), 2.05-2.16 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.17 (m, 2H), 3.48-3.57 (m, 2H), 3.79 (d, J = 4.0Hz, 1H), 3.96 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例20(75): (2S) -2-シクロヘキシル-2-ヒドロキシ-N $-[1-(4-[4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4-$ ピペリジニル] アセトアミド・塩酸塩

10 T L C: R f 0.48 (酢酸エチル: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.06-1.38 (m, 5H), 1.45-1.94 (m, 8H), 2.05-2.16 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.17 (m, 2H), 3.48-3.57 (m, 2H), 3.79 (d, J = 4.0Hz, 1H), 3.96 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7H z, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

15

5

実施例 20(76):メチル $2-[4-({4-[ブチル (シクロヘキシルアセチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]-5-[(メチルスルホニル)アミノ]ベンゾエート・塩酸塩$

TLC:Rf 0.50 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90-1.00 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H), 1.50-1.60 (m, 2H), 1.65-1.80 (m, 6H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.00 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.74 (s, 3H), 4.10 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 6.98 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.10 (d, J = 8.7 Hz, 1H), 7.45-7.52 (m, 3H), 7.79 (d, J = 3.0 Hz, 1H) $_{\circ}$

25

実施例20(77):2-[4-({4-[ブチル(シクロヘキシルアセチ

ル) アミノ] -1-ピペリジニル} メチル) フェノキシ] -5-[(メチルスルホニル) アミノ] 安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.40 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

5

25

NMR (CD₃OD): δ 0.95-1.05 (m, 2H), 0.97 (t, J = 7.3 Hz, 3H), 1.10-1.40 (m, 5H), 1.50-1.80 (m, 8H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.21 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 3.01 (s, 3H), 3.05-3.25 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 6.95 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.09 (d, J = 8.7 Hz, 1H), 7.46-7.51 (m, 3H), 7.83 (d, J = 2.7 Hz, 1H)_o

実施例20(78): (2R) -N-ブチル-2-シクロヘキシル-2-ヒドロキシ-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ}ベンジル) -4-ピペリジニル] アセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.55(塩化メチレン:メタノール=9:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.90-2.58 (m, 22H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.35 (m, 4H), 3.50-3.60
 (m, 2H), 3.94-4.17 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.45-7.54 (m, 2H)。

実施例 2 0 (7 9): (2 S) -N-ブチル-2-シクロヘキシル-2-ヒドロキシ-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノ キシ} ベンジル) -4-ピペリジニル] アセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.55 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90-2.58 (m, 22H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.35 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.94-4.17 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.45-7.54 (m, 2H)。

実施例20(80): (3,4-トランス)-N-(シクロヘキシルメチル)

-3 - メチルー1 - 1

TLC:Rf 0.40 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.84-1.04 (m, 2H), 0.93 (d, J = 6.0 Hz, 3H), 1.14-1.34 (m, 4H), 1.48 (m, 1H), 1.60-1.80 (m, 4H), 1.88-2.04 (m, 2H), 2.06-2.18 (m, 2H), 2.72 (m, 1H), 2.88-3.12 (m, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.22-3. 60 (m, 2H), 4.28 (brs, 2H), 7.00-7.18 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例 2 0 (8 1): (3, 4-シス) -N-(シクロヘキシルメチル) -10 3-メチルー1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジンカルボキサミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.25 (クロロホルム:メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.82-1.06 (m, 2H), 1.00 (d, J = 6.9 Hz, 3H), 1.13-1.34 (m, 4H), 1.46 (m, 1H), 1.62-1.80 (m, 4H), 1.92-2.24 (m, 3H), 2.55 (m, 1H), 2.90-3.12 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.13-3.62 (m, 4H), 4.29 (brs, 2H), 6.98-7.10 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.51 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例 $20(82):N-(シクロヘキシルメチル)-1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-3-アゼチジンカルボ$

TLC:Rf 0.73 (クロロホルム:メタノール=5:1);

キサミド・塩酸塩

20

25

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.02 (m, 2H), 1.19-1.35 (m, 4H), 1.49 (m, 1H), 1.60-1.80 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.06 (m, 2H), 3.61 (m, 1H), 4.12 -4.32 (m, 4H), 4.39 (s, 2H), 6.98-7.06 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.4 5 (brd, J = 8. 7 Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例20(83): (1R, 3s, 5S) - N-(シクロヘキシルメチル)

 $-8-(4-\{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル)$ -8-アザビシクロ <math>[3.2.1] オクタン-3-カルボキサミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.53 (クロロホルム: メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.85-1.04 (m, 2H), 1.20-1.36 (m, 4H), 1.46 (m, 1H), 1.60-1.78 (m, 4H), 1.85-1.90 (m, 2H), 2.08-2.16 (m, 4H), 2.38-2.50 (m, 2H), 2.88 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.00 (d, J = 6.9 Hz, 2H), 3.96 (m, 2H), 4.16 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.24-7.32 (m, 2H), 7.53 (brd, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$
- 10 実施例20(84):(3aR,5s,6aS)-N-(シクロヘキシルメチル)-2-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)オクタヒドロシクロペンタ[c]ピロール-5-カルボキサミド・塩酸塩

15 TLC:Rf 0.55 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.02 (m, 2H), 1.04-1.36 (m, 3H), 1.46 (m, 1H), 1.60-2.18 (m, 9H), 2.76-3.04 (m, 7H), 2.95 (s, 3H), 3.60-3.78 (m, 2H), 4.35 (s, 2H), 7.00-7.19 (m, 4H), 7.24-7.32 (m, 2H), 7.42-7.58 (m, 2H)。

実施例20(85): (3aR,5r,6aS) -N-(シクロヘキシルメチル) -2-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) オクタヒドロシクロペンタ [c] ピロールー5-カルボキサミド・塩酸塩

5

TLC: Rf 0.39 (0口口ホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.00 (m, 2H), 1.10-1.36 (m, 3H), 1.42 (m, 1H), 1.60-1.82 (m, 6H), 2.18 (m, 1H), 2.24-2.38 (m, 2H), 2.78-3.40 (m, 9H), 2.95 (s, 3H), 4.30 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.22-7.38 (m, 2H), 7.42-7.5 8 (m, 2H)_o

10

15

実施例21(1)~(11)

N-(tープトキシカルボニル)ーLーシクロヘキシルアラニンまたは相当するカルボン酸誘導体を、4-(4-メチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒドの代わりに相当するアルデヒド誘導体を、そしてn-ブチルアミンまたは相当するアミン誘導体を用いて、実施例 $14\rightarrow$ 実施例 $15\rightarrow$ 実施例 16 と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

TLC: Rf 0.73 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.82-2.42 (m, 24H), 2.80-3.12 (m, 2H), 3.56-3.70 (m, 2H), 3.79 (m, 1H), 4.02-4.16 (m, 4H), 5.12-5.38 (m, 1H), 7.20-7.62 (m, 10H)_o

5

TLC:Rf 0.73 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.08 (m, 5H), 1.10-1.42 (m, 6H), 1.42-2.38 (m, 14H), 2.78-3.08 (m, 3H), 3.44-3.60 (m, 2H), 3.62-4.14 (m, 3H), 4.26 (brs, 2H), 7.00-7.06 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.38-7.52 (m, 4H)_o

TLC: Rf 0.62 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.86-2.48 (m, 23H), 2.81-3.08 (m, 3H), 3.27 (m, 1H), 3.45-3.58 (m, 2H), 3.64-4.00 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.25 (brs, 2H), 7.00-7.07 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.28-7.52 (m, 4H)_o

TLC: Rf 0.65 (クロロホルム: メタノール=5:1);

5 NMR (CD₃OD): δ 0.78-2.30 (m, 12H), 2.52-3.96 (m, 9H), 4.14-4.28 (m, 2H), 4.38 (m, 1H), 6.98-7.52 (m, 14H)_o

10 ジオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.65 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.78-1.00 (m, 3H), 1.00-2.38 (m, 20H), 2.78-3.08 (m, 3H), 3.48-4.04 (m, 5H), 4.26 (m, 2H), 6.98-7.10 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.39-7.54 (m, 4H).

実施例21(6):(3S)-1-ブチル-3-(ヒドロキシメチル)-6-[1-(4-フェノキシベンジル)-4-ピペリジニル]-2,5-ピペラジンジオン・塩酸塩

TLC:Rf 0.46 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.76-1.01 (m, 3H), 1.22-1.42 (m, 2H), 1.44-1.72 (m, 3H),

20 1.86-2.38 (m, 4H), 2.80-3.08 (m, 3H), 3.44-3.60 (m, 2H), 3.64-4.12 (m, 5H), 4.26 (brs, 2H), 6.96-7.10 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.36-7.52 (m, 4H).

実施例21(7):(3S)-1-ブチル-3-(シクロヘキシルメチル) -6-{1-[(3,5-ジメチル-1-フェニル-1H-ピラゾール-4 -イル)メチル]-4-ピペリジニル}-2,5-ピペラジンジオン・塩酸塩

TLC: Rf 0.68 (DDDTMLA: ADJML=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.86-1.08 (m, 5H), 1.16-2.12 (m, 20H), 2.39 (m, 6H), 2.78-3.16 (m, 3H), 3.56-3.70 (m, 2H), 3.76-4.14 (m, 3H), 4.24 (brs, 2H), 7.47-7.56 (m, 5H).

5

- 10 TLC:Rf 0.67 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.90-2.14 (m, 23H), 2.32-2.40 (m, 6H), 2.80-3.14 (m, 3H), 3.28 (m, 1H), 3.56-3.68 (m, 2H), 3.68-4.00 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.24 (brs, 2H), 7.42-7.60 (m, 5H)。
- 実施例21(9):(3S)-3-ベンジル-1-ブチル-6-{1-[(3,5-ジメチル-1-フェニル-1H-ピラゾール-4-イル)メチル]-4-ピペリジニル}-2,5-ピペラジンジオン・塩酸塩TLC:Rf 0.74(クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.78-2.40 (m, 12H), 2.32-2.40 (m, 6H), 2.32-3.95 (m, 8H),
 4.12-4.44 (m, 4H), 7.10-7.28 (m, 5H), 7.40-7.61 (m, 5H)。
 - 実施例21(10): (3S) -1-ブチル-3-シクロヘキシル-6-{1 [(3,5-ジメチル-1-フェニル-1H-ピラゾール-4-イル)メチル] -4-ピペリジニル} -2,5-ピペラジンジオン・塩酸塩
- 25 TLC: Rf 0.74 (クロロホルム: メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.00 (m, 3H), 1.02-2.22 (m, 20H), 2.32-2.40 (m, 6H),

2.80-3.18 (m, 3H), 3.58-4.08 (m, 5H), 4.24 (brs, 2H), 7.40-7.60 (m, 5H)_o

実施例 2 1 (11) : (3S) - 1 - ブチル - 3 - (シクロヘキシルメチル) -6 - [1 - (4 - フェノキシベンジル) - 4 - ピペリジニル] - 2 - ピペラジノン・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.82 (クロロホルム:メタノール=5:1);

5

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 0.85-1.10 (m, 2H), 1.16-1.42 (m, 6H), 1.46-2.10 (m, 13H), 2.21 (m, 1H), 2.81 (m, 1H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.34-3.72 (m, 5H), 3.92-4.08 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.18 (m, 1H), 7.36-7.44 (m, 2H), 7.54 (brd, J = 8.4 Hz, 2H).

実施例22:N-{4-[4-(4-(1E)-2-シクロヘキシルーN-エトキシエタンイミドイル]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩およびN-{4-[4-(4-(4-(1Z)-2-シクロヘキシル-N-エトキシエタンイミドイル]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩の混合物

実施例 5 (15)で製造した化合物の代わりに実施例 20 (15)で製造した化合物を用いて、実施例 19と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

5 TLC: Rf 0.67, 0.73 (クロロホルム:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.84-1.06 (m, 2H), 1.08-1.36 (m, 4H), 1.18 (t, J = 7.2 Hz, 3H),
1.58-2.18 (m, 9H), 2.23 (d, J = 7.2 Hz, 2H), 2.42 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.02 (m, 2H),
3.38-3.56 (m, 2H), 4.00 (q, J = 7.2 Hz, 2H), 4 .26 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H),
7.22-7.36 (m, 2H), 7.47 (brd, J = 8.4 Hz, 2H)。

10

実施例 $2 3: N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチルシクロへ キシル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

実施例3で製造した化合物(117 mg)のN,N-ジメチルホルムアミド(3 mL) - トリエチルアミン(0.1 mL)溶液に、 $1-メチルシクロヘキサンカルボン酸(50 mg)、ジフェニルホスホリルアジド(0.077 mL)を加え、<math>80 \, ^{\circ}\! ^{\circ}\!$

10 TLC:Rf 0.60 (酢酸エチル);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.60 (m, 12H), 1.32 (s, 3H), 1.87-2.07 (m, 6H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.15 (m, 4H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H).

15

20

5

<u>実施例23(1)~(151)</u>

実施例3で製造した化合物または相当するアミン誘導体を用いて、1-メチルシクロヘキサンカルボン酸または相当するカルボン酸誘導体を用いて、実施例23と同様の操作に付し、必要に応じて常法により加水分解または脱保護を行うことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例23(1):3-[({[1-(4-{4-[(メチルスルホニル)

アミノ] フェノキシ} ベンジル) - 4 - ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] 安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.75 (n-ブタノール:酢酸:水=4:2:1);

5

20

25

NMR (CD₃OD): δ 1.70-1.96 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.07-3.20 (m, 2H), 3.46-3.60 (m, 2H), 3.84 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.30 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.35 (t, J = 7.8 Hz, 1H), 7.51 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.59-7.66 (m, 2H), 8.04 (s, 1H)_o

実施例 $23(2):N-(4-\{4-\{4-\{7チル[(7チルアミノ) カルボニル]アミノ\}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.51 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J = 6.9 Hz, 3H), 0.94 (t, J = 6.9 Hz, 3H), 1.40-1.26 (m, 4H), 1.56-1.42 (m, 4H), 1.95-1.83 (m, 2H), 2.20-2.02(m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.17-3.05 (m, 6H), 3.60-3.50(m, 2H), 4. 13 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03(d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o

実施例 $2\ 3\ (3)\ : N-(4-\{4-\{4-\{7チル [(t-7チルアミ / 1) カルボニル] アミノ\} -1-ピペリジニル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC: Rf 0.65 (酢酸エチル: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.33 (s, 9H), 1.40-1.25 (m, 2H), 1.58-1.44 (m, 2H), 1.92-1.83 (m, 2H), 2.10-1.97 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.15-3.02 (m, 4H), 3.58-3.50 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$

TLC:Rf 0.62 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.95-1.10 (m, 18H), 2.20-2.02 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.18-3.02 (m, 4H), 3.60-3.50 (m, 3H), 4.18 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H).
- 10 実施例23(5):N-(4-{4-[(4-{ベンジル[(ブチルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.84-0.95 (m, 3H), 1.14-1.50 (m, 4H), 1.86-2.09 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.12 (m, 2H), 3.13 (t, J = 6.9 Hz, 2H), 3.44-3.52 (m, 2H), 4.24 (s, 2H), 4.35 (m, 1H), 4.46 (s, 2H), 7.02 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.20-7.35 (m, 7H), 7.46 (d, J = 9.0 Hz, 2H).

実施例23(6):N-(4-{4-[(4-{ベンジル [(シクロヘキシ 20 ルアミノ)カルボニル]アミノ}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.70 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.02-1.40 (m, 6H), 1.52-2.08 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.13 (m, 2H), 3.44-3.60 (m, 3H), 4.22 (s, 2H), 4.39 (m, 1H), 4.43 (s, 2H), 7.02 (d, J = 9.0

25 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.20-7.36 (m, 7H), 7.46 (d, J = 9.0 Hz, 2H).

TLC:Rf 0.42 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.02-1.13(m, 3H), 1.84-2.08 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.12 (m, 2H), 3.15-3.21(m, 2H), 3.42-3.52 (m, 2H), 4.23 (s, 2H), 4.32 (m, 1H), 4.46 (s, 2H), 7.01 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.20-7.34 (m, 7H), 7.46 (d, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$
- 実施例23(8): N-{4-[4-(4-(4-[(シクロヘキシルアミノ)カルボニル](2-メトキシエチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC: Rf 0.55(酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 1.12-1.44(m, 6H), 1.54-2.13 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.28-3.40 (m, 2H), 3.37 (s, 3H), 3.42-3.58 (m, 5H), 4.13 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7 Hz, 2H)。

実施例 2 3 (9): 4-[({[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] 安息香酸・塩酸塩 TLC: Rf 0.30 (塩化メチレン: メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 1.71-1.82 (m, 2H), 2.21-2.26 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 2.99-3.17 (m, 2H), 3.52-3.57 (m, 2H), 3.84 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.03-7.08 (m, 4H), 7.30 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.91 (d, J = 8.6 Hz, 2H)

2H)。

実施例 $23(10): N-[4-(4-{[4-(2,4-ジオキソ-1,4-ジヒドロ-3(2H)-キナゾリニル)-1-ピペリジニル]メチル}$ フェノキシ)フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

5 TLC: Rf 0.62 (酢酸エチル:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.93-1.97 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.96-3.30 (m, 4H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 5.19 (m, 1H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.13 (m, 1H), 7.22 (m, 1H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.63 (m, 1H), 8.02 (m, 1H)。

10

実施例 2 3 (11) : $N-\{4-[4-(4-(7-10))]$ (7-10) (

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.30-1.45 (m, 2H), 1.54-1.66 (m, 2H), 1.94-2.04 (m, 2H), 2.14-2.32 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.18 (m, 2H), 3.24-3.34 (m, 2H), 3.51-3.63 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.23-7.34 (m, 7H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$
- 20 実施例 2 3 (1 2): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フェニルエチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.75 (酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.90 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.20-1.46 (m, 4H), 1.84-1.93 (m, 2H), 2.00-2.18 (m, 2H), 2.79 (t, J=7.2Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.99-3.12 (m, 4H), 3.39 (t, J=7.2Hz, 2H), 3.48-3.57 (m, 2H), 4.06 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H),

7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.13-7.27 (m, 5H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例23 (13): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[4-フルオ 5 ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.78 (酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.5Hz, 3H), 1.33-1.44 (m, 2H), 1.55-1.66 (m, 2H), 1.94-2.02 (m, 2H), 2.14-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.14 (m, 2H), 3.22-3.32 (m, 2H), 3.52-3.62 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.97-7.08 (m, 6H), 7.27-7.33 (m, 4H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例 2 3 (1 4): N-[4-(4-{[4-(プチル {[4-(プチル {[(2,5-ジ メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチ ル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.79 (酢酸エチル: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.34-1.48 (m, 2H), 1.60-1.71 (m, 2H), 1.95-2.04 (m, 2H), 2.14-2.30 (m, 2H), 2.16 (s, 3H), 2.27 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.16 (m, 2H), 3.24-3.34 (m, 2H), 3.52-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.91-7.10 (m, 7H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例 $2 \ 3 \ (1 \ 5) : N - [4 - (4 - {[4 - (ベンジル {[(4 - フル オロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>- 1 -$ ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.82 (酢酸エチル:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.94-2.20 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.44-3.55

(m, 2H), 4.25 (s, 2H), 4.36 (m, 1H), 4.64 (s, 2H), 6.97 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.24-7.41 (m, 9H), 7.46 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 2 3 (16): N- {4-[4-(4-[4-[4-[4-[4-[4-]]]]]] (2-メトキシエチル) アミノ] カルボニル (2-メトキシエチル) アミノ] -1-ピペリジニル メチル) フェノキシ] フェニル メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.50 (酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.08 (m, 2H), 2.10-2.26 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.18 (m, 2H), 3.47 (s, 3H), 3.44-3.64 (m, 6H), 4.14 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.98-7.06 (m, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.22-7.28 (m, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例 2 3 (17): N- {4-[4-(4-(4-[ブチル({13-(メチルスルファニル) フェニル] アミノ} カルボニル) アミノ] -1-ピペリジ ルスルファニル) フェニル] アミノ カルボニル) アミノ] -1-ピペリジ ニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.73 (酢酸エチル: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.33-1.46 (m, 2H), 1.54-1.66 (m, 2H), 1.93-2.04 (m, 2H), 2.14-2.24 (m, 2H), 2.46 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.18 (m, 2H), 3.24-3.34 (m, 2H), 3.48-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.76 (m, 1H), 7.00-7.22 (m, 7H), 7.30 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例23(18): N-{4-[4-(4-[ベンジル({[3-(メ チルスルファニル)フェニル]アミノ}カルボニル)アミノ]-1-ピペリ ジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.76(酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 1.90-2.02 (m, 2H), 2.04-2.20 (m, 2H), 2.43 (s, 3H), 2.95 (s,

3H), 3.00-3.15 (m, 2H), 3.42-3.54 (m, 2H), 4.23(s, 2H), 4.36 (m, 1H), 4.66 (s, 2H), 6.92 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.15 (d, J = 7.8Hz, 2H), 7.25-7.39 (m, 9H), 7.45 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

- 実施例23(19): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-クロロー6ーメチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1ーピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.77(酢酸エチル:メタノール=5:1);
 NMR(CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.34-1.48 (m, 2H), 1.65-1.75 (m, 2H), 1.96-2.06 (m, 2H), 2.16-2.32 (m, 2H), 2.26 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.16 (m, 2H), 3.26-3.34 (m, 2H), 3.51-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.14-7.21 (m, 2H), 7.28-7.31 (m,3H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。
- | 実施例23(20): N-(4-{4-{4-{7チル[(メシチルアミノ)カルボニル]アミノ}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩
 | TLC: Rf 0.77 (酢酸エチル:メタノール=5:1);
 | NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.34-1.46 (m, 2H), 1.61-1.73 (m, 2H), 1.94-2.04 (m, 2H), 2.13-2.30 (m, 2H), 2.15 (s, 6H), 2.23 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.16 (m, 2H), 3.24-3.32 (m, 2H), 3.52-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.87 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7Hz, 2H)。
- 25 実施例23(21):N-{4-[4-(4-[4-[{[(3-アセチルフェ ニル)アミノ]カルボニル}(ブチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチ

ル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 T L C: R f 0.79(酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.33-1.45 (m, 2H), 1.55-1.68 (m, 2H), 1.96-2.06 (m, 2H), 2.15-2.32 (m, 2H), 2.58 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.19 (m, 2H), 3.25-3.35 (m, 2H), 3.53-3.62 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.41 (t, J = 8.0Hz, 1H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.62 (ddd, J = 8.0, 2.1, 1.2Hz, 1H), 7.68 (ddd, J = 8.0, 1.5, 1.2Hz, 1H), 8.00 (m, 1H)。

5

実施例23(22): N-{4-[4-(4-(4-[(ベンジルアミノ)カルボニル](ブチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC: Rf 0.73(酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 0.94(t, J=7.2Hz, 3H), 1.26-1.40(m, 2H), 1.47-1.60(m, 2H), 1.87-1.98(m, 2H), 2.06-2.21(m, 2H), 2.95(s, 3H), 3.02-3.18(m, 4H), 3.49-3.59(m, 2H), 4.15(m, 1H), 4.27(s, 2H) 4.36(s, 2H), 7.03(d, J=8.7Hz, 2H), 7.06(J=8.7Hz, 2H), 7.23-7.31(m, 7H), 7.49(d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例23(23): N-{4-[4-(4-(1-アダマンチルア 20 ミノ)カルボニル](3-ヒドロキシブチル)アミノ]-1-ピペリジニル} メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.66(酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 1.18 (d, J = 6.3 Hz, 3H), 1.38-1.50 (m, 2H), 1.64-1.80 (m, 7H), 1.80-1.94 (m, 2H), 1.95-2.12 (m, 10H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.54 (m, 4H), 3.48-3.57 (m, 25 2H), 3.74 (m, 1H), 4.12 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23(24): $N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-シクロ へキシルエチル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル 1 フェノキシ) フェニル 1 メタンスルホンアミド・塩酸塩

- 5 TLC: Rf 0.52 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.85-1.02 (m, 2H), 1.13-1.58 (m, 10H), 1.61-1.80 (m, 5H), 1.83-1.95 (m, 2H), 2.03-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.13 (m, 6H), 3.48-3.58 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例23(25):N-[4-(4-{[4-({[(2-シクロヘキシルエチル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.24 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

10

- NMR (CD₃OD): δ 0.85-1.00 (m, 2H), 1.10-1.40 (m, 7H), 1.60-1.78 (m, 6H), 2.08-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.18 (m, 4H), 3.45-3.55 (m, 2H), 3.72 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$
- 実施例 2 3 (2 6): N- {4-[4-(4-(4-[4-(2-シクロヘキシルエチル) アミノ] カルボニル} (メチル) アミノ] -1-ピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.29 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.84-1.00 (m, 2H), 1.15-1.44 (m, 7H), 1.60-1.78 (m, 6H), 1.97-2.13 (m, 2H), 2.74 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.20 (m, 4H), 3.51-3.60 (m, 2H), 4.28 (s, 2H),4.30(m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J

= 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例23(27): N-{4-[4-(4-(4-[4-(4-(2-シクロヘキシルエチル)アミノ]カルボニル}(エチル)アミノ]ー1ーピペリジニル} メチル)アミノ]カルボニル}(エチル)アミノ]ー1ーピペリジニル} メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.57 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.84-1.01 (m, 2H), 1.12 (t, J=6.9Hz, 3H), 1.08-1.45 (m, 6H), 1.58-1.80 (m, 5H), 1.85-1.94 (m, 2H), 1.97-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 6H), 3.48-3.59 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.5Hz, 3H), 0.82-1.00 (m, 2H), 1.15-1.40 (m, 6H), 1.42-1.80 (m, 6H), 1.80-2.20 (m, 5H), 2.95 (s, 3H), 2.98-3.22 (m, 6H), 3.42-3.58 (m, 2H), 4.12 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

20

TLC:Rf 0.64 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.85-1.00 (m, 2H), 1.08-1.40 (m, 6H), 1.60-1.80 (m, 5H),

1.87-2.18 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.18 (m, 2H), 3.15 (t, J = 6.2Hz, 2H), 3.29-3.38 (m, 2H), 3.36 (s, 3H), 3.45-3.57 (m, 4H), 4.08 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H) \circ

実施例23(30): N-[4-(4-{[4-(ベンジル {[(2-シクロヘキシルエチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.73 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.78-0.93 (m, 2H), 1.02-1.33 (m, 6H), 1.56-1.70 (m, 5H), 1.85-2.03 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 2.98-3.20 (m, 4H), 3.42-3.53 (m, 2H), 4.23 (s, 2H), 4.36 (m, 1H), 4.45 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.15-7.38 (m, 7H), 7.45 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.83-1.12 (m, 4H), 1.15-1.41 (m, 10H), 1.52-1.80 (m, 10H), 1.87-1.95 (m, 2H), 2.18-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 4H), 3.17 (t, J = 6.2Hz, 2H), 3.48-3.57 (m, 2H), 3.91 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

実施例23(32):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(シクロヘキ 25 シルメチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.82-1.05 (m, 2H), 1.14-1.42 (m, 5H), 1.43-1.58 (m, 3H), 1.62-1.81 (m, 5H), 1.85-1.98 (m, 2H), 1.99-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.99 (d, J = 6.9Hz, 2H), 3 .02-3.17 (m, 4H), 3.48-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

10 キシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

15

25

TLC:Rf 0.48 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.83-1.02 (m, 2H), 1.12-1.33 (m, 4H), 1.58-1.80 (m, 6H), 2.03 (m, 1H), 2.09-2.11 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.50-3.58 (m, 2H), 3.72 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

TLC:Rf 0.52 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.81-1.00 (m, 2H), 1.13-1.32 (m, 4H), 1.48 (m, 1H), 1.60-1.90 (m, 6H), 1.93-2.12 (m, 2H), 2.75 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 2.98 (d, J = 6.9Hz, 2H), 3.04-3.19 (m, 2H), 3.49-3.60 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 4.33 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23 (35): N- {4-[4-({4-[{(シクロヘキシルメ

チル) アミノ] カルボニル} (エチル) アミノ] -1-ピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.55 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.83-0.99 (m, 2H), 1.14 (t, J = 6.9Hz, 3H), 1.08-1.32 (m, 2H), 1.47 (m, 1H), 1.60-1.79 (m, 6H), 1.86-1.95 (m, 2H), 2.00-2.17 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.98 (dd, J = 7.2, 2.0Hz, 2H), 3.02-3.25 (m, 4H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.22 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

- 実施例23 (37): N- {4-[4-(4-[4-(5](2) クロヘキシルメチル) アミノ] カルボニル} (2-メトキシエチル) アミノ] -1-ピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.57 (酢酸エチル: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.85-1.00 (m, 2H), 1.15-1.35 (m, 3H), 1.43 (m, 1H), 1.63-1.80 (m, 5H), 1.88-2.18 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 2.95 (d, J = 6.6Hz, 2H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.25-3.38 (m, 2H), 3.36 (s, 3H), 3.46-3.58 (m, 4H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03

 $(d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_{\circ}$

実施例23 (38): N-[4-(4-{[4-(ベンジル {[(シクロへ キシルメチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 070 (酢酸エチル: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.72-0.85 (m, 2H), 1.08-1.40 (m, 4H), 1.50-1.79 (m, 5H), 1.90-2.08 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 2.96 (d, J = 6.9Hz, 2H), 3.02-3.17 (m, 2H), 3.44-3.56 (m, 2H), 4.24 (s, 2H), 4.38 (m, 1H), 4.46 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.20-7.38 (m, 7H), 7.46 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23 (39): N-[4-(4-{[4-(シクロヘキシルメチル) {[(シクロヘキシルメチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリ [(シクロヘキシルメチル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリ ジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.72 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.82-1.05 (m, 4H), 1.13-1.35 (m, 6H), 1.46 (m, 1H), 1.60-1.85 (m, 11H), 1.87-1.98 (m, 2H), 2.15-2.31 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.98 (d, J = 6.6Hz, 2H), 2.94-3.13 (m, 4H), 3.50-3.59 (m, 2H), 3.89 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例 $2 \ 3 \ (4 \ 0) : N - \{4 - [4 - [4 - [(シクロヘキシルアミノ) カルボニル] (エチル) アミノ] - 1 - ピペリジニル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.44 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.12 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.07-1.43 (m, 5H), 1.59-1.96 (m, 7H),

1.97-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.26 (m, 4H), 3.48-3.61 (m, 3H), 4.21 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

5 実施例23(41):N-{4-[4-(4-(アニリノカルボニル) (エチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.56 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

7H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

20

NMR (CD₃OD): δ 1.23 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.94-2.04 (m, 2H), 2.10-2.29 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.19 (m, 2H), 3.38 (q, J = 7.0Hz, 2H), 3.52-3.61 (m, 2H), 4.25 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.25 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24-7.38 (m, 2H), 7.24-

実施例 $2 \ 3 \ (4 \ 2) : N - \{4 - [4 - [4 - [4 - [(ベンジルアミノ)カ 15 ルボニル] (エチル) アミノ] - 1 - ピペリジニル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド。塩酸塩

TLC:Rf 0.52 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.16 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.89-1.97 (m, 2H), 2.02-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.25 (q, J = 7.0Hz, 2H), 3.50-3.58 (m, 2H), 4.21 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 4.36 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H),

実施例23(43): $N-[4-(4-{[4-(エチル {[(2-フェニルエチル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル} フ

25 ェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

7.18-7.30 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

TLC:Rf 0.67 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.06 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.84-1.93 (m, 2H), 1.98-2.15 (m, 2H), 2.79 (t, J = 7.5Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.20 (m, 4H), 3.38 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.50-3.59 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.12-7.33 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

5

実施例23 (44): N-(4-{4-[(4-{エチル [(エチルアミノ)カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.20 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.09 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.13 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.85-1.95 (m, 2H), 1.98-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.24 (m, 6H), 3.50-3.59 (m, 2H), 4.21 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例23(45):N-{4-[4-(4-(4-(1-ブチルアミノ)カルボニル](エチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.41(酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR(CD₃OD): δ 1.13 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.33 (s, 9H), 1.82-1.93 (m, 2H),
 1.95-2.11 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.18 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.49-3.59 (m, 2H), 4.22 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H),

実施例23(46):N-{4-[4-(4-[(ブチルアミノ)カル 25 ボニル] (エチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フ ェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)

TLC:Rf 0.37 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.13 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.26-1.40 (m, 2H), 1.42-1.54 (m, 2H), 1.85-1.96 (m, 2H), 1.98-2.15 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.24 (m, 6H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.21 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例 $2 \ 3 \ (4 \ 7) : N - \{4 - [4 - (4 - [(シクロヘキシルアミノ) カルボニル] (プロピル) アミノ] - 1 - ピペリジニル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

- TLC: Rf 0.67 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.13-1.41 (m, 5H), 1.48-1.67 (m, 3H), 1.71-1.92 (m, 6H), 2.03-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.14 (m, 4H), 3.50-3.59 (m, 3H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例23(48):N-{4-[4-(4-[(アニリノカルボニル)(プロピル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.73 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.59-1.72 (m, 2H), 1.95-2.06 (m, 2H), 2.15-2.31 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.18 (m, 2H), 3.22-3.32 (m, 2H), 3.52-3.61 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.23-7.37 (m, 7H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_ο

フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

15

25

TLC:Rf 0.74 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.50-1.66 (m, 2H), 1.87-1.98 (m, 2H), 2.04-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 4.36 (s, 2H), 7.0 3 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.15 -7.32 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

10 ル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.72 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.85 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.38-1.51 (m, 2H), 1.84-1.93 (m, 2H), 2.00-2.19 (m, 2H), 2.75-2.82 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.94-3.15 (m, 4H), 3.33-3.41 (m, 2H), 3.48-3.58 (m, 2H), 4.11 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.13-7.31 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 $2 \ 3 \ (5 \ 1) : \mathbb{N} - \{4 - [4 - (4 - [(x + y) + y)]) カルボニル] (プロピル) アミノ] - 1 - ピペリジニル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.56 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.0 Hz, 3H), 1.09 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.46-1.60 (m, 2H), 1.86-1.95 (m, 2H), 2.03-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.22 (m, 6H), 3.50-3.59 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23 (52): $N-{4-[4-(4-[(t-ブチルアミノ)$

カルボニル] (プロピル) アミノ] -1-ピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.68 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.32 (s, 9H), 1.47-1.61 (m, 2H), 1.84-1.94 (m, 2H), 1.95-2.11 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.15 (m, 4H), 3.50-3.57 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.0 3 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例23(53):N-{4-[4-(4-[(ブチルアミノ)カル10 ボニル](プロピル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.74(酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 0.92 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.27-1.39 (m, 2H), 1.41-1.59 (m, 4H), 1.85-1.96 (m, 2H), 2.03-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.22 (m, 6H), 3.50-3.58 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $23(54):N-(4-\{4-[(4-\{ブチル[(ペンチルアミノ)カルボニル]アミノ\}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ<math>\}$ フェ

TLC:Rf 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

ニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

20

25

NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.23-1.41 (m, 6H), 1.44-1.58 (m, 4H), 1.86-1.95 (m, 2H), 2.03-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.17 (m, 6H), 3.48-3.58 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- 5 NMR (CD₃OD): δ 0.86 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.10-1.50 (m, 6H), 1.88-2.09 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.17 (m, 2H), 3.13 (t, J = 7.0Hz, 2H), 3.44-3.52 (m, 2H), 4.24 (s, 2H), 4.35 (m, 1H), 4.46 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.20-7.36 (m, 7H), 7.45 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例23(56): N-(4-{4-{4-{(2-メトキシエチル)}
 [(ペンチルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]
 フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩
 TLC: Rf 0.29 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J=7.0 Hz, 3H), 1.22-1.38 (m, 4H), 1.41-1.54 (m, 2H),
 1.87-2.19 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.16 (m, 2H), 3.11 (t, J=7.0Hz, 2H), 3.28-3.38 (m, 2H), 3.36 (s, 3H), 3.45-3.58 (m, 4H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例 2 3 (5 7): N-(4-{4-{4-{7チル [(イソプロピル アミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル] フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩 T L C: R f 0.65 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.13 (d, J=6.6Hz, 6H), 1.28-1.40 (m, 2H), 1.43-1.57 (m, 2H), 1.85-1.96 (m, 2H), 2.02-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.15 (m, 4H), 3.48-3.58 (m, 2H), 3.91 (m, 1H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7Hz, 2H) 。

実施例 $2 \ 3 \ (5 \ 8) : N - (4 - \{4 - \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 - \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 - \{(4 + \{(4 + \{(4 + (4 ((4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + \{(4 + ((4))))))((4 + (((((4 + (((((() (((() (((() ((($

- 5 TLC: Rf 0.70 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.05 (d, J = 6.6Hz, 6H), 1.86-2.10 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.44-3.53 (m, 2H), 3.91 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 4.35 (m, 1H), 4.47 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.0 4 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.21-7.39 (m, 7H), 7.46 (d,
- 実施例 $23(59):N-\{4-[4-(4-[(ブチルアミノ)カルボニル](2-メトキシエチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル<math>\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩
 - TLC:Rf 0.33 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

 $J = 8.7Hz, 2H)_{\circ}$

10

- NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.26-1.51 (m, 4H), 1.87-1.98 (m, 2H), 2.00-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.16 (m, 2H), 3.12 (t, J = 7.0Hz, 2H), 3.28-3.37 (m, 2H), 3.36 (s, 3H), 3.45-3.58 (m, 4H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H) \circ
- 20 実施例23(60):N-[4-(4-{[4-({[(2-メトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.39 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.66-1.73 (m, 2H), 2.22-2.26 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.17 (m, 2H), 3.51-3.55 (m, 2H), 3.80 (m, 1H), 3.86 (s, 3H), 4.29 (s, 2H), 6.86 (m, 1H), 6.94 (m, 2H), 7.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2

2H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.96 (m, 1H).

実施例 $23(61):N-[4-(4-{[4-({[4-({[4-({[13-メトキシフェ$

5 キシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.30 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.67-1.79 (m, 2H), 2.20-2.24 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.08-3.16 (m, 2H), 3.51-3.55 (m, 2H), 3.75 (s, 3H), 3.81 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.56 (m, 1H), 6.82 (m, 1H), 7.02-7.16 (m, 6H), 7.30 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H)_o

10

TLC:Rf 0.25 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (d₆-DMSO): δ 1.66-1.75 (m, 2H), 1.99-2.23 (m, 2H), 2.97 (s, 3H), 2.97-3.05 (m, 2H), 3.31-3.35 (m, 2H), 3.64 (m, 1H), 3.67 (s, 3H), 4.22 (d, J = 4.8 Hz, 2H), 6.38 (br-d, J = 7.2 Hz, 1H), 6.79 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.03 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.25 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.26 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.55 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 8.24 (s, 1H), 9.70 (s, 1H).

20

TLC:Rf 0.25 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 1.06-1.41 (m, 5H), 1.53-1.88 (m, 6H), 2.01 (m, 1H), 2.09-2.18 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.12 (m, 2H), 3.40-3.55 (m, 3H), 3.72 (m, 1H), 4.27 (s,

2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.0 5 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H),

実施例23(64):N-{4-[4-(4-[(アニリノカルボニル)5 アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.26 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.64-1.89 (m, 2H), 2.10-2.25 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.25 (m, 2H), 3.36-3.57 (m, 2H), 3.85 (m, 1 H), 4.29 (s, 2H), 6.97 (t, J = 7.5Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.20-7.38 (m, 6H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

TLC:Rf 0.46 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

15

20

25

NMR (CD₃OD): δ 0.42-0.50 (m, 2H), 0.62-0.71 (m, 2H), 0.93 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.23-1.37 (m, 2H), 1.41-1.53 (m, 2H), 1.84-1.96 (m, 2H), 2.04-2.23 (m, 2H), 2.51 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.49-3.59 (m, 2H), 4.09 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

実施例23(66):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(シクロブチルアミノ)カルボニル]アミノ}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.58(酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95(t, J = 7.2Hz, 3H), 1.26-1.41 (m, 2H), 1.44-1.56 (m, 2H), 1.60-1.73 (m, 2H), 1.84-2.30 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.48-3.59 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.20 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

5

TLC:Rf 0.60 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.25-1.76 (m, 10H), 1.85-1.98 (m, 4H), 2.02-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.16 (m, 4H), 3.48-3.59 (m, 2H), 4.03 (m, 1H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.0 3 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例23(68): N-(4-{4-{4-{7チル [(テトラヒドロー2H-ピランー4ーイルアミノ)カルボニル]アミノ}ー1ーピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf0.31(酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR(CD₃OD): δ 0.95(t, J=7.2Hz, 3H), 1.26-1.64(m, 6H), 1.72-1.95(m, 4H), 2.03-2.21(m, 2H), 2.95(s, 3H), 3.02-3.17(m, 4H), 3.38-3.59(m, 4H), 3.78(m, 1H), 3.86-3.96(m, 2H), 4.13(m, 1H), 4.28(s, 2H), 7.03(d, J=8.7Hz, 2H), 7.06(d, J=8.7Hz, 2H), 7.29(d, J=8.7Hz, 2H), 7.49(d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例23(69): $N-(4-\{4-\{4-\{7チル[(シクロヘプチ25 ルアミノ)カルボニル]アミノ\}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ} <math>\dot{D}$ フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.67 (酢酸エチル:メタノール=10:1); $NMR (CD_3OD): \delta 0.94 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.26-1.72 (m, 14H), 1.78-1.94 (m, 4H),$

2.03-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.16 (m, 4H), 3.49-3.59 (m, 2H), 3.74 (m, 1H),

4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H)

5 J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)

15

実施例23(70):N- $\{4-[4-(4-(7-1)/3)/3)$ (ペンチル)アミノ]-1-ピペリジニル $\}$ メチル)フェノキシ $\}$ フェニル $\}$

- TLC:Rf 0.76 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.28-1.44 (m, 4H), 1.55-1.69 (m, 2H), 1.93-2.04 (m, 2H), 2.12-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.23-3.32 (m, 2H), 3.51-3.60 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.22-7.35 (m, 5H), 7.41 (d, J = 7.5Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例23(71):N-{4-[4-({4-[(シクロヘキシルアミノ)カルボニル] (ペンチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.78(酢酸エチル:メタノール=10:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.91 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.12-1.41 (m, 9H), 1.46-1.93 (m, 9H), 2.02-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.48-3.60 (m, 3H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$
- 25 実施例 $23(72):N-(4-\{4-[(4-\{F))\nu[(シクロヘキシ)\nu])$ ルアミノ)カルボニル]アミノ $\{-1-\nu\}$ カルボニル]フェノキシ $\{-1-\nu\}$

フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

20

25

TLC:Rf 0.74 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.08-1.42 (m, 6H), 1.55-2.12 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.16 (m, 2H), 3.47-3.59 (m, 3H), 3.81 (d, J = 5.0Hz, 2H), 4.27 (s, 2H), 4.32 (m, 1H), 5.18 (dd, J = 10.5, 1.5 Hz, 1H), 5.20 (dd J = 20.2, 1.5 Hz, 1H), 5.83 (ddd, J = 20.2, 10.5, 5.0 Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

TLC:Rf 0.75(酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.15-1.43 (m, 5H), 1.77 (t, J = 2.4Hz, 3H), 1.58-2.00 (m, 7H), 2.05-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.50-3.62 (m, 3H), 3.92 (d, J = 2.4Hz, 2H), 4.23 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例23 (74): N-(4-{4-[(4-{ブチル[(プロピルアミノ)カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.89 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.94 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.26-1.41 (m, 2H), 1.45-1.58 (m, 4H), 1.85-1.95 (m, 2H), 2.04-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.16 (m, 6H), 3.48-3.59 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

TLC:Rf 0.73 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- 5 NMR (CD₃OD): δ 0.89 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.92 (t, J = 7.0Hz, 3H), 1.23 -1.40 (m, 4H), 1.44-1.59 (m, 4H), 1.85-1.95 (m, 2H), 2.03-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.15 (m, 6H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4. 15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例23(76): N-{4-[4-(4-[(ブチルアミノ)カルボニル](ペンチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.75 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.91 (d, J=7.2Hz, 3H), 0.92 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.24-1.41 (m,
- 6H), 1.43-1.59 (m, 4H), 1.85-1.96 (m, 2H), 2.03-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.20 (m, 6H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4. 15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7. 06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例 2 3 (77): N- {4-[4-(4-(4-[(ブチルアミノ)カル 3.48-3.57 (m, 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例 23 (78): N-(4-{4-[(4-{ブチル [(ヘキシルアミノ)カルボニル] アミノ}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

- TLC:Rf 0.72 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.89 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.94 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.22-1.39 (m, 8H), 1.41-1.56 (m, 4H), 1.85-1.94 (m, 2H), 2.03-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.19 (m, 6H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例 $23(79):N-(4-\{4-[(4-\{ペンチル[(ペンチルアミノ)カルボニル]アミノ\}-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.71 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

10

- NMR (CD₃OD): δ 0.90 (t, J = 7.2Hz, 3H), 0.92 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.23 -1.40 (m, 8H), 1.44-1.60 (m, 4H), 1.86-1.95 (m, 2H), 2.03 -2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.20 (m, 6H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4. 15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o
- 実施例23(80): N-(4-{4-[(4-{ベンジル[(tーブチルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピベリジニル)メチル] フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.18 (s, 9H), 1.90-2.09 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.17 (m, 25 2H), 3.47-3.56 (m, 2H), 4.26 (s, 2H), 4.42 (s, 2H), 4.45 (m, 1H), 7.02 (d, J = 8.7Hz,

2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.2 3-7.39 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 $2 \ 3 \ (8 \ 1) : N - [4 - (4 - {[4 - ({[(2 - ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) - 1 - ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

5 TLC:Rf 0.53 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.65-1.77 (m, 2H), 2.20-2.25 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.07-3.15 (m, 2H), 3.50-3.55 (m, 2H), 3.81 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.72-6.85 (m, 3H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.69 (m, 1H).

10

実施例23(82): $N-[4-(4-\{[(3aR,6aS)-5-\{7$ チル[(シクロヘキシルアミノ)カルボニル]アミノ}ヘキサヒドロシクロペンタ [c]ピロールー2(1H)ーイル]メチル $\}$ フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

15

TLC: Rf 0.50 (DDDTML): XDDML 5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.88-1.00 (m, 3H), 1.14-1.84 (m, 16H), 2.00-2.22 (m, 2H), 2.70-3.79 (m, 9H), 2.95 (s, 3H), 4.08 (m, 1H), 4.35 (m, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.22-7.34 (m, 2H), 7.45-7.58 (m, 2H).

20

実施例23(83): $N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-メトキ · シェチル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル} フ

ェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.27 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.27-1.41 (m, 2H), 1.45-1.59 (m, 2H), 1.87-1.97 (m, 2H), 2.03-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.33 (s, 3H), 3.32-3.36 (m, 2H), 3.40-3.47 (m, 2H), 3.51-3.58 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4,28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_ο

実施例23(84): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[4-ヒドロ キシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ビベリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.64(クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97(t, J=7.5 Hz, 3H), 1.39 (m, 2H), 1.62 (m, 2H), 1.92 (m, 2H), 2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.18 (m, 2H), 3.25 (m, 2H), 3.52 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.68-6.78 (m, 2H), 7.00-7.10 (m, 6H), 7.24-7.34 (m, 2H), 7.49 (brd, J=8.4 Hz, 2H)。

実施例 $23(85): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロ キシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-ピペリジニル]$ メチル}

20 フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

25

TLC:Rf 0.64 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.39 (m, 2H), 1.60 (m, 2H), 1.98 (m, 2H), 2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.11 (m, 2H), 3.28 (m, 2H), 3.58 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.48 (m, 1H), 6.78 (m, 1H), 6.8 4 (m, 1H), 7.0 0 -7.12 (m, 5H), 7.22-7.40 (m, 2H), 7.50 (brd, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $23(86): N-[4-(4-{[4-({[4-ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-ピペリジニル]$ メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.44 (DDDTMLA: XDDML=5:1);

5 NMR (CD₃OD): δ 1.70 (m, 2H), 2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08 (m, 2H), 3.48 (m, 2H), 3.78 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 6.62-6.78 (m, 2H), 7.00-7.36 (m, 8H), 7.47 (brd, J = 8.4 Hz, 2H).

実施例 $23(87):N-[4-(4-{[4-({[4-({[-(3-ヒドロキシフ10 ェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.51 (DDDTMLA: XPJ-W=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.52 (m, 2H), 1.95 (m, 2H), 2.24 (m, 2H), 2.89 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.56 (s, 2H), 3.60 (m, 1H), 6.39 (m, 1H), 6.71 (m, 1H), 6.90 -7.08 (m, 5H), 7.18-7.38 (m, 5H)_o

実施例23 (88): $N-[4-(4-\{[4-(ブチル { [(4-メトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

- 20 TLC: Rf 0.71 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.26-1.44 (m, 2H), 1.52-1.80 (m, 6H),
 2.28 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.02 (m, 2H), 3.22 (m, 2H), 3.54 (s, 2H), 3.75 (s, 3H),
 4.04 (m, 1H), 6.80-6.88 (m, 2H), 6.90-7.02 (m, 4H), 7.18-7.38 (m, 6H)。
- 25 実施例23(89):N-{4-[4-(4-[ブチル({[4-(トリ フルオロメチル)フェニル]アミノ}カルボニル)アミノ]-1-ピペリジ

ニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 T L C: R f 0.78 (クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.32-1.50 (m, 2H), 1.53-1.68 (m, 2H), 1.94-2.06 (m, 2H), 2.08-2.34 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.12 (m, 2H), 3.32 (m, 2H), 3.58 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.22-7.38 (m, 2H), 7.42-7.60 (m, 6H)。

実施例23(90):N- $\{4-[4-(4-(7ミノカルボニル)(ブチル)アミノ]-1-ピペリジニル\}メチル)フェノキシ]フェニル}メタ$

10 ンスルホンアミド・塩酸塩

5

15

25

TLC:Rf 0.15 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.27-1.42 (m, 2H), 1.50-1.63 (m, 2H), 1.81-2.02 (m, 2H), 2.11-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.21 (m, 4H), 3.51-3.60 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 $2\ 3\ (9\ 1)$: $N-[4-(4-\{[4-(ブチル {[(4-ヒドロ キシシクロへキシル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.19 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.27-1.41 (m, 2H), 1.45-1.79 (m, 10H),
1.86-1.95 (m, 2H), 2.03-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.17 (m, 4H), 3.48-3.65 (m, 3H), 3.87 (m, 1H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23 (92): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオ

ロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.73(酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.32-1.48 (m, 2H), 1.58-1.72 (m, 2H), 1.95-2.06 (m, 2H), 2.14-2.33 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.25-3.35 (m, 2H), 3.52-3.61 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.10-7.18 (m, 3H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.45 (dt, J = 2.4, 7.2Hz, 1H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

5

- 実施例23 (93): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.73 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.33-1.46 (m, 2H), 1.54-1.67 (m, 2H), 1.93-2.06 (m, 2H), 2.15-2.32 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.18 (m, 2H), 3.26-3.35 (m, 2H), 3.52-3.62 (m, 2H), 4.18 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.74 (dt, J=2.4, 8.1Hz, 1H), 7.04 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.12 (d, J=4.0Hz, 1H), 7.20-7.31 (m, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.51 (d, J=8.7Hz, 2H)。
- 実施例23(94):N-(4-{4-{4-{7チル [(4-ピリジニルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.53(クロロホルム:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.40-3.50 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=

8.6 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 8.09 (d, J = 7.5 Hz, 2H), 8.47 (d, J = 7.5 Hz, 2H).

実施例23(95):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(3-ピリジニ ルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル) メチル] フェノキシ}フェニル) メタンスルホンアミド・2塩酸塩

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.70 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.95 (dd, J = 8.5, 2.4 Hz, 1H), 8.43 (d, J = 8.5 Hz, 1H), 8.61 (d, J = 8.5 Hz, 1H), 9.20 (d, J = 2.4 Hz, 1H)_o

実施例23(96):2-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル 15 ホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アミノ}カ ルボニル)アミノ]安息香酸・塩酸塩

TLC: Rf 0.36 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

20

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.35-1.51 (m, 2H), 1.60-1.72 (m, 2H), 1.92-2.04 (m, 2H), 2.16-2.35 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.11 (m, 2H), 3.23-3.35 (m, 2H), 3.52-3.63 (m, 2H), 4.22-4. 36 (m, 3H), 7.02 (t, J = 7.8Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (dt, J = 1.8, 7.8Hz, 1H), 7.54 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.05 (dd, J = 7.8, 1.8Hz, 1H), 8.42 (d, J = 7.8Hz, 1H).

TLC:Rf 0.30 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.30-1.44 (m, 2H), 1.53-1.64 (m, 2H), 1.90-2.03 (m, 2H), 2.20-2.38 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.19 (m, 2H), 3.25-3.36 (m, 2H), 3.49-3.59 (m, 2H), 4.23 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.36 (t, J = 7.8Hz, 1H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.60 (ddd, J = 7.8, 2.4, 1.8Hz, 1H), 7.69 (dt, J = 7.8, 2.4Hz, 1H), 8. 04 (t, J = 1.8Hz, 1H)_o

実施例23(98):4-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル 10 ホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アミノ}カ ルボニル)アミノ]安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.34 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.33-1.46 (m, 2H), 1.54-1.66 (m, 2H), 1.94-2.05 (m, 2H), 2.20-2.38 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.20 (m, 2H), 3.25-3.37 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.5Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.92 (d, J = 8.5Hz, 2H).

実施例23(99): [({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニ 20 ル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]アミノ}カルボ ニル)アミノ]酢酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.41 (塩化メチレン:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.27-1.41 (m, 2H), 1.48-1.62 (m, 2H), 1.84-1.95 (m, 2H), 2.08-2.26 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.98-3.18 (m, 4H), 3.44-3.53 (m, 2H), 3.80 (s, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

5 TLC: Rf 0.43 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.10-1.50 (m, 6H), 1.60-1.80 (m, 4H), 1.80-2.00 (m, 4H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.15 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.40-3.70 (m, 5H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

10

- NMR (CD₃OD): δ 1.10-1.40 (m, 6H), 1.40-1.70 (m, 5H), 1.70-2.00 (m, 6H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.59 (t, J = 6.0 Hz, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.8 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.8 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.8 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.8 Hz, 2H).
- 実施例23(102):N-{4-[4-(4-(54-[(シクロヘキシルアミノ)カルボニル](3-ヒドロキシブチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.43(塩化メチレン:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.10-1.50 (m, 6H), 1.17 (d, J = 6.3 Hz, 3H), 1.70-2.00 (m, 9H),
 2.00-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.70 (m, 1H),
 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J =

8.9 Hz, 2H).

TLC:Rf 0.44 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.10-2.20 (m, 16H), 2.99 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 4H), 3.40-3.60 (m, 4H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.01-7.08 (m, 4H), 7.28-7.31 (m, 2H), 7.48 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

10

5

実施例 $23(104):4-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル)-4-ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] ブタン酸・塩酸塩$

TLC:Rf 0.73 (塩化メチレン:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.28-1.41 (m, 2H), 1.44-1.59 (m, 2H), 1.74-1.85 (m, 2H), 1.87-1.97 (m, 2H), 2.03-2.20 (m, 2H), 2.31 (t, J = 6.9Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.20 (t, J = 6.9Hz, 2H), 3.50-3.58 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

20

実施例 $2 \ 3 \ (1 \ 0 \ 5) : N - [4 - (4 - {[4 - (ブチル {[(4 - クロロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) - 1 - ピペリジニル] メチル} ロフェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC: Rf 0.53 (DDDTNA: XDJ-N=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.55-1.60 (m, 2H), 1.95-2.00 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.01-7.08 (m, 4H), 7.23-7.40 (m, 6H), 7.51 (d, J = 8.4 Hz, 2H)_o

実施例23 (106): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-クロ ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.53 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.55-1.65 (m, 2H), 1.95-2.05 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.00-7.09 (m, 5H), 7.23-7.31 (m, 4H), 7.48-7.51 (m, 3H)。

実施例23 (107): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-クロロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} 15 フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.53 (グロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.10 (m, 4H), 7.14 (dd, J=7.5, 1.5 Hz, 1H), 7.27-7.31 (m, 3H), 7.42 (dd, J=7.5, 1.5 Hz, 1H), 7.50 (d, J=8.4 Hz, 2H), 7.63 (dd, J=7.5, 1.5 Hz, 1H)。

実施例23(108):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} 25 フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.53(クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.55-1.65 (m, 2H), 1.95-2.05 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.10 (m, 6H), 7.19 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H).

5

- 実施例23 (109): N- [4-(4-{[4-(ブチル {[(3-メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.59 (クロロホルム:メタノール=10:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.30 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.87 (d, J = 6.6 Hz, 1H), 7.01-7.15 (m, 7H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.9 Hz, 2H).
- 実施例23 (110): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.50 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.22 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.15 (m, 7H), 7.19 (m, 1H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7 Hz, 2H)。
- 実施例23(111):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-メト 25 キシフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル} フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

T L C: R f 0.53 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.76 (s, 3H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.63 (m, 1H), 6.91 (m, 1H), 7.01-7.08 (m, 5H), 7.16 (m, 1H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.9 Hz, 2H)。

5

実施例 2 3 (1 1 2): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-メトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} 10 フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.55 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.02 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.40-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.87 (s, 3H), 4.26 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.89 (m, 1H), 6.99-7.08 (m, 6H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.51 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.76 (dd, J=7.8, 1.5 Hz, 1H)。

実施例23 (113): N- {4- [4- (4- [ブチル({[3- (トリフルオロメチル)フェニル] アミノ} カルボニル)アミノ] -1-ピペリンニル} メチル)フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.55 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.27-7.31 (m, 2H), 7.45 (m, 1H), 7.51 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.60 (d, J=8.4 Hz, 1H), 7.78 (s, 1H)。

実施例23 (114): N-[4-(4-{[4-({[(4-ヒドロキシシクロへキシル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.19 (酢酸エチル: メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.52-1.72 (m, 9H), 2.01 (m, 1H), 2.10-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.47-3.62 (m, 3H), 3.72 (m, 1H), 3.78 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例 2 3 (1 1 5) : 2 [({ブチル [1 (4 {4 [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) 4 ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) 4 ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] 4 メチルペンタン酸・塩酸塩 TLC: Rf 0.39 (塩化メチレン: メタノール=4:1); NMR (CD₃OD): δ 0.93 (d, J = 6.0Hz, 6H), 0.95 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.28-1.42 (m, 2H), 1.48-1.79 (m, 5H), 1.82-1.95 (m, 2H), 1.97-2.19 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.90-3.05 (m, 2H), 3.08-3.25 (m, 2H), 3.42-3.52 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.19 (s, 2H), 4.32 (dd, J = 9.0, 6.0Hz, 1H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.47 (d, J = 8.7Hz, 2H)。
- 実施例23 (116): N-{3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジニル] アミノ} カルボニル) アミノ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.32 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.96 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.23 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.90 (m, 1H),

6.99-7.08 (m, 4H), 7.11 (m, 1H), 7.22 (t, J = 8.1 Hz, 1H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.38 (t, J = 2.1 Hz, 1H), 7.53 (d, J = 9.0 Hz, 2H).

実施例 2 3 (1 1 7): N- {4-[(ブチル[1-(4-{4-[(メ 5 チルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) -4-ピペリジニル] ア ミノ} カルボニル) アミノ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.50 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.90 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.18 (t, J=9.0 Hz, 2H), 7.28-7.33 (m, 4H), 7.55 (d, J=9.0 Hz, 2H)。

実施例 2 3 (1 1 8): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロキシプロピル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.70 (塩化メチレン: メタノール=4:1); NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.26-1.41 (m, 2H), 1.45-1.58 (m, 2H), 1.65-1.77 (m, 2H), 1.86-1.97 (m, 2H), 2.03-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.15 (m, 4H), 3.27 (t, J=6.3Hz, 2H), 3.59 (t, J=6.3Hz, 2H), 3.50-3.65 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例23(119):N-[4-(4-{[4-({[(3-ヒドロキシ プロピル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フ 25 エノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.32(塩化メチレン:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.60-1.84 (m, 3H), 2.02 (m, 1H), 2.09-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.20 (t, J = 6.5Hz, 2H), 3.45-3.61 (m, 2H), 3.57 (t, J = 6.5Hz, 2H), 3.72 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

5

TLC: Rf 0.31 (塩化メチレン: メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.11 (m, 5H), 7.18 (t, J = 3.3, 1.5 Hz, 1H), 7.25-7.31 (m, 3H), 7.51 (d, J = 8.7 Hz, 2H)_o
- 実施例23(121): N-(4-{4-{4-{7チル [(2-チェニルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド TLC: Rf 0.31 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.60 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.80-1.90 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.91 (s, 3H), 2.95-3.05 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.51 (s, 2H), 4.00 (m, 1H), 6.65 (m, 1H), 6.77-6.79 (m, 2H),

実施例23(122):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(2,3-ジ 25 ヒドロー1,4-ベンゾジオキシンー6-イルアミノ)カルボニル]アミノ} $-1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミ$

6.92-6.96 (m, 4H), 7.21-7.24 (m, 2H), 7.31 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

ド・塩酸塩

5

25

T L C: R f 0.40 (塩化メチレン: メタノール= 10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.20 (s, 4H), 4.28 (s, 2H), 6.72 (s, 2H), 6.85 (t, J = 1.4 Hz, 1H), 7.02-7.11 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.9 Hz, 2H)。

実施例 2 3 (1 2 3): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3,5-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] 10 メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.40 (塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 6.55 (m, 1H), 7.02-7.11 (m, 6H), 7.29 (d, J=8.4 Hz, 2H), 7.51 (d, J=8.4 Hz, 2H)。

実施例23 (124): $N-[4-(4-\{[4-(ブチル {[(3,4- ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1- \mathbb{C}^{2}$ アミノ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.44 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.16 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.40 (m, 1H), 7.55 (d, J = 8.6 Hz, 2H)。

実施例23(125): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-オキ

シドー3ーピリジニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1ーピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩
TLC:Rf 0.69(塩化メチレン:メタノール=5:1);
NMR(CD₃OD):δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.35 (m, 1H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.55 (d, J = 8.6 Hz, 2H) 7.88 (dd, J = 8.9, 3.5 Hz, 1H), 8.39 (d, J = 2.7 Hz, 1H), 8.50 (d, J = 2.7 Hz, 1H), 9.39 (s, 1H)。

実施例23(126):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ]カルボニル} アミノ)-1ーピペリジニル] メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.58(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.92-7.00 (m, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.26-7.41 (m, 3H), 7.49-7.52 (m, 2H);
非結晶;

20

25

軟化点:約196-198℃。

実施例23 (127): N- {4-[4-({4-[4-(4-ブロモフェニル) アミノ] カルボニル} (ブチル) アミノ] ー1ーピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.57 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.60 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.20-3.30 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.27-7.31 (m, 4H), 7.39 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 2 3 (1 2 8): N-(4-{4-{4-{(4-{7チル [(イソブチル 5 アミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.51 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.87 (d, J = 6.6 Hz, 6H), 0.95 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.60 (m, 2H), 1.76 (m, 1H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 2.96 (d, J = 7.5 Hz, 2H), 3.00-3.40 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.9 Hz, 2H)。

実施例23(129): $N-\{4-[4-(44-[4-[4-(44-[4-7]]]]]$ エニル) アミノ] カルボニル $\}$ (3-メチル-2-ブテニル) アミノ] -1 -ピペリジニル $\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

15

20

T L C: R f 0.62 (塩化メチレン:メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 1.75 (s, 6H), 1.92-2.03 (m, 2H), 2.07-2.23 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.19 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.94-4.02 (m, 2H), 4.20-4.35 (m, 3H), 5.18 (m, 1H), 6.98-7.10 (m, 6H), 7.26 -7.34 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.61 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.97-2.10 (m, 2H), 2.19-2.20 (m, 2H), 2.43 (m, 1H), 2.49-2.58

(m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.19 (m, 2H), 3.46-3.61 (m, 4H), 4.08 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 6H), 7.26-7.34 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例23(132):N-{4-[4-(4-[4-[4-[4-[4-[4-]]]]) またい) アミノ] カルボニル (2-ヒドロキシブチル) アミノ] ー1ーピペリジニル メチル) フェノキシ] フェニル メタンスルホンアミド・塩酸塩

T L C: R f 0.59 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 1.02 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.44-1.60 (m, 2H), 1.95-2.28 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.36 (m, 4H), 3.47-3.60 (m, 2H), 3.66 (m, 1H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 6H), 7.2 2-7.34 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

20

実施例23(133): N- {4-[4-(4-[(1,3-ベンゾジオキソール-5-イルアミノ)カルボニル](ブチル)アミノ]-1-ピペリジニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩25 TLC: Rf 0.29(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H),

1.90-2.00 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 5.90 (s, 2H), 6.70-6.71 (m, 2H), 6.89 (d, J = 1.8 Hz, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

5

実施例 $23(134):N-[4-(4-{[4-(4-7)ルオロベンジル) {[(4-7)ルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩$

- 10 TLC:Rf 0.59 (クロロホルム:メタノール=9:1);
 NMR (CD₃OD): δ 7.46 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.40-7.24 (m, 6H), 7.14-6.80 (m, 8H), 4.62 (s, 2H), 4.32 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 3.48 (m, 2H), 3.06 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.20-1.88 (m, 4H)。

TLC:Rf 0.62 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.45 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30-7.19 (m, 6H), 7.16-6.90 (m, 8H), 4.59 (s, 2H), 4.32 (m, 1H), 4.23 (s, 2H), 3.88 (s, 3H), 3.47 (m, 2H), 3.08 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.18-1.88 (m, 4H)_o

TLC: Rf 0.68 (クロロホルム: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.45 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30-7.10 (m, 8H), 7.08-6.90 (m, 6H), 4.56 (s, 2H), 4.43 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 3.49 (m, 2H), 3.07 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.35 (s, 3H), 2.16-1.86 (m, 4H)_o

5

実施例23(137):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロキシー4ーメチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1ーピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.42 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.12 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.64 (dd, J = 8.0, 2.0 Hz, 1H), 6.83 (d, J = 2.0 Hz, 1H), 6.94 (d, J = 8.0 Hz, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.4 Hz, 2H)_o

15

実施例23(138): $\mathbb{N}-[4-(4-\{[4-(ブチル {[(3,5-2] ジェドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 <math>\mathbb{T} L C : \mathbb{R} \mathbf{f} 0.75 (塩化メチレン: メタノール=5:1);$

NMR (d₆-DMSO): δ 0.88 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.40-1.50 (m, 2H), 1.70-1.80 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 3.16 (s, 3H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.60-3.90 (m, 4H), 4.14 (m, 1H), 4.22 (d, J = 4.8 Hz, 2H), 5.83 (t, J = 2.1 Hz, 1H), 6.37 (d, J = 2.1 Hz, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.25 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.6 Hz, 2H), 7.88 (s, 1H), 9.71 (s, 1H), 10.51 (s, 1H)_o

25

実施例23(139): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-ヒド

ロキシー 2 ーメチルプロピル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1ーピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.50 (塩化メチレン:メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.15 (s, 6H), 1.28-1.44 (m, 2H), 1.50-1.62 (m, 2H), 1.88-1.98 (m, 2H), 2.08-2.25 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.22 (m, 6H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

5

20

25

塩

実施例 $23(140): N-[4-(4-{[4-({[4-({[2-ヒドロキシ - 2-メチルプロピル)アミノ]カルボニル} アミノ)-1-ピペリジニル]$ $<math>-2-メチルプロピル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]$ $メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩$ TLC: Rf <math>0.15(塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR $(CD_3OD): \delta$ 1.15(s, 6H), 1.60-1.78 (m, 2H), 2.00-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.01-3.15 (m, 4H), 3.44-3.55 (m, 2H), 3.73 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, 3H) 8.7Hz, 3H, 3.01-3.15 (m, 3H), 3.44-3.55 (m, 3H), 3.73 (m, 3H), 3.73 (m, 3H), 3.91-3.15 (m,

実施例 $23(141):N-[4-(4-{[4-((シクロプロピルメチル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-ピペリジニル]$ メチル $}$ フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸

T L C: R f 0.43 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.32-0.37 (m, 2H), 0.57-0.63 (m, 2H), 1.06 (m, 1H), 1.97-2.10 (m, 2H), 2.25-2.42 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.18 (m, 2H), 3.25 (d, J = 6.6Hz, 2H), 3.51-3.62 (m, 2H), 4.06 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 6H), 7.27-7.35 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例23 (142): N- [4-(4-{[4-((シクロブチルメチル) { [(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.43 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

5 NMR (CD₃OD): δ 1.75-2.14 (m, 8H), 2.23-2.40 (m, 2H), 2.62 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.15 (m, 2H), 3.36 (d, J = 6.9Hz, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.95 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.2 7-7.32 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.14 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.32 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.21 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.40 (m, 1H), 4.72 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.37 (dd, J = 9.0, 5.1 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.84 (t, J = 7.0Hz, 1H), 8.08 (d, J = 7.0Hz, 1H), 8.62 (d, J = 7.0Hz, 1H), 8.69 (s, 1H).

実施例23(144):N-[4-(4-{[4-((3-フルオロベンジ20 ル) {[(4-フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.65 (DDDTML): XDDML=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.47 (m, 2H), 7.40-7.22 (m, 5H), 7.16 (m, 1H), 7.10-6.96 (m, 2H), 4.65 (s, 2H), 4.37 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 3.50 (m, 2H), 3.09 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.20-1.90 (m, 4H)_o

実施例 $23(145):N-[4-(4-{[4-(2-7)ルオロベンジル) {[(4-7)ルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸$

5 塩

TLC:Rf 0.65 (DDDTNA: XBJ-N=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.46 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.40-7.22 (m, 6H), 7.20-6.92 (m, 8H), 4.69 (s, 2H), 4.39 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 3.51 (m, 2H), 3.10 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.20-1.89 (m, 4H).

10

- TLC:Rf 0.69 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 7.45 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.40-7.20 (m, 6H), 7.10-6.88 (m, 8H), 4.57 (s, 2H), 4.29 (m, 1H), 4.23 (s, 2H), 3.76 (s, 3H), 3.49 (m, 2H), 3.08 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.22-1.86 (m, 4H)。

TLC:Rf 0.81 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.46 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.30-7.20 (m, 5H), 7.08-6.94 (m, 6H), 6.92-6.76 (m, 3H), 4.62 (s, 2H), 4.35 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 3.77 (s, 3H), 3.49 (m,

2H), 3.08 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.20-1.90 (m, 4H)_o

実施例 2 3 (1 4 8) : N - {4 - [4 - [4 - [{[(4 - フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} (3 - メチルベンジル) アミノ] - 1 - ピペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.85 (クロロホルム:メタノール=5:1) ; NMR (CD₃OD): δ 7.47 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.34-7.18 (m, 6H), 7.16-6.92 (m, 8H), 4.61 (s, 2H), 4.36 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 3.49 (m, 2H), 3.08 (m, 2H), 2.95 (s, 3H) 2.32 (s, 3H), 2.22-1.90 (m, 4H)。

10

5

- NMR (CD₃OD): δ 1.82-2.02 (m, 4H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.43 (t, J = 6.3Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.18 (m, 2H), 3.25-3.35 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.22-4.35 (m, 3H), 7.00 (dd, J = 17.1, 9.0Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.42-7.55 (m, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 実施例23(150):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3,5-ジメチルー4ーイソキサゾリル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1ーピペリジニル]メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.53(塩化メチレン:メタノール=9:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.32-1.47 (m, 2H), 1.58-1.70 (m, 2H), 1.95-2.03 (m, 2H), 2.12 (s, 3H), 2.26 (s, 3H), 2.15-2.25 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.17 (m, 2H), 3.21-3.32 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.29 (s, 2H),

7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 2 3 (151): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[6-メチ ルー3-ピリジニル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1ーピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2塩酸塩 TLC: Rf 0.51 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.2Hz, 3H), 1.31-1.45 (m, 2H), 1.57-1.67 (m, 2H), 1.97-2.08 (m, 2H), 2.22-2.38 (m, 2H), 2.70 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.25 (m, 2H), 3.28-3.36 (m, 2H), 3.52-3.62 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.53 (d, J=8.7Hz, 2H), 7.79 (d, J=8.7Hz, 1H), 8.49 (dd, J=8.7, 2.7Hz, 1H), 9.02 (s, 1H)。

実施例 $24:N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(シクロヘキシルメチ 15 ル)アミノ]カルボノチオイル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル<math>]$ メタンスルホンアミド。塩酸塩

実施例3で製造した化合物(70mg)のジメチルホルムアミド溶液(1mL)にトリエチルアミン($38\mu L$)を加え、シクロヘキシルメチル イソチオシアネート(43mg)のジメチルホルムアミド溶液(0.5mL)に滴下し、1時間撹拌した。反応混合物に水を加え、酢酸エチルにて抽出した。

20

有機層を無水硫酸ナトリウムにて乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=10:1)にて精製し、常法により塩酸塩として以下の物性値を有する本発明化合物(81.9mg)を得た。

5 TLC: Rf 0.69 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.88-1.03 (m, 2H), 0.96 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.14-1.44 (m, 5H), 1.47-1.60 (m, 2H), 1.62-1.82 (m, 6H), 1.93-2.08 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.24-3.36 (m, 2H), 3.47 (d, J = 6.6Hz, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 5.66 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例24(1)および実施例24(2)

15

25

実施例3で製造した化合物の代わりに相当するアミン誘導体を用いて、実施例24と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

TLC:Rf 0.62 (酢酸エチル:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.88-1.05 (m, 2H), 1.13-1.34 (m, 3H), 1.50-1.83 (m, 8H),
2.22-2.35 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.18 (m, 2H), 3.21-3.42 (m, 2H), 3.47-3.58 (m, 2H), 4.28 (s, 2H), 4.42 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例24(2): N-[4-(4-{[4-(ベンジル {[(シクロヘキ

シルメチル) アミノ] カルボノチオイル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.67 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

5

15

20

NMR (CD₃OD): δ 0.62-0.78 (m, 2H), 1.00-1.14 (m, 3H), 1.30-1.62 (m, 6H), 1.89-2.13 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.21 (m, 2H), 3.36 (d, J = 6.6Hz, 2H), 3.45-3.56 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 4.71 (s, 2H), 5.87 (m, 1H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.17-7.38 (m, 7H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

実施例25:N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-ヒドロキシブチ 10 ル)アミノ]カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキ シ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

(3ー { [tーブチル (ジメチル) シリル] オキシ} ブチル) アミン (72.3 mg) のテトラヒドロフラン (1 mL) 溶液に氷冷撹拌下、トリエチルアミン (97 μ L)、トリホスゲン (44.1 mg) を加え室温にて1時間撹拌した。反応混合物に実施例3で製造した化合物 (100 mg) とトリエチルアミン (55 μ L)のN,Nージメチルホルムアミド (1 mL) 溶液を滴下し、15分撹拌した。反応混合物に、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムにて乾燥し、濃縮した。 得られた残渣に4 N塩酸の酢酸エチル溶液を加え、15分撹拌し、濃縮した。 反応混合物に、飽和炭酸水素ナトリウム水溶液を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウム水溶液を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムにて乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルクロマトグラフィー (酢酸エチル:メタノール=10:1)にて

精製し、常法により塩酸塩として以下の物性値を有する本発明化合物 (99.6 mg)を得た。

TLC:Rf 0.46 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.16 (d, J = 6.0Hz, 3H), 1.26-1.41 (m, 2H), 1.44-1.70 (m, 4H), 1.85-1.97 (m, 2H), 2.05-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.13 (m, 4H), 3.17-3.38 (m, 2H), 3.50-3.58 (m, 2H), 3.78 (m, 1H), 4.13 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_ο

10 実施例25(1)~実施例25(10)

(3-{[t-ブチル(ジメチル)シリル]オキシ}ブチル)アミンまたは相当するアミン誘導体を用いて、実施例3で製造した化合物または相当するアミン誘導体を用いて、実施例25と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得た。

15

20 TLC:Rf 0.29 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.23-1.42 (m, 6H), 1.47-1.61 (m, 2H), 1.65-1.77 (m, 2H), 1.88-2.05 (m, 4H), 2.05-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.20 (m, 4H), 3.34-3.48 (m, 2H), 3.50-3. 5 9 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) \circ

25

実施例25(2):N-{4-[4-(4-[ブチル({[(1S,2S)

-2-ヒドロキシシクロヘキシル] アミノ} カルボニル) アミノ] -1-ピ ペリジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸 塩

TLC:Rf 0.29 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.23-1.42 (m, 6H), 1.47-1.61 (m, 2H), 5 1.65-1.77 (m, 2H), 1.88-2.05 (m, 4H), 2.05-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.20 (m, 4H), 3.34-3.48 (m, 2H), 3.50-3.59 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) \circ
- 実施例25 (3): N- {4-[4-(4-[({1-ヒドロキシシ 10 クロヘキシル)メチル]アミノ}カルボニル)アミノ]ー1ーピペリジニル メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.23 (酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 1.26-1.75 (m, 11H), 2.02(m, 1H), 2.10-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.16 (m, 4H), 3.45-3.55 (m, 2H), 3.72 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J =15 $8.7H\mathbb{Z}$, 2H), 7.05 (d, $J = 8.7H\mathbb{Z}$, 2H), 7.29 (d, $J = 8.7H\mathbb{Z}$, 2H), 7.49 (d, $J = 8.7H\mathbb{Z}$, 2H) o

実施例25(4):N-{4-[4-({4-[({[(1R,2R)-2 ーヒドロキシシクロヘキシル]アミノ}カルボニル)アミノ]ー1ーピペリ ジニル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 20 TLC:Rf 0.64(塩化メチレン:メタノール=4:1); NMR (CD₃OD): δ 1.12-1.40 (m, 4H), 1.59-1.76 (m, 3H), 1.88-2.06 (m, 3H), 2.11-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.18-3.38 (m, 2H), 3.46-3.55 (m, 2H), 3.73 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), $7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_{\circ}$

25

- NMR (CD₃OD): δ 1.12-1.40 (m, 4H), 1.59-1.76 (m, 3H), 1.88-2.06 (m, 3H), 2.11-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.18-3.38 (m, 2H), 3.46-3.55 (m, 2H), 3.73 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o
- 実施例 2 5 (6): N-(4-{4-{4-{7チル [(4-ピペリジニルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル] フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩 TLC: Rf 0.24 (n-ブタノール: 酢酸:水=4:2:1); NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.40-1.50 (m, 2H), 1.70-1.80 (m, 2H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.00-2.20 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 6H), 3.30-3.50 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.80 (m, 1H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7 Hz, 2H)。

実施例 2 5 (7): N-[4-(4-{[4-({[4-({[2-ヒドロキシブチ 20 ル) アミノ] カルボニル} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル} フェノキ シ)フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.48 (塩化メチレン: メタノール=4:1); NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.32-1.52 (m, 2H), 1.58-1.75 (m, 1.6H), 1.98-2.08 (m, 0.4H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.14 (m, 2H), 25 3.16-3.40 (m, 2.6H), 3.45-3.54 (m, 2.4H), 3.68-3.78 (m, 0.8H), 3.90-3.95 (m, 0.2H), 4.27 (s, 1.6H), 4.33 (s, 0.4H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d,

 $J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_{\circ}$

TLC:Rf 0.33 (塩化メチレン:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.16 (d, J = 6.3Hz, 2.4H), 1.17 (d, J = 6.3Hz, 0.6H), 1.48-1.75 (m, 3.6H), 1.98-2.05 (m, 0.4H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.30 (m, 4H), 3.48-3.55 (m, 2H), 3.65-3.83 (m, 2H), 4.27 (s, 1.6H), 4.32 (s, 0.4H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H) \circ

実施例 $25(9): \mathbb{N}-[4-(4-\{[4-(ブチル { [(2-ヒドロキシブチル) アミノ] カルボニル} アミノ) <math>-1-$ ピペリジニル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.48 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.95 (t, J = 7.2 Hz, 6H), 1.28-1.61 (m, 6H), 1.88-1.97 (m, 2H), 2.04-2.22 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.22-3.32 (m, 2H), 3.48-3.59 (m, 3H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

20

5

実施例 $25(10):N-\{4-[4-(4-[ブチル({[(1-ヒドロキシシクロヘキシル)メチル]アミノ}カルボニル)アミノ]-1-ピペリジニル<math>\}$ メチル)フェノキシ]フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.56(酢酸エチル:メタノール=10:1);

5

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.27-1.70 (m, 14H), 1.88-1.97 (m, 2H), 2.04-2.21 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.18 (m, 4H), 3.20 (s, 2H), 3.48-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例 $26:N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]-1-ピペリジンカ ルボキサミド・塩酸塩$

アルゴン雰囲気下、実施例 3 で製造した化合物(50.0 mg)のN,N-ジメチルホルムアミド溶液(<math>1 mL)に、トリエチルアミン($30.0 \mu L$)およびピペリジンー1 ーカルボニルクロライド($13.4 \mu L$)を加えて40 %で12時間撹拌した。反応混合物を酢酸エチルにて希釈し、水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。これをシリカゲルカラムクロマトグラフィー(クロロホルム:メタノール=7:1)にて精製し、常法により塩酸塩として以下の物性値を有する本発明化合物(14.9 mg)を得た。

TLC:Rf 0.61 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.20-1.70 (m, 10H), 1.90-2.05 (m, 2H), 2.06-2.24 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.18 (m, 4H), 3.18-3.38 (m, 4H), 3.45-3.62 (m, 3H), 4.27 (s, 2H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.24-7.3 4 (m, 2H), 7.44-7.58 (m, 2H).

5

実施例26(1)~実施例26(4)

ピペリジンー1ーカルボニルクロライドの代わりに相当する酸クロライド 誘導体を用いて、実施例26と同様の操作に付すことにより、以下の物性を 有する本発明化合物を得た。

10

実施例 $26(1):N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) <math>-4-$ ピペリジニル] -4-モルホリンカルボキサミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.64 (クロロホルム: メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.42-1.56 (m, 2H), 1.88-2.02 (m, 2H), 2.06-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.16 (m, 4H), 3.21-3.34 (m, 3H), 3.44-3.70 (m, 8H), 4.23 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.12-7.38 (m, 2H), 7.49 (brd, J = 8.7 Hz, 2H) $_{\circ}$
- 実施例26(2):N-(4-{4-[(4-{[(ジブチルアミノ)カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル] フェノキシ} フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.55 (DDDTMLS: XDJ-W=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.5 Hz, 6H), 1.31 (m, 4H), 1.49 (m, 4H), 1.70-1.88 (m, 2H), 2.04-2.14 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08 (m, 2H), 3.14-3.35 (m, 4H), 3.50 (m, 2H), 3.79 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.22-7.34 (m, 2H), 7.49 (brd, J =

8.7 Hz, 2H).

5

実施例26(3): $N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)-4-ピペリジニル]-1-ピロリジンカルボキサミド・塩酸塩$

NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.22-1.36 (m, 2H), 1.38-1.52 (m, 2H), 1.80-2.02 (m, 6H), 2.04-2.24 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 4H), 3.26-3.38 (m, 4H), 3.52 (m, 2H), 3.72 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.22-7.36 (m, 2H), 7.42-7.56 (m, 2H).

実施例 2.6 (4): N-(4-{4-[(4-{ブチル [(ジブチルアミノ) カルボニル] アミノ} -1-ピペリジニル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

- 15 TLC: Rf 0.59 (クロロホルム: メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.80-1.02 (m, 9H), 1.20-1.60 (m, 12H), 1.92-2.20 (m, 4H),
 2.95 (s, 3H), 3.00-3.40 (m, 7H), 3.44-3.68 (m, 4H), 4.26 (s 2H), 7.00-7.12 (m, 4H),
 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (brd, J = 8.4 Hz, 2H)。
- 20 実施例27:N-[4-(4-{[4-({[(ベンジルオキシ)アミノ] カルボニル}アミノ)-1-ピペリジニル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

O-ベンジルヒドロキシアミン(100mg)のテトラヒドロフラン溶液(2.5ml)に氷冷撹拌下、1,1'-カルボニルビス<math>-1H-イミダゾール(CDI)(129mg)のテトラヒドロフラン溶液(6.5ml)を滴下した。 $30分撹拌後、実施例1に準じた方法で製造した<math>N-(4-\{4-[(4-r)](200mg))$ 00mg)を加え、5500mg)ででででででは開発した。反応混合物に蒸留水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を無水硫酸ナトリウムにで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール=10:1)にて精製し、常法により塩酸塩として以下の物性値を有する本発明化合物(144.3mg)を得た。

TLC:Rf 0.42 (酢酸エチル:メタノール=5:1);

5

10

15

20

NMR (CD₃OD): δ 1.63-1.79 (m, 2H), 1.96-2.07 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.00-3.12 (m, 2H), 3.44-3.54 (m, 2H), 3.74 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 4.76 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.33-7.43 (m, 5H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

実施例 $28:4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル} フェノキシ) 安息香酸・塩酸塩

N-t-ブトキシカルボニルピペリジン-4オンとn-ブチルアミンを酢酸およびジメチルホルムアミド中、室温にてトリアセトキシ水素化ホウ素ナ

トリウムを用いて還元的アルキル化反応に付した。得られた1-t-ブトキシカルボニル-4-アミノピペリジンを2,4-ジフルオロベンゼンイソシアネートとジメチルホルムアミド中、トリエチルアミン存在下で反応させた。これを塩酸処理により脱保護反応に付し、N-ブチル-N'-(2,4-ジフルオロフェニル)-N-ピペリジン-4-イル尿素・塩酸塩を得た。N-ブチル-N'-(2,4-ジフルオロフェニル)-N-ピペリジン-4-イル尿素および4-(4-ホルミルフェノキシ)安息香酸を用いて、実施例1と同様の操作に付し、常法によって塩酸塩にすることにより、以下の物性値を有する本発明化合物(48mg)を得た。

TLC:Rf 0.78 (塩化メチレン:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.36-1.43 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.99-2.04 (m, 2H), 2.16-2.28 (m, 2H), 3.08-3.17 (m, 2H), 3.24-3.30 (m, 2H), 3.56-3.61 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 6.90-7.05 (m, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.18 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.37 (m, 1H), 7.56 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例 2 8 (1) ~ 実施例 2 8 (18)

NーブチルーN'-(2,4-ジフルオロフェニル)-Nーピペリジン-4 ーイル尿素または相当するピペリジン誘導体、および4-(4-ホルミルフ 20 ェノキシ)安息香酸の代わりに相当するアルデヒド誘導体を用いて、実施例 28と同様の操作に付すことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例28(1):4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}
 フェノキシ)ベンゼンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.89(塩化メチレン:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.36-1.45 (m, 2H), 1.59-1.70 (m, 2H), 1.99-2.03 (m, 2H), 2.17-2.30 (m, 2H), 3.08-3.17 (m, 2H), 3.23-3.30 (m, 2H), 3.56-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 6.90-7.03 (m, 2H), 7.14 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.18 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.91 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $28(2):N-ブチル-N'-(2,4-ジフルオロフェニル)-N-[1-({3,5-ジメチル-1-[1-(メチルスルホニル) ピペリジン-4-イル]-1H-ピラゾール-4-イル}メチル)ピペリジン-4-イル] 尿素・<math>2$ 塩酸塩

TLC:Rf 0.12 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

5

10

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.33-1.45 (m, 2H), 1.59-1.70 (m, 2H), 1.98-2.01 (m, 4H), 2.12-2.30 (m, 4H), 2.33 (s, 3H), 2.43 (s, 3H), 2.89 (s, 3H), 2.93-3.01 (m, 2H), 3.09-3.17 (m, 2H), 3.25-3.30 (m, 2H), 3.58-3.63 (m, 2H), 3.86-3.90 (m, 2H), 4.19 (s, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.39 (m, 1H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.37 (m, 1H).

実施例28(3): N-(3'-{[4-(ブチル{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} ロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} 20 -1,1'-ビフェニル-4-イル) メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.78 (酢酸エチル:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.34-1.44 (m, 2H), 1.58-1.68 (m, 2H), 1.98-2.01 (m, 2H), 2.19-2.32 (m, 2H), 2.99 (s, 3H), 3.12-3.30 (m, 4H), 3.58-3.63 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.39 (s, 2H), 6.89-7.02 (m, 2H), 7.36 (d, J=8.4 Hz, 2H), 7.37 (m, 2H), 7.49 (d, J=7.5 Hz, 1H), 7.57 (t, J=7.5 Hz, 1H), 7.68 (d, J=8.4 Hz, 2H), 7.76

 $(d, J = 7.5 Hz, 1H), 7.82 (s, 1H)_{\circ}$

実施例28(4): $N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジンー1ーイル]メチル<math>}-3$,5-ジメチルー1H-ピラゾールー1ーイル)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.29 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.36-1.44 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.98-2.00 (m, 2H), 2.20-2.35 (m, 2H), 2.35 (s, 3H), 2.35 (s, 3H), 3.03 (s, 3H), 3.03-3.13 (m, 2H), 3.27-3.30 (m, 2H), 3.58-3.62 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.17 (s, 2H), 6.90-7.03 (m, 2H), 7.35-7.45 (m, 5H)_o

実施例 $28(5):4-\{[4-(ブチル {[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル $\}-$ Nー $\{4-[(メチルスルホニル) アミノ] ベンジル<math>\}$ ベンズアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.36 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.28-1.40 (m, 2H), 1.69-1.89 (m, 4H),
2.11-2.18 (m, 2H), 2.92 (s, 3H), 2.96-3.00 (m, 2H), 3.22-3.37 (m, 4H), 3.59 (s, 2H),
4.02 (m, 1H), 4.53 (s, 2H), 6.87-7.01 (m, 2H), 7.21 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.33 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.38 (m, 1H), 7.44 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.82 (d, J = 8.4 Hz, 2H)。

20

5

10

実施例28(6):N-(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェニル)-2-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェニル}アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.26 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.28-1.41 (m, 2H), 1.58-1.69 (m, 2H),

1.96-2.01 (m, 2H), 2.11-2.26 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.05-3.26 (m, 2H), 3.23-3.26 (m, 2H), 3.53-3.56 (m, 2H), 3.67 (s, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 6.89-7.02 (m, 2H), 7.21 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.32 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.38 (m, 1H), 7.46 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.70(d, J = 8.4 Hz, 2H)_o

5

- 実施例28(7): N-{4-[(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジ フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} ベンジル) オキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.40(塩化メチレン: メタノール=10:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.34-1.42 (m, 2H), 1.55-1.60 (m, 2H), 1.94-2.00 (m, 2H), 2.12-2.20 (m, 2H), 2.99 (s, 3H), 3.03-3.12 (m, 2H), 3.23-3.25 (m, 2H), 3.47-3.51 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 4.85 (s, 2H), 6.68 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.13 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.36 (m, 1H), 7.42 (s, 4H).
- 実施例28(8):4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}-3,5-ジメチル-1H-ピラゾール-1-イル)-N-メチルベンゼンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.38 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.36-1.44 (m, 2H), 1.63-1.68 (m, 2H), 1.97-2.04 (m, 2H), 2.29-2.34 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.46 (s, 3H), 2.58 (s, 3H), 3.16-3.36 (m, 4H), 3.66-3.70 (m, 2H), 4.23 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.38 (m, 1H), 7.73 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.00 (d, J = 8.7 Hz, 2H).
- 25 実施例28(9):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メ

チル $}$ フェノキシ) ベンジル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.30 (酢酸エチル);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.33-1.45 (m, 2H), 1.59-1.69 (m, 2H), 1.98-2.02 (m, 2H), 2.15-2.28 (m, 2H), 2.88 (s, 3H), 3.06-3.15 (m, 2H), 3.24-3.30 (m, 2H), 3.54-3.59 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 4.28 (s, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.37 (m, 1H), 7.41 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例28(10):N-{4-[(4-{[4-(ブチル {[(2,4-10 ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)メチル]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.27(酢酸エチル);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.34-1.42 (m, 2H), 1.60-1.66 (m, 2H), 1.96-2.01 (m, 2H), 2.12-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.04-3.11 (m, 2H), 3.23-3.30 (m, 2H), 3.52-3.56 (m, 2H), 4.12 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 5.10 (s, 2H), 6.86-7.03 (m, 2H), 7.10 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.25 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.36 (m, 1H), 7.41 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.42 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $28(11):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジ$ $20 フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジンー<math>1-イル]$ メチル1フェノキシ)フェニル1アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.28 (酢酸エチル);

5

25

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.35-1.45 (m, 2H), 1.58-1.69 (m, 2H), 1.98-2.02 (m, 2H), 2.12 (s, 3H), 2.15-2.27 (m, 2H), 3.06-3.14 (m, 2H), 3.24-3.30 (m, 2H), 3.54-3.58 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.00 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.36 (m, 1H), 7.47 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.57 (d, 3.54-3.58)

 $J = 8.7 Hz, 2H)_{\circ}$

実施例 $28(12): N-[4-(4-{[4-({ブチル[(シクロヘキシルアミノ)カルボニル]アミノ}メチル)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩$

TLC:Rf 0.47 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 2.00-1.06 (m, 19H), 2.95 (s, 3H), 3.02-2.88 m, 2H), 3.30-3.16 (m, 4H), 3.56-3.44 (m, 3H), 4.25 (s, 2H), 7.10-7.00 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48 (brd, J = 8.4 Hz, 2H).

10

25

5

実施例28(13):4-[4-({4-[(N-アセチルロイシル)(ブチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.24 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 8.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.58 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.17 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 4.75 (m, 1H), 4.40 -4.10 (m, 3H), 3.70 -3.05 (m, 6H), 2.40-1.30 (m, 14H), 1.01-0.93 (m, 9H).

実施例28(14):4-[4-({4-[(N-アセチル-3-シクロへ20 キシルアラニル)(ブチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.27 (酢酸エチル:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 8.04 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.58 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.17 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 4.75 (m, 1H), 4.40 -4.10 (m, 3H), 3.70-3.00 (m, 6H), 2.40-0.80 (m, 27H).

実施例28(15):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジ フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} ベンジル) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.68(塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.34-1.41 (m, 2H), 1.58-1.69 (m, 2H), 1.96-2.00 (m, 2H), 2.12-2.23 (m, 2H), 2.91 (s, 3H), 3.05-3.13 (m, 2H), 3.23-3.30 (m, 2H), 3.53-3.56 (m, 2H), 3.99 (s, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.16 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.20 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.35 (m, 1H), 7.35 (d, J = 8.0 Hz, 2H), 7.42 (d, J = 8.0 Hz, 2H)_o

10

実施例28(16): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジ フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) -3-クロロフェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

- T L C: R f 0.63 (塩化メチレン:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.32-1.45 (m, 2H), 1.59-1.69 (m, 2H), 1.98-2.01 (m, 2H), 2.13-2.26 (m, 2H), 3.01 (s, 3H), 3.06-3.14 (m, 2H), 3.24-3.30 (m, 2H), 3.54-3.58 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.90-7.05 (m, 2H), 7.00 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.13 (d, J = 8.7 Hz, 1H), 7.24 (dd, J = 8.7, 2.7 Hz, 1H), 7.36 (dt, J = 8.7, 2.00 Hz, 1H), 7.43 (d, J = 2.7 Hz, 1H), 7.48 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。
 - 実施例 28(17):N-ブチル-N'-(2,4-ジフルオロフェニル) $-N-[1-({3,5-ジメチル-1-[4-(トリフルオロメチル)フェニル]-1H-ピラゾール-4-イル}メチル)ピペリジン-4-イル]$
- 25 尿素・2塩酸塩

TLC:Rf 0.74 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.36-1.44 (m, 2H), 1.61-1.71 (m, 2H), 2.00-2.05 (m, 2H), 2.23-2.37 (m, 2H), 2.39 (s, 3H), 2.44 (s, 3H), 3.16-3.24 (m, 2H), 3.27-3.32 (m, 2H), 3.66-3.70 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.89-7.03 (m, 2H), 7.38 (dt, J = 9.0, 6.0 Hz, 1H), 7.72 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.87 (d, J = 8.4 Hz, 2H) $_{\circ}$

5

実施例 $28(18): N-\{4-[(5-\{[4-(ブチル { [(2,4-(ブチル { [(2,4-(1))]) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1)) { [(2,4-(1))] { [(2,4-(1))$

10 TLC: Rf 0.31 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.6

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.98 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.35 (s, 2H), 6.86-7.05 (m, 2H), 7.10-7.17 (m, 3H), 7.32-7.38 (m, 3H), 8.09 (dd, J = 8.7, 2.2 Hz, 1H), 8.32 (d, J = 2.2 Hz, 1H) $_{\circ}$

15

20

実施例29(1)~実施例29(131)

実施例3で製造した化合物または相当するアミン誘導体を用いて、および1 ーメチルシクロヘキシルカルボン酸の代わりに相当するカルボン酸誘導体を 用いて、実施例23と同様の操作に付し、必要に応じて常法により加水分解、 脱保護または酸化を行うことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例 $29(1):N-(4-\{4-\{4-\{7チル[(ピリミジン-5-4ルアミノ)カルボニル]アミノ\}ピペリジン-1-4ル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

TLC: Rf 0.44 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

5

15

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.32-1.48 (m, 2H), 1.55-1.70 (m, 2H), 1.97-2.08 (m, 2H), 2.23-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.23 (m, 2H), 3.29-3.38 (m, 2H), 3.50-3.62 (m, 2H), 4.25 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 9.03 (s, 1H), 9.27 (s, 2H)_o

実施例29(2):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(ピリダジン-4 10 ーイルアミノ)カルボニル]アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェ ノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC: Rf 0.45 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.32-1.47 (m, 2H), 1.55-1.69 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.27-2.45 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.12-3.27 (m, 2H), 3.33-3.45 (m, 2H), 3.50-3.62 (m, 2H), 4.24-4. 35 (m, 3H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.49 (dd, J = 7.2, 2.7Hz, 1H), 9.13 (d, J = 7.2Hz, 1H), 9.49 (d, J = 2.7Hz, 1H) $_{\circ}$

実施例29(3):N-{4-[4-(4-[4-[4-[6-アジドピリジン 20 -3-イル)アミノ]カルボニル} (ブチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.47(塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.30-1.45 (m, 2H), 1.55-1.70 (m, 2H), 1.97-2.08(m, 2H), 2.24-2.41 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.25-3.38 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.88 (dd, J = 9.6, 1.5Hz, 1H), 7.99 (dd, J = 9.6, 1.5Hz, 1H), 9.42 (d, J = 1.5Hz, 1H).

実施例29(4):N-{4-[4-(4-[ブチル({[3-(トリフルオロメトキシ)フェニル]アミノ}カルボニル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩

10 TLC: Rf 0.49 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.93 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.27-7.34 (m, 4H), 7.45 (m, 1H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。

15

5

実施例29(5):Nー $\{4-[4-(4-[4-[4-[4-(4-rセチルフェニル) アミノ] カルボニル} (ブチル) アミノ] ピペリジンー1ーイル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.42 (クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.55 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.1 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.1 Hz, 2H), 7.92 (d, J = 8.9 Hz, 2H)_o

25

実施例29(6):N-{4-[4-({4-[ブチル({[2-(トリフ

ルオロメトキシ)フェニル] アミノ} カルボニル)アミノ] ピペリジンー1 ーイル} メチル)フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.51(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR(CD_3OD): δ 0.98 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.35-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.40-3.60 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.19-7.34 (m, 5H), 7.48-7.51 (m, 2H), 7.60 (m, 1H)。

5

実施例 2 9 (7): N- {4-[4-(4-(4-(4-(ベンゾイルアミノ)カ ルボニル] (ブチル) アミノ] ピペリジン-1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.60 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.92 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.02-7.06 (m, 4H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.48-7.53 (m, 4H), 7.61 (m, 1H), 7.87 (d, J=7.2 Hz, 2H)。

実施例29(8): N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,6-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メ20 チル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.56(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.97-7.08 (m, 6H), 7.28-7.31 (m, 25 3H), 7.49-7.52 (m, 2H)。

実施例29(9):N-{4-[4-(4-(ブチル({[4-(トリフルオロメトキシ)フェニル]アミノ}カルボニル)アミノ]ピペリジン-1ーイル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩TLC:Rf 0.47(クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.01-7.08 (m, 4H), 7.18 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.3 Hz, 2H), 7.43 (d, J = 9.3 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 9.0 Hz, 2H)_ο

10

実施例 $29(10):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(キノリン-3-イルアミノ)カルボニル]アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.40-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.55-3.65 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 7.02-7.09 (m, 4H), 7.30 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.91 (td, J = 7.2, 1.2 Hz, 1H), 8.02 (td, J = 7.2, 1.2 Hz, 1H), 8.14 (d, J = 8.4 Hz, 1H), 8.20 (d, J = 8.4 Hz, 1H), 9.05 (d, J = 2.4 Hz, 1H), 9.53 (d, J = 2.4 Hz, 1H)_ο

実施例29 (11): $N-(4-\{4-\{4-\{4-\{7fu\}\}\})$ (シクロペンタ -3-x) -1-4 (ルアミノ) カルボニル -3 (アミノ) ピペリジン-1 (ルクリンタ メチル -3) フェノキシ -3 (カルカンスルホンアミド・塩酸塩

25 TLC:Rf 0.72 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.40-1.60 (m, 2H),

1.80-2.00 (m, 2H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.24 (dd, J = 14.6, 5.6 Hz, 2H) 2.69 (dd, J = 14.6, 8.0 Hz, 2H) 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 4.39 (m, 1H), 5.69 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.9 Hz, 2H).

5

実施例29(12):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-クロロー3-ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1 - イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.41 (クロロホルム:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.77 (dd, J = 8.9, 2.4 Hz, 1H), 7.02-7.08 (m, 5H), 7.15 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 7.29-7.31 (m, 2H), 7.47-7.51 (m, 2H).
- 実施例29(13): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[4-(ブチル {[(4-フルオロー3-ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.40(クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.70 (m, 1H), 6.90-7.00 (m, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.9 Hz, 2H)。

実施例29(14):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(キノリン-625 ーイルアミノ)カルボニル]アミノ}ピペリジン-1ーイル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩

T L C: R f 0.44 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.30-3.50 (m, 2H), 3.50-3.70 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 7.02-7.09 (m, 4H), 7.30 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 8.01 (dd, J = 8.6, 5.6 Hz, 1H), 8.15 (d, J = 9.3 Hz, 1H), 8.31 (dd, J = 9.3, 2.4 Hz, 1H), 8.42 (m, 1H), 9.01-9.05 (m, 2H)。

実施例29(15): N-{4-[4-(4-(7チル(12-(トリフルオロメチル)フェニル]アミノ)カルボニル)アミノ]ピペリジン-1フェニル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド TLC: Rf 0.69(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.90 (m, 4H), 2.00-2.20 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 2.95-3.05 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 4H), 3.51 (s, 2H), 4.05 (m, 1H), 6.93-6.98 (m, 4H), 7.24 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.32 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.34 (m, 1H), 7.58-7.60 (m, 2H), 7.66 (d, J=7.8 Hz, 1H)。

実施例 $29(16): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(6-オキソ -1,6-ジヒドロピリジン-3-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピー ペリジン-1-イル [メチル {[(6-オキソ -1,6-ジヒドロピリジン-3-イル)アミノ]メタンスルホンアミ$

20 ド・塩酸塩

5

TLC:Rf 0.45 (塩化メチレン:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.30-1.45 (m, 2H), 1.50-1.65 (m, 2H), 1.92-2.05 (m, 2H), 2.18-2.35 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.35 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.21 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 6.68 (d, J = 9.6Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.72 (d, J = 3.0Hz, 1H), 7.79 (dd, J = 9.6, 3.0 Hz, 1H).

実施例29(17): $N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-オキソ シクロヘキシル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル $\}$ フェノキシ $\}$ フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

- T L C: R f 0.47 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.26-1.58 (m, 7H), 1.70-1.80 (m, 2H), 1.85-2.20 (m, 7H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.17 (m, 4H), 3.48-3.65 (m, 3H), 4.13 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7H z, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

- 15 TLC: Rf 0.80 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.88-2.24 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.08 (m, 2H), 3.48 (m, 2H),
 4.24 (s, 2H), 4.34 (m, 1H), 4.58 (s, 2H), 6.60-6.84 (m, 3H), 6.90-7.10 (m, 6H), 7.16 (m, 1H), 7.22-7.38 (m, 4H), 7.38-7.52 (m, 2H)。
- 実施例29(19): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2,6-ジ メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メ チル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.59(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 25 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20 (s, 6H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 7H),

7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.9 Hz, 2H)

実施例29(20): N- {4-[4-({4-[{(4-フルオロフェ ニル) アミノ] カルボニル} (2-メトキシブチル) アミノ] ピペリジンー 1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLС: Rf 0.34 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 1.00 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.57-1.70 (m, 2H), 1.93-2.30 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.20 (m, 3H), 3.35-3.45 (m, 2H), 3.50 (s, 3H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.21-7.33 (m, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.33 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.02 (t, J = 7.5Hz, 3H), 2.15-2.25 (m, 4H), 2.28 (q, J = 7.5Hz, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.13-3.29 (m, 2H), 3.58-3.70 (m, 2H), 4.26 (m, 1H), 4.33 (s, 2H), 6.39 (s, 1H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.09 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.20-7.35 (m, 6H), 7.52 (d, J = 8.7Hz, 2H).

25 ルホンアミド・塩酸塩

15

20

TLC:Rf 0.31 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.06 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.48 (m, 1H), 1.69 (m, 1H), 2.05-2.18 (m, 2H), 2.21-2.43 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.97 (s, 3H), 3.03-3.14 (m, 2H), 3.34 (d, J = 7.5Hz, 2H), 3.42-3.61 (m, 3H), 3.95 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.96-7.10 (m, 6H), 7.26-7.40 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

5

TLC:Rf 0.39 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.94 (d, J = 7.5Hz, 3H), 0.95 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.16 (m, 1H),
1.50 (m, 1H), 1.74 (m, 1H), 1.95-2.07 (m, 2H), 2.28-2.47 (m, 2H), 2.95 (s, 3H),
3.02-3.24 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.9 6-7.10 (m, 6H),
7.25-7.32 (m, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

- 実施例29(24):N-[4-(4-{[4-((2-エチルブチル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.39(塩化メチレン:メタノール=9:1);
- NMR (CD₃OD): δ 0.93 (t, J = 7.5Hz, 6H), 1.27-1.50 (m, 4H), 1.60 (m, 1H), 1.97-2.08 (m, 2H), 2.30-2.50 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.26 (d, J = 7.5Hz, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.87 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.96-7.10 (m, 6H), 7.24-7.33 (m, 4H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_ο
- 25 実施例29(25):N-{4-[4-({4-[{(4-フルオロフェ ・ ニル)アミノ]カルボニル} (チエン-2-イルメチル)アミノ] ピペリジ

ンー1ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.34 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.94-2.05 (m, 2H), 2.12-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.17 (m, 2H), 3.50-3.58 (m, 2H), 4.26 (s, 2H), 4.27 (m, 1H), 4.79 (s, 2H), 6.94-7.08 (m, 8H), 7.26-7.34 (m, 5H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例29(26): N-{3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] ア 10 ミノ} カルボニル) アミノ] フェニル} アセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.73 (酢酸エチル: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.28-1.45 (m, 2H), 1.56-1.67 (m, 2H), 1.98-2.02 (m, 2H), 2.11 (s, 3H), 2.16-2.28 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.07-3.15 (m, 2H), 3.26-3.30 (m, 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.04 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.10-7.23 (m, 3H), 7.30 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.69 (m, 1H)。

実施例 2 9 (27): N- {4-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] ア 20 ミノ} カルボニル) アミノ] フェニル} アセトアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.70 (酢酸エチル:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.29-1.42 (m, 2H), 1.55-1.67 (m, 2H), 1.98-2.02 (m, 2H), 2.10 (s, 3H), 2.13-2.28 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.03-3.15 (m, 2H), 3.25-3.30 (m, 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.16 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.04 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.30 (d, J=8.7 Hz, 2H) 7.46 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.7 Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.57 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.08-2.38 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.11 (m, 2H), 3.52-3.65 (m, 2H), 4.04 (m, 1H), 4.18-4.35 (m, 4H), 6.99-7.08 (m, 6H), 7.26-7.37 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

10

5

- NMR (CD₃OD): δ 0.96 (d, J = 6.6Hz, 6H), 1.45-1.55 (m, 2H), 1.65 (m, 1H), 1.95-2.05 (m, 2H), 2.12-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.05-3.10 (m, 2H), 3.22-3.33 (m, 2H), 3.51-3.61 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.26-7.33 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$
- 実施例29(30):N-[4-(4-{[4-(2,6-ジフルオロベンジル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.54(塩化メチレン: メタノール=9:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 1.88-1.99 (m, 2H), 2.19-2.34 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.99-3.12 (m, 2H), 3.44-3.52 (m, 2H), 3.98 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 4.75 (s, 2H), 6.95-7.08 (m,

8H), 7.25-7.40 (m, 5H), 7.45 (d, J = 8.7Hz, 2H).

5

TLC:Rf 0.56 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.03-2.36 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.13-3.26 (m, 2H), 3.54-3.64 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 4.45 (m, 1H), 4.87 (s, 2H), 7.00 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.39 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.56 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.94 (t, J = 6.0Hz, 1H), 8.03 (d, J = 8.0Hz, 1H), 8.54 (dt, J = 1.8, 8.0Hz, 1H), 8.75 (dd, J = 6.0, 1.8Hz, 1H)_o

TLC:Rf 0.47 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.10 (m, 2H), 2.18-2.35 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.23 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.43 (m, 1H), 4.80 (s, 2H), 7.00 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.38 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.55 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.05 (dd, J = 8.4, 5.7Hz, 1H), 8.59 (d, J = 8.4Hz, 1H), 8.75 (d, J = 5.7Hz, 1H), 8.84 (s, 1H) $_{\circ}$

25 実施例 2 9 (3 3): N- {4- [4-({4-[((4-フルオロフェ ニル) アミノ] カルボニル} (ピリジン-4-イルメチル) アミノ] ピペリ

ジンー1ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.47 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

5

15

20

25

1H)。

NMR (CD₃OD): δ 2.02-2.30 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.23 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.48 (m, 1H), 4. 88 (s, 2H), 6.99 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.36 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.02 (d, J = 6.6Hz, 2H), 8.77 (d, J = 6.6Hz, 2H).

実施例29(34):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(メチルアミノ) カルボニル] アミノ} ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.50 (DDDTMLA: XDJ-W=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.80-2.00 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.72 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.15 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.12 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.9 Hz, 2H).

実施例29(35): $N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(5-ヒドロ キシピリジン-3-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル<math>}$ フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC: Rf 0.50 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.93 (d, J = 2.1 Hz, 1H) 8.12 (d, J = 2.1 Hz, 1H), 8.68 (d, J = 1.5 Hz, ...

実施例 2 9 (3 6): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-イソプロピルー1H-1, 2, 3-ベンゾトリアゾールー5-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2塩酸塩 TLC: Rf 0.65 (クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H),

5

10

15

20

1.74 (d, J = 6.6 Hz, 6H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.32 (s, 2H), 5.34 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.30 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.77 (dd, J = 9.0, 1.5 Hz, 1H) 7.95 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 8.17 (d, J = 1.5 Hz, 1H).

実施例 $29(37): N-(4-\{4-[(4-\{\{(4-7) ルオロフェニル) アミノ] カルボニル \} [(6-メチルピリジン-2-イル) メチル] アミノ \} ピペリジン-1-イル) メチル] フェノキシ <math>\}$ フェニル) メタンスルホンアミド。 2 塩酸塩

TLC:Rf 0.50 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.08-2.18 (m, 2H), 2.20-2.38 (m, 2H), 2.80 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.14-3.26 (m, 2H), 3.52-3.62 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 4.47 (m, 1H), 4.83 (s, 2H), 7.00 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.37 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.76 (d, J = 8.0Hz, 1H), 7.78 (d, J = 8.0Hz, 1H), 8.40 (t, J = 8.0Hz, 1H).

実施例29(38):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-シアノ 25 フェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル} フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.52 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.28-1.44 (m, 2H), 1.55-1.66 (m, 2H), 1.98-2.03 (m, 2H), 2.20-2.33 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.17 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.36 (m, 1H), 7.44 (t, J = 8.0 Hz, 1H), 7.51 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.64 (m, 1H), 7.82 (m, 1H).

実施例29(39):N-{4-[4-({4-[4-(4-7ルオロフェニル) アミノ] カルボニル} (テトラヒドロ-2H-ピラン-4-イルメチル) アミノ] ピペリジン-1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.57 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.27-1.42 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.87-2.08 (m, 3H), 2.25-2.42 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.19-3.28 (m, 2H), 3.31-3.42 (m, 2H), 3.48-3.60 (m, 2H), 3.88-4.00 (m, 3H), 4.28 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.25-7.33 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例29(40): N- {4-[4-(4-(4-[4-(4-7)ルオロフェニル) アミノ] カルボニル} (2-フェニルエチル) アミノ] ピペリジンー20 1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.68(塩化メチレン: メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.82-2.92 (m, 2H), 2.10-2.28 (m, 2H), 2.93 (t, J=7.5Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.12 (m, 2H), 3.49-3.59 (m, 4H), 4.10 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.18-7.37 (m, 9H), 7.50 (d, J=8.7Hz, 2H)。

実施例29 (41): N- {4-[4-({4-[4-[4-(4-フルオロフェ

ニル) アミノ] カルボニル (2ーピリジン-2-イルエチル) アミノ] ピペリジン-1-イル メチル) フェノキシ] フェニル メタンスルホンアミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.59 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.10 (m, 2H), 2.28-2.44 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.22 (m, 2H), 3.34 (t, J = 7.2Hz, 2H), 3.55-3.63 (m, 2H), 3.75 (t, J = 7.2Hz, 2H), 4.25 (m, 1H), 4.33 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.26-7.33 (m, 4H), 7.57 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.92 (ddd, J = 8.1, 5.7, 1.8Hz, 1H), 8.06 (d, J = 8.1Hz, 1H), 8.53 (dt, J = 1.8, 8.1Hz, 1H), 8.74 (d, J = 5.7Hz, 1H).

10

実施例 $29(42):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-メチル -1,2,3-チアジアゾール-5-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)$ $ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

15 TLC: Rf 0.78 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.68 (s, 3H), 2.96 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.40-3.50 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.9 Hz, 2H)。

20

実施例29(43):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-クロロー4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.72 (クロロホルム:メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 5H), 7.27 (m, 1H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.51 (m, 1H).

実施例 2 9 (4 4): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-シアノ フェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.71 (塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.34-1.41 (m, 2H), 1.57-1.62 (m, 2H), 1.98-2.01 (m, 2H), 2.20-2.33 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.16 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.04 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.07 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.58 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.61 (d, J=9.0 Hz, 2H)。

実施例29(45):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,2-ジ 15 フルオロー1,3-ベンゾジオキソール-5-イル)アミノ]カルボニル} アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンス ルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.64 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.34-1.42 (m, 2H), 1.55-1.65 (m, 2H), 1.98-2.03 (m, 2H), 2.15-2.25 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.07-3.15 (m, 2H), 3.25-3.30 (m, 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.14 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.11 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.33 (m, 1H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例 $29(46):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-クロロ 25 -2-フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン<math>-1-(4-(1))$ メチル-1 フェノキシ)フェニル-1 スタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.46 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.15 (m, 1H), 7.22 (dd, J = 6.3, 2.1 Hz, 1H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.43 (m, 1H), 7.43 (d, J = 8.9 Hz, 2H)。

5

10

15

実施例29(47):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチル -1H-1,2,3-ベンゾトリアゾール-5-イル)アミノ]カルボニル} アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンス ルホンアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.40(クロロホルム:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 4.39 (s, 3H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.69 (dd, J = 9.0, 1.8 Hz, 1H), 7.80 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 8.09 (d, J = 1.8 Hz, 1H).

実施例29(48):2-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル 30 ホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ] ベンズアミド TLC:Rf 0.60(塩化メチレン:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.37-1.44 (m, 2H), 1.59-1.91 (m, 6H), 2.15-2.22 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.00-3.04 (m, 2H), 3.22-3.27 (m, 2H), 3.54 (s, 2H), 4.05 (m, 1H), 6.93-7.02 (m, 5H), 7.25 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.32 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.42 (t, J=8.3 Hz, 1H), 7.69 (d, J=8.3 Hz, 1H), 8.27 (d, J=8.3 Hz, 1H)。

実施例29(49): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2,4-ジ メチルピリジン-3-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1 ーイル]メチル} フェノキシ) フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩 5 TLC: Rf 0.45(塩化メチレン: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 1.00 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.39-1.46 (m, 2H), 1.63-1.70 (m, 2H), 2.01-2.06 (m, 2H), 2.22-2.35 (m, 2H), 2.52 (s, 3H), 2.64 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.12-3.20 (m, 2H), 3.30-3.37 (m, 2H), 3.56-3.60 (m, 2H), 4.24 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.03 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.06 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.29 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.52 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.83 (d, J=6.3 Hz, 1H), 8.48 (d, J=6.3 Hz, 1H)。

実施例 $29(50): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[4-(ブチル {[4-フルオロー2-ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー <math>1- 4$ ル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 $15 \text{ TL C}: \text{Rf} 0.50(クロロホルム: メタノール= 10:1); NMR (CD₃OD): <math>\delta$ 0.99 (t, J=7.5 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.53-6.60 (m, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.46 (m, 1H), 7.49 (d, J=8.7 Hz, 2H)。

20

TLC:Rf 0.45 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.99 (d, J = 6.9Hz, 3H), 1.00 (d, J = 6.9Hz, 3H), 1.74 (m, 1H),

1.95-2.25 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.07-3.20 (m, 2H), 3.25-3.42 (m, 2H), 3.47-3.62 (m, 3H), 4.16 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.99 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.24 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.29 (d, J 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

5

TLC:Rf 0.44 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.25 (s, 6H), 1.79 (t, J = 7.5Hz, 2H), 1.92-2.02 (m, 2H), 2.08-2.23 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.18 (m, 2H), 3.40 (t, J = 7.5Hz, 2H), 3.52-3.62 (m, 2H), 4.26-4.36 (m, 3H), 6.98 (d, J = 9.0Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2 H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2 H), 7.29 (d, J 8.7Hz, 2 H), 7.36 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2 H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2 H)。

実施例29(53): $N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,4-ジ$ $メチルー1-オキシドピリジンー3-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)$ $ピペリジンー1-イル]メチル<math>}$ フェノキシ)フェニル]メタンスルホンア

20 ミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.43 (塩化メチレン:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.00 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.39-1.46 (m, 2H), 1.63-1.75 (m, 2H), 1.97-2.05 (m, 2H), 2.23-2.35 (m, 2H), 2.43 (s, 3H), 2.59 (s, 3H), 2.96 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.38 (m, 2H), 3.53-3.59 (m, 2H), 4.21 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.66 (d, J = 6.9 Hz, 1H), 8.59 (d, J = 6.9 Hz, 1H)_o

実施例 $29(54):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-オキシドピリジン<math>-4-7$ ル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-7ル]メチル-1フェノキシ)フェニル-1スタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.35 (塩化メチレン:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.34-1.44 (m, 2H), 1.55-1.65 (m, 2H), 1.98-2.05 (m, 2H), 2.26-2.38 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.13-3.21 (m, 2H), 3.33-3.38 (m, 2H), 3.56-3.60 (m, 2H), 4.24 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 8.06 (d, J = 7.0 Hz, 2H), 8.59 (d, J = 7.0 Hz, 2H)。

実施例 $29(55): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチル <math>-1H-$ ピラゾール-4-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン -1-イル] メチル $}$ フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2 塩

15 酸塩

20

T L C: R f 0.40 (クロロホルム: メタノール= 1 0: 1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 4H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.97 (s, 3H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.88 (s, 1H), 7.99 (s, 1H);

非結晶;

軟化点:約156-159℃。

塩酸塩

5

10

15

TLC:Rf 0.51 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.00 (t, J = 7.5Hz, 3H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.97-2.31 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.41 (m, 4H), 3.50-3.71 (m, 3H), 4.12 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.83-7.02 (m, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.63 (dt, J = 5.7, 9.0Hz, 1H)_o

実施例29(57): $N-(4-\{4-\{4-\{4-\{4-\{4-\{4-2) ルオロフェニル) アミノ\} カルボニル\} [(3-メチルピリジン-2-イル) メチル] アミノ} ピペリジン-1-イル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド・2 塩酸塩$

TLC: Rf 0.56 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.01-2.30 (m, 4H), 2.62 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.16-3.30 (m, 2H), 3.50-3.61 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.51 (m, 1H), 4.88 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.42-7.5 0 (m, 2H), 7.56 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.86 (t, J = 6.5Hz, 1H), 8.39 (d, J = 6.5Hz, 1H), 8.54 (d, J = 6.5Hz, 1H).

実施例29(58): N-[4-(4-{[4-(シクロペンチルメチル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー 20 1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.57(塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR(CD₃OD): δ 1.20-1.35 (m, 2H), 1.52-1.87 (m, 6H), 1.98-2.07 (m, 2H), 2.22 (m, 1H), 2.30-2.48 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.28-3.33 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.88 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.24-7.32 (m, 4H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例29(59):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオ ロ-5-メトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1 ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.52(クロロホルム:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.75 (s, 3H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.67 (m, 1H), 7.02-7.12 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.9 Hz, 2H)_o
- 実施例29(60): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオロー3-メトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1ローイル]メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.52(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.85 (s, 3H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.89 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 6H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J=9.0 Hz, 2H)。

実施例29(61): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオ 20 ロー4ーメチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1ーイル]メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.56(クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.31 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.90-7.00 (m, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.26-7.31 (m, 3H), 7.50 (d, J=9.0 Hz, 2H)。

5 ンアミド・塩酸塩

10

20

TLC:Rf 0.63 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.13 (m, 2H), 2.13-2.31 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.16 (m, 2H), 3.58 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.38 (m, 1H), 4.93 (s, 2H), 6.98-7.18 (m, 6H), 7.24-7.42 (m, 4H), 7.52 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.75 (d, J = 3.6 Hz, 1H), 7.93 (d, J = 3.6 Hz, 1H)_o

実施例29(63):3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル ホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ] -N-メチルベンズアミド・塩酸塩

- 15 TLC: Rf 0.34 (クロロホルム:メタノール=10:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.90 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30-7.50 (m, 3H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.79 (s, 1H)。
 - 実施例29(64):N-{4-[4-(4-[ブチル({[3-(ジメ チルアミノ)フェニル]アミノ}カルボニル)アミノ]ピペリジン-1-イ ル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・2塩酸塩 TLC:Rf 0.50(クロロホルム:メタノール=10:1);
- 25 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.40 (m, 4H), 3.28 (s, 6H),

3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.28-7.31 (m, 3H), 7.48-7.54 (m, 4H), 7.90 (m, 1H).

実施例29(65): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(4-フルオ 5 ロ-2-メチルフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.47(クロロホルム: メタノール=10:1); NMR(CD₃OD): δ 0.98(t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50(m, 2H), 1.60-1.80(m, 2H), 1.90-2.10(m, 2H), 2.10-2.30(m, 2H), 2.21(s, 3H), 2.95(s, 3H), 3.00-3.20(m, 2H), 3.20-3.40(m, 2H), 3.50-3.60(m, 2H), 4.20(m, 1H), 4.28(s, 2H), 6.88(m, 1H), 6.94-7.14(m, 6H), 7.29(d, J=8.7 Hz, 2H), 7.51(d, J=8.7 Hz, 2H)。

実施例29(66): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオロー4ーメトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1 ロー4ーメトキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1 15 ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.63(クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.77 (s, 3H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.70-6.75 (m, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.22 (m, 1H), 7.29 (d, J=8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J=8.7 Hz, 2H)。

実施例 $29(67):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-エチル フェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-$ イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

25 TLC: Rf 0.58 (クロロホルム: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.22 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m,

2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.60 (q, J = 7.1 Hz, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.19 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.89 (m, 1H), 7.01-7.08 (m, 4H), 7.12-7.20 (m, 3H), 7.29-7.32 (m, 2H), 7.49-7.52 (m, 2H).

5

実施例29(68): N-(4-{4-[(4-{{[(4-7ルオロフェ ニル)アミノ]カルボニル}[(1-オキシドピリジン-2-イル)メチル] アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンス ルホンアミド・塩酸塩

T L C: R f 0.14 (塩化メチレン: メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 2.02-2.30 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.12-3.25 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.43 (m, 1H), 6.95-7.08 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.35 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.73 (t, J = 7.5Hz, 1H), 7.85 (d, J = 7.5Hz, 1H), 8.01 (t, J = 7.5Hz, 1H), 8.68 (d, J = 7.5Hz, 1H)。

- NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.52-6.56 (m, 2H), 7.02-7.09 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H).
- 25 実施例 $29(70):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチル 1 H-インドール-3-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン$

-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2塩 酸塩

TLC:Rf 0.42 (クロロホルム:メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.99 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.40-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H),
1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.76 (s, 3H), 4.25 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 5H),
7.10-7.20 (m, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.30 (m, 1H), 7.45 (m, 1H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

- 実施例29(71): N-{4-[4-(4-[ブチル({[3-(メチルスルホニル) フェニル] アミノ} カルボニル) アミノ] ピペリジン-1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.26(クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.10 (s, 3H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=8.3 Hz, 2H), 7.51 (d, J=8.3 Hz, 2H) 7.54-7.59 (m, 2H), 7.69 (m, 1H), 8.07 (m, 1H)。
- 20 実施例29(72):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-クロロー1ーメチルー1Hーピラゾールー4ーイル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジンー1ーイル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.42 (クロロホルム:メタノール=10:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.81 (s, 3H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.45 (s, 1H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例29 (73): N-[4-(4-{[4-(2,6-ジメチルベン 5 ジル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリ ジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド TLC: Rf 0.50 (塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 1.40-1.49 (m, 2H), 1.79-1.90 (m, 2H), 2.15-2.32 (m, 2H), 2.39 (s, 6H), 2.80-2.90 (m, 2H), 2.92 (s, 3H), 3.14 (m, 1H), 3.40 (s, 2H), 4.68 (s, 2H), 10 6.87-7.15 (m, 10H), 7.20-7.32 (m, 5H)。

実施例 $29(74):N-[4-(4-{[4-(2-シクロプロピルエチル){[(4-フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・$

15 塩酸塩

20

TLC:Rf 0.56 (塩化メチレン:メタノール=9:1); NMR (CD₃OD): δ 0.10-0.16 (m, 2H), 0.44-0.53 (m, 2H), 0.74 (m, 1H), 1.48-1.60 (m, 2H), 1.95-2.07 (m, 2H), 2.12-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.07-3.19 (m, 2H), 3.35-3.43 (m, 2H), 3.51-3.62 (m, 2H), 4.17 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.97-7.10 (m, 6H), 7.26-7.37 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

実施例29(75): N- {4- [4- [4- [4- [1 [(2,4-ジフルオロフェニル)) アミノ] カルボニル} (ピリジン-2-イルメチル) アミノ] ピペリジン-1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンア

25 ミド・2 塩酸塩

NMR (CD₃OD): δ 2.06-2.38 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.18 (m, 2H), 3.59 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 4.40 (m, 1H), 4.88 (s, 2H), 6.88-7.08 (m, 6H), 7.21-7.34 (m, 2H), 7.41 (m, 1H), 7.56 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.91 (m, 1H), 8.00 (m, 1H), 8.52 (m, 1H), 8.76 (brd, J = 5.4 Hz, 1H).

5

実施例29(76):N-[4-(4-{[4-(ブター3-エンイル{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.82 (クロロホルム:メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 2.01 (m, 2H), 2.25 (m, 2H), 2.42 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10 (m, 2H), 3.37 (m, 2H), 3.56 (m, 2H), 4.12 (m, 1H), 4.28 (m, 2H), 5.09 (brd, J = 9.9 Hz, 1H), 5.16 (brd, J = 17.1 Hz, 1H), 5.88 (m, 1H), 6.88-7.12 (m, 6H), 7.22-7.42 (m, 3H), 7.42-7.52 (m, 2H).
- 実施例29(77):3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル ホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ] ベンズアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.45(クロロホルム:メタノール=5:1); NMR(CD₃OD): δ 0.97(t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 20 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J=9.0 Hz, 2H), 7.38 (m, 1H), 7.49-7.52 (m, 4H), 7.84 (m, 1H)。

実施例29(78):N-(4-{4-[(4-{ブチル[(1H-ピラゾ - ルー4-イルアミノ) カルボニル] アミノ} ピペリジンー1-イル) メチ ・ ル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.47 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 8.10 (s, 2H).

実施例29(79): $N-\{4-[4-(4-[ブチル({[1-メチル -5-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾールー4-イル] アミノ} カ ルボニル)アミノ]ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル)フェノキシ]フェニル $\}$

10 メタンスルホンアミド・2塩酸塩

5

15

25

TLC: Rf 0.88 (01 01 0.88);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.30 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (s, 3H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.71 (s, 1H).

20 ホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.29 (nーブタノール:酢酸:水=20:4:1); NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.25 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.15 (m, 2H), 3.58 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.34 (m, 1H), 4.84 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.24-7.41 (m, 4H), 7.51 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例29(81):N-[4-(4-{[4-(ブタ-3-エンイル{[(1

ーメチルー1Hーピラゾールー4ーイル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジンー1ーイル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC: Rf 0.75 (クロロホルム: メタノール=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.98 (m, 2H), 2.21 (m, 2H), 2.35 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.12 (m, 2H), 3.24-3.38 (m, 2H), 3.57 (m, 2H), 3.87 (s, 3H), 4.12 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 5.00-5.20 (m, 2H), 5.76-5.94 (m, 1H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.22-7.34 (m, 2H), 7.42-7.60 (m, 3H), 7.73 (m, 1H)_☉
- 10 実施例 $29(82): N-\{4-[4-(4-[4-(6-メチルピリジン-3-イル)アミノ]カルボニル\}(ピリジン-2-イルメチル)アミノ] ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル)フェノキシ]フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・3 塩酸塩

TLC:Rf 0.68 (DDDTNA: XDD-N=5:1);

- NMR (CD₃OD): δ 2.00 (m, 2H), 2.22 (m, 2H), 2.70 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.17 (m, 2H), 3.55 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.48 (m, 1H), 4.75 (s, 2H), 6.98-7.10 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.48-7.56 (m, 3H), 7.62 (m, 1H), 7.80 (d, J = 8.7 Hz, 1H), 8.02 (m, 1H), 8.42 (m, 1H), 8.63 (m, 1H), 9.02 (d, J = 1.8 Hz, 1H) $_{\circ}$

2H), 7.46-7.57 (m, 3H).

実施例 2 9 (8 4): N - (4 - {4 - [(4 - {ブチル[(1 H - インドールー5ーイルアミノ)カルボニル]アミノ}ピペリジンー1ーイル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.65 (クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 6H), 7.21 (s, 1H), 7.28-7.32 (m, 3H), 7.44 (m, 1H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H)。

実施例29(85): N- $\{4-[4-(4-[ブチル({[1-メチル -3-(トリフルオロメチル)-1H-ピラゾール-4-イル] アミノ} カーボニル) アミノ] ピペリジン-1-イル<math>\}$ メチル) フェノキシ] フェニル $\}$

15 メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.84 (クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.40 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.00 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90 (s, 3H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H),

20 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H) 7.51 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.71 (s, 1H).

実施例29(86): N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(2-フルオロー5-ヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー 1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.82 (クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H),

1.90-2.00 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.52 (m, 1H), 6.88 (m, 1H), 6.95 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.9 Hz, 2H)_o

- 実施例29(87):N-{4-[4-(4-[(シクロブチルアミノ)カルボニル](1,3-チアゾール-2-イルメチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・塩酸塩
 - TLC:Rf 0.68 (クロロホルム:メタノール=5:1);
- NMR (CD₃OD): δ 1.60-1.78 (m, 2H), 1.84-2.36 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.12 (m, 2H), 3.56 (m, 2H), 4.16-4.30 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 4.81 (m, 2H), 7.00-7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.52 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.77 (brd, J = 3.6 Hz, 1H), 7.92 (brd, J = 3.6 Hz, 1H).
- 15 実施例29(88):N-{4-[4-({4-[{[(6-メチルピリジン-3-イル)アミノ]カルボニル}(1,3-チアゾール-2-イルメチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル}メタンスルホンアミド・2塩酸塩
 - TLC: Rf 0.61 (クロロホルム: メタノール=5:1);
- NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.18 (m, 2H), 2.18-2.40 (m, 2H), 2.71 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.29 (m, 2H), 3.57 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 4.59 (m, 1H), 5.00 (s, 2H), 7.00 -7.12 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.55 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.77 (m, 1H), 7.82 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 7.94 (brd, J = 2.1 Hz, 1H), 8.58 (m, 1H), 9.08 (brd, J = 2.1 Hz, 1H) \circ
- 25 実施例29(89): N-{4-[4-({4-[{(2,4-ジフルオ ロフェニル)アミノ]カルボニル}(1,3-チアゾール-2-イルメチル)

アミノ] ピペリジンー 1 ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

25

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.32 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.12 (m, 2H), 3.57 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 4.32 (m, 1H), 4.91 (s, 2H), 6.90-7.12 (m, 6H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.39-7.60 (m, 3H), 7.70 (brd, J = 3.3 Hz, 1H), 7.88 (brd, J = 3.3 Hz, 1H).

実施例29(90):N-(4-{4-[(4-{((4-7)ルオロフェニル)アミノ]カルボニル}[(2-メチルピリジン-3-イル)メチル]
 10 アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC: Rf 0.67 (0.67 (0.67 (0.67 (0.67 (0.67);

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.11 (m, 2H), 2.12-2.38 (m, 2H), 2.82 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.13 (m, 2H), 3.54 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 4.49 (m, 1H), 4.69 (s, 2H), 6.96 -7.10 (m, 6H), 7.14-7.38 (m, 4H), 7.54 (brd, J = 8.4 Hz, 2H), 7.82 (m, 1H), 8.32 (m, 1H), 8.56 (d, J = 5.4 Hz, 1H) $_{\circ}$

実施例29(91):N-(4-{4-[(4-{{[(2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}[(3-メチルピリジン-2-イル)メロフェニル)アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.55 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.08-2.35 (m, 4H), 2.62 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.12-3.25 (m, 2H), 3.52-3.61 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.47 (m, 1H), 4.92 (s, 2H), 6.90-7.00 (m, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.47 (dt, J = 6.0, 9.0Hz, 1H), 7.56 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.89 (dd, J = 7.5, 5.7Hz, 1H), 8.44 (d, J =

7.5Hz, 1H), 8.57 (d, J = 5.7Hz, 1H) $_{\circ}$

5

15

TLC:Rf 0.50 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.63-1.75 (m, 2H), 1.95-2.30 (m, 8H), 2.59 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.22 (m, 2H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.20-4.37 (m, 4H), 4.74 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.86 (dd, J = 7.5, 6.0Hz, 1H), 8.40 (d, J = 7.5Hz, 1H), 8.51 (d, J = 6.0Hz, 1H).

実施例29(93):N-(4-{4-[(4-{[(6-メチルピリジン-3-イル)アミノ]カルボニル}[(3-メチルピリジン-2-イル)メチル]アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド。3塩酸塩

TLC:Rf 0.47 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.10-2.39 (m, 4H), 2.64 (s, 3H), 2.71 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.22-3.35 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.32 (s, 2H), 4.75 (m, 1H), 4.96 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.83 (d, J = 8.7Hz, 1H), 7.89 (dd, J = 7.5, 5.1Hz, 1H), 8.44 (d, J = 7.5Hz, 1H), 8.57 (d, J = 5.1Hz, 1H), 8.68 (dd, J = 8.7, 2.4Hz, 1H), 9.12 (d, J = 2.4Hz, 1H)_o

2 塩酸塩

5

25

TLC:Rf 0.40 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

N M R (DMSO-d₆): δ 1.80-1.89 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 2.97-3.10 (m, 2H), 4.21 (s, 2H), 4.36 (m, 1H), 4.70 (s, 2H), 6.98-7.07 (m, 6H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.35-7.43 (m, 3H), 7.55 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.60 (m, 1H), 8.78 (d, J = 5.1Hz, 2H), 9.35 (m, 1H).

実施例29(95): N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2,4,6]-トリフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-10 イル]メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.71 (クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J=7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.88-6.94 (m, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J=9.2 Hz, 2H), 7.51 (d, J=9.2 Hz, 2H)。

実施例29(96): \mathbb{N} -(4-{4-[(4-{[(2-ヒドロキシブチル) アミノ] カルボニル} [(3-メチルピリジン-2-イル) メチル] アミノ} ピペリジン-1-イル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンス

20 ルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.39 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.37-1.58 (m, 2H), 1.97-2.25 (m, 4H), 2.60 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.23 (m, 4H), 3.50-3.67 (m, 3H), 4.27-4.38 (m, 3H), 4.80 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.55 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.88 (dd, J = 7.8, 6.0Hz, 1H), 8.42 (d, J = 7.8Hz, 1H), 8.54 (d, J = 6.0Hz, 1H)_o

実施例29 (97): $N-\{4-[4-(\{4-[[(シクロブチルアミノ)カルボニル](ピリジン-2-イルメチル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル<math>\}$ メタンスルホンアミド・2塩酸塩

- 5 TLC:Rf 0.54 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.60-1.74 (m, 2H), 1.90-2.30 (m, 8H), 2.95 (s, 3H), 3.11 (m, 2H), 3.56 (m, 2H), 4.18-4.32 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.72 (s, 2H), 7.00-7.10 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.0 Hz, 2H), 7.53 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.80-7.92 (m, 2H), 8.44 (m, 1H), 8.71 (brd, J = 5.4 Hz, 1H)。

- NMR (CD₃OD): δ 0.90 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.20-1.50 (m, 2H), 1.90-2.02 (m, 4H), 2.32 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.34 (m, 4H), 3.42-3.51 (m, 3H), 4.24 (s, 2H), 4.39 (s, 2H), 4.41 (m, 1H), 6.98-7.04 (m, 4H), 7.08-7.20 (m, 4H), 7.28 (brd, 9.0 Hz, 2H), 7.45 (brd, J = 8.4 Hz, 2H)_o
- 実施例29(99):5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル ホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2-フルオロベンズアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.67(クロロホルム:メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97(t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 25 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.13 (m, 1H),

7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.52 (m, 1H), 7.78 (m, 1H)

実施例 2 9 (1 0 0) : 3 - [({ブチル [1 - (4 - {4 - [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー4ーイル] アミノ} カルボニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー4ーイル] アミノ} 5 カルボニル) アミノ] - 2 , 6 - ジフルオロベンズアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.64 (クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 5H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.44 (m, 1H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H)。

実施例 $29(101):5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-$ イル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2, 4-ジフルオロベンズアミド・塩酸塩

15 TLC:Rf 0.65 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.17 (t, J = 10.5 Hz, 1H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.85 (m, 1H)。

20

実施例29(102):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3-シア ノー4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1 -イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.66(クロロホルム:メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.23-7.31 (m, 3H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.66 (m, 1H), 7.91 (m, 1H).

実施例29(103):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(5-シア 5 ノー2,4-ジフルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジ ン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩 酸塩

TLC: Rf 0.64 (DDDTML): XDDML 5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.35 (m, 1H) 7.49 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.87 (m, 1H).

実施例29(104):N-[4-(4-{[4-((2-フルオロフェニル) (15)] ル) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.51 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.55-1.80 (m, 2H), 2.16-2.23 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.22 (m, 2H), 3.47-3.56 (m, 2H), 4.23 (s, 2H), 4.64 (m, 1H), 6.93-7.06 (m, 6H), 7.20-7.45 (m, 9H), 7.51 (m, 1H) °

実施例29(105):N-[4-(4-{[4-((3-フルオロフェニル)) {[(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.52(塩化メチレン:メタノール=9:1);

N M R (CD₃OD): δ 1.63-1.82 (m, 2H), 2.12 - 2.23 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.21 (m, 2H), 3.44-3.55 (m, 2H), 4.23 (s, 2H), 4.64 (m, 1H), 6.93-7.07 (m, 6H), 7.15 (d, J = 6.9Hz, 2H), 7.20-7.32 (m, 5H), 7.42 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.54 (q, J = 6.9Hz, 1H)_o

10 酸塩

5

TLC:Rf 0.54 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.59-1.79 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.21 (m, 2H), 3.45-3.54 (m, 2H), 4.22 (s, 2H), 4.64 (m, 1H), 6.91-7.05 (m, 6H), 7.20-7.38 (m, 8H), 7.43 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

15

実施例29 (107): $\mathbb{N}-[4-(4-\{[4-(ブチル { [(4-シア ノー2-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1 ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 <math>\mathbb{T}$ L \mathbb{C} : R \mathbb{f} 0.81 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (m, 1H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.56 (dd, J = 10.5, 1.8 Hz, 1H), 7.83 (m, 1H)_o

25

実施例29 (108):N-{4-[4-({4-[{(4-フルオロフ

ェニル) アミノ] カルボニル} (ピリジンー3ーイル) アミノ] ピペリジンー1ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC: Rf 0.46(塩化メチレン: メタノール=9:1);

- 5 NMR (CD₃OD): δ 1.95-2.10 (m, 2H), 2.18-2.24 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.11-3.23 (m, 2H), 3.49-3.58 (m, 2H), 4.26 (s, 2H), 4.64 (m, 1H), 6.97-7.07 (m, 6H), 7.26-7.35 (m, 4H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.15 (dd, J = 8.7, 5.7Hz, 1H), 8.58 (dq, J = 8.7, 2.4Hz, 1H), 8.89 (d, J = 5.7Hz, 1H), 9.04 (d, J = 2.4Hz, 1H).
- 実施例29(109):N-{4-[4-({4-[{(4-フルオロフェニル) アミノ] カルボニル} (2-メチルフェニル) アミノ] ピペリジンー1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.57 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

- 15 NMR (CD₃OD): δ 1.62 (m, 1H), 1.97-2.10 (m, 2H), 2.28-2.40 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.07-3.20 (m, 2H), 3.40-3.57 (m, 2H), 4.22 (s, 2H), 4.55 (m, 1H), 6.95 (t, J = 9.0Hz, 2H), 7.01 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.08-7.47 (m, 10H).

TLC:Rf 0.57 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.62-1.80 (m, 2H), 2.11-2.20 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.09-3.21 (m, 2H), 3.45-3.54 (m, 2H), 4.23(s, 2H), 4.63 (m, 1H), 6.95 (t, J = 9.0Hz, 2H), 7.01 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.12 (d, J = 7.5Hz, 1H),

7.15 (s, 1H), 7.21 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.25-7.35 (m, 3H), 7.40 (d, J = 7.5Hz, 1H), 7.42 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例29(111):N-{4-[4-({4-[{(4-フルオロフ 5 ェニル) アミノ] カルボニル} (4-メチルフェニル) アミノ] ピペリジン -1-イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸 塩

TLC:Rf 0.58 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.59-1.78 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.40 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.20 (m, 2H), 3.44-3.50 (m, 2H), 4.21 (s, 2H), 4.67 (m, 1H), 6.95 (t, J = 9.0Hz, 2H), 6.98-7.08 (m, 4H), 7.18-7.23 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.36 (d, J = 7.8Hz, 2H), 7.42 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例29(112): N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2-ヒド 15 ロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メ チル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.63(酢酸エチル); NMR(CD₃OD): δ 1.00(t, J=7.2 Hz, 3H), 1.37-1.49 (m, 2H), 1.63-1.71 (m, 2H), 1.98-2.03 (m, 2H), 2.14-2.27 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.09-3.17 (m, 2H), 3.25-3.30 (m, 20 2H), 3.55-3.59 (m, 2H), 4.24 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 6.76-6.94 (m, 3H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.30 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7 Hz,

実施例29(113): $N-\{2-[({ブチル[1-(4-{4-[(メ$ $25 チルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジンー4ーイル]$ $アミノ<math>\}$ カルボニル)アミノ]フェニル $\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

2H), 7.59 (dd, J = 7.8, 1.5 Hz, 1H).

TLC:Rf 0.50 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.10-2.20 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.97 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.60-3.80 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H),

5 7.15 (m, 1H), 7.26-7.31 (m, 4H), 7.50 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.75 (d, J = 8.1 Hz, 1H).

10 塩

TLC:Rf 0.71 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 7.47 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.36-7.14 (m, 8H), 7.10-6.92 (m, 6H), 4.60 (brs, 2H), 4.37 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 3.50 (m, 2H), 3.09 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.30 (s, 3H), 2.26-1.84 (m, 4H)_o

15

実施例29 (115): $N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3,4- ジヒドロキシフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 <math>TLC: Rf 0.40 (クロロホルム: メタノール=10:1);$

NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.58 (dd, J = 8.4, 2.4 Hz, 1H), 6.68 (d, J = 8.4 Hz, 1H), 6.79 (d, J = 2.4 Hz, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.9 Hz, 2H).

25

実施例29(116): $N-[4-(4-{[4-((シアノメチル) {[(4-((シアノメチル) {[(4-((シアノメチル) {[(4-((b) 2-(b) 2$

ーフルオロフェニル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.55 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.28 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.10 (m, 2H), 3.50-3.65

5 (m, 2H), 4.04-4.30 (m, 5H), 7.00-7.20 (m, 4H), 7.25-7.52 (m, 8H)_o

10 ミド・塩酸塩

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.40 (m, 3H), 1.62 (m, 3H), 1.88 (m, 2H), 2.60 (m, 4H), 2.94 (s, 3H), 3.24 (m, 2H), 3.92 (s,2H), 4.18 (m, 1H), 7.00 (m, 4H), 7.20-7.50 (m, 5H), 7.71 (brd, J = 7.8 Hz, 1H), 7.86 (m,H)_o

15

実施例 $29(118):N-[4-(4-{[4-(ブター3-エンー1-イル {[(6-メチルピリジンー3-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー<math>1-イル]$ メチル1-4 フェノキシ) フェニル1-4 メタンスルホンアミド・1-4 塩酸塩

TLC:Rf 0.51 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.98-2.09 (m, 2H), 2.22-2.45 (m, 4H), 2.70 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.12-3.25 (m, 2H), 3.42 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.54-3.66 (m, 2H), 4.26 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 5.08 (d, J = 10.2Hz, 1H), 5.15 (d, J = 17.1Hz, 1H), 5.85 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.80 (d, J = 9.0Hz, 1H), 8.47 (dd, J = 9.0, 2.4Hz, 1H), 9.02 (d, J = 2.4Hz, 1H)。

実施例29(119):N-(4-{4-[(4-{ブタ-3-エン-1-イル[(シクロブチルアミノ) カルボニル] アミノ} ピペリジン-1-イル) メチル] フェノキシ} フェニル) メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC:Rf 0.61(塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.62-1.74 (m, 2H), 1.88-2.35 (m, 10H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.20 (t, J = 7.8Hz, 2H), 3.50 -3.59 (m, 2H), 4.06 (m, 1H), 4.20 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 5.05 (d, J = 10.2Hz, 1H), 5.11 (dd, J = 17.1, 2.1Hz, 1H), 5.81 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)_o

10

実施例29(120): $N-\{4-[4-(\{4-[[(シクロブチルアミノ)カルボニル](3-メチルブター2-エンー1-イル)アミノ]ピペリジン-1-イル}メチル)フェノキシ]フェニル<math>\}$ メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.60 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.60-2.18 (m, 14H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.15 (m, 2H), 3.49-3.59 (m, 2H), 3.77-3.82 (m, 2H), 4.15-4.25 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 5.06 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

20

TLC:Rf 0.45 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.54-1.70 (m, 8H), 1.74 (s, 6H), 1.80-2.10 (m, 4H), 2.95 (s,

3H), 3.05-3.15 (m, 2H), 3.49-3.66 (m, 3H), 3.74-3.84 (m, 3H), 4.27 (s, 2H), 4.31 (m, 1H), 5.08 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.50 (d, J = 8.7Hz, 2H).

- - TLC:Rf 0.51 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
- NMR (CD₃OD): δ 1.50-1.60 (m, 8H), 1.90-2.03 (m, 4H), 2.33 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.14 (m, 2H), 3.45-3.53 (m, 2H), 3.63 (m, 1H), 3.79 (m, 1H), 4.24 (s, 2H), 4.40 (s, 2H), 4.45 (m, 1H), 7.01 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.07 -7.21 (m, 4H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.46 (d, J = 8.7Hz, 2H).
- 15 実施例29(123):N-[4-(4-{[4-((2-メチルベンジル) {[(1-メチルー1H-ピラゾールー4-イル)アミノ]カルポニル}ア ミノ)ピペリジンー1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスル ホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.53 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.91-2.19 (m, 4H), 2.35 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.06-3.17 (m, 2H), 3.44-3.52 (m, 2H), 3.94 (s, 3H), 4.29 (s, 2H), 4.49 (m, 1H), 4.52 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06-7.20 (m, 4H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.77 (s, 1H), 7.94 (s, 1H).
- 25 実施例29(124):N-(4-{4-[(4-{[(1-メチルー1 H-ピラゾールー4-イル)アミノ]カルボニル}[(3-メチルピリジン

-2-イル)メチル]アミノ}ピペリジン-1-イル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・3塩酸塩

TLC:Rf 0.49 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

5

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.10 (m, 2H), 2.18-2.35 (m, 2H), 2.63 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.18-3.34 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.96 (s, 3H), 4.32 (s, 2H), 4.54 (m, 1H), 4.91 (s, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.28 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.89 (dd, J = 7.8, 6.0Hz, 1H), 7.94 (s, 1H), 8.06 (s, 1H), 8.45 (d, J = 7.8Hz, 1H), 8.54 (d, J = 6.0Hz, 1H).

実施例29(125):N-[4-(4-{[4-((3-メチルブター2-エン-1-イル) {[(1-メチルー1Hーピラゾールー4ーイル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.52 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

- NMR (CD₃OD): δ 1.72 (s, 3H), 1.73 (s, 3H), 1.90-2.22 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.20 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.90-3.97 (m, 2H), 3.97 (s, 3H), 4.23-4.32 (m, 3H), 5.12 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.85 (s, 1H), 7.98 (s, 1H) $_{\circ}$
- 実施例29(126):N-{3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メ チルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-イル]
 アミノ}カルボニル)アミノ]-2,4-ジフルオロフェニル}アセトアミド・塩酸塩

TLC: Rf 0.44 (クロロホルム: メタノール=5:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.14 (s, 3H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H),

3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.97-7.08 (m, 5H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.65 (m, 1H).

実施例29(127):N-{5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メ 5 チルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジンー4ーイル] アミノ}カルボニル)アミノ]-2,4ージフルオロフェニル}アセトアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.56 (DDDTMLA: XDJ-W=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.14 (s, 3H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 7.02-7.10 (m, 5H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.95 (t, J = 7.5 Hz, 1H).

実施例29(128): N-{3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メ チルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー4ーイル] アミノ} カルボニル) アミノ] -4-フルオロフェニル} アセトアミド。塩 酸塩

TLC:Rf 0.48 (クロロホルム:メタノール=5:1);

20

NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.10 (s, 3H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.09 (m, 5H), 7.25 (m, 1H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.77 (dd, J = 6.9, 2.4 Hz, 1H).

アミノ] ピペリジンー 1 ーイル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・塩酸塩

TLC:Rf 0.50(塩化メチレン:メタノール=9:1);

5

10

15

NMR (CD₃OD): δ 1.65-1.78 (m, 2H), 1.80-1.90 (m, 2H), 1.95-2.08 (m, 2H), 2.78-2.92 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.03-3.18 (m, 2H), 3.47-3.60 (m, 5H), 3.88-4.05 (m, 3H), 4.27 (s, 2H), 6.97-7.09 (m, 6H), 7.23-7.31 (m, 4H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例29(130):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-4-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

 $TLC: Rf 0.66 (DDD \pi NA: 397 - N = 4:1);$

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.5 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.28 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.99 (s, 3H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.95 (m, 1H).

TLC:Rf 0.56 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.95-2.12 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.21 (m, 2H), 3.47-3.58 (m, 2H), 4.27 (s, 2H), 4.38 (m, 1H), 4.90 (s, 2H), 6.95-7.06 (m, 6H), 7.25-7.35 (m, 4H), 7.48 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.62 (dd, J = 8.0, 5.0Hz, 1H), 8.28 (d, J = 8.0Hz, 1H), 8.81 (d, J = 5.0Hz, 1H)_o

実施例30(1)~実施例30(12)

(3-{[t-ブチル(ジメチル)シリルオキシ}ブチル)アミンの代わりに相当するアミン誘導体を用いて、実施例25と同様の操作に付すことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

実施例 $30(1):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(3S)-ピペリジン-3-イルアミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

10

5

TLC:Rf 0.15 (n-ブタノール:酢酸:水=4:2:1);

NMR (DMSO-d₆): δ 0.91 (t, J = 7.1 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.60-2.00 (m, 6H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 10H), 2.96 (s, 3H), 3.99 (m, 1H), 4.15 (m, 1H), 4.18 (s, 2H), 6.23 (m, 1H), 7.03 (d, J = 7.2 Hz, 4H), 7.28 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.61 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 8.83 (m, 1H), 9.35 (m, 1H), 9.47 (m, 1H) o

実施例 $30(2):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(3R)-ピペリジン-3-イルアミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・<math>2$ 塩酸塩

20 TLC: Rf 0.15 (nーブタノール: 酢酸: 水=4:2:1); NMR (DMSO-d₆): δ 0.91 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.20-1.40 (m, 2H), 1.40-1.60 (m, 2H), 1.60-2.00 (m, 6H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 10H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 1.60-2.00 (m, 6H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 10H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 2H), 2.96 (s, 3H), 3.98 (m, 2H), 2.80-3.60 (m, 2H), 2.96 (s, 2H),

1H), 4.15 (m, 1H), 4.20 (s, 2H), 6.22 (m, 1H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 4H), 7.28 (d, J = 7.7 Hz, 2H), 7.61 (d, J = 7.7 Hz, 2H), 8.83 (m, 1H), 9.36 (m, 1H), 9.47 (m, 1H) o

実施例30(3): N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(3-メチルイ 5 ソチアゾール-5-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.35 (クロロホルム: メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J=7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.30-2.40 (m, 2H), 2.56 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 10 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 5H), 7.29 (d, J=8.9 Hz, 2H), 7.53 (d, J=8.9 Hz, 2H)。

実施例30(4):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(3-メチルー 1,2-ベンズイソチアゾールー5-イル)アミノ]カルボニル}アミノ) ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンア ミド・塩酸塩

15

20

T L C: R f 0.46 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.80 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.70 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.52 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.60 (dd, J = 9.0, 1.7 Hz, 1H), 7.90 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 8.08 (d, J = 1.7 Hz, 1H)。

実施例30(5):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチルー 1H-ピラゾールー5-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー 1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2 塩酸

塩

5

25

TLC:Rf 0.30 (クロロホルム:メタノール=10:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 2.00-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.78 (s, 3H), 4.20 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 6.34 (d, J = 2.4 Hz, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.51 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.79 (d, J = 2.4 Hz, 1H)。

実施例30(6): N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(3-ヒドロキ 10 シシクロヘキシル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジン-1-イル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・塩酸塩 TLC: Rf 0.24(塩化メチレン: メタノール=9:1); NMR(CD₃OD): δ 0.95(t, J=7.2Hz, 3H), 1.23-2.20(m, 16H), 2.95(s, 3H), 3.02-3.16(m, 4H), 3.50-3.59(m, 2H), 3.66(m, 1H), 3.95-4.22(m, 2H), 4.28(s, 2H), 7.03(d, J=8.7Hz, 2H), 7.06(d, J=8.7Hz, 2H), 7.29(d, J=8.7Hz, 2H), 7.50(d, J=8.7Hz, 2H)。

トリメチルー 1 H ーピラゾールー 4 ーイル) アミノ] カルボニル} アミノ) 20 ピペリジンー 1 ーイル] メチル} フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド・2 塩酸塩 T L C: R f 0.60 (クロロホルム: メタノール=5:1); NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.27 (s, 6H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.20 (m, 2H),

実施例30(7):N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1,3,5-

3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 3.93 (s, 3H), 4.24 (m, 1H), 4.30 (s, 2H),

7.02-7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.7 Hz, 2H).

実施例30(8):5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホ ニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジンー4ーイル]アミノ}カ ルボニル)アミノ]-2,4-ジフルオロ安息香酸・塩酸塩

5 TLC:Rf 0.17 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 7.01-7.06 (m, 5H), 7.29 (d, J =

8.7 Hz, 2H, 7.50 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.89 (m, 1H)

10

実施例30(9):5-[({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホ ニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー4ーイル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2-フルオロ安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.21 (酢酸エチル:メタノール=7:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.30 (s, 2H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.12 (d, J = 9.0 Hz, 1H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.58 (m, 1H), 7.92 (m, 1H) $_{\circ}$

20

実施例 $30(10):3-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスル ホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジンー<math>4-$ イル]アミノ}カルボニル)アミノ]-2,6-ジフルオロ安息香酸・塩酸塩

TLC:Rf 0.21 (酢酸エチル:メタノール=7:1);

25 NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.4 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.60-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.20-3.40 (m,

2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.20 (m, 1H), 4.28 (s, 2H), 6.90 (m, 1H), 7.02 -7.07 (m, 4H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.40 (m, 1H), 7.50 (d, J = 8.9 Hz, 2H).

実施例30(11):2,4-ジフルオロ-5-[({[(3-メチルピリ5 ジン-2-イル)メチル][1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-イル]アミノ}カルボニル)アミノ]ベンズアミド・2 塩酸塩

TLC:Rf 0.70 (クロロホルム:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.10-2.20 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.62 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.31 (s, 2H), 4.50 (m, 1H), 7.00-7.06 (m, 4H), 7.17 (t, J = 10.2 Hz, 1H), 7.28 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.56 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.90-7.98 (m, 2H), 8.44 (d, J = 7.2 Hz, 1H), 8.57 (d, J = 8.7 Hz, 1H).

実施例 $30(12):5-[({ブタ-3-x})-1-{ブν}[1-(4-{4-4})-[({\it xx})-1-{\it xx})]$ アミノ] フェノキシ ${\it xx}$ ベンジル) ピペリジン ${\it xx}$ - ${\it xx}$ - ${\it xx}$ カルボニル) アミノ ${\it xx}$ - ${\it xx}$ - ${\it xx}$ カルボニル) アミノ ${\it xx}$ - ${\it xx}$ - ${\it xx}$ ないがたしている。 なっぱっしょう は酸塩

TLC:Rf 0.63 (クロロホルム:メタノール=4:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.10-2.20 (m, 2H), 2.20-2.30 (m, 2H), 2.40-2.50 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.20 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.10 (m, 1H), 4.29 (s, 2H), 5.08-5.19 (m, 2H), 5.85 (m, 1H), 7.02-7.08 (m, 4H), 7.14 (t, J = 10.4 Hz, 1H), 7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.49 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.86 (m, 1H).

実施例31(1)および実施例31(2)

25 $O-ベンジルヒドロキシアミンまたは相当するアミン誘導体を用いて、および<math>N-(4-\{4-[(4-アミノピペリジン-1-イル) メチル]$ フェノ

キシ}フェニル)メタンスルホンアミドの代わりに実施例3で製造した化合物を用いて、実施例27と同様の操作に付すことにより、以下に示す本発明化合物を得た。

TLC:Rf 0.53 (塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.90 (t, J = 7.2Hz, 3H), 1.21-1.32 (m, 2H), 1.40-1.52 (m, 2H), 1.87-1.97 (m, 2H), 2.11-2.30 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.98-3.13 (m, 4H), 3.47-3.58 (m, 2H), 3.97 (m, 1H), 4.27 (s, 2H), 4.79 (s, 2H), 7.03 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.27-7.44 (m, 7H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H) $_{\circ}$

実施例31(2):N-[4-(4-{[4-(ブチル{[(2-メチルー1,3-ベンゾチアゾールー6-イル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩

TLC:Rf 0.74 (クロロホルム:メタノール=5:1);

20 NMR (CD₃OD): δ 0.96 (t, J = 7.1 Hz, 3H), 1.30-1.50 (m, 2H), 1.50-1.70 (m, 2H), 1.90-2.10 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 2.99 (s, 3H), 3.10-3.30 (m, 2H), 3.30-3.40 (m, 2H), 3.50-3.60 (m, 2H), 4.30 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 7.01-7.05 (m, 4H),

7.29 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.56 (d, J = 8.9 Hz, 2H), 7.67 (d, J = 8.3 Hz, 1H), 7.97 (d, J = 8.3 Hz, 1H), 8.23 (s, 1H) $_{\circ}$

実施例32:N-[4-(4-{[4-([(3,5-ジメチルイソキサゾール-4-イル)メチル] {[(4-ブルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

4ーヒドロキシピペリジンの代わりに実施例27で用いたNー(4ー{4 10 ー [(4ーアミノピペリジンー1ーイル)メチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミドを用いて、および4ー(4ーメチルスルホニルアミノフェノキシ)ベンズアルデヒドの代わりに3,5ージメチルイソキサゾールー4ーカルボアルデヒドを用いて実施例1と同様の操作に付した。得られた化合物を実施例3で製造した化合物の代わりに用いて、および1ーメチルシクロヘキサン酸の代わりに4ーフルオロ安息香酸を用いて、実施例23と同様の操作に付すことにより、以下の物性値を有する標題化合物(100.2mg)を得た。

TLC:Rf 0.56(塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.91-2.00 (m, 2H), 2.12-2.32 (m, 2H), 2.25 (s, 3H), 2.39 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.02-3.16 (m, 2H), 3.48-3.57 (m, 2H), 4.05 (m, 1H), 4.26 (s, 2H), 4.42 (s, 2H), 6.97-7.08 (m, 6H), 7.25-7.37 (m, 4H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H).

実施例32(1)~実施例32(4)

3,5-ジメチルイソキサゾールー4-カルボアルデヒドの代わりに相当 するアルデヒド誘導体を用いて、実施例32と同様の操作に付すことにより、 以下に示す本発明化合物を得た。

5

実施例32(1): $N-[4-(4-{[4-([(5-クロロ-1,3-ジメチル-1H-ピラゾール-4-イル)メチル]{[(4-フルオロフェニル)アミノ]カルボニル}アミノ)ピペリジン-1-イル]メチル}フェノキシ)フェニル]メタンスルホンアミド・2塩酸塩$

- TLC:Rf 0.55 (塩化メチレン:メタノール=9:1);
 NMR (CD₃OD): δ 1.92-2.01 (m, 2H), 2.15-2.31 (m, 2H), 2.23 (s, 3H), 2.95 (s, 3H), 3.00-3.15 (m, 2H), 3.43-3.55 (m, 2H), 3.76 (s, 3H), 4.01 (m, 1H), 4.25 (s, 2H), 4.48 (s, 2H), 6.97-7.08 (m, 6H), 7.25-7.37 (m, 4H), 7.49 (d, J = 8.7Hz, 2H)。

TLC:Rf 0.42 (クロロホルム:メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.92-2.04 (m, 2H), 2.16-2.33 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.11 (m, 2H), 3.54 (m, 2H), 4.29 (s, 2H), 4.31 (m, 1H), 4.69 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.22-7.40 (m, 4H), 7.44-7.58 (m, 2H), 7.64 (m, 1H), 9.2 2 (m, 1H).

実施例32(3):N-(4-{4-[(4-{[(4-7ルオロフェニ ル) アミノ] カルボニル} [(6-オキソー1,6-ジヒドロピリジンー2 -イル) メチル] アミノ} ピペリジンー1ーイル) メチル] フェノキシ} フ

エニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

5

TLC:Rf 0.17(塩化メチレン:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.00-2.30 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.10-3.22 (m, 2H), 3.50-3.62 (m, 2H), 4.30 (s, 2H), 4.38 (m, 1H), 4.57 (s, 2H), 6.78 (d, J = 9.0Hz, 1H), 6.82 (d, J = 7.5Hz, 1H), 7.01 (t, J = 9.0 Hz, 2H), 7.02 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.05 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.37 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.53 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.90 (dd, J = 9.0, 7.5Hz, 1H) $_{\circ}$

TLC: Rf 0.13 (塩化メチレン: メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.97-2.08 (m, 2H), 2.20-2.40 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.21 (m, 2H), 3.52-2.60 (m, 2H), 4.25-4.40 (m, 3H), 4.62 (s, 2H), 6.98-7.08 (m, 6H), 7.29 (d, J = 8.7Hz, 2H), 7.40 (dd, J = 9.0, 5.0Hz, 2H), 7.51 (s, 1H), 7.56 (d, J = 8.7Hz, 2H), 8.80 (s, 1H)_o

実施例33:4-[4-({4-[(アリルオキシ)イミノ]ピペリジンー20 1-イル}メチル)フェノキシ]-N-メチルベンズアミド・塩酸塩

実施例 15で製造した化合物の代わりに $N-メチル-4-\{4-[(4-1)+1]$ オキソピペリジン-1-1 インズアミドを用いて、

nーブチルアミンの代わりにOーアリルヒドロキシアミンを用いて、実施例 16と同様の操作に付すことにより、以下の物性を有する本発明化合物を得 た。

TLC:Rf 0.60 (クロロホルム:メタノール=10:1);

- NMR (CD₃OD): δ 7.84 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.57 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.15 (d, J = 8.4 Hz, 2H), 7.08 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 5.97 (m, 1H), 5.30-5.15 (m, 2H), 4.54 (dt, J = 5.7, 1.5 Hz, 2H), 4.38 (s, 2H), 3.68-3.59 (m, 2H), 3.44 (m, 1H), 3.23-3.07 (m, 2H), 2.91 (s, 3H), 2.68-2.63 (m, 2H), 2.40 (m, 1H)。
- 10 参考例11:2-[4-(4-ニトロフェノキシ)フェニル]エタノール 4-(2-ヒドロキシエチル)フェノール(2.94g)および1-フルオロー 4-ニトロベンゼン(3.0g)のジメチルホルムアミド(21mL)溶液に、炭酸カリウム(4.41g)を加えて、120℃で4時間撹拌した。反応溶液を室温に戻して水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、
- 15 無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラム クロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=1:1)で精製し、以下の物 性値を有する標題化合物を得た。

TLC:Rf 0.80 (クロロホルム:メタノール=5:1)。

20 参考例 1 2

25

2- [4-(4-アミノフェノキシ) フェニル] エタノール

参考例 1 1 で製造した化合物 (803 mg) のエタノール (15 mL) 溶液に、パラジウムー炭素 (wet, 10%、100 mg) を加えて、水素雰囲気下、室温で 1.5 時間撹拌した。反応溶液を、セライト (商品名) を用いてろ過し、濃縮した。得られた残渣を t ーブトキシメチルで洗浄し、以下の物性を有する標題化合物 (641.5 mg) を得た。

TLC: Rf 0.55 (DDDDDDDD: VDDDD 5:1);

NMR (CDCl₃): δ 1.37 (t, J = 6.6 Hz, 1H), 2.83 (t, J = 6.6 Hz, 2H), 3.57 (m, 2H), 3.84 (q, J = 6.6 Hz, 2H), 6.62-6.70 (m, 2H), 6.80-6.92 (m, 4H), 7.12-7.20 (m, 2H).

5 参考例13:2-(4-{4-[ビス(メチルスルホニル)アミノ]フェノ キシ}フェニル)エチル メタンスルホネート

参考例12で製造した化合物(196.5mg)の塩化メチレン(8.6mL)溶液に、トリエチルアミン(0.239mL)、メシルクロリド(0.133mL)を0℃で加えて30分撹拌した。反応溶液を室温で12時間撹拌した。反応溶液に炭10酸水素ナトリウム水溶液を加えて、塩化メチレンで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮し、以下の物性値を有する標題化合物(292.4mg)を得た。

TLC: Rf 0.89 (DDDTNA: XDJ-N=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 2.97 (s, 3H), 3.05 (t, J = 6.6 Hz, 2H), 3.41 (s, 6H), 4.43 (t, J = 6.6 Hz, 2H), 6.98-7.08 (m, 4H), 7.30-7.42 (m, 4H)_o

実施例 $34:N-(4-\{4-\{2-(4-\{7チル[(シクロヘキシルア ミノ)カルボニル]アミノ\}ピペリジン-1-イル)エチル]フェノキシ}フェニル)-N-(メチルスルホニル)メタンスルホンアミド$

20 参考例13で製造した化合物(68.6mg)およびNーブチルーN'ーシクロ ヘキシルーNーピペリジンー4ーイル尿素(100mg)のジメチルホルム アミド(2mL)溶液に、トリエチルアミン(60.2μL)およびヨウ化ナトリウム(64.6mg)を加えて室温で12時間撹拌した。反応溶液に水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで 乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=2:1)で精製し、以下の物性値を有する本発明化合

物 (32.2mg) を得た。

化合物 (30.3 mg) を得た。

10

TLC:Rf 0.74 (クロロホルム:メタノール=5:1)。

実施例35:N-(4-{4-[2-(4-{ブチル[(シクロヘキシルア5 ミノ)カルボニル]アミノ}ピペリジン-1-イル)エチル]フェノキシ}フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

実施例34で製造した化合物 (32.2mg) のエタノール (5 mL) -水 (1 mL) 溶液に、炭酸カリウム (13.7mg) を加えて、60 °Cで 3 時間撹拌した。 反応溶液を濃縮し、得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー (酢酸エチル) で精製し、常法により塩酸塩とし、以下の物性値を有する本発明

TLC: Rf 0.69 (クロロホルム: メタノール=5:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.97 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 2.00-1.10 (m, 16H), 2.25-2.08 (m, 2H), 2.93 (s, 3H), 3.16-3.00 (m, 6H), 3.38-3.24 (m, 2H), 3.38-3.24 (m, 2H), 3.55 (m, 1H), 3.71 (m, 2H), 4.13 (m, 1H), 7.00-6.90 (m, 4H), 7.32-7.20 (m, 4H)_o

参考例 1 4: t ーブチル [1-(4-ヒドロキシフェニル) エチル] カーバメート

20 4-(1-アミノエチル)フェノール(1.0g)のエタノール(24mL)溶液に、0℃でジーセーブチル ジカルボネート(4.77g)および水酸化ナトリウム(146mg)を加えて室温で4.5時間撹拌した。反応溶液を濃縮

し、水を加えて酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水 硫酸マグネシウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムク ロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=7:1)にて精製し、以下の物 性値を有する標題化合物(2.18g)を得た。

5 TLC:Rf 0.88 (クロロホルム:メタノール=5:1);
NMR (CDCl₃): δ 1.36-1.50 (m, 13H), 4.79 (m, 1H), 7.10-7.18 (m, 2H), 7.26-7.32 (m, 2H)。

参考例 1 5 : {1-[4-(4-ニトロフェノキシ)フェニル] エチル} ア 10 ミン・塩酸塩

参考例 14で製造した化合物(2.18g)および1-7ルオロ-4-1トロベンゼン(1.028g)のジメチルホルムアミド($30\,\mathrm{mL}$)溶液に、炭酸カリウム(1.21g)を加えて $150\,\mathrm{C}$ で 3時間撹拌した。反応溶液を室温に戻して水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸マグネシウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=6:1)にて精製した。得られた化合物($2.05\,\mathrm{g}$)の酢酸エチル($30\,\mathrm{mL}$)溶液に、 $4\,\mathrm{N}$ 塩酸/酢酸エチル溶液($7.15\,\mathrm{mL}$)を加えて $40\,\mathrm{C}$ で 4時間撹拌し、室温で 3日撹拌した。析出物を濾取し、以下の物性値を有する標題化合物($1.37\,\mathrm{g}$)を得た。

15

NMR (DMSO-d₆): δ 1.52 (d, J = 6.6 Hz, 3H), 4.45 (m, 1H), 7.12 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 7.26 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 7.62 (brd, J = 8.7 Hz, 2H), 8.28 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 8.44 (m, 2H)_o

実施例36:1-{1-[4-(4-ニトロフェノキシ)フェニル]エチル} 25 ピペリジン-4-オン・塩酸塩

参考例 1 5 で製造した化合物 (550mg) のエタノール (9.33mL) -水 (4.67

mL)溶液に、N-ベンジル-N-メチル-4-ピペリドン ヨージド(927mg)および炭酸カリウム(670mg)を加えて5時間加熱還流した。 反応溶液を室温に戻し、水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(ヘキサン:酢酸エチル=3:1)で精製し、常法にて塩酸塩とし、以下の物性を有する本発明化合物(515mg)を得た。

TLC: Rf 0.79 (DDDTNA: ADJ-N=9:1);

5

20

NMR (DMSO-d₆): δ 1.75 (d, J = 6.9 Hz, 3H), 3H), 2.38-3.20 (m, 6H), 3.52 (m, 1H), 3.82 (m, 1H), 4.78 (m, 1H), 7.19 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 7.73 (d, J = 9.0 Hz, 2H), 8.27 (d, J = 9.0 Hz, 2H) $_{\circ}$

 実施例37:N-(4-{4-[1-(4-{ブチル[(シクロヘキシルア ミノ)カルボニル] アミノ} ピペリジン-1-イル)エチル]フェノキシ}
 フェニル)メタンスルホンアミド・塩酸塩

実施例 2 で製造した化合物の代わりに実施例 3 6 で製造した化合物(253.6 mg)を用いて、実施例 3 と同様の反応に付した。得られた化合物およびシクロヘキシルカルボン酸を用いて、実施例 2 3 \rightarrow 参考例 1 2 \rightarrow 参考例 1 3 と同様の反応に付し、以下の物性値を有する本発明化合物(1 0 7 mg)を得た。

TLC:Rf 0.39 (クロロホルム:メタノール=9:1);

NMR (CD₃OD): δ 0.94 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.14-2.28 (m, 18H), 1.76 (d, J = 6.9 Hz, 3H), 2.80-3.05 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.12 (m, 2H), 3.41 (m, 1H), 3.52 (m, 1H), 3.74 (m, 1H), 4.02 (m, 1H), 4.46 (m, 1H), 7.00-7. 19 (m, 4H), 7.29 (brd, J = 9.3 Hz, 2H), 7.50 (brd, J = 8.7 Hz, 2H).

5

実施例38:エチル N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-イル]グリシネート・塩酸塩実施例2で製造した化合物(510mg)およびエチル グリシネート(190mg)のジメチルホルムアミド(10mL)-酢酸(1mL)溶液に、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(345mg)を加えて室温で12時間撹拌した。反応溶液を濃縮し、得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル)にて精製し、常法に従って塩酸塩とし、以下の物性値を有する本発明化合物(583mg)を得た。

TLC:Rf 0.53 (クロロホルム:メタノール=5:1)。

15

20

25

10

実施例39: $N-ブチル-N-[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジン-4-イル]グリシン$

実施例 38で製造した化合物の塩酸塩(303 mg)のジメチルホルムアミド(6 mL)-酢酸(0.6 mL)溶液に、ブタナール(56.2 μ L)を加え、トリアセトキシ水素化ホウ素ナトリウム(144 mg)を加えて、室温で12時間撹拌した。反応溶液を濃縮し、水を加え、酢酸エチルで抽出した。有機層を飽和食塩水で洗浄し、無水硫酸ナトリウムで乾燥し、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル)で精製した。得られた化合物(179.2 mg)のエタノール(15 mL)溶液に、2 N水酸化ナトリウム水溶液(0.91 mL)を加えて40 $\mathbb C$ で 12 時間撹拌した。反応溶液を濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル:メタノール

= 2:1)で精製し、以下の物性値を有する本発明化合物を得た。

TLC:Rf 0.19 (クロロホルム:メタノール=5:1)。

実施例40:N2-ブチル-N1-シクロヘキシル-N2-[1-(4-{45 - [(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] グリシンアミド・2塩酸塩

実施例39で製造した化合物のジメチルホルムアミド(5 m L)溶液に、シクロヘキシルアミン(41.7 μ L)、1-エチル-3-(3-ジメチルアミノ プロピル)-カルボジイミド 塩酸塩(87.2 m g)および1-ヒドロキシー7-アザベンゾトリアゾール(61.9 m g)を加えて室温で12時間撹拌した。反応溶液を濃縮し、シリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル)で精製し、常法に従って塩酸塩とし、以下の物性値を有する本発明化合物(41.4 m g)を得た。

- TLC:Rf 0.71 (クロロホルム:メタノール=5:1);
 NMR (CD₃OD): δ 0.98 (t, J = 7.2 Hz, 3H), 1.16-1.48 (m, 7H), 1.58-1.94 (m, 7H), 2.08-2.38 (m, 4H), 2.95 (s, 3H), 3.08-3.35 (m, 4H), 3.56-4.15 (m, 6H), 4.31 (s, 2H), 7.00-7.08 (m, 4H), 7.24-7.34 (m, 2H), 7.55 (brd, J = 8.7 Hz, 2H)。
- 参考例16:1-(2-クロロピリミジン-4-イル)アゼパン
 2,4-ジクロロピリミジン(25g)のトリエチルアミン(47mL)
 -テトラヒドロフラン(300mL)溶液に、0℃にてアゼパン(17g)
 を加えた。室温に戻し、1時間撹拌後、水を加え、酢酸エチルで抽出した。

有機層を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムにて乾燥後、濃縮した。 得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー(酢酸エチル: $^{+}$ キサン=1:5 \rightarrow 1:2)にて精製し、以下の物性値を有する標題化合物(7.25g)を得た。

5 TLC: Rf 0.43 (ヘキサン:酢酸エチル=3:1);
NMR (CDCl₃): δ 1.57 (m, 4H), 1.79 (m, 4H), 3.45 (m, 2H), 3.79 (m, 2H), 6.29 (d, J = 6.3 Hz, 1H), 7.98 (d, J = 6.3 Hz, 1H)。

参考例 17:4-アゼパン-1-イル-N-ピペリジン-4-イルピリミジ 2-2-アミン・3 塩酸塩

参考例 16 で製造した化合物(500 mg)と1-t-7トキシカルボニルー4-rミノピペリジンの混合物を125 $^{\circ}$ $^{\circ}$ $^{\circ}$ で 6 時間撹拌した。放冷後、飽和重曹水を加え、酢酸エチルにて抽出した。有機層を飽和食塩水にて洗浄し、無水硫酸ナトリウムにて乾燥後、濃縮した。得られた残渣をシリカゲルカラムクロマトグラフィー($^{\circ}$ $^$

TLC:Rf 0.23 (ジクロロメタン:メタノール:酢酸=5:1:0.1); NMR (CD₃OD): δ 1.59-1.61 (m, 4H), 1.83-1.92 (m, 6H), 2.22-2.27 (m, 2H), 3.14-3.22 (m, 2H), 3.44-3.49 (m, 2H), 3.69 (t, J = 6.1 Hz, 2H), 3.91 (t, J = 6.1 Hz,

2H), 4.17 (m, 1H), 6.41 (d, J = 7.5 Hz, 1H), 7.68 (d, J = 7.5 Hz, 1H).

20

4ーヒドロキシピペリジンの代わりに参考例17で製造した化合物を用いて実施例1と同様の操作に付すことにより、以下の物性値を有する本発明化合物(159mg)を得た。

5 TLC: Rf 0.38 (塩化メチレン: メタノール=10:1);
NMR (CD₃OD): δ 1.61-1.62 (m, 4H), 1.83-1.98 (m, 6H), 2.20-2.33 (m, 2H), 2.95 (s, 3H), 3.16-3.24 (m, 2H), 3.55-3.61 (m, 2H), 3.69 (t, J = 6.0 Hz, 2H), 3.91 (t, J = 6.0 Hz, 2H), 4.15 (m, 1H), 4.31 (s, 2H), 6.40 (d, J = 7.5 Hz, 1H), 7.03 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.06 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.54 (d, J = 8.7 HZ, 2H), 7.66 (d, J = 7.5 Hz, 1H)。

実施例 41 (1): N- $\{4-[4-({3-[(4-r ぜパン-1- イル ピリミジン-2- イル) r ミノ] ピペリジン-1- イル} メチル) フェノキシ] フェニル} メタンスルホンアミド・3 塩酸塩$

15 1ーtーブトキシカルボニルー4ーアミノピペリジンの代わりに1ーtーブトキシカルボニルー3ーアミノピペリジンを用いて、参考例17→実施例37と同様の操作に付すことにより、以下の物性値を有する本発明化合物(51mg)を得た。

TLC:Rf 0.53 (塩化メチレン:メタノール=10:1);

NMR (CD₃OD): δ 1.55-1.80 (m, 9H), 2.00-2.17 (m, 3H), 2.79 (m, 1H), 2.95 (s, 3H), 3.04 (m, 1H), 3.53-3.86 (m, 7H), 4.25 (d, J = 13.5 Hz, 1H), 4.33 (m, 1H), 4.44 (d, J = 13.5 Hz, 1H), 6.40 (d, J = 7.5 Hz, 1H), 7.02 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.04 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.29 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.55 (d, J = 8.7 Hz, 2H), 7.66 (d, J = 7.5 Hz, 1H).

[生物学的実施例]

5

15

本発明化合物がCCR5拮抗作用を有することは、例えば以下の実験で証明された。全体の操作は、基本的な遺伝子工学的手法に基づき、遺伝子高発現細胞を作製し、常法となっている方法を活用した。また、本発明の測定方法は、以下のように、本発明化合物を評価するために、測定精度の向上および/または測定感度の改良を加えたものである。以下に詳細な実験方法を示す。

10 生物学的実施例1:RANTESとCCR5の結合に対する阻害実験

(1) ヒトCCR5遺伝子の単離

ヒト胎盤 c D N Aは、Marathon cDNA amplification kit (Clontech) を用いて作製した。P C R プライマーである h C C R 5 X ba I - F 1:5'- A G C T A G T C T C C C C T A C A A G A A A C T C T C C C - 3'(配列番号 1) および h C C R 5 X ba I - R 1:5'- A G C T A G T C T A G A G T G C A C A A C T C T G A C T G G G T C A C C A - 3'(配列番号 2)は、Gen Bank U 5 4 9 9 4 の配列に基き設計した。

ヒト胎盤cDNAを鋳型として、Ex Taq (Takara) を用いて、P C R 反応 (9 5 °Cで2分→ [95°Cで30秒、60°Cで45秒、72度で1分]×35回) を行なった。増幅した P C R 産物を、1%アガロースゲル電気泳動後、QIAquick Gel Extraction Kit (QIAGEN) を用いて精製し、制限酵素 XbaI で切断した。切断した断片を、発現ベクターpEF-BOS-bsr に DNA Ligation Kit Ver.2 (Takara) を用いて連結し、大腸菌 DH5a に形質転換した。このプラスミドpEF-BOS-bsr/hCCR5を調製し、D N A 配列を確認した。

25 (2) CHO細胞の培養

CHO-dhfr(-)は、Ham's F-12 (ウシ胎児血清 (10%)、ペニシリン (50U

/m1)、ストレプトマイシン(50mg/m1)含有)を用いて培養した。また、形質導入した細胞は、上記にブラストサイジン(5mg/m1)を添加し、培養した。

- (3) CHO細胞への形質導入
- 5 DMRIE-C reagent (Gibco BRL) を用いて、プラスミド pEF-BOS-bsr/hCCR5 を CHO-dhfr(-)細胞に形質導入した。48時間後、5mg/mlのブラストサイジンを含む培地に交換して選択を行ない、安定過剰発現細胞を樹立した。
 - (4) RANTESとCCR5の結合(RANTESのCaイオン一過性上 昇誘導活性)に対する阻害実験
- 樹立したヒトCCR5安定過剰発現CHO細胞(CCR5/CHO細胞)を、Ham's F-12 培地およびFBS(10%)に懸濁し、96穴プレートに3.0×10⁶細胞/穴となるように巻き込んだ。37℃で1日培養した後、培養上清を除去して、Ham's F-12 培地(Fura-2AM(5 μM)、Probenecid(2.5 mM)およびHEPES(20 mM; p H7.4)含有)を80μ1/穴添加し、遮光15 状態で、37℃で1時間インキュベートした。1×Hanks/HEPES(20 mM; p H7.4)溶液で2回洗浄した後、同溶液を100μ1/穴添加した。このFura-2AMを取り込んだCCR5/CHO細胞に対して、試験化合物を添加後3分経過時に、1×Hanks/HEPES(20 mM; p H7.4)溶液で希釈した組み換えヒトRANTES(PeproTech)を、最終濃度10 n M添加した。20 ヒトRANTESによって誘導される細胞内Ca²+濃度の一過性上昇を、96穴用Ca²+検出器(浜松ホトニクス)を用いて測定し、試験化合物の阻害
 - 率(%)を以下の計算式により算出した。

阻害率=
$$\frac{(Ec-Ea)}{Ec} \times 100$$

Ec:RANTESによるCa²⁺一過性上昇の測定値、

25 Ea:試験化合物を添加した時のRANTESによるCa²⁺一過性上昇の測

定值。

15

25

その結果、本発明化合物は、 10μ Mで50%以上の阻害を示した。例えば、実施例5(2)で製造した化合物は、 IC_{50} 値が 0.077μ Mであった。

- 5 生物学的実施例 2:ヒトCCR 5 発現細胞 (h C C R 5 B a / F 3 細胞) の遊走試験
 - (1) ヒトCCR5発現細胞の樹立
 - (1-A) ヒトCCR5遺伝子の単離

前記実施例1のヒトCCR5遺伝子の単離に記載の方法によって行った。

10 (1-B) Ba/F3細胞の培養

Ba/F 3細胞は抗生剤(Antibiotic-Antimycotic)(終濃度:ペニシリンGナトリウム($100 \, \text{U/mL}$)、硫酸ストレプトマイシン($100 \, \mu \, \text{g/m}$ L)、アンフォテリシンB($0.25 \, \mu \, \text{g/mL}$))(Gibco BRL)、ウシ胎児血清(FBS)(10%)、2-メルカプトエタノール($55 \, \mu \, \text{M}$)、マウスインターロイキン3($1 \, \text{L}-3$)($5 \, \text{n} \, \text{g/mL}$)(Pepro Tech、Inc)含有RPMI-1640培地(Gibco BRL)を用い、炭酸ガスインキュベーター内(温度:37%、CO2濃度:5%、湿度:95%)で静置培養した。外来遺伝子安定過剰発現細胞の培養には上記培地に終濃度 $10 \, \mu \, \text{g/m}$ 1になるようにブラストサイジン(Kaken pharmaceutical)を添加した。

20 (1-C) Ba/F3細胞への形質導入

ヒトCCR5発現用プラスミド(pEF-BOS-bsr/hCCR5)を Aat II で消化し、 直鎖化した。直鎖化したプラスミドを QIA quick PCR Purification Kit (QIAGEN) を用いて精製した後、エレクトロポレーション(Gene Pulser(BIO RAD)96 $0\mu F/250V$)によりBa/F3細胞に導入した。細胞は96ウェル培 養プレートに 1000、100、10 cells/ $100\mu1$ /ウェルの密度で播種し、 48時間後、終濃度 10μ g/m1になるようにブラストサイジンを添加し

て、ブラストサイジン耐性株をクローニングし、導入した外来遺伝子を発現する安定過剰発現クローン(hCCR5-Ba/F3細胞)を樹立した。 (1-D) CCR5発現解析

前記(1-C)に記載の方法によって得られたクローンにおけるヒトCC R 5 発現強度を、細胞をフルオレセインイソチオシアネート(fluorescein isothiocyanate)(FITC)標識抗ヒトCCR5抗体(BD Pharmingen)によって検出し、FACSort(商品名,ベクトン・ディッキンソン社製)を用いて測定し、解析を行った。なお、アイソタイプコントロール抗体として、FITC標識マウスIgG2a κ (BD Pharmingen)を使用した。

10 (2)細胞遊走試験

5

15

20

25

ヒトCCR5を発現したBa/F3細胞のRANTES、MIP-1αま たはM I P-1βに対する遊走能におよぼす試験化合物の影響を調べた。ま ず、ChemoTx 96 well plate (Neuro Probe) の下室に 0 または 3 n M のケモカイ ン (RANTES、MIP- 1α またはMIP- 1β) 含有培地 0.3mLをそ れぞれ加えた。次に、フィルター (pore size 5 μm) をセットし、その上に あらかじめ調製しておいた試験物質とCCR5-Ba/F3細胞の混合液 $(1 \times 10^{5} \text{cells/well})$ を 65μ L ずつ添加した。このときに添加した試験 物質は,フィルター上での終濃度が 0 、0.01、0.03、0.1 または 0.3 μ M となる ように 0.1% DMS O含有培地で希釈して調製した。これらの細胞を CO2イ ンキュベーター (37℃,5% CO₂,相対湿度95%) 内で3時間培養し た後、フィルター上の培地と未遊走細胞を除去した。さらに、フィルターを はずしてから、マイクロプレートを遠心 (1,500 rpm, 10 min, RT) し、デカ ンテーションにて上清を除去した。マイクロプレート上の細胞を100μL のリン酸緩衝溶液 (PBS) に懸濁し、その1/10をさらに 90μ LのP BSで希釈して発光測定用ホワイトプレートに移し、遊走細胞数の測定サン プルとした(最終100 μ L/well)。

次に、あらかじめ室温で調製しておいた CellTiter-Glo Reagent (商品名, Promega) を上記遊走細胞数測定サンプルに添加(100μL/well)し、ゆるやかに混和 (IKA-SCHUTTLER MTS4 で 300 rpm, 2 min) して細胞溶解後、室温で 10分インキュベートし、wallac ARVO SX 1420 MULTILABEL COUNTER (商品名, Perkin Elmer) で発光を測定(カウント/秒で検出)した。

ケモカイン濃度 0 n m o 1/L のときの遊走細胞数(自然落下細胞数)をバックグラウンドとし、0.1% D M S O コントロール群に対する試験化合物の阻害率を算出した。

10 試験化合物の遊走阻害率 (%) は以下の計算式により算出した。

阻害率=
$$\frac{(Ec-Ea)}{Ec} \times 100$$

E c:0.1% DMS O添加時の発光測定値ー自然落下細胞による発光測定値、 E a:試験化合物添加時の発光測定値ー自然落下細胞による発光測定値。

[結果]

5

実施例 23 (126) で製造した化合物はRANTESに対して、10 および 30 μ Mの濃度で、それぞれ 42 % および 77 %の細胞遊走阻害率を示した。

製剤例1:

- 20 以下の各成分を常法により混合した後打錠して、一錠中に50mgの活性 成分を含有する錠剤100錠を得た。
 - ・N-ブチルーN- $[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-$ イル] シクロヘキサンカルボキサミド・塩酸塩 $\cdots \cdot 5.0$ g
- 25 ・カルボキシメチルセルロースカルシウム (崩壊剤) ・・・・・・0.2 g

・ステアリン酸マグネシウム (潤滑剤)・微結晶セルロース・微結晶セルロース

製剤例2:

5 以下の各成分を常法により混合した後、溶液を常法により滅菌し、5 m l ずつアンプルに充填し、常法により凍結乾燥し、1アンプル中20 m g の活性成分を含有するアンプル100本を得た。

・N-ブチルーN- $[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル)アミノ]フェノキシ}ベンジル)ピペリジンー<math>4-$ イル]シクロヘキサンカルボキサミ

10 ド・塩酸塩 ······ 2.0 g

・マンニトール ・・・・・ 20g

· 蒸留水 · · · · · · 5 0 0 m l

製剤例3:

15 以下の各成分を常法により混合した後打錠して、一錠中に 10 mgの活性 成分を含有する錠剤 1万錠を得た。

20 ・カルボキシメチルセルロースカルシウム (崩壊剤) ・・・・・・20.0 g

・ステアリン酸マグネシウム (潤滑剤) ・・・・・・10.0 g

・微結晶セルロース ・・・・・・ 870g

製剤例4:

25 以下の各成分を常法により混合した後、除塵フィルターでろ過し、5 m l ずつアンプルに充填し、オートクレーブで加熱滅菌して、1 アンプル中 2 0

mgの活性成分を含有するアンプル1万本を得た。

・N-ブチルーN- $[1-(4-\{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-$ イル] シクロヘキサンカルボキサミド・塩酸塩 200g

5 ・マンニトール

..... 2 k g

• 蒸留水

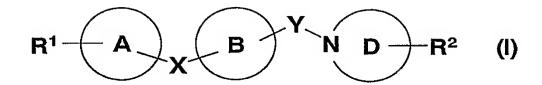
.....50L

産業上の利用可能性

一般式(I)で示される本発明化合物は、CCR5受容体の作用を制御するので、各種炎症性疾患(喘息、腎炎、腎症、肝炎、関節炎、慢性関節リウマチ、鼻炎、結膜炎、潰瘍性大腸炎等)、免疫疾患(自己免疫疾患の治療、移植臓器拒絶反応、免疫抑制、乾癬、多発性硬化症等)、ヒト免疫不全ウィルス感染症(後天性免疫不全症候群等)、アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、アレルギー性気管支肺アスペルギルス症、アレルギー性好酸球15性胃腸症等)、虚血再灌流傷害の抑制、急性呼吸窮迫症候群、細菌感染に伴うショック、糖尿病、癌転移等の予防および/または治療に有用である。したがって、CCR5拮抗薬は医薬として有用である。

請求の範囲

1. 一般式(I)



5 (式中、 R^1 は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、XおよびYはそれぞれ独立して結合手または主鎖の原子数 $1\sim3$ のスペーサーを表わし、環Aおよび環Bは同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員同素環または複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2) でいてもよい $3\sim1$ 5 員合窒素複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2) で製基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキソ基、(7)置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員複素環基、または(8) $=N-OR^6$ (R^6 は、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わす。)

- 15 で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグ。
 - 2. R¹が保護されていてもよい酸性基である請求の範囲1記載の化合物。
- 3. 酸性基がカルボキシ、またはスルホンアミドである請求の範囲 2 記載 20 の化合物。
 - 4. XおよびYがそれぞれ独立して、結合手、または(1) $-CR^7R^8-$ 、(2) $-NR^9-$ 、(3) -CO-、(4) -O-、(5) -S-、(6) -SO-、(7) $-SO_2-$ 、(8) -C ($=N-OR^{10}$) (式中、 R^7 およ

び R^8 はそれぞれ独立して、水素原子、C1-4アルキル、 $-OR^{11}$ 、またはフェニルを表わし、 R^9 は、水素原子、 $C1\sim4$ アルキル、またはフェニルを表わし、 R^{10} および R^{11} はそれぞれ独立して、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)から選ばれる 2 価基である請求の範囲 1 記載の化合物。

5

- 5. Xが結合手、-O-、または $-CH_2-$ である請求の範囲4記載の化合物。
- 6. YがC1~3アルキレンである請求の範囲1記載の化合物。

10

- 7. 環Dが、さらに置換基を有していてもよい5~10員含窒素複素環である請求の範囲1記載の化合物。
- 8. 環Aおよび環Bが、同一または異なって、さらに置換基を有していて 15 もよい5~10員同素環または複素環である請求の範囲1記載の化合物。
 - 9. 環Aおよび環Bが、同一または異なって、さらに置換基を有していて もよい5~6員芳香族環である請求の範囲1記載の化合物。

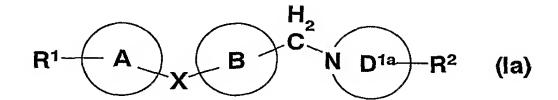
20 10. $R^2 b^3$

(式中、矢印は環Dとの結合位置を表わし、 R^{51} 、 R^{52} および R^{53} はそれぞれ独立して、(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、

(3)置換基を有していてもよい3~15員複素環基、(4)置換基を有し

ていてもよいC1~4アルコキシ基、(5)置換基を有していてもよいフェノキシ基または(6)置換基を有していてもよいベンジルオキシ基を表わす。)である請求の範囲1記載の化合物。

5 11. 一般式 (Ia)



(式中、環 D^{1a} は置換基を有していてもよいピペリジンまたはピペラジンを表わし、その他の記号は請求の範囲1の記載と同じ意味を表わす。)で示される請求の範囲1記載の化合物。

- 12. (1) $N-[4-(4-\{[4-(ブチル \{[(2,4-ジフルオロフェニル) アミノ] カルボニル \} アミノ) -1-ピペリジニル] メチル <math>\}$ フェノキシ) フェニル] メタンスルホンアミド、
- (2) N − [4 − (4 − {[4 − (ブチル {[(6 − メチル − 3 − ピリジニル)
 15 アミノ] カルボニル} アミノ) − 1 − ピペリジニル] メチル} フェノキシ)
 フェニル] メタンスルホンアミド、
- 20 (4) N-[4-(4-{[4-(ブチル {[(1-メチル-1H-ピラゾールー4-イル) アミノ] カルボニル} アミノ) ピペリジンー1ーイル] メチル}フェノキシ)フェニル] メタンスルホンアミド、
 - (5) 3 [({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ]

ベンズアミド、

- 5 (7) 5-[({ブチル[1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジン-4-イル] アミノ} カルボニル) アミノ]
 -2-フルオロベンズアミド、
 - (8) $5-[({ブチル [1-(4-{4-[(メチルスルホニル) アミノ] フェノキシ} ベンジル) ピペリジンー<math>4-$ イル] アミノ} カルボニル) アミノ] -2, 4-ジフルオロベンズアミド、
 - (9) N- $[4-(4-(7+7) {[(3-9+7)-4-7)]}$ アミノ) アミノ] カルボニル(7+9) (7+

20

10

- 13. 請求の範囲1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなるCCR5制御剤。
- 14. CCR 5 拮抗剤である請求の範囲 13 記載の CCR 5 制御剤。

25

15. CCR5が関与する疾患の治療および/または予防剤である請求の

範囲13記載のCCR5制御剤。

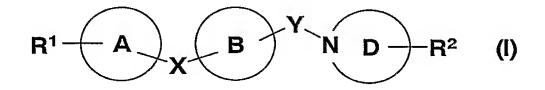
16. CCR 5 が関与する疾患がヒト免疫不全ウィルス感染症である請求 の範囲 15 記載の CCR 5 制御剤。

- 17. ヒト免疫不全ウィルス感染症が後天性免疫不全症候群である請求の 範囲16記載のCCR5制御剤。
- 18. CCR 5 が関与する疾患が免疫疾患である請求の範囲 1 5 記載の C CR 5 制御剤。
 - 19. 免疫疾患が移植臓器拒絶反応である請求の範囲18記載のCCR5 制御剤。
- 15 20. CCR 5 が関与する疾患が炎症性疾患である請求の範囲 1 5 記載の CCR 5 制御剤。
 - 21. 炎症性疾患が喘息である請求の範囲20記載のCCR5制御剤。
- 20 22. 請求の範囲1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩または その溶媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなる、ヒト免疫不全ウィ ルス感染症、免疫疾患または炎症性疾患予防および/または治療剤。
- 23. 請求の範囲1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩または 25 その溶媒和物、またはそのプロドラッグを含有してなる医薬組成物。

24. 請求の範囲1記載の一般式(I)で示される化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグと逆転写酵素阻害薬、プロテアーゼ阻害薬、CCR2拮抗薬、CCR3拮抗薬、CCR4拮抗薬、CCR5拮抗薬、CXCR4拮抗薬、フュージョン阻害薬、HIV-1の表面抗原に対する抗体、およびHIV-1のワクチンから選択される1種または2種以上の薬とを組み合わせてなる医薬。

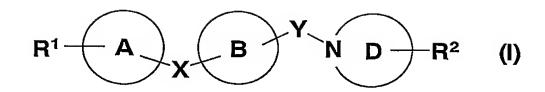
25. 一般式(I)

5



10 (式中、R¹は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、XおよびYはそれぞれ独立して結合手または主鎖の原子数1~3のスペーサーを表わし、環Aおよび環Bは同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい3~15員同素環または複素環を表わし、環Dは、さらに置換基を有していてもよい3~15員含窒素複素環を表わし、R²は(1)水素原子、(2) 置換基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキソ基、(7)置換基を有していてもよい3~15員複素環基、または(8)=N-OR⁶(R⁶は、水素原子またはC1~4アルキルを表わす。)を表わす。)で示される請求の範囲1記載の化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグの有効量を哺乳動物に投与することを特徴とする哺乳動物におけるCCR5が関与する疾患の治療または予防方法。

26. CCR 5 が関与する疾患の予防および/または治療剤を製造するための、一般式(I)



(式中、 R^1 は水素原子、または保護されていてもよい酸性基であり、Xおよび Y はそれぞれ独立して結合手または主鎖の原子数 $1\sim3$ のスペーサーを表わし、環A および環B は同一または異なって、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員同素環または複素環を表わし、環D は、さらに置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員合窒素複素環を表わし、 R^2 は(1)水素原子、(2)置換基を有していてもよい炭化水素基、(3)シアノ基、(4)保護されていてもよい水酸基、(5)置換基を有していてもよいアミノ基、(6)オキソ基、(7)置換基を有していてもよい $3\sim1$ 5 員複素環基、または(8) $=N-OR^6$ (R^6 は、水素原子または $C1\sim4$ アルキルを表わす。)を表わす。)で示される請求の範囲 1 記載の化合物、その塩またはその溶媒和物、またはそのプロドラッグの使用。

5

配列表

SEQUENCE LISTING

<110> ONO Pharmaceutical Co., Ltd.

<120> Heterocyclic ring having nitrogen atom derivatives and medicament containing the derivative as active ingredient

<130> ONF-4932PCT

<150> JP 2003-070347

<151> 2003-03-14

<150> JP 2003-385683

<151> 2003-11-14

<160> 2

<170> PatentIn version 3.1

<210> 1

⟨211⟩ 37

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Description of Artificial Sequence:Forword primer
hCCR5Xbal

<400> 1

agctagtcta gatccgttcc cctacaagaa actctcc

37

<210> 2

<211> 37

<212> DNA

<213> Artificial Sequence

<220>

<223> Description of Artificial Sequence:Revese primer
hCCR5Xbal

<400> 2

agctagtcta gagtgcacaa ctctgactgg gtcacca

International application No. PCT/JP2004/003333

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl ⁷ C07D211/46, 211/74, 211/58, 211/62, 211/32, 211/66, 211/22,			
211/34, 211/72, 241/04, 401/04, 401/06, 401/10, 401/14, 405/12, 409/12, 413/12, 487/08, A61K31/403, 31/445, 31/4468,			
	ernational Patent Classification (IPC) or to both nationa	l classification and IPC	
B. FIELDS SEA	ARCHED nentation searched (classification system followed by cla	ogification armshala)	
Int.Cl ⁷			211/22,
	211/34, 211/72, 241/04, 401/0		
	405/12, 409/12, 413/12, 487/0	J8, A61K31/4U3, 31/445,	31/4468,
Documentation s	searched other than minimum documentation to the exte	nt that such documents are included in the	fields searched
	,		
Electronic data b	pase consulted during the international search (name of d	lata base and, where practicable, search te	rms used)
C. DOCUMENT	TS CONSIDERED TO BE RELEVANT		
Category*	Citation of document, with indication, where ap	propriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2001-518505 A (SmithKline		1,4-9,10,11,
70	16 October, 2001 (16.10.01),	-	13-24,26
A	Claims & WO 99/01127 A1	9805542 A	12
		1001766 A1	
	& BR 9810758 A & NO & US 6515027 B1	9906490 A	
	a 05 034302 / Da		
X		Merck Pharmaceutical	1,4-9,11
	Co.), 10 December, 1992 (10.12.92),		
	Example 45		
	& EP 449187 A2 & US & CA 2038692 A	5169855 A	
	cuments are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.	
"A" document de	gories of cited documents: efining the general state of the art which is not considered icular relevance	"T" later document published after the inte date and not in conflict with the application the principle or theory underlying the in	ation but cited to understand
"E" earlier applic	cation or patent but published on or after the international	"X" document of particular relevance; the considered novel or cannot be considered.	
"L" document w	which may throw doubts on priority claim(s) or which is	step when the document is taken alone	
special reaso	ablish the publication date of another citation or other on (as specified)	"Y" document of particular relevance; the considered to involve an inventive	step when the document is
"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means document published prior to the international filing date but later than		combined with one or more other such being obvious to a person skilled in the	
the priority date claimed "&" document member of the same patent family			amily
Date of the actua	l completion of the international search	Date of mailing of the international sear	ch report
17 May,	, 2004 (17.05.04)	01 June, 2004 (01.0	06.04)
	g address of the ISA/ se Patent Office	Authorized officer	
Facsimile No.		Telephone No.	

International application No.
PCT/JP2004/003333

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	JP 2000128782 A2 (Takeda Chemical Industries, Ltd.), 09 May, 2000 (09.05.00), & WO 99/32100 A2 & CA 2304959 A & AU 9916831 A & ZA 9811574 A & EP 1039899 A2 & BR 9813691 A & US 6096780 A & US 6376536 B1 & NO 2000003179 A & US 6268354 B1	1-5,7-9
P,X	& NO 2000003179 A & US 6268354 B1 WO 04/026873 A1 (Ono Pharmaceutical Co., Ltd.), 01 April, 2004 (01.04.04), (Family: none) See compound RN:676450-16-1	1-24,26

International application No.
PCT/JP2004/003333

Box N	lo. 1 Nucleotide and/or amino acid sequence(s) (Continuation of item1.b of the first sheet)	
1. Wi	ith regard to any nucleotide and/or amino acid sequence disclosed in the international application and necessary to the claimed vention, the international search was carried out on the basis of:	
a.	type of material	
	x a sequence listing	
	table(s) related to the sequence listing	
b.	format of material	
-	in written format	
	in computer readable form	
c.	time of filing/furnishing	
	contained in the international application as filed	
	filed together with the international application in computer readable form	
	furnished subsequently to this Authority for the purposes of search	
2. 💌	In addition, in the case that more than one version or copy of a sequence listing and/or table relating thereto has been filed	
	or furnished, the required statements that the information in the subsequent or additional copies is identical to that in the application as filed or does not go beyond the application as filed, as appropriate, were furnished.	
3. Ado	ditional comments:	
		ĺ
		İ
		ŀ

International application No.
PCT/JP2004/003333

Box No. II Observations where certain claims were found unsearchable (Continuation of item 2 of first sheet)
Dox 110. If Observations where certain claims were found thisearchable (Continuation of item 2 of first sheet)
This international search report has not been established in respect of certain claims under Article 17(2)(a) for the following reasons: 1. Claims Nos.: 25 because they relate to subject matter not required to be searched by this Authority, namely: The invention in claim 25 pertains to methods for treatment of the
human body by therapy.
2. Claims Nos.:
because they relate to parts of the international application that do not comply with the prescribed requirements to such an extent that no meaningful international search can be carried out, specifically:
Claims Nos.: because they are dependent claims and are not drafted in accordance with the second and third sentences of Rule 6.4(a).
Box No. III Observations where unity of invention is lacking (Continuation of item 3 of first sheet)
This International Searching Authority found multiple inventions in this international application, as follows:
1. As all required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers all searchable claims.
2. As all searchable claims could be searched without effort justifying an additional fee, this Authority did not invite payment of any additional fee.
As only some of the required additional search fees were timely paid by the applicant, this international search report covers only those claims for which fees were paid, specifically claims Nos.:
4. No required additional search fees were timely paid by the applicant. Consequently, this international search report is restricted to the invention first mentioned in the claims; it is covered by claims Nos.:
Remark on Protest The additional search fees were accompanied by the applicant's protest. No protest accompanied the payment of additional search fees.

International application No.

PCT/JP2004/003333

Continuation of A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER (International Patent Classification (IPC))

Int.Cl⁷ 31/45, 31/453, 31/4535, 31/454, 31/4545/ 31/4709, 31/495,
31/496, 31/497, 31/506, 31/517, 31/5377, 31/55, 45/00,
A61P11/06, 29/00, 31/18, 37/00, 37/06, 43/00

(According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC)

Continuation of B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (International Patent Classification (IPC))

Int.Cl⁷ 31/45, 31/453, 31/4535, 31/454, 31/4545/ 31/4709, 31/495, 31/496, 31/497, 31/506, 31/517, 31/5377, 31/55, 45/00, A61P11/06, 29/00, 31/18, 37/00, 37/06, 43/00

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

Continuation of "continuation of first sheet(2)"

Although the claimed general formula (I) involves a great number of compounds in the scope thereof, only small part of the claimed compounds are supported by the description in the meaning within PCT Article 6 and disclosed therein in the meaning within PCT Article 5.

This report was made by referring the scope of the compounds represented by the general formula (I) mainly as to those corresponding to specific compounds as set forth in claim 12 and thus complete search was made exclusively on the compounds as set forth in claim 12.

A. 発明の属する分野の分類(国際特許分類(IPC))

INT C1 7 C07D 211/46, 211/74, 211/58, 211/62, 211/32, 211/66, 211/22, 211/34, 211/72, 241/04, 401/04, 401/06, 401/10, 40 1/14, 405/12, 409/12, 413/12, 487/08, A61K 31/403, 31/445, 31/4468, 31/45, 31/453, 31/4535, 31/4545, 31/4545, 31/4709, 3 1/495, 31/496, 31/497, 31/506, 31/517, 31/5377, 31/55, 45/00 A61P 11/06, 29/00, 31/18, 37/00, 37/06, 43/00

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

INT C1⁷ C07D 211/46, 211/74, 211/58, 211/62, 211/32, 211/66, 211/22, 211/34, 211/72, 241/04, 401/04, 401/06, 401/10, 40 1/14, 405/12, 409/12, 413/12, 487/08, A61K 31/403, 31/445, 31/4468, 31/45, 31/453, 31/4535, 31/454, 31/4545, 31/4709, 3 1/495, 31/496, 31/497, 31/506, 31/517, 31/5377, 31/55, 45/00 A61P 11/06, 29/00, 31/18, 37/00, 37/06, 43/00

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語) STN/CAS

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2001-518505 A (スミスクライン・ビーチャム・コーポレイション) 2001.10.16 特許請求の範囲、参照	1, 4-9, 10, 11, 13-24, 26
A	& WO 99/01127 A1 & ZA 9805542 A & AU 9883813 A & EP 1001766 A1 & BR 9810758 A & NO 9906490 A & US 6515027 B1	12
X	JP 4-356462 A (ザ・デュポン・メルク・ファーマシュウテイカル・カンパニー) 1992.12.10 実施例45参照 & EP 449187 A2 & US 5169855 A & CA 2038692 A	1, 4-9, 11

区欄の続きにも文献が列挙されている。

」パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「〇」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願目前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって 出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論 の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

17.05.2004

国際調査報告の発送日 01.6.2004

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁(ISA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 守安 智 4P | 8519

電話番号 03-3581-1101 内線 3452

国際調査報告

C (続き).	関連すると認められる文献	即油ナフ
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
X	JP 2000128782 A2 (武田薬品工業株式会社) 2000.05.09 & WO 99/32100 A2 & CA 2304959 A & AU 9916831 A & ZA 9811574 A & EP 1039899 A2 & BR 9813691 A & US 6096780 A & US 6376536 B1 & NO 2000003179 A & US 6268354 B1	1-5, 7-9
PΧ	WO 04/026873 A1 (小野薬品工業株式会社) 2004.04.01 (ファミリーなし) RN:676450-16-1の化合物、参照	1-24, 26
	4	

第Ⅱ欄 請求の範囲の一部の調査ができないときの意見(第1ページの2の続き)
法第8条第3項(PCT17条(2)(a))の規定により、この国際調査報告は次の理由により請求の範囲の一部について作成しなかった。
1. X 請求の範囲25 は、この国際調査機関が調査をすることを要しない対象に係るものである。 つまり、 ヒトの治療方法に係る発明である。
2. □ 請求の範囲は、有意義な国際調査をすることができる程度まで所定の要件を満たしていない国際出願の部分に係るものである。つまり、
3. □ 請求の範囲は、従属請求の範囲であってPCT規則6.4(a)の第2文及び第3文の規定に 従って記載されていない。
第Ⅲ欄 発明の単一性が欠如しているときの意見(第1ページの3の続き)
次に述べるようにこの国際出願に二以上の発明があるとこの国際調査機関は認めた。
1. 出願人が必要な追加調査手数料をすべて期間内に納付したので、この国際調査報告は、すべての調査可能な請求の範囲について作成した。
2. □ 追加調査手数料を要求するまでもなく、すべての調査可能な請求の範囲について調査することができたので、追加調査手数料の納付を求めなかった。
3. 出願人が必要な追加調査手数料を一部のみしか期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、手数料の納付のあった次の請求の範囲のみについて作成した。
4. □ 出願人が必要な追加調査手数料を期間内に納付しなかったので、この国際調査報告は、請求の範囲の最初に記載されている発明に係る次の請求の範囲について作成した。
追加調査手数料の異議の申立てに関する注意 □ 追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがあった。
追加調査手数料の納付と共に出願人から異議申立てがなかった。

	国際調査報告	国際出願番号 PCT/JP2004/003333
第I欄 ヌクレオチド又	はアミノ酸配列(第1ページの1. bの約	売き)
1. この国際出願で開示 以下に基づき国際調	されかつ請求の範囲に係る発明に必要なえ 査を行った。	スクレオチド又はアミノ酸配列に関して、
a. タイプ	X 配列表	
	□ 配列表に関連するテーブル	
b. フォーマット	X 書面	
	□ コンピュータ読み取り可能な形式	
c. 提出時期	X 出願時の国際出願に含まれる	<i>:</i>
	□ この国際出願と共にコンピュータ読	み取り可能な形式により提出された
·	□ 出願後に、調査のために、この国際	調査機関に提出された
2. 図 さらに、配列表 した配列が出願 出があった。	又は配列表に関連するテーブルを提出した 時に提出した配列と同一である旨、又は、	と場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出 出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提
3. 補足意見:		

.

請求の範囲の一般式(I)には非常に広範な化合物が包含されるものであるが、PCT第6条の意味において明細書に裏付けられ、また、PCT第5条の意味において開示されているのは、そのうちのごくわずかな部分にすぎない。

本報告は、主に、一般式(I)で示される化合物の範囲を請求項12に記載されている具体的な化合物に対応するものとして作成されており、請求項12を除き、完全なサーチは行っていない。